Muratec

MFX-C2860N/C2260N/C2260NK

ユーザーズガイド
プリント機能編

もくじ

1 プリンター機能について

1.1 プリンター機能の概要 1-2
1.2 必要なシステム環境 1-3
1.3 本機のケーブル接続箇所 1-4

2 Windows 環境で印刷する

2.1 印刷の準備 (ネットワーク接続) 2-2
2.1.1 概要 2-2
2.1.2 プリンタードライバーをインストールする前に (管理者向け) 2-2
LAN ケーブルの接続を確認する 2-3
ネットワーク設定を確認する 2-3
ネットワーク印刷の使用環境を設定する 2-3
プリンタードライバーからの装置情報の取得を許可する 2-4
2.1.3 プリンタードライバーの簡単インストール 2-4
プリンタードライバーの DVD を準備する 2-4
プリンタードライバーの種類を確認する 2-5
プリンタードライバーの対応 OS を確認する 2-5
インストール手順 2-5
2.1.4 プリンタードライバーの初期設定をする 2-7
本機のオプション環境を設定する 2-7
印刷設定の初期値を変更する 2-8
2.2 印刷の準備 (USB 接続) 2-9
2.2.1 概要 2-9
2.2.2 プリンタードライバーの簡単インストール 2-9
プリンタードライバーの DVD を準備する 2-10
プリンタードライバーの種類を確認する 2-10
プリンタードライバーの対応 OS を確認する 2-10
インストール設定を変更する (Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016) 2-11
インストール手順 2-12
2.2.3 プリンタードライバーの初期設定をする 2-14
本機のオプション環境を設定する 2-14
印刷設定の初期値を変更する 2-14
2.3 印刷のしかた 2-15
2.3.1 印刷の流れ 2-15
2.3.2 よく使う印刷設定を簡単に呼出す 2-16
よく使う印刷設定を登録する 2-16
設定画面をカスタマイズする 2-17
2.4 便利な印刷機能 2-18
2.4.1 用紙のサイズや種類を変更して印刷する 2-18
用紙サイズに合わせて拡大／縮小して印刷する (［用紙サイズ］) 2-18
任意の倍率で拡大／縮小して印刷する (［ズーム］) 2-18
特殊なサイズの用紙に印刷する (［原稿サイズ］) 2-19
用紙の種類を指定して印刷する (［用紙種類］) 2-20
給紙トレイを指定して印刷する (［給紙トレイ］) 2-20
はがきに印刷する 2-21
原稿を複数のトレイの用紙に印刷する (［カーボンコピー］) 2-21
2.4.2 複数の部数を印刷する 2-23
印刷部数を指定する (［部数］) 2-23
部単位で印刷する (［ソート (1 部ごと)］ ／ ［仕分け］) 2-23
2.4.3 印刷枚数を節約する 2-24
複数のページを 1 枚の用紙の同じ面に印刷する (［ページ割付］) 2-24
用紙の両面に印刷する (［両面］) 2-25
白紙ページを印刷しない (［白紙抑制］) 2-26

2.4.4 印刷物をとじる 2-27
用紙にとじしろを作る（［とじしろ］）.... 2-27
ステープルでとじる（［ステープル］）.... 2-28
用紙の中央をとじる（［中とじ］）.... 2-29
パンチ穴をあける（［パンチ］）.... 2-30
用紙を折る（［折り］）.... 2-31
小冊子のように印刷する（［小冊子］）.... 2-32
排紙先のトレイを指定する（［排紙トレイ］）.... 2-33

2.4.5 レイアウトを調整して印刷する....2-33
ポスターのように大きく印刷する（［ページ割付］）(PCL のみ）.... 2-33
180 度回転して印刷する（［180 度回転］）.... 2-34
印刷位置を微調整する（［画像シフト］）.... 2-35

2.4.6 原稿に文字や画像を追加する....2-36
ウォーターマークを追加する（［ウォーターマーク］）.... 2-36
ウォーターマークの登録／編集をする.... 2-36
オーバーレイ画像を合成する（［オーバーレイ］）.... 2-38
コンピューターにオーバーレイ画像を作成する 2-40
共有フォルダーにオーバーレイ画像を作成する 2-41
印刷日時やページ番号を追加する（［日付 / 時刻］／［ページ番号］）.... 2-42
ヘッダー／フッターに情報を追加する（［ヘッダー / フッター］）.... 2-43

2.4.7 不正コピーを抑止する 2-45
隠し文字を印字する（［コピープロテクト］）.... 2-45
ページ全体にスタンプを印字する（［繰り返しスタンプ］）.... 2-46
コピーセキュリティの印字設定をする.... 2-47

2.4.8 原稿に用紙を挿入して印刷する....2-49
表紙や裏表紙を挿入する（［表カバー］／［裏カバー］）.... 2-49
OHP フィルムの間に用紙を挿入する（［OHP 合紙］）.... 2-50
指定したページに用紙を挿入する（［ページ単位設定］）.... 2-51

2.4.9 カラーや画質を指定して印刷する....2-53
印刷の色を選ぶ（［カラー選択］）.... 2-53
原稿に合わせて画質を微調整する（［画質調整］）.... 2-54
原稿に適したカラー表現を選ぶ（［カラー設定］）.... 2-55
グラフィックパターンの密度を指定する（［パターン］）(PCL のみ）.... 2-55
グラフィックイメージの圧縮率を指定する（［イメージ圧縮］）(PCL のみ）.... 2-56
画像に光沢をつける（［光沢モード］）.... 2-56
画像の周囲の白抜けを防ぐ（［自動トラッピング］／
［ブラックオーバープリント］(PS のみ)）.... 2-57
トナー消費量を節約する（［トナー節約］）.... 2-57
文字などの境界をくっきりさせる（［エッジ強調］）.... 2-58
フォントの処理方法を指定する（［フォント設定］）.... 2-59
細い線がかすれないように印刷する（［極細線を描画する］）(PCL のみ）.... 2-60
原稿の RGB 値に応じてカラーを変換する（［グレースケールに変換する］）(PCL のみ）.... 2-60

2.4.10 ICC プロファイルを使う (PS のみ）....2-61
ICC プロファイルを指定して印刷する 2-61
ICC プロファイルをプリンタードライバーに追加する 2-61

2.4.11 MS-Excel/PowerPoint のデータを印刷する....2-63
Excel の複数のシートを同時に印刷する 2-63
PowerPoint で正しく画像合成して印刷する.... 2-63

2.5 こんな印刷のしかたがあります.... 2-64

2.5.1 1 部だけお試し印刷する（［確認印刷］）....2-64
確認印刷について 2-64
コンピューターからの印刷のしかた.... 2-64
本機での操作 2-65
ジョブの削除 2-66

2.5.2 機密性の高い文書を印刷する（［セキュリティ印刷］）....2-68
セキュリティ印刷について 2-68
セキュリティ文書の簡単印刷を有効にする（管理者向け）.... 2-68
コンピューターからの印刷のしかた.... 2-69
本機での操作 2-69

2.5.3 原稿を本機のボックスに保存する（［ボックス保存］）....2-70
ボックス保存について 2-70
お使いになるために必要な作業.... 2-70
コンピューターからの印刷のしかた.... 2-70

ボックス保存したデータの活用 2-71
2.5.4 認証情報をつけて印刷する 2-72
認証設定時の印刷について 2-72
お使いになるために必要な作業 2-73
コンピューターからの印刷のしかた 2-73
2.5.5 本機で認証すると同時に印刷する (認証＆プリント) 2-75
認証＆プリントについて 2-75
コンピューターからの印刷のしかた 2-76
本機での操作 2-77
本機での操作 (認証装置をお使いの場合) 2-78
2.5.6 Active Directory のシングルサインオン環境で印刷する 2-79
シングルサインオンについて 2-79
お使いになるために必要な作業 2-79
印刷のしかた 2-80
2.5.7 長尺紙に印刷する 2-81
長尺紙への印刷について 2-81
印刷できる用紙について 2-81
長尺紙印刷のしかた 2-81
2.5.8 白紙ページを除いて印刷する (［白紙抑制］) 2-83
2.5.9 封筒やはがきに印刷する 2-84
2.5.10 暗号化ワードを変更する 2-89
暗号化ワードについて 2-89
お使いになるために必要な作業 (管理者向け) 2-89
プリンタードライバーの設定 2-90
印刷のしかた 2-90
2.5.11 アプリケーション用の PPD ドライバーを使って印刷する 2-91
アプリケーション用の PPD ドライバーについて 2-91
印刷のしかた 2-91
2.5.12 印刷データをサーバーにスプールする (My Print Manager) 2-91
My Print Manager について 2-91
コンピューターからの印刷のしかた 2-91
本機での操作 2-92
2.6 プリンタードライバーの設定項目 2-93
2.6.1 プリンタードライバーの［プロパティ］画面について 2-93
［プロパティ］画面の表示のしかた 2-93
Windows が提供するタブについて 2-95
2.6.2 ［装置情報］タブでできること 2-96
2.6.3 ［初期設定］タブでできること 2-97
2.6.4 プリンタードライバーの［印刷設定］画面について 2-99
［印刷設定］画面の表示のしかた 2-99
各タブで共通の項目 2-102
2.6.5 ［My タブ］でできること 2-102
2.6.6 ［基本設定］タブでできること 2-103
2.6.7 ［レイアウト］タブでできること 2-105
2.6.8 ［仕上げ］タブでできること 2-106
2.6.9 ［カバーシート / 挿入紙］タブでできること 2-106
2.6.10 ［スタンプ / ページ印字］タブでできること 2-107
2.6.11 ［画像品質］タブでできること 2-108
2.6.12 ［その他］タブでできること 2-109
2.7 プリンタードライバーを削除する 2-110
削除プログラムで削除する 2-110
インストーラーを使って削除する 2-110
2.8 付録：プリンタードライバーの手動インストール 2-111
2.8.1 接続方法を確認する 2-111
Windows 7/8.1/10/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/
Server 2016 をお使いの場合 2-111
2.8.2 LPR/Port 9100 接続でインストールする 2-112
お使いになるために必要な作業 (管理者向け) 2-112
Windows 8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 をお使いの場合 2-112
Windows 7/Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合 2-115

2.8.3 SMB 接続でインストールする....2-119
お使いになるために必要な作業 (管理者向け)....2-119
Windows 8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 をお使いの場合....2-119
Windows 7/Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合....2-122
2.8.4 IPP/IPPS 接続でインストールする....2-126
お使いになるために必要な作業 (管理者向け)....2-126
Windows 8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 をお使いの場合....2-126
Windows 7/Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合....2-128
2.8.5 Web サービス接続でインストールする....2-129
Web サービスについて....2-129
お使いになるために必要な作業 (管理者向け)....2-129
インストールのしかた....2-130
2.8.6 USB 接続でインストールする....2-133
Windows 7/8.1/10/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 をお使いの場合....2-133
プリンタードライバーの更新....2-134
2.8.7 プリンタードライバーを手動で削除する....2-135

3 Mac OS 環境で印刷する

3.1 印刷の準備 (Bonjour 接続)....3-2
3.1.1 概要....3-2
3.1.2 コンピューターのセットアップの前に (管理者向け)....3-2
LAN ケーブルの接続を確認する....3-3
Bonjour の使用設定をする....3-3
3.1.3 コンピューターのセットアップ....3-3
プリンタードライバーの DVD を準備する....3-4
プリンタードライバーの対応 OS を確認する....3-4
プリンタードライバーをインストールする....3-4
Bonjour による接続設定....3-5
3.1.4 プリンタードライバーの初期設定をする....3-6
本機のオプション環境を設定する....3-6
印刷設定の初期値を変更する....3-6
3.2 印刷のしかた....3-7
3.2.1 印刷の流れ....3-7
3.2.2 よく使う印刷設定を登録する....3-8
3.3 便利な印刷機能....3-9
3.3.1 用紙のサイズや種類を変更して印刷する....3-9
任意の倍率で拡大／縮小して印刷する (［拡大縮小 :］)....3-9
特殊なサイズの用紙に印刷する (［ページ設定］)....3-9
用紙の種類を指定して印刷する (［用紙種類 :］)....3-10
給紙トレイを指定して印刷する (［給紙トレイ :］)....3-11
原稿を複数のトレイの用紙に印刷する (［カーボンコピー］)....3-11
3.3.2 複数の部数を印刷する....3-13
印刷部数を指定する (［部数 :］)....3-13
部単位で印刷する (［ソート (1 部ごと)］ ／ ［仕分け］)....3-13
3.3.3 両面に印刷して印刷枚数を節約する (［両面］)....3-14
3.3.4 印刷物をとじる....3-14
ステープルでとじる (［ステープル :］)....3-14
パンチ穴をあける (［パンチ :］)....3-15
用紙の中央をとじる (［中とじ / 折り :］)....3-16
用紙を折る (［中とじ / 折り :］)....3-17
小冊子のように印刷する (［小冊子］)....3-18
排紙先のトレイを指定する (［排紙トレイ :］)....3-18
3.3.5 レイアウトを調整して印刷する....3-19
ポスターのように大きく印刷する (［拡大連写 :］)....3-19
180 度回転して印刷する (［180 度回転］)....3-19
印刷位置を微調整する (［画像シフト］)....3-20
3.3.6 原稿に文字や画像を追加する....3-21
日付／時刻を追加する (［日付 / 時刻］)....3-21
ページ番号を追加する (［ページ番号］)....3-22

ヘッダー／フッターに情報を追加する（［ヘッダー / フッター］）..... 3-23
3.3.7 不正コピーを抑止する 3-24
隠し文字を埋込む（［コピープロテクト］）..... 3-24
ページ全体にスタンプを印字する（［繰り返しスタンプ］）..... 3-25
コピーセキュリティの印字設定をする..... 3-26
3.3.8 原稿に用紙を挿入して印刷する..... 3-27
表紙／裏表紙を挿入する（［表カバー :］／［裏カバー :］）..... 3-27
OHP フィルムの間に用紙を挿入する（［OHP 合紙 :］）..... 3-28
指定したページに用紙を挿入する（［ページ単位設定 :］）..... 3-29
3.3.9 カラーや画質を指定して印刷する..... 3-31
印刷の色を選ぶ（［カラー選択 :］）..... 3-31
原稿に適したカラー表現を選ぶ（［カラー設定 :］）..... 3-31
画像に光沢をつける（［光沢モード］）..... 3-32
画像の周囲の白抜けを防ぐ（［自動トラッピング］／［ブラックオーバープリント :］）..... 3-32
トナー消費量を節約する（［トナー節約］）..... 3-33
小さい文字や薄い文字を見やすくする（［エッジ強調］）..... 3-33
3.3.10 ICC プロファイルを使う..... 3-34
ICC プロファイルを指定して印刷する 3-34
3.4 こんな印刷のしかたがあります 3-35
3.4.1 1 部だけお試し印刷する（［確認印刷］）..... 3-35
確認印刷について 3-35
コンピューターからの印刷のしかた..... 3-35
本機での操作 3-36
ジョブの削除 3-37
3.4.2 機密性の高い原稿を印刷する（［セキュリティ印刷］）..... 3-38
セキュリティ印刷について 3-38
セキュリティ文書の簡単印刷を有効にする（管理者向け）..... 3-39
コンピューターからの印刷のしかた..... 3-39
本機での操作 3-40
3.4.3 印刷データを本機のボックスに保存する（［ボックス保存］）..... 3-41
ボックス保存について 3-41
お使いになるために必要な作業..... 3-41
コンピューターからの印刷のしかた..... 3-42
ボックス保存したデータの活用..... 3-42
3.4.4 認証情報をつけて印刷する..... 3-43
認証設定時の印刷について 3-43
コンピューターからの印刷のしかた..... 3-43
3.4.5 本機で認証すると同時に印刷する（［認証＆プリント］）..... 3-45
認証＆プリントについて 3-45
コンピューターからの印刷のしかた..... 3-46
本機での操作 3-47
本機での操作（認証装置をお使いの場合）..... 3-48
3.4.6 長尺紙に印刷する 3-49
長尺紙への印刷について 3-49
印刷できる用紙について 3-49
長尺紙印刷のしかた 3-50
3.4.7 封筒やはがきに印刷する 3-53
3.4.8 暗号化ワードを変更する 3-58
暗号化ワードについて 3-58
お使いになるために必要な作業（管理者向け）..... 3-58
プリンタードライバーの設定..... 3-59
印刷のしかた 3-60
3.5 プリンタードライバーの設定項目 3-61
3.5.1 プリンタードライバーの［ページ設定］画面について 3-61
［ページ設定］画面の表示のしかた 3-61
［ページ属性］でできること 3-61
3.5.2 プリンタードライバーの［プリント］画面について 3-62
［プリント］画面の表示のしかた 3-62
各画面で共通の項目について 3-62
3.5.3 ［印刷部数と印刷ページ］でできること 3-63
3.5.4 ［出力方法］でできること 3-63

3.5.5 ［レイアウト / 仕上げ］でできること 3-65
3.5.6 ［給紙トレイ / 排紙トレイ］でできること 3-66
3.5.7 ［カバーシート］でできること 3-66
3.5.8 ［ページ単位設定］でできること 3-67
3.5.9 ［スタンプ / ページ印字］でできること 3-67
3.5.10 ［画像品質］でできること 3-68
3.6 プリンタードライバーの削除 3-69
3.7 付録：その他の接続方法で使う 3-70
3.7.1 LPR 接続で使う 3-70
お使いになるために必要な作業 (管理者向け) 3-70
プリンターの追加のしかた 3-70
3.7.2 IPP 接続で使う 3-71
お使いになるために必要な作業 (管理者向け) 3-71
プリンターの追加のしかた 3-71

4 プリンタードライバーを使わずに印刷する

4.1 コンピューターから直接印刷する (ダイレクトプリント) 4-2
ダイレクトプリントについて 4-2
ダイレクトプリントのしかた 4-3
4.2 USB メモリーから直接印刷する 4-6
USB メモリーからの印刷について 4-6
対応する USB メモリー 4-6
印刷のしかた 4-6
4.3 受信した E-mail の添付ファイルを印刷する (E-mail 受信プリント) 4-7
E-mail 受信プリントについて 4-7
E-mail と添付ファイルの仕様 4-7
お使いになるために必要な作業 (管理者向け) 4-8
E-mail 送信時に印刷設定を指定する 4-8
本機で E-mail を受信してファイルを印刷する 4-9

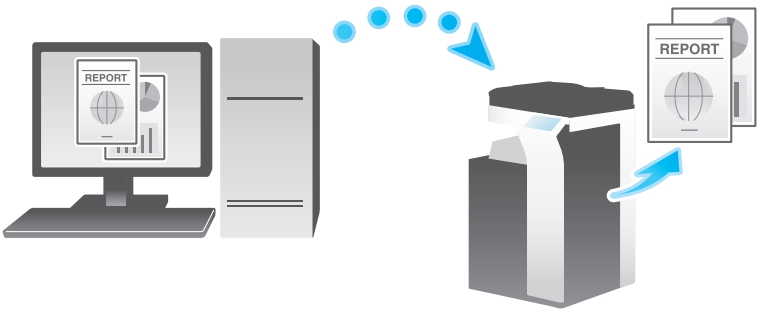
1 プリンター機能について

1 プリンター機能について

1.1 プリンター機能の概要

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトウェアから印刷するときに、本機での印刷のしかたを指定するためのソフトウェアです。お使いのコンピューターにプリンタードライバーをインストールすることで、本機の様々な印刷機能を利用できます。また、多くの接続方法をサポートしており、様々な環境で柔軟に対応します。

プリンタードライバーを使わずに直接印刷するダイレクトプリントや、USB メモリーからの印刷にも対応しています。



1.2 必要なシステム環境

Windows をお使いの場合

項目	仕様
OS	詳しくは、2-5 ページをごらんください。
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリー	OS が推奨するメモリー容量 OS および使用するアプリケーションに対して、メモリーの空き容量が十分であること。
ドライブ	DVD ドライブ

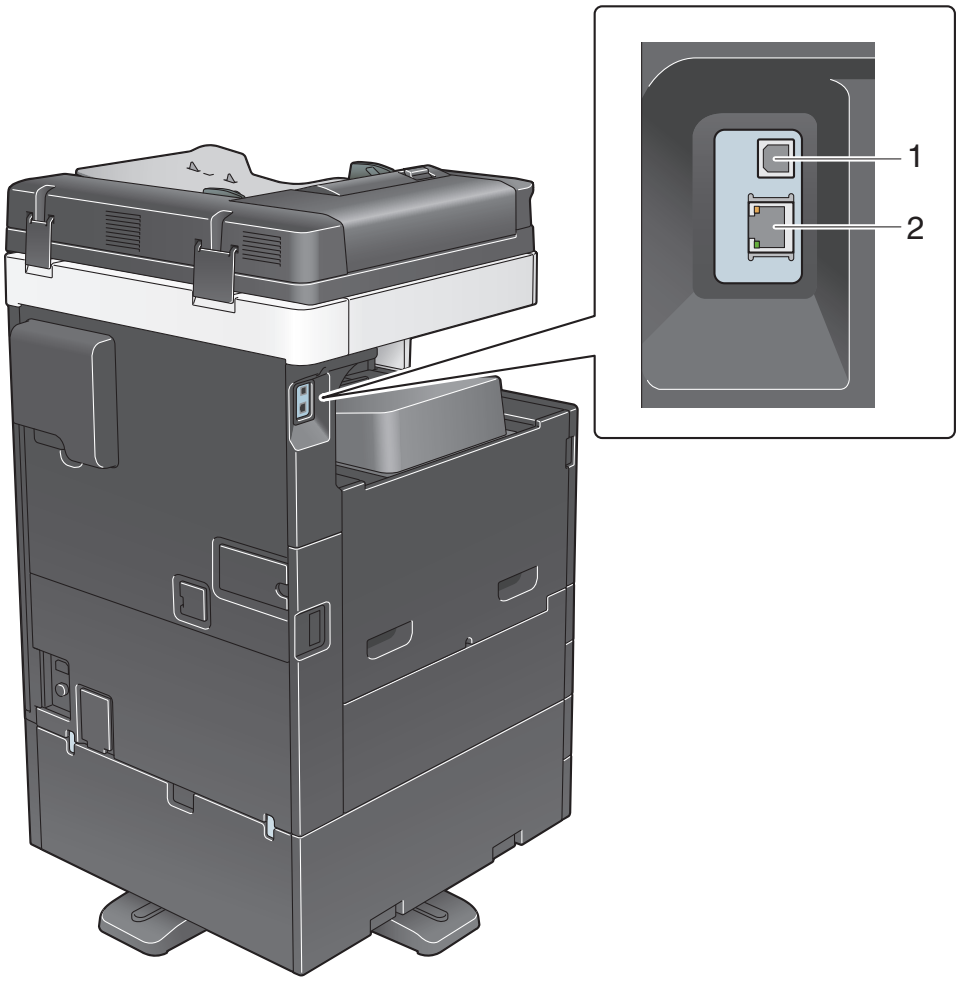
Macintosh をお使いの場合

項目	仕様
OS	Mac OS (10.8、10.9、10.10、10.11、10.12)
CPU	Intel プロセッサー
メモリー	OS が推奨するメモリー容量
ドライブ	DVD ドライブ

最新対応 OS は弊社ホームページよりご確認ください。
(http://www.muratec.jp/ce/support/driver/models.html)

1.3 本機のケーブル接続箇所

プリンターケーブルは、本機の各ポートに接続します。



No.	ポート	説明
1	USB ポート	USB 接続でお使いになるときに USB ケーブルを接続します。 USB ケーブルは A タイプ (4 ピンオス)-B タイプ (4 ピンオス) のものを使用してください。USB ケーブルは 3 m 以下をおすすめします。
2	Ethernet ポート (1000Base-T/100Base-TX/10Base-T)	ネットワーク接続でお使いになるときに LAN ケーブルを接続します。1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。 プロトコルは、TCP/IP(LPD/LPR、IPP、SMB)、Web サービスなどに対応しています。

2 Windows 環境で印刷する

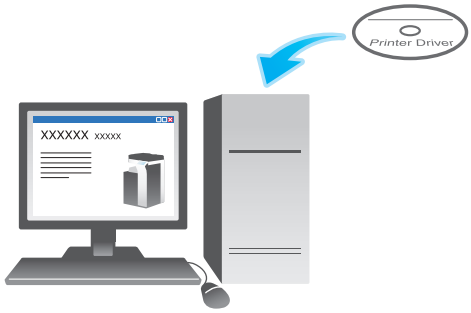
2　Windows 環境で印刷する

2.1　印刷の準備 (ネットワーク接続)

2.1.1　概要

プリンターとして本機をお使いいただくためには、コンピューターにプリンタードライバーのインストールが必要です。

ここでは、本機に付属のインストーラーを使って、本機で印刷できるようになるまでの準備を説明します。



2.1.2　プリンタードライバーをインストールする前に (管理者向け)

本機をネットワークに接続する

- **LAN ケーブルの接続を確認する**
- **ネットワーク設定を確認する**
  - ➔ 本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。

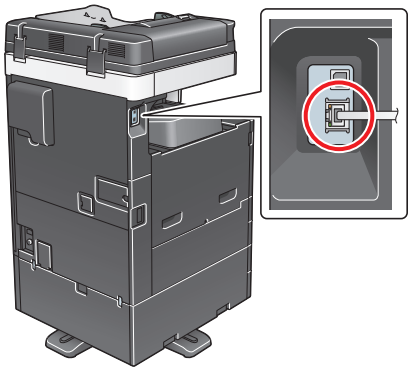
ネットワーク印刷の使用環境を設定する

- **標準印刷 (Port 9100) を利用する場合**
  - ➔ RAW ポート番号が指定されていることを確認します (通常は、初期設定の状態でお使いいただけます)。特に指定がない場合は、標準印刷 (Port 9100) を利用してください。
- **インターネット印刷 (IPP) を利用する場合**
  - ➔ IPP の使用環境を確認します (通常は、初期設定の状態でお使いいただけます)。
- **セキュリティ印刷 (IPPS) を利用する場合**
  - ➔ IPPS の使用環境を設定します。本機とコンピューターとの通信を SSL で暗号化します。

準備完了

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、LAN ケーブルが接続されていることを確認します。



ネットワーク設定を確認する

本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。［設定メニュー］-［装置情報表示］をタップし、IP アドレスが表示されていることを確認します。

参照

IP アドレスが表示されていない場合は、ネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［お使いになるために必要な作業］」をごらんください。

ネットワーク印刷の使用環境を設定する

印刷方法に応じて使用環境を設定します。

印刷方法を指定せずにインストールを進めると、標準印刷 (Port9100) で印刷できる状態になります。特に指定がない場合は、標準印刷 (Port 9100) を利用してください。

印刷方法	説明
標準印刷 (Port 9100)	RAW ポート番号が指定されていることを確認します (通常は、初期設定の状態でお使いいただけます)。 設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［プリント機能の使用環境を設定する］」をごらんください。
インターネット印刷 (IPP)	IPP の使用環境を確認します (通常は、初期設定の状態でお使いいただけます)。 設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［プリント機能の使用環境を設定する］」をごらんください。
セキュリティ印刷 (IPPS)	IPPS の使用環境を設定します。本機とコンピューターとの通信を SSL で暗号化します。 設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［プリント機能の使用環境を設定する］」をごらんください。

参考

- インストーラーを使ってセキュリティ印刷 (IPPS) をセットアップすることはできません。
- IPv6 環境では、インターネット印刷 (IPP) は対応していません。

プリンタードライバーからの装置情報の取得を許可する

OpenAPI の認証機能を無効にします (通常は、初期設定の状態でお使いいただけます)。

プリンタードライバーからの装置情報の取得を許可すると、本機のオプション装着状態や認証設定の有無などを、プリンタードライバーが自動で取得します。

設定のしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

関連設定 (管理者向け)

- プリンタードライバーからの装置情報の取得をパスワードで制限できます (初期値 :［しない］)。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

2.1.3　プリンタードライバーの簡単インストール

プリンタードライバーを準備する

■ **プリンタードライバーの DVD を準備する**
➔ DVD については、本機の管理者に確認してください。

■ **プリンタードライバーの種類を確認する**
➔ 目的の異なる 2 種類のプリンタードライバーを用意しています。印刷の用途に合わせて選んでください。

■ **プリンタードライバーの対応 OS を確認する**
➔ インストールするコンピューターがプリンタードライバーの動作条件に適合しているか確認してください。

コンピューターにプリンタードライバーをインストールする

■ **インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールする**
➔ プリンタードライバーの DVD をセットし、画面の指示に従ってインストールします。

■ **テスト印刷をする**
➔ 必要に応じて、テスト印刷を行い、正常に印刷できることを確認します。

準備完了

プリンタードライバーの DVD を準備する

本機に付属の DVD/CD-ROM には、次の種類があります。

DVD/CD-ROM の種類	説明
Driver & Utilities DVD	Windows 用プリンタードライバー (PCL/PS/FAX)、Mac OS 用プリンタードライバー、スクリーンフォント、TWAIN ドライバーが収録されています。また、ユーティリティソフトウェアのダウンロードページが収録されています。
User's Guide CD-ROM	ユーザーズガイドが収録されています。

参考

- ユーザーズガイドでは、フォルダー名やファイル名をルートから記述していない場合があります。

プリンタードライバーの種類を確認する

プリンタードライバーには、次の種類があります。印刷の用途に合わせて選んでください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	説明
PCL ドライバー	PCL6	オフィスで作成する一般的な原稿を印刷する場合に、標準的に利用できるドライバーです。 PS ドライバーよりも速く印刷できます。
PS ドライバー	PostScript 3 Emulation	Adobe などの PS 対応のアプリケーションソフトウェアで作ったデータを忠実に印刷したいときに効果を発揮します。 グラフィックや軽印刷などの色再現性を重視する分野でよく使われています。

プリンタードライバーの対応 OS を確認する

本機に付属の DVD に含まれるプリンタードライバーと、対応しているコンピューターの OS は次のとおりです。

プリンタードライバー	対応 OS
PCL ドライバー PS ドライバー	Windows 7 Home Basic Windows 7 Home Premium * Windows 7 Professional * Windows 7 Enterprise * Windows 7 Ultimate * Windows 8.1 * Windows 8.1 Pro * Windows 8.1 Enterprise * Windows 10 Home * Windows 10 Pro * Windows 10 Enterprise * Windows 10 Education * Windows Server 2008 Standard * Windows Server 2008 Enterprise * Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows Server 2012 Datacenter Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 R2 Datacenter Windows Server 2012 R2 Standard Windows Server 2016 Datacenter Windows Server 2016 Standard

* 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応

最新対応 OS は弊社ホームページよりご確認ください。
(http://www.muratec.jp/ce/support/driver/models.html)

インストール手順

インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールします。

✔　この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

1　プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

➔ インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。

➔ インストーラーが起動しない場合は、DVD 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて［Setup.exe］(32 ビット環境の場合) または［Setup64.exe］(64 ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

2　［使用許諾契約書に同意します］にチェックをつけます。

3 ［セットアップ内容の選択］で［プリンターのインストール］を選び、［次へ］をクリックします。

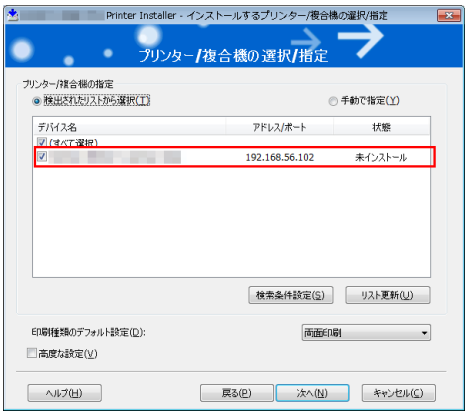
接続されているプリンターが検出されます。

4 検出されたプリンターのリストから本機を選びます。

➔ 本機が検出されない場合は、本機を再起動してください。

➔ 接続されているプリンターのうち、対象機種だけを自動検出して表示します。複数台の対象機種が表示される場合は、IP アドレスで確認してください。
本機の IP アドレスは、［設定メニュー］-［装置情報表示］をタップして表示される画面で確認できます。

➔ 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、［手動で指定］を選び、手動で本機の IP アドレスやホスト名を指定してください。



5 必要に応じて、印刷種類の初期値の設定と、インストールするプリンタードライバーの種類を設定します。

➔ インストールするプリンタードライバーの種類を設定する場合は、［高度な設定］にチェックをつけ、［インストールするコンポーネント］でインストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけます。各プリンタードライバーの特長については、2-5 ページをごらんください。初期状態では、PCL ドライバーがインストールされます。

➔ ［印刷種類のデフォルト設定］で、両面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするか、または片面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするかを選択できます。初期状態では、両面印刷が初期値として設定されたドライバーがインストールされます。

6 ［次へ］をクリックします。

7 インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

8 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、［完了］をクリックします。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

設定	説明
［内容確認］	インストール内容を確認できます。
［プリンター名の変更］	必要に応じて、本機の名前を変更します。
［プリンタープロパティ］	本機のオプション環境などの設定をします。詳しくは、2-7 ページをごらんください。
［印刷設定］	必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。詳しくは、2-8 ページをごらんください。
［テストページ印刷］	正常に印刷できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。

参照

プリンタードライバーのインストールが完了したら、プリンタードライバーの初期設定を行ってください。詳しくは、2-7 ページをごらんください。

2.1.4　プリンタードライバーの初期設定をする

本機のオプション環境を設定する

はじめてお使いになるときは、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などが正しくプリンタードライバーに反映されているか確認します。

1　プリンタードライバーの［プロパティ］画面を表示します。

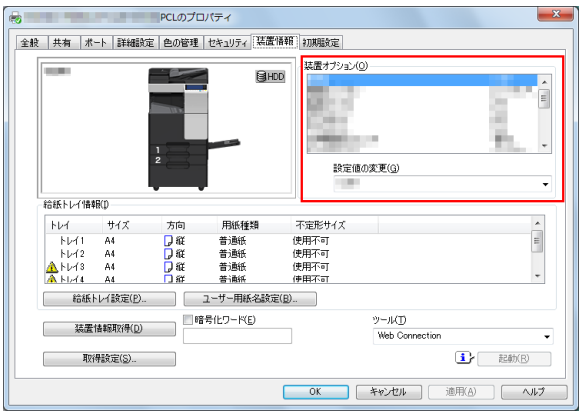
➔［プロパティ］画面の表示のしかたについては、2-93 ページをごらんください。

2　［装置情報］タブで、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを確認します。

➔ 初期設定では、［取得設定 ...］の［自動取得］が有効になっていますので、自動的に本機の情報が取得され、［装置オプション］に反映されます。

➔［取得設定 ...］の［自動取得］を無効にしている場合は、［装置情報取得］をクリックすると、本機の情報を取得して［装置オプション］に反映します。

➔ 本機と通信できない場合は、［装置オプション］から手動で設定します。変更する項目を一覧から選び、［設定値の変更］から設定値を選びます。



3　［OK］をクリックします。

印刷設定の初期値を変更する

必要に応じて、プリンタードライバーの印刷設定の初期値を変更できます。

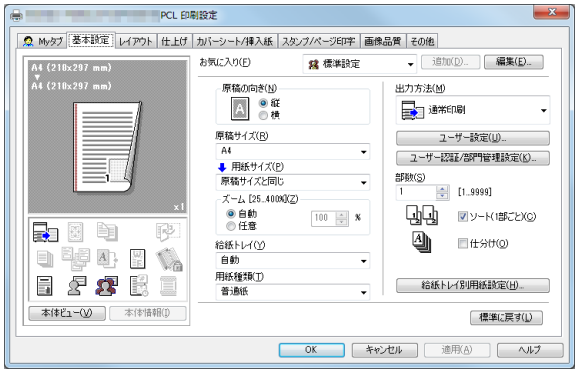
お使いの環境に合わせて初期値を変更しておくことをおすすめします。

1 プリンタードライバーの［印刷設定］画面を表示します。

➔［印刷設定］画面の表示のしかたについては、2-99 ページをごらんください。

2 印刷設定を変更し、［OK］をクリックします。

変更した設定が、すべてのアプリケーションソフトウェアから印刷するときに適用されます。



参照

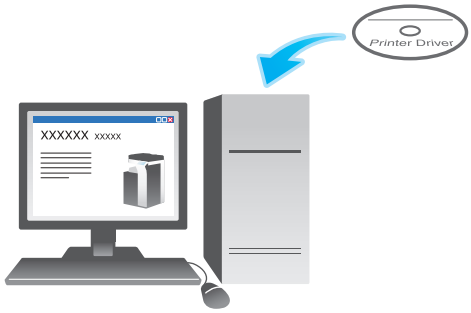
プリンタードライバーには、設定した内容をお気に入りとして保存する機能があります。よく使う印刷設定は、お気に入りとして登録しておくと便利です。詳しくは、2-16 ページをごらんください。

2.2 印刷の準備 (USB 接続)

2.2.1 概要

プリンターとして本機をお使いいただくためには、コンピューターにプリンタードライバーのインストールが必要です。

ここでは、本機に付属のインストーラーを使って、本機で印刷できるようになるまでの準備を説明します。



2.2.2 プリンタードライバーの簡単インストール

プリンタードライバーを準備する

- **プリンタードライバーの DVD を準備する**
  - ➔ DVD については、本機の管理者に確認してください。
- **プリンタードライバーの種類を確認する**
  - ➔ 目的の異なる 2 種類のプリンタードライバーを用意しています。印刷の用途に合わせて選んでください。
- **プリンタードライバーの対応 OS を確認する**
  - ➔ インストールするコンピューターがプリンタードライバーの動作条件に適合しているか確認してください。

コンピューターにプリンタードライバーをインストールする

- **コンピューターのインストール設定をする**
  - ➔ Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 をお使いの場合は、あらかじめコンピューターの設定の変更が必要です。
- **インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールする**
  - ➔ USB ケーブルを接続してから、プリンタードライバーの DVD をセットし、画面の指示に従ってインストールします。
- **テスト印刷をする**
  - ➔ 必要に応じて、テスト印刷を行い、正常に印刷できることを確認します。

準備完了

プリンタードライバーの DVD を準備する

本機に付属の DVD/CD-ROM には、次の種類があります。

DVD/CD-ROM の種類	説明
Driver & Utilities DVD	Windows 用プリンタードライバー (PCL/PS/FAX)、Mac OS 用プリンタードライバー、スクリーンフォント、TWAIN ドライバーが収録されています。また、ユーティリティソフトウェアのダウンロードページが収録されています。
User's Guide CD-ROM	ユーザーズガイドが収録されています。

参考

- ユーザーズガイドでは、フォルダー名やファイル名をルートから記述していない場合があります。

プリンタードライバーの種類を確認する

プリンタードライバーには、次の種類があります。印刷の用途に合わせて選んでください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	説明
PCL ドライバー	PCL6	オフィスで作成する一般的な原稿を印刷する場合に、標準的に利用できるドライバーです。 PS ドライバーよりも速く印刷できます。
PS ドライバー	PostScript 3 Emulation	Adobe などの PS 対応のアプリケーションソフトウェアで作ったデータを忠実に印刷したいときに効果を発揮します。 グラフィックや軽印刷などの色再現性を重視する分野でよく使われています。

プリンタードライバーの対応 OS を確認する

本機に付属の DVD に含まれるプリンタードライバーと、対応しているコンピューターの OS は次のとおりです。

プリンタードライバー	対応 OS
PCL ドライバー PS ドライバー	Windows 7 Home Basic Windows 7 Home Premium * Windows 7 Professional * Windows 7 Enterprise * Windows 7 Ultimate * Windows 8.1 * Windows 8.1 Pro * Windows 8.1 Enterprise * Windows 10 Home * Windows 10 Pro * Windows 10 Enterprise * Windows 10 Education * Windows Server 2008 Standard * Windows Server 2008 Enterprise * Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows Server 2012 Datacenter Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 R2 Datacenter Windows Server 2012 R2 Standard Windows Server 2016 Datacenter Windows Server 2016 Standard

* 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応

最新対応 OS は弊社ホームページよりご確認ください。
(http://www.muratec.jp/ce/support/driver/models.html)

インストール設定を変更する (Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016)

Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、プリンタードライバーをインストールする前に、コンピューターの設定を変更します。

1 ［コントロール パネル］ウィンドウを開きます。

➔ Windows 8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、［Windows］（⊞）キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］をクリックします。

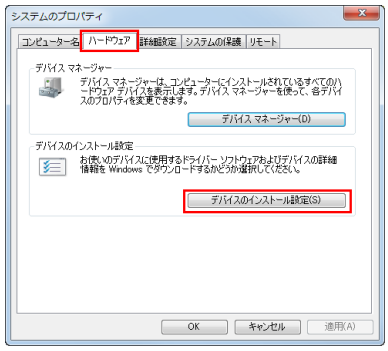
➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから［コントロール パネル］をクリックします。

2 ［システムとセキュリティ］-［システム］をクリックします。

3 左側のメニューにある［システムの詳細設定］をクリックします。

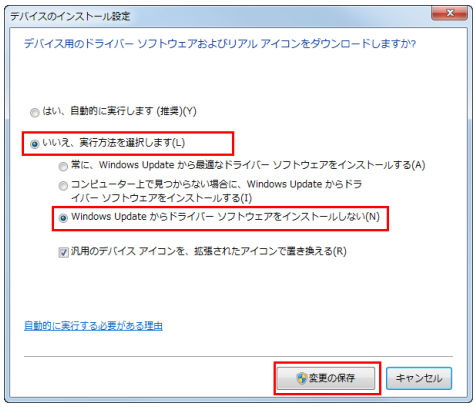
［システムのプロパティ］画面が表示されます。

4 ［ハードウェア］タブの［デバイスのインストール設定］をクリックします。



5 ［いいえ、実行方法を選択します］を選んでから［Windows Update からドライバーソフトウェアをインストールしない］を選び、［変更の保存］をクリックします。

➔ プリンタードライバーのインストール後は、［はい、自動的に実行します (推奨)］に戻してください。



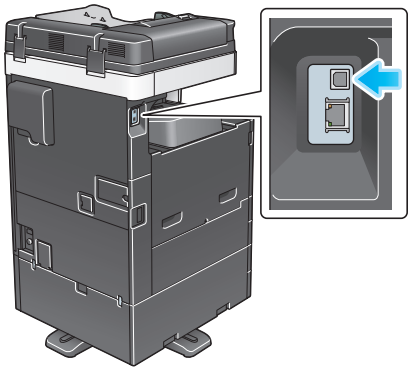
6 ［OK］をクリックし、［システムのプロパティ］画面を閉じます。

インストール手順

インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールします。

✔　この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

1　本機の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。



➔ 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックしてください。

2　プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

➔ インストーラーが起動するのを確認し、手順 3 へ進みます。

➔ インストーラーが起動しない場合は、DVD 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて［Setup.exe］(32 ビット環境の場合) または［Setup64.exe］(64 ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順 4 へ進みます。

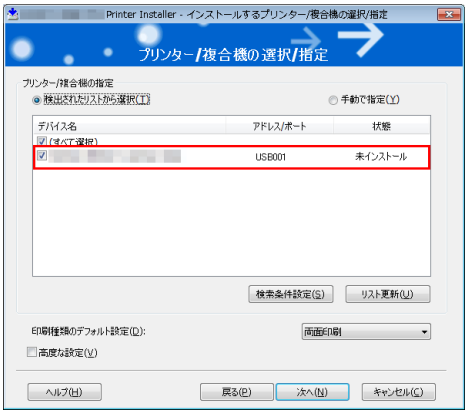
➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

3　［使用許諾契約書に同意します］にチェックをつけます。

4　［セットアップ内容の選択］で［プリンターのインストール］を選び、［次へ］をクリックします。

接続されているプリンターが検出されます。

5　検出されたプリンターのリストから本機を選びます。



6 必要に応じて、印刷種類の初期値の設定と、インストールするプリンタードライバーの種類を設定します。

➔ インストールするプリンタードライバーの種類を設定する場合は、［高度な設定］にチェックをつけ、［インストールするコンポーネント］でインストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけます。各プリンタードライバーの特長については、2-5 ページをごらんください。初期状態では、PCL ドライバーがインストールされます。

➔ ［印刷種類のデフォルト設定］で、両面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするか、または片面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするかを選択できます。初期状態では、両面印刷が初期値として設定されたドライバーがインストールされます。

7 ［次へ］をクリックします。

8 インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

9 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、［完了］をクリックします。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

設定	説明
［内容確認］	インストール内容を確認できます。
［プリンター名の変更］	必要に応じて、本機の名前を変更します。
［プリンタープロパティ］	本機のオプション環境などの設定をします。詳しくは、2-7 ページをごらんください。
［印刷設定］	必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。詳しくは、2-8 ページをごらんください。
［テストページ印刷］	正常に印刷できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。

参照

プリンタードライバーのインストールが完了したら、プリンタードライバーの初期設定を行ってください。詳しくは、2-14 ページをごらんください。

2.2.3　プリンタードライバーの初期設定をする

本機のオプション環境を設定する

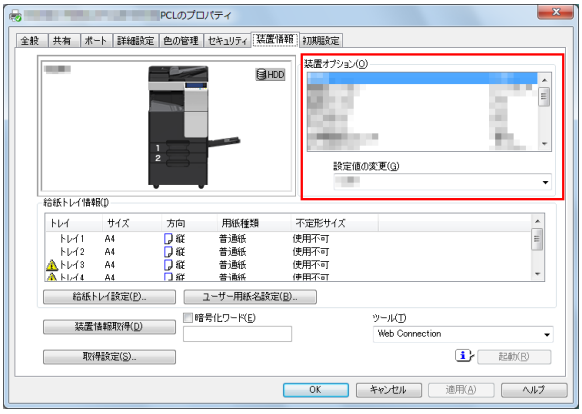
はじめてお使いになるときは、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを、プリンタードライバーに設定します。

1　プリンタードライバーの［プロパティ］画面を表示します。

➔［プロパティ］画面の表示のしかたについては、2-93 ページをごらんください。

2　［装置情報］タブで、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを設定します。

➔ 初期設定では、［取得設定 ...］の［自動取得］が有効になっていますので、自動的に本機の情報が取得され、［装置オプション］に反映されます。
［取得設定 ...］の［自動取得］を無効にしている場合は、［装置情報取得］をクリックすると、本機の情報を取得して［装置オプション］に反映します。



3　［OK］をクリックします。

印刷設定の初期値を変更する

必要に応じて、プリンタードライバーの印刷設定の初期値を変更できます。

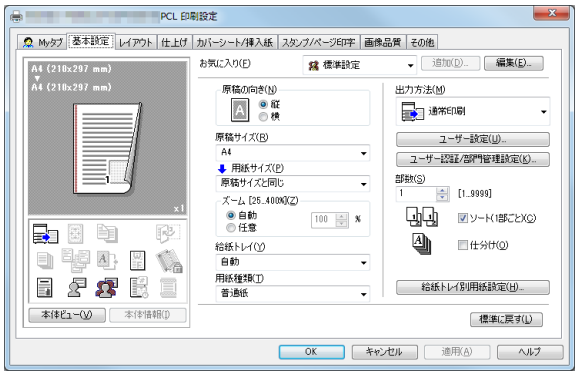
お使いの環境に合わせて初期値を変更しておくことをおすすめします。

1　プリンタードライバーの［印刷設定］画面を表示します。

➔［印刷設定］画面の表示のしかたについては、2-99 ページをごらんください。

2　印刷設定を変更し、［OK］をクリックします。

変更した設定が、すべてのアプリケーションソフトウェアから印刷するときに適用されます。



参照

プリンタードライバーには、設定した内容をお気に入りとして保存する機能があります。詳しくは、2-16 ページをごらんください。

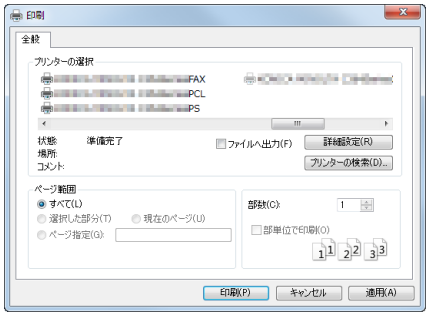
2.3　印刷のしかた

2.3.1　印刷の流れ

1　アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

2　［プリンター名］（または［プリンターの選択］）で、印刷したいプリンターが選ばれていることを確認します。

➔［印刷］画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。



3　印刷するページ範囲や部数を指定します。

4　必要に応じて、［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックし、プリンタードライバーの印刷設定を変更します。

➔ ここで変更した印刷設定は、アプリケーションソフトウェアを終了すると変更前の状態（初期値）に戻ります。印刷設定の初期値を変更する方法については、2-8 ページをごらんください。

➔ プリンタードライバーには、よく使う印刷設定を簡単に呼出す機能が用意されています。詳しくは、2-16 ページをごらんください。

5　［印刷］をクリックします。

印刷が実行されます。

参照

［装置情報］タブの［装置オプション］で［セキュリティ印刷のみ許可］を［する］に設定している場合、印刷を実行すると［セキュリティ印刷］画面が表示されます。［セキュリティ印刷］画面で、ID とパスワードを入力することで印刷します。
セキュリティ印刷について詳しくは、2-68 ページをごらんください。

2.3.2　よく使う印刷設定を簡単に呼出す

よく使う印刷設定を登録する

現在の印刷設定をお気に入りとして登録し、印刷するときにその設定を呼出せます。

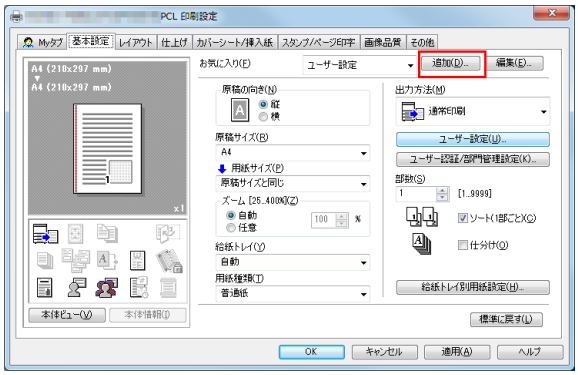
よく使う印刷設定をお気に入りとして登録しておけば、複数のタブにまたがった複雑な設定でも、お気に入り一覧から選ぶだけで簡単に一括設定できます。

ここではお気に入りの登録のしかたを説明します。

1　［印刷設定］画面で、お気に入りとして登録したい印刷条件を設定します。

2　［追加 ...］をクリックします。

➔ 登録済みのお気に入りを編集する場合は、［お気に入り］から編集するお気に入りの名前を選び、［編集］をクリックします。



3　登録するお気に入りの名前を入力します。

➔ 必要に応じて、お気に入りに対してアイコン、コメント、呼出す項目などを指定します。

設定	説明
［名称］	登録するお気に入りの名前を入力します。 呼出すときに、わかりやすい名前をつけます。
［アイコン］	必要に応じて、登録するお気に入りにアイコンを割当てます。
［共有］	登録するお気に入りをほかのユーザーと共有するときはチェックをつけます。
［コメント］	必要に応じて、登録するお気に入りに対するコメントを入力します。 入力したコメントは、お気に入りの一覧から選ぶときにオンマウスすると表示されます。
［呼び出す項目］	お気に入りには原稿サイズや部数などのような印刷するときに決まる項目も登録されます。お気に入りを呼出すとき、初期設定ではこれらの項目は呼出し対象に含まれませんが、必要に応じて、呼出し対象に含めることができます。 呼出し対象に含める項目にチェックをつけます。

4　［OK］をクリックします。

印刷設定がお気に入りに登録されます。登録した設定は、印刷するときに［お気に入り］から選べます。

設定画面をカスタマイズする

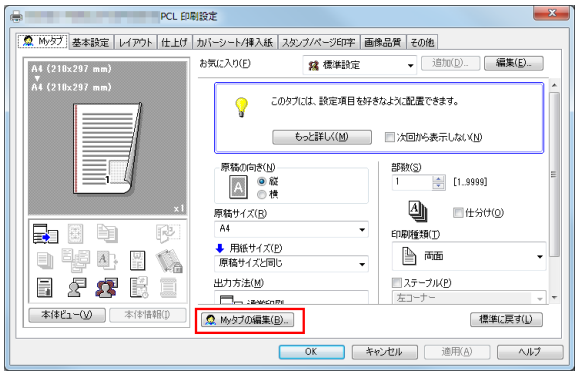
異なるタブに配置されている設定項目を［My タブ］にまとめることができます。

よく使う設定項目を［My タブ］に登録しておけば、タブを切換えずに 1 画面でスムーズに設定変更ができます。

ここでは［My タブ］の編集のしかたを説明します。

1　［My タブ］-［My タブの編集 ...］をクリックします。

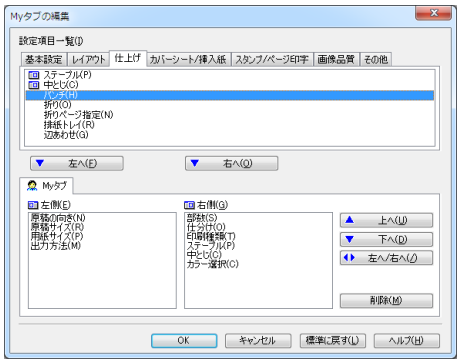
➔ 各機能を右クリックして表示される［My タブ］メニューから［左へ］／［右へ］を選んでも、［My タブ］に登録できます。



2　［設定項目一覧］から［My タブ］に登録したい機能を選び、［左へ］または［右へ］をクリックします。

➔ ［左へ］をクリックすると［My タブ］画面の左側のエリアに、［右へ］をクリックすると［My タブ］画面の右側のエリアに配置します。

➔ すでに［My タブ］に登録されている機能の前には、アイコンが表示されます。



3　必要に応じて、登録した機能の配置変更や削除をします。

➔ 位置を変更する場合は、移動したい機能を選び、［上へ］、［下へ］、［左へ / 右へ］をクリックします。

➔ ［My タブ］から削除する場合は、削除したい機能を選び、［削除］をクリックします。

4　［OK］をクリックします。

以上で、［My タブ］の編集の完了です。

参照

［初期設定］タブ -［My タブの設定］で、My タブの表示に関する設定ができます。詳しくは、2-97 ページをごらんください。

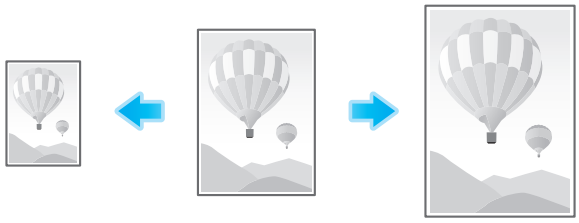
2.4　便利な印刷機能

2.4.1　用紙のサイズや種類を変更して印刷する

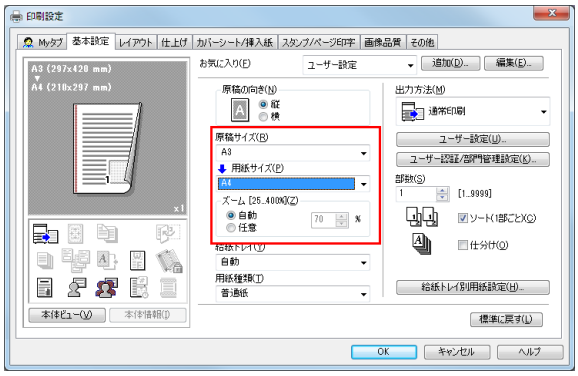
用紙サイズに合わせて拡大／縮小して印刷する（［用紙サイズ］）

原稿サイズと用紙サイズから自動的に設定される倍率で、拡大または縮小して印刷します。

原稿サイズに対して大きな用紙サイズを選んだときは、用紙サイズに合わせて拡大され、小さな用紙サイズを選んだときは、用紙サイズに合わせて縮小されます。



［基本設定］タブの［用紙サイズ］で、印刷する用紙サイズを選びます。［原稿サイズ］で選ばれている用紙サイズと、［用紙サイズ］で選んだ用紙サイズから、自動的に倍率が設定されます。



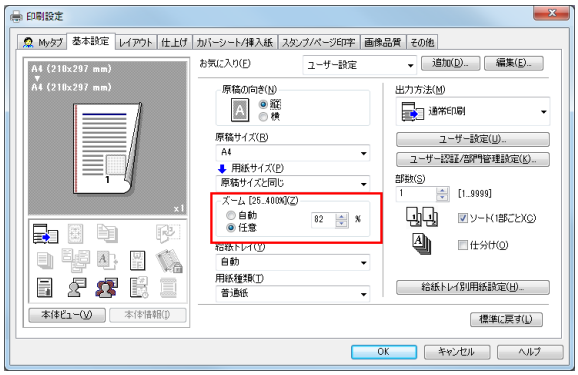
参考

- ［ズーム］が［自動］に設定されているときに有効です。

任意の倍率で拡大／縮小して印刷する（［ズーム］）

任意の倍率を指定して、原稿画像を拡大または縮小して印刷します。倍率は、25%～ 400%(1%単位) の間で指定できます。

［基本設定］タブの［ズーム］で、倍率を指定します。

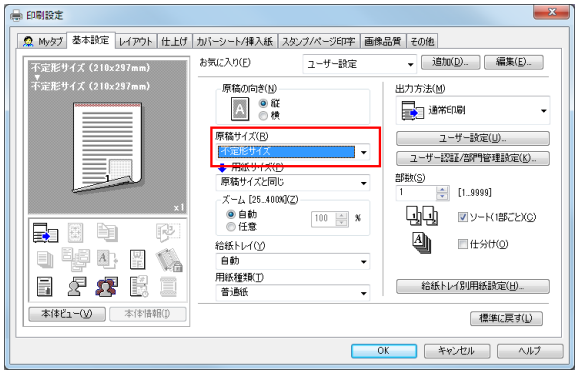


特殊なサイズの用紙に印刷する（［原稿サイズ］）

特殊なサイズの原稿を、不定形サイズの用紙に印刷します。

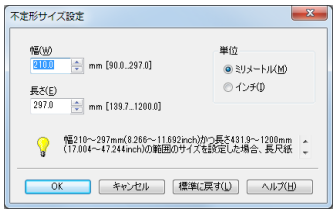
1　［基本設定］タブの［原稿サイズ］で［不定形サイズ］を選びます。

➔［用紙サイズ］は［原稿サイズと同じ］を選びます。



［不定形サイズ］設定画面が表示されます。

2　任意の幅と長さを指定し、［OK］をクリックします。



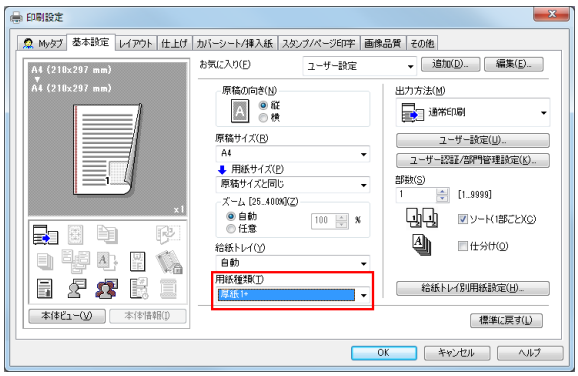
参照

不定形サイズの用紙は、**トレイ 1**、**トレイ 2**、**手差しトレイ**にセットできます。**トレイ 1**、**トレイ 2** への用紙のセットのしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［はじめに］/［用紙をセットする］」をごらんください。**手差しトレイ**への用紙のセットのしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［はじめに］/［用紙をセットする］」をごらんください。

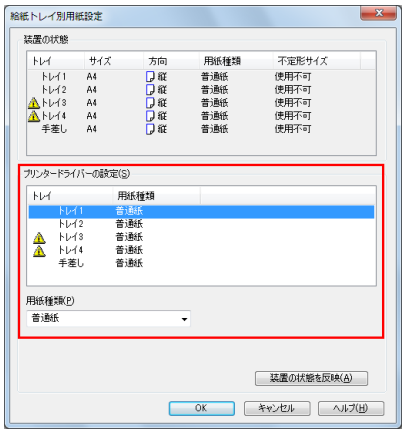
PCL ドライバーをお使いの場合は、［初期設定］タブで、あらかじめ不定形サイズの用紙を登録できます。［初期設定］タブについて詳しくは、2-97 ページをごらんください。

用紙の種類を指定して印刷する（［用紙種類］）

［基本設定］タブの［用紙種類］で、印刷する用紙の種類を選びます。

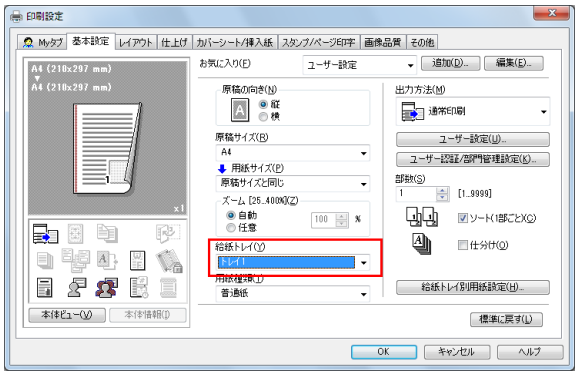


プリンタードライバーの［初期設定］タブで［給紙トレイ別用紙設定］が有効の場合は、［基本設定］タブの［給紙トレイ別用紙設定 ...］で、各トレイの用紙種類を設定します。



給紙トレイを指定して印刷する（［給紙トレイ］）

［基本設定］タブの［給紙トレイ］で、印刷する用紙の給紙トレイを選びます。



参考

- ［自動］を選ぶと、［用紙サイズ］で選んだ用紙の給紙トレイが自動的に選ばれます。

はがきに印刷する

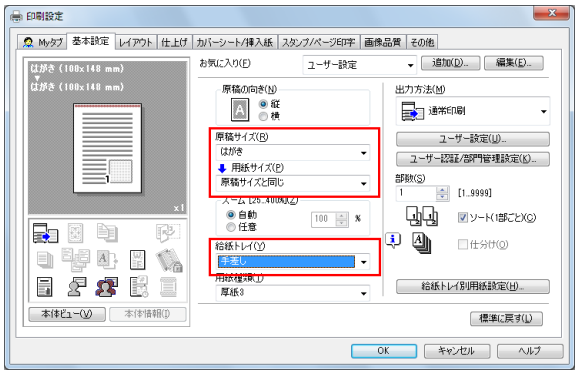
原稿を**手差しトレイ**にセットしたはがきに印刷します。

1　［基本設定］タブで次の設定をします。

➔ ［原稿サイズ］：［はがき］を選びます。［はがき］を選ぶと、［用紙種類］が［厚紙 3］に設定されます。

➔ ［用紙サイズ］：［原稿サイズと同じ］を選びます。

➔ ［給紙トレイ］：［手差し］を選びます。



2　印刷を実行します。

本機の**タッチパネル**に、はがきのセットをうながすメッセージが表示されます。

3　はがきを**手差しトレイ**にセットします。

➔ はがきのセットのしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［はじめに］/［用紙をセットする］」をごらんください。

4　本機の**タッチパネル**で［セット完了］をタップします。

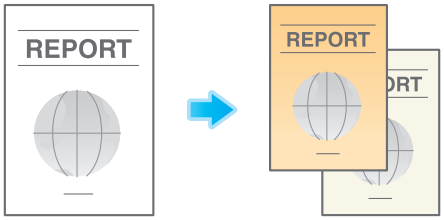
印刷が開始されます。

原稿を複数のトレイの用紙に印刷する（［カーボンコピー］）

原稿を複数のトレイにセットされている異なる用紙に印刷します。1 度の印刷指示で、カーボン紙を使った複写式の伝票のように仕上げることができるため、この機能をカーボンコピーと呼びます。

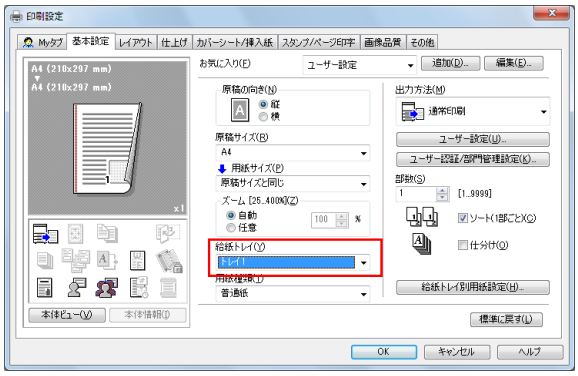
たとえば、提出用の原本は**トレイ 1** にセットされている上質なカラー用紙に印刷し、控え用として**トレイ 2** にセットされている再生紙に印刷するといった作業が、1 度の印刷指示で実現できます。

提出用の資料と控え用の資料を一度に用意したいときなどに便利です。

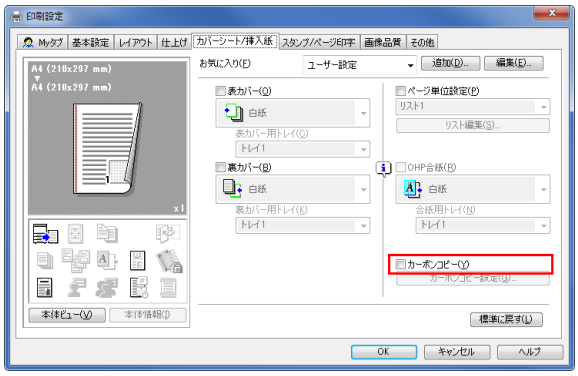


1　［基本設定］タブの［給紙トレイ］で、原本を印刷する用紙の給紙トレイを選びます。

➔［自動］を選ぶことはできません。



2　［カバーシート / 挿入紙］タブの［カーボンコピー］にチェックをつけます。



［カーボンコピー設定］画面が表示されます。

3　カーボンコピー用の給紙トレイと排紙の順番を指定し、［OK］をクリックします。

設定	説明
［原本コピー］	原本を印刷する用紙の給紙トレイを表示します。
［カーボンコピー用トレイ］	カーボンコピー用の給紙トレイを選びます。使用するすべての給紙トレイにチェックをつけます。
［排紙順］	カーボンコピーの排紙の順番を選びます。 ・［トレイ順］：選んだトレイの順番で印刷します。複数ページの原稿を印刷する場合は、一つのトレイですべてのページを印刷してから、次のトレイへ移ります。 ・［ページ順］：ページ単位で印刷します。複数ページの原稿を印刷する場合は、選んだすべてのトレイで 1 ページ目、2 ページ目、3 ページ目と印刷します。

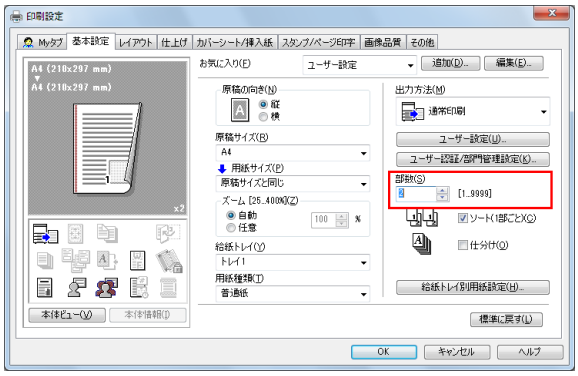
参考

- ［排紙順］で［ページ順］を選んだ場合、複数部の印刷はできません。

2.4.2　複数の部数を印刷する

印刷部数を指定する（［部数］）

［基本設定］タブの［部数］で、印刷する部数を指定します。



参照

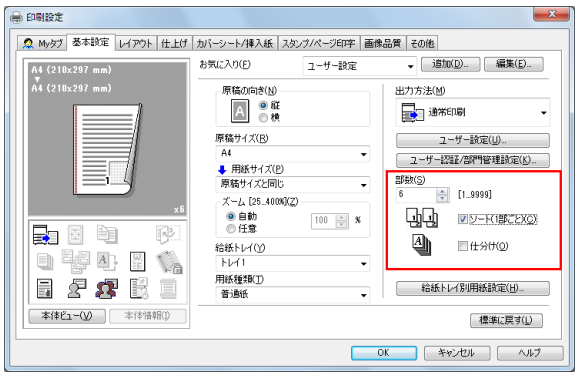
大量の部数を印刷するときは、確認印刷機能を使うと大量のミスプリントを防ぎ、無駄な用紙の使用を抑えられます。詳しくは、2-64 ページをごらんください。

部単位で印刷する（［ソート（1 部ごと）］／［仕分け］）

複数の部数を印刷するときに、部単位で排紙位置をずらして、区切りが分かるように排紙します。

［基本設定］タブの［ソート（1 部ごと）］にチェックをつけると、「12345」、「12345」、「12345」のように 1 部ずつ区別して排紙します。また、［仕分け］にチェックをつけると、1 部ずつ排紙位置をずらして排紙します。

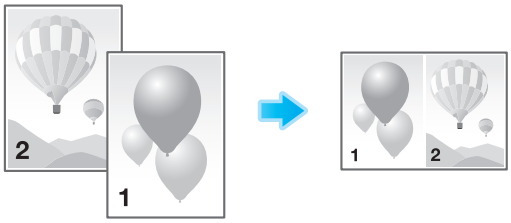
［ソート（1 部ごと）］と［仕分け］を組合わせると、部単位で排紙位置をずらすことができるため、配布用の資料を簡単に作ることができます。



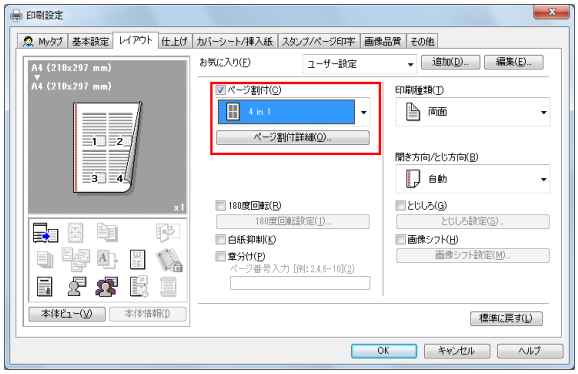
2.4.3　印刷枚数を節約する

複数のページを 1 枚の用紙の同じ面に印刷する（［ページ割付］）

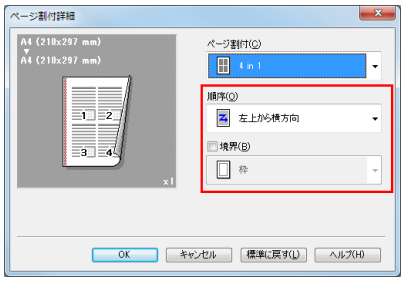
複数のページを 1 枚の用紙の同じ面に縮小して印刷し、用紙の使用量を節約できます。



［レイアウト］タブの［ページ割付］で「N in 1」を選びます。たとえば、［9 in 1］を選ぶと、9 ページ分を 1 枚の用紙の同じ面に縮小して印刷します。



必要に応じて、［ページ割付詳細 ...］をクリックし、ページの配置順序と、ページ間に境界線を入れるかどうかを設定します。



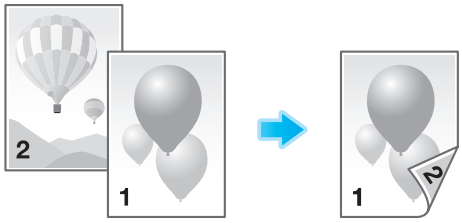
設定	説明
［順序］	ページ配置の順序を選びます。
［境界］	ページ間に境界線を入れる場合は、チェックをつけます。あわせて、境界線の種類を、［枠］または［線］から選びます。

参考

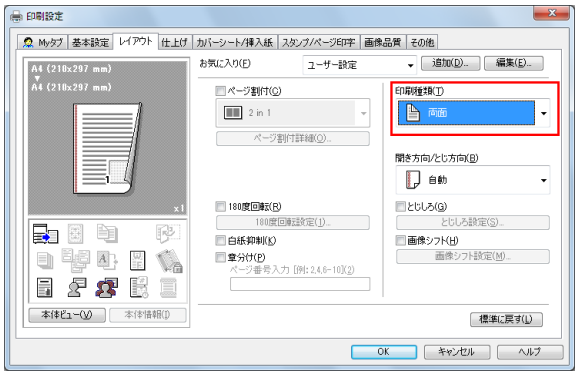
- 両面印刷機能（［印刷種類］：［両面］）と組合わせれば、用紙の使用量をさらに節約できます。

用紙の両面に印刷する（［両面］）

用紙の両面に印刷して、用紙の使用量を半分に節約できます。



［レイアウト］タブの［印刷種類］で［両面］を選びます。初期値は［両面］です。

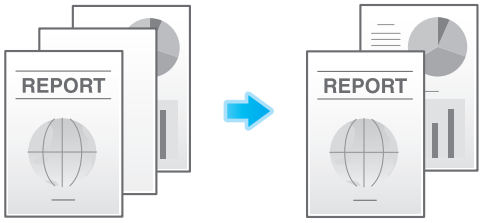


参考

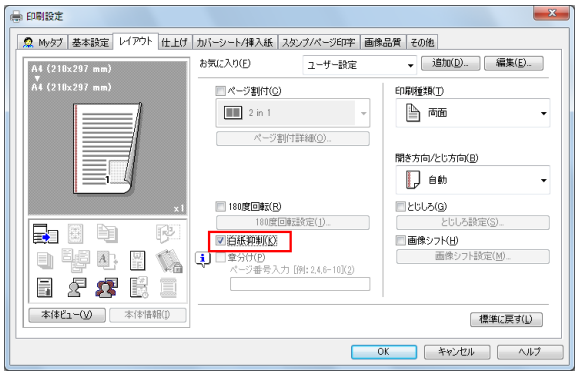
- ページ集約機能（［ページ割付］：「N in 1」）と組合わせれば、用紙の使用量をさらに節約できます。

白紙ページを印刷しない（［白紙抑制］）

原稿に白紙ページが含まれている場合に、白紙ページを印刷対象から除外します。印刷枚数を節約できます。



［レイアウト］タブの［白紙抑制］にチェックをつけます。



参考

- 原稿によっては、白紙ページも印刷される場合があります。
- ［白紙抑制］は、Windows のプリンタードライバーのみ利用できます。

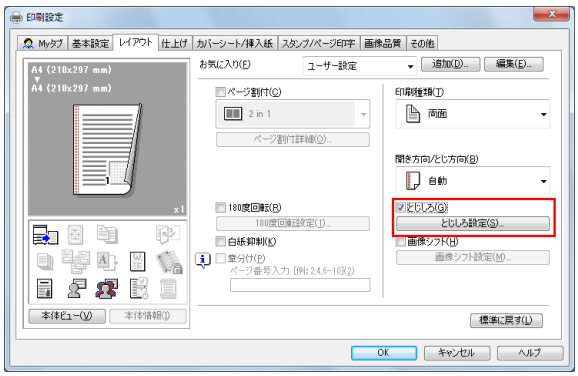
2.4.4　印刷物をとじる

用紙にとじしろを作る（［とじしろ］）

印刷した用紙をとじるためのとじしろ（余白）を作ります。

1　［レイアウト］タブの［とじしろ］にチェックをつけます。

➔ とじしろを作る位置は、［レイアウト］タブの［開き方向 / とじ方向］で指定します。



2　［とじしろ設定 ...］をクリックします。

3　とじしろ（余白）の量を調整し、［OK］をクリックします。

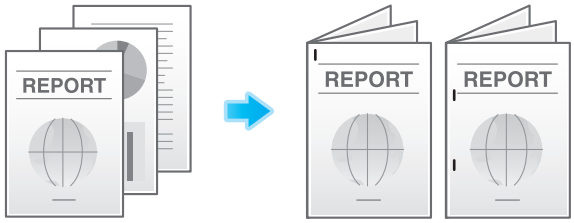
設定	説明
［シフトモード］	とじしろを作るときの、画像のずらし方を選びます。
［表面］／［裏面］	表面のとじしろ量を指定します。 両面印刷する場合は、裏面のとじしろ量を指定します。［表面と裏面を同じ値にする］にチェックをつけると、表と裏で同じだけとじしろを作ります。

参考

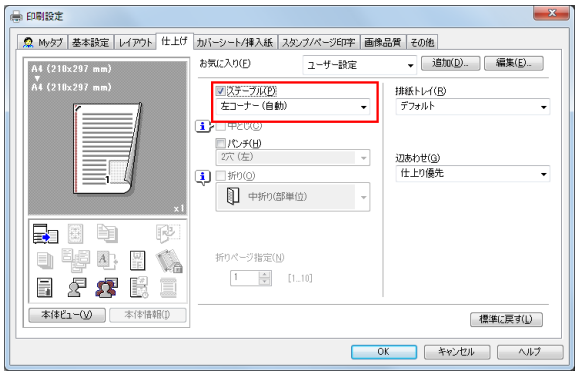
- ［とじしろ］は、Windows のプリンタードライバーのみ利用できます。

ステープルでとじる（［ステープル］）

印刷した用紙を 1 部ずつステープル（コーナーまたは 2 点）でとじて排紙します。企画書など、1 冊の資料として仕上げたい場合に便利です。



［仕上げ］タブの［ステープル］にチェックをつけます。あわせて、ステープルの数ととじ位置を指定します。



参考

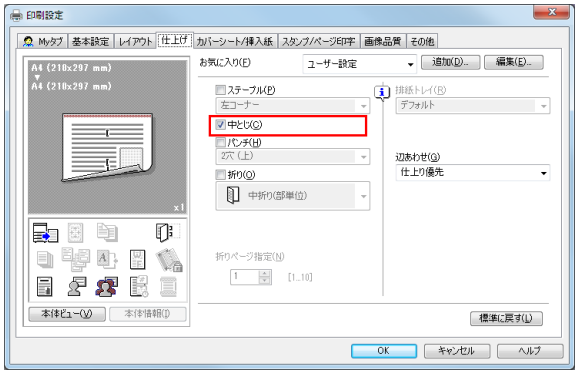
- ステープル機能を使うには、オプションの**フィニッシャー**が必要です。
- ステープルでとじる位置は、［レイアウト］タブの［開き方向 / とじ方向］で指定します。

用紙の中央をとじる（［中とじ］）

印刷した用紙を、中とじして排紙します。

［仕上げ］タブの［中とじ］にチェックをつけます。

ページの中央でとじられますので、ページ割付けされた原稿データを利用するか、［レイアウト］タブの［印刷種類］で［小冊子］を組合わせて使います。

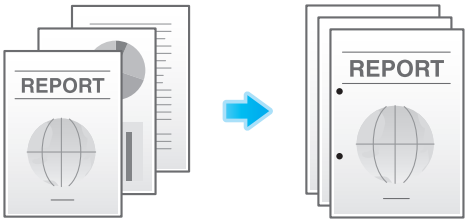


参考

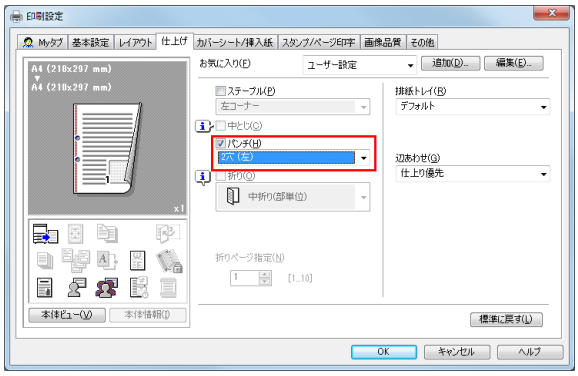
- 中とじ機能を使うには、オプションの**中とじ機付フロアフィニッシャー**が必要です。

パンチ穴をあける（［パンチ］）

印刷した用紙にファイリング用のパンチ穴（とじ穴）をあけてから排紙します。バインダーなどで資料を整理したい場合に便利です。



［仕上げ］タブの［パンチ］にチェックをつけます。あわせて、パンチ穴の数と位置を指定します。



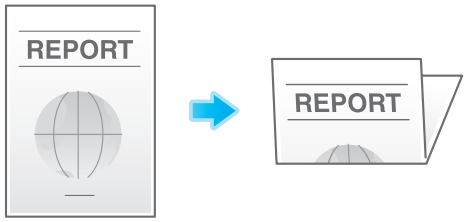
参考

- パンチ機能を使うには、オプションの**フィニッシャー**と**パンチキット**が必要です。
- パンチ穴をあける位置は、［レイアウト］タブの［開き方向 / とじ方向］で指定します。

用紙を折る（［折り］）

印刷した用紙を折り加工して排紙します。

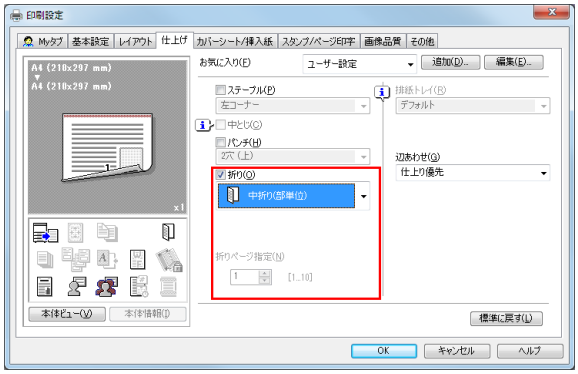
中折り



三つ折り

［仕上げ］タブの［折り］にチェックをつけ、折りかたを選びます。

ページ単位で折り加工する場合は、［折りページ指定］で、一度に折り加工するページ数を指定します。

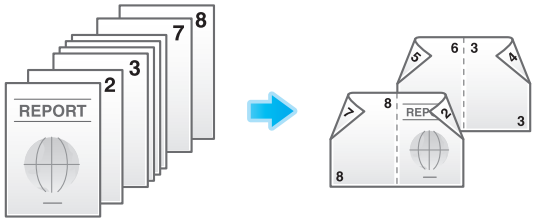


参考

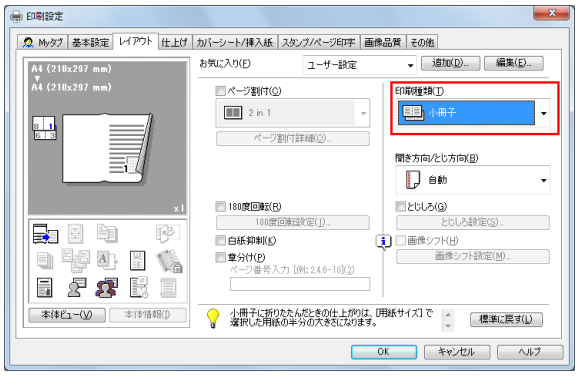
- 中折り／三つ折り機能を使うには、オプションの**中とじ機付フロアフィニッシャー**が必要です。
- 原稿のページ数が本機の折り可能枚数より多い場合は、折り加工できません。

小冊子のように印刷する（［小冊子］）

小冊子の形態になるように、原稿データの順番を並替え、見開きで両面印刷します。印刷後、用紙をまとめて 2 つ折りにすると、本のようなページ順になります。



［レイアウト］タブの［印刷種類］で［小冊子］を選びます。



参考

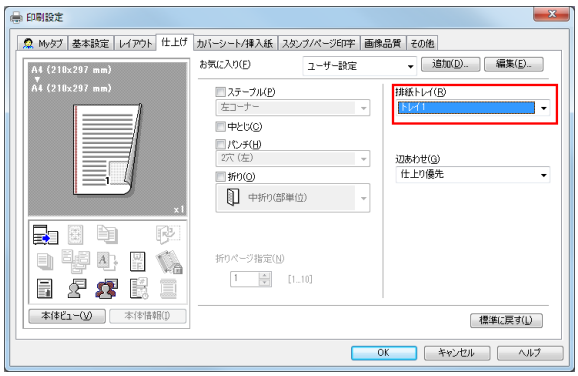
- ［仕上げ］タブの［折り］や［中とじ］を組合わせると、用紙の中央で 2 つ折りにしたり、用紙の中央 2ヶ所をステープルでとじたりして、冊子のように仕上げることができます。
- ［レイアウト］タブの［章分け］を組合わせると、指定したページを表面に配置できます。

参照

中とじについて詳しくは、2-29 ページをごらんください。折りについて詳しくは、2-31 ページをごらんください。

排紙先のトレイを指定する（［排紙トレイ］）

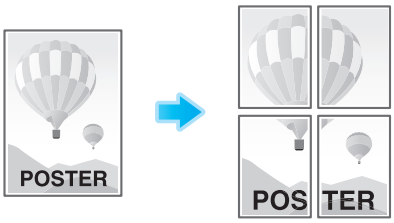
［仕上げ］タブの［排紙トレイ］で、排紙先のトレイを選びます。



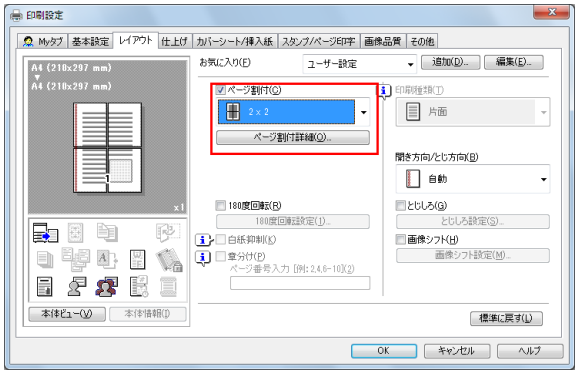
2.4.5　レイアウトを調整して印刷する

ポスターのように大きく印刷する（［ページ割付］）(PCL のみ）

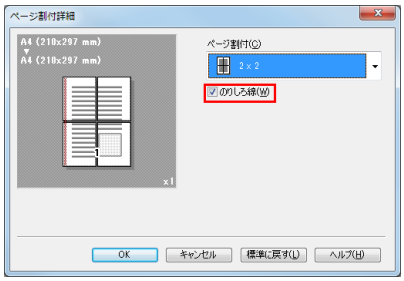
原稿画像を拡大し、複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙をつなぎ合わせると、ポスターのように大きく仕上がります。



［レイアウト］タブの［ページ割付］で「N × N」を選びます。たとえば、［2 × 2］を選ぶと、1 ページの原稿画像を拡大し、4 枚の用紙に分割して印刷します。

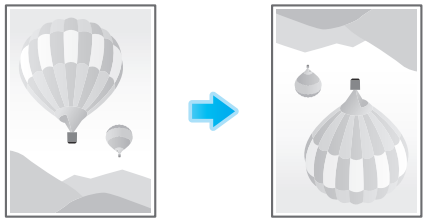


必要に応じて、［ページ割付詳細 ...］をクリックし、のりしろを作るかどうかを選びます。

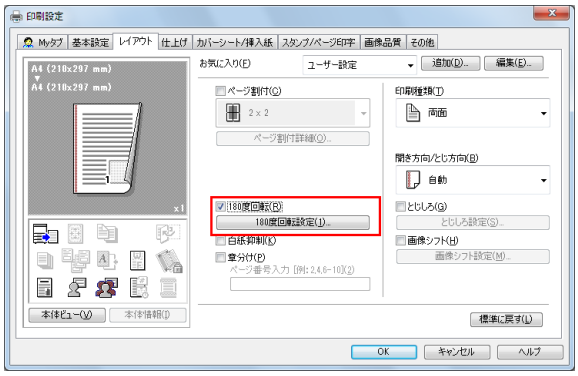


180 度回転して印刷する（［180 度回転］）

印刷画像の天地が逆になるように印刷します。封筒などのセット方向が変えられない用紙に印刷するときに使います。

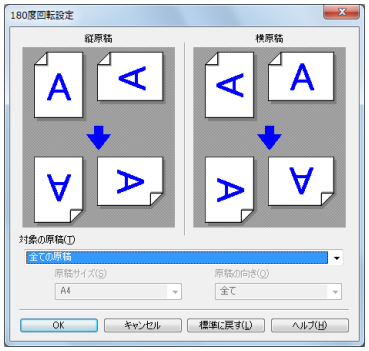


1　［レイアウト］タブの［180 度回転］にチェックをつけます。



2　［180 度回転設定 ...］をクリックします。

3　180 度回転する対象の原稿を指定し、［OK］をクリックします。



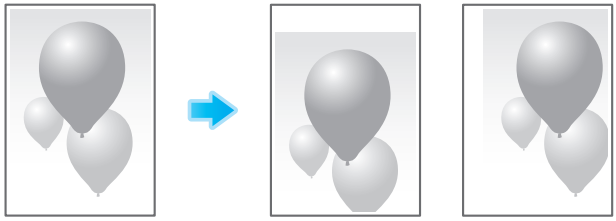
参考

- 180 度回転する原稿のサイズと向きは、アプリケーションが認識した原稿のサイズと向きに依存します。

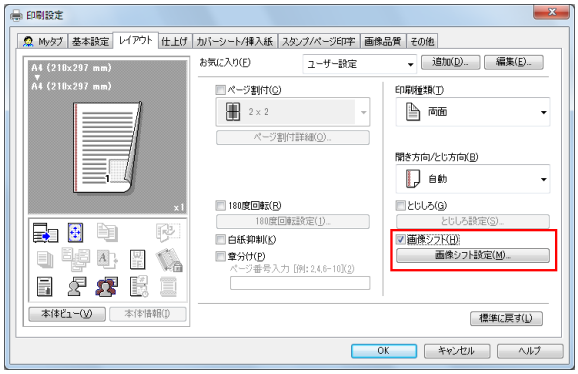
印刷位置を微調整する（［画像シフト］）

用紙に対する画像の印刷位置を、上下左右にずらして細かく調整します。両面印刷するときは、裏面の画像の位置も調整できます。

印刷位置を少しだけ調整したい、印刷位置を表裏で変えたいなど、微調整が必要なときに使います。



1　［レイアウト］タブの［画像シフト］にチェックをつけます。



2　［画像シフト設定 ...］をクリックします。

3　上下左右のシフト量を調整し、［OK］をクリックします。

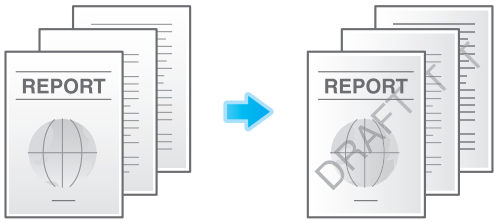
➔ 両面印刷するときは、［表面と裏面を同じ値にする］にチェックをつけると、表と裏で同じだけシフトします。

2.4.6　原稿に文字や画像を追加する

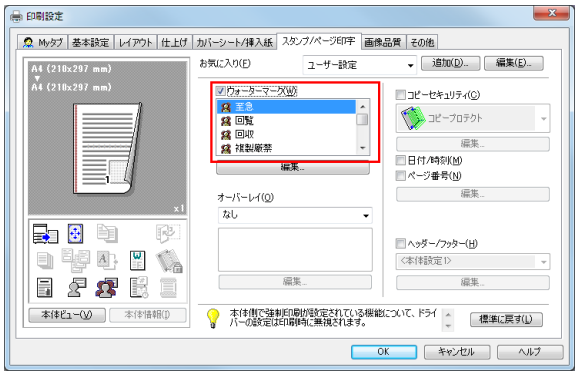
ウォーターマークを追加する（［ウォーターマーク］）

すべてのページの中央に、「複製厳禁」や「社外秘」などの文字を淡い色で印字します。

ウォーターマークを印字することにより、印刷物の取扱いを示すことができます。



［スタンプ / ページ印字］タブの［ウォーターマーク］にチェックをつけます。あわせて、印字するウォーターマークを選びます。



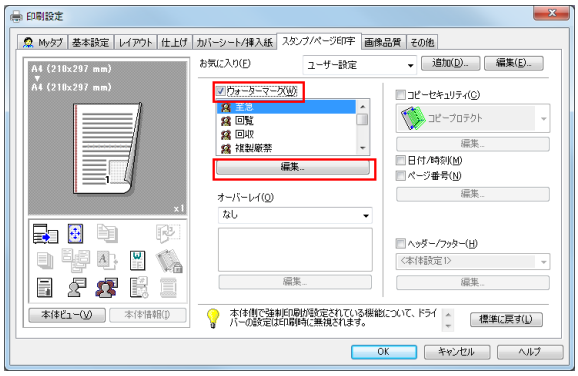
参考

- ［ウォーターマーク］は、Windows のプリンタードライバーのみ利用できます。

ウォーターマークの登録／編集をする

本機にはあらかじめいくつかのウォーターマークが登録されていますが、必要に応じて、ウォーターマークを新しく登録したり、登録されているウォーターマークを編集したりできます。

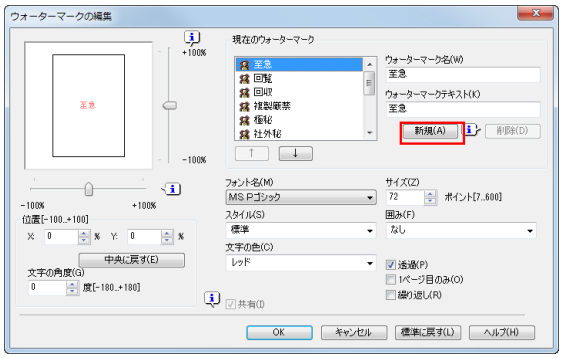
1　［スタンプ / ページ印字］タブで［ウォーターマーク］をチェックし、［編集］をクリックします。



2　［新規］をクリックし、ウォーターマークの内容を登録します。

➔ 登録済みのウォーターマークを編集するときは、［現在のウォーターマーク］の一覧から編集するウォーターマークを選び、登録内容を変更します。

➔ 登録済みのウォーターマークを削除するときは、［現在のウォーターマーク］の一覧から削除するウォーターマークを選び、［削除］をクリックします。



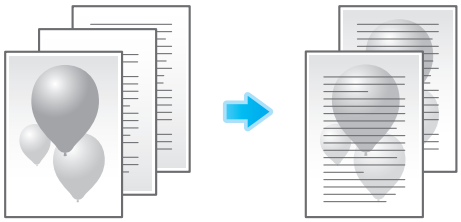
設定	説明
［ウォーターマーク名］	ウォーターマークの一覧に表示する名前を入力します (30 文字以内)。
［ウォーターマークテキスト］	ウォーターマークとして印字する文字列を入力します (30 文字以内)。
［↑］／［↓］	一覧に表示する順番を入替えます。よく使うウォーターマークを上に移動できます。
［位置］	ウォーターマークを印字する位置を指定します。 • ［X］／［Y］：ウォーターマークの横方向と縦方向の位置を調整します。値はスライドバーと連動します。 • ［中央に戻す］：ウォーターマークの位置を中央に戻すときにクリックします。 • ［文字の角度］：ウォーターマークの角度を調整します。
［フォント名］	ウォーターマークのフォントを選びます。
［サイズ］	ウォーターマークのフォントサイズを指定します。
［スタイル］	ウォーターマークのフォントのスタイルを選びます。
［囲み］	ウォーターマークの囲み方を選びます。
［文字の色］	ウォーターマークの色を選びます。
［透過］	原稿にウォーターマークを透かして印字するときにチェックをつけます。チェックをはずして印刷すると、ウォーターマークと重なった部分が見えなくなります。
［1 ページ目のみ］	ウォーターマークを原稿の 1 ページ目だけに印字するときにチェックをつけます。
［繰り返し］	ウォーターマークを 1 ページの中で繰返し印字するときにチェックをつけます。
［共有］	ウォーターマークをほかのユーザーと共有するときにチェックをつけます。

3　［OK］をクリックします。

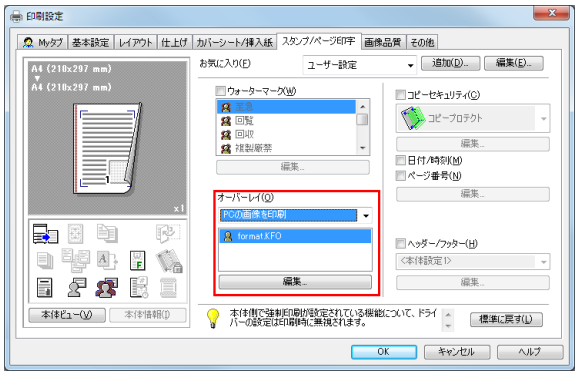
オーバーレイ画像を合成する（［オーバーレイ］）

コンピューターや本機に登録されているオーバーレイ画像を呼出し、原稿に合成して印刷します。

- コンピューターにオーバーレイ画像を登録する方法について詳しくは、2-40 ページをごらんください。
- ネットワーク上の共有フォルダーにオーバーレイ画像を登録する方法について詳しくは、2-41 ページをごらんください。
- 本機にオーバーレイ画像を登録する方法について詳しくは、「ユーザーズガイド［コピー機能］/［原稿に文字や画像を追加する］」をごらんください。

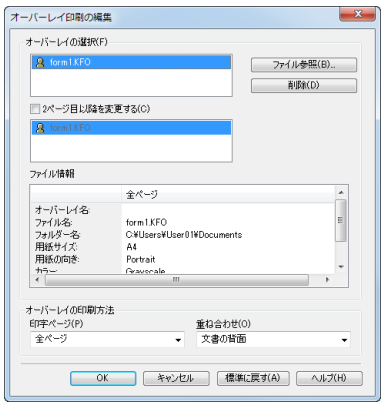


［スタンプ / ページ印字］タブの［オーバーレイ］で、［PC の画像を印刷］または［装置の画像を印刷］（PCL のみ）を選び、原稿に合成するオーバーレイ画像を一覧から選びます。



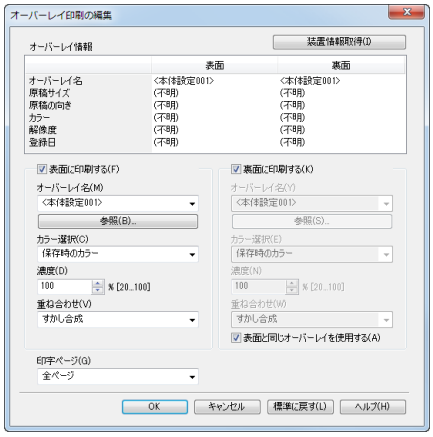
必要に応じて、［編集 ...］をクリックし、オーバーレイ画像の追加や削除をします。また、オーバーレイ画像の合成方法を変更します。

［PC の画像を印刷］を選んだ場合：



設定		説明
［オーバーレイの選択］		オーバーレイ画像の追加や削除をします。
	［ファイル参照...］	オーバーレイ画像を一覧に追加します。
	［削除］	選んだオーバーレイ画像を一覧から削除します。
	［2 ページ目以降を変更する］	原稿の 2 ページ目以降に合成するオーバーレイ画像を変更するときにチェックをつけます。あわせて、変更するオーバーレイ画像を一覧から選びます。
	［ファイル情報］	選んだオーバーレイ画像の情報を表示します。
［オーバーレイの印刷方法］		必要に応じて、オーバーレイ画像の合成方法を変更します。
	［印字ページ］	オーバーレイ画像を合成するページの範囲を選びます。
	［重ね合わせ］	オーバーレイ画像を原稿の前面に上書きして合成するか、原稿の背面に合成するかを選びます。

［装置の画像を印刷］を選んだ場合：



設定		説明
［装置情報取得］		本機と通信可能な場合は、本機側で登録されているオーバーレイ画像の情報を取得し、最新情報を表示します。
［オーバーレイ情報］		一覧から選んだオーバーレイ画像の情報を表示します。
［表面に印刷する］／［裏面に印刷する］		表面と裏面にオーバーレイ画像を合成するときはチェックをつけます。あわせて、オーバーレイ画像の合成方法を設定します。
	［オーバーレイ名］	合成するオーバーレイ画像を選びます。 ［参照］をクリックするとオーバーレイ情報の詳細を確認できます。
	［カラー選択］	合成するオーバーレイ画像のカラーを選びます。
	［濃度］	合成するオーバーレイ画像の濃度を指定します。
	［重ね合わせ］	オーバーレイ画像を原稿の前面に上書きして合成するか、原稿の背面に合成するか、透かして合成するかを選びます。
	［表面と同じオーバーレイを使用する］	表面と同じ設定を裏面にも適用するときにチェックをつけます。
［印字ページ］		オーバーレイ画像を合成するページの範囲を選びます。

参考

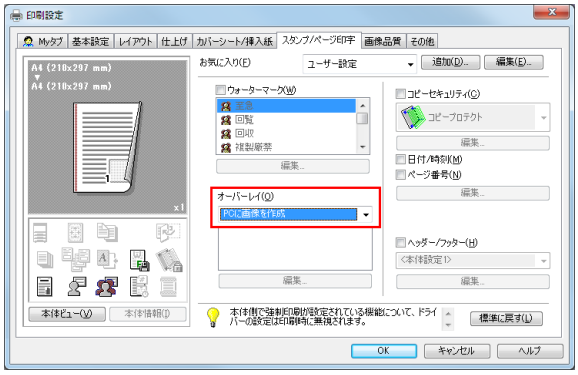
- ［オーバーレイ］は、Windows のプリンタードライバーのみ利用できます。
- ［装置の画像を印刷］を使うには、オプションの**拡張メモリー**が必要です。

コンピューターにオーバーレイ画像を作成する

［スタンプ / ページ印字］タブの［オーバーレイ］で原稿に合成する画像を、コンピューターに作成します。たとえば、社名の入ったレターヘッドのフォームなどを登録し、原稿に合成できます。

1　アプリケーションソフトウェアでオーバーレイに登録する原稿を作成します。

2　［スタンプ / ページ印字］タブの［オーバーレイ］で、［PC に画像を作成］を選びます。



3　アプリケーションソフトウェアから印刷を実行します。

［オーバーレイファイルの作成］画面が表示されます。

4　ファイル名を入力して保存します。

オーバーレイ画像がコンピューターに保存されます。次回から、［スタンプ / ページ印字］タブの［オーバーレイ］で［PC の画像を印刷］を選ぶと、保存したオーバーレイ画像が一覧に表示され、利用できるようになります。

共有フォルダーにオーバーレイ画像を作成する

［スタンプ / ページ印字］タブの［オーバーレイ］で原稿に合成する画像を、ネットワーク上の共有フォルダーに作成します。作成したオーバーレイ画像を、共有で利用できます。

はじめに［初期設定］タブで、オーバーレイ画像の保存先の共有フォルダーを登録します。

1　プリンタードライバーの［プロパティ］画面を表示します。

➔［プロパティ］画面の表示のしかたについては、2-93 ページをごらんください。

2　［初期設定］タブの［オーバーレイファイルを共有する］にチェックをつけます。

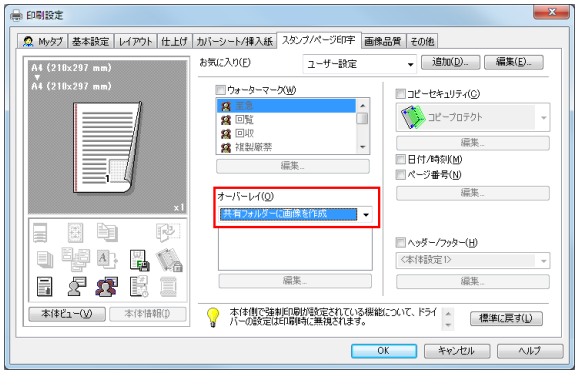
［共有フォルダーの設定］画面が表示されます。

3　オーバーレイ画像を保存する共有フォルダーを指定し、［OK］をクリックします。

以上で、共有フォルダーの登録の完了です。次に、オーバーレイ画像を作成します。

4　アプリケーションソフトウェアでオーバーレイに登録する原稿を作成します。

5　［スタンプ / ページ印字］タブの［オーバーレイ］で、［共有フォルダーに画像を作成］を選びます。



6　アプリケーションソフトウェアから印刷を実行します。

［オーバーレイファイルの作成］画面が表示されます。

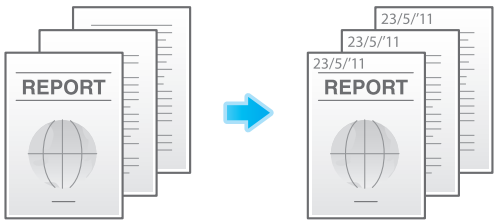
7　ファイル名を入力して保存します。

オーバーレイ画像が共有フォルダーに保存されます。次回から、［スタンプ / ページ印字］タブの［オーバーレイ］で［PC の画像を印刷］を選ぶと、保存したオーバーレイ画像が一覧に表示され、利用できるようになります。

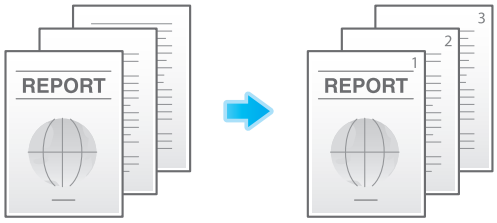
印刷日時やページ番号を追加する（［日付 / 時刻］／［ページ番号］）

印刷日時やページ番号を追加して印刷します。必要に応じて、印字する位置や表記のしかたを選べます。

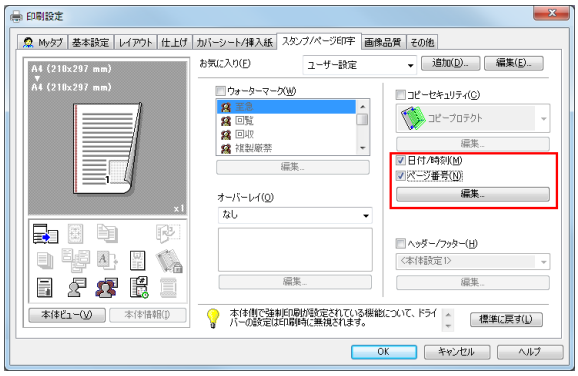
日付／時刻



ページ番号



［スタンプ / ページ印字］タブの［日付 / 時刻］または［ページ番号］にチェックをつけます。



必要に応じて、［編集 ...］をクリックし、印字する位置や表記のしかたを変更します。

設定		説明
［日付 / 時刻］		日付／時刻を印字する位置や、表記のしかたなどを変更します。
	［書式］	必要に応じて、［編集 ...］をクリックし、日付／時刻の表記のしかたや、時刻を印字するかどうかを指定します。
	［印字ページ］	日付／時刻を印字するページの範囲を指定します。
	［文字の色］	日付／時刻を印字する文字の色を選びます。
	［印字位置］	日付／時刻を印字する位置を指定します。
［ページ番号］		ページ番号を印字する位置や、印字を開始するページなどを変更します。
	［印字開始ページ］	ページ番号の印字を開始するページを指定します。
	［印字開始番号］	［印字開始ページ］で指定したページに印字する番号を指定します。
	［カバーシートへの印字］	表紙を挿入する場合に、表紙や裏表紙にもページ番号を印字するときはチェックをつけます。あわせて、印字方法を選びます。
	［文字の色］	ページ番号を印字する文字の色を選びます。
	［印字位置］	ページ番号を印字する位置を指定します。

参考

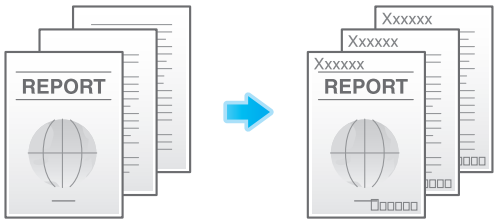
- この機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

ヘッダー／フッターに情報を追加する（［ヘッダー / フッター］）

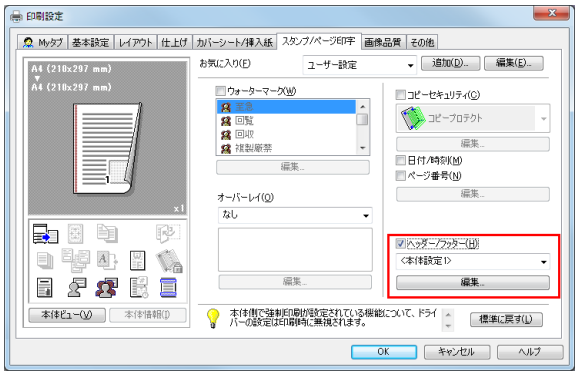
原稿の上下の余白部分（ヘッダー／フッター）に、日付や時刻をはじめ、任意の文字を追加して印刷します。ヘッダー／フッターに追加する情報は、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。

参照

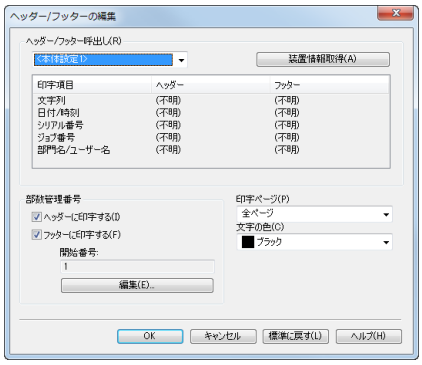
ヘッダー／フッターに追加する情報の登録のしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。



［スタンプ / ページ印字］タブの［ヘッダー / フッター］にチェックをつけます。あわせて、ヘッダー／フッターに追加する情報を選びます。



必要に応じて、［編集 ...］をクリックし、ヘッダー／フッターを印字するページの範囲などを変更します。



設定	説明
［ヘッダー / フッター呼出し］	呼出すヘッダー／フッターを選びます。 本機と通信可能な場合は、［装置情報取得］をクリックすると、ヘッダー／フッターの登録情報を本機から取得し、最新情報を表示します。
［部数管理番号］	複数の部数を印刷するときに、原稿に部数番号を印字するかどうかを選びます。 • ［ヘッダーに印字する］：ヘッダーに部数番号を印字するときにチェックをつけます。 • ［フッターに印字する］：フッターに部数番号を印字するときにチェックをつけます。 必要に応じて、［編集 ...］をクリックし、部数番号の表記のしかたや、部数番号の印字を開始するページを指定します。
［印字ページ］	ヘッダー／フッターを印字するページの範囲を選びます。
［文字の色］	ヘッダー／フッターに追加する文字の色を選びます。

参考

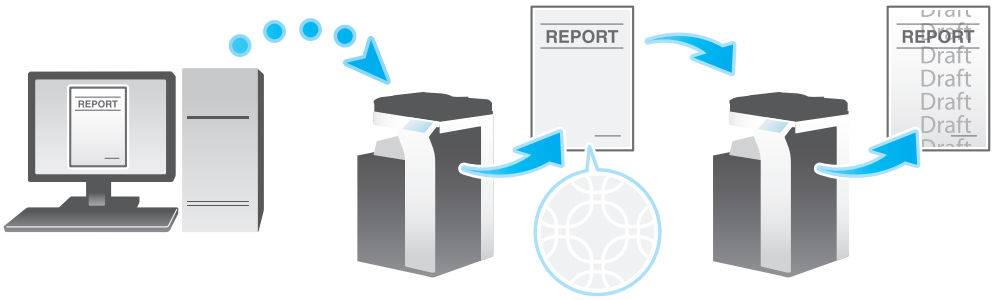
- この機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

2.4.7　不正コピーを抑止する

隠し文字を印字する（［コピープロテクト］）

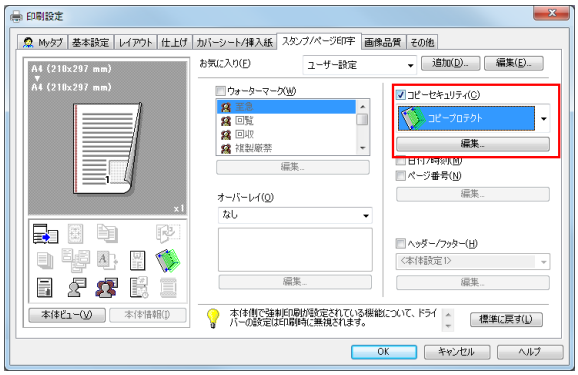
すべてのページに、「コピー」や「社外秘」などの文字を、背景パターンの中に目立たない文字として印字します。この機能を、コピープロテクトと呼びます。

コピープロテクトされた用紙をコピーすると、隠し文字が用紙全体に浮出るため、コピーであることがわかります。



［スタンプ / ページ印字］タブの［コピーセキュリティ］にチェックをつけ、［コピープロテクト］を選びます。

必要に応じて、［編集 ...］をクリックし、印字する内容や印字のしかたを指定します。詳しくは、2-47 ページをごらんください。



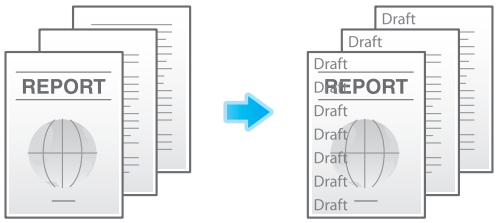
参考

- この機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

ページ全体にスタンプを印字する（［繰り返しスタンプ］）

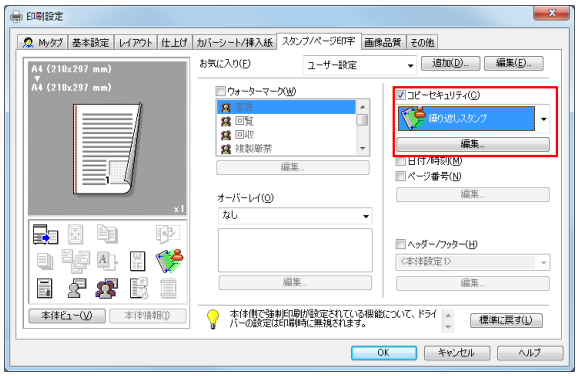
ページ全体に、「コピー」や「社外秘」などのスタンプを印字します。

「コピー」や「社外秘」などの文字を、目に見える状態でページ全体に印字することで、不正コピーを抑止できます。



［スタンプ / ページ印字］タブの［コピーセキュリティ］にチェックをつけ、［繰り返しスタンプ］を選びます。

必要に応じて、［編集 ...］をクリックし、印字する内容や印字のしかたを指定します。詳しくは、2-47 ページをごらんください。



参考

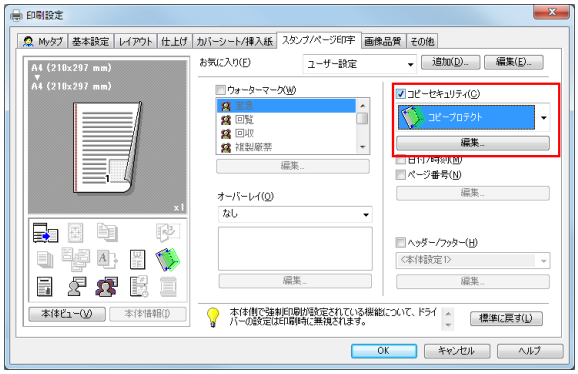
- この機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

コピーセキュリティの印字設定をする

用紙にコピーセキュリティのパターンを印字するときに、必要に応じて、印字する内容や印字のしかたを設定できます。

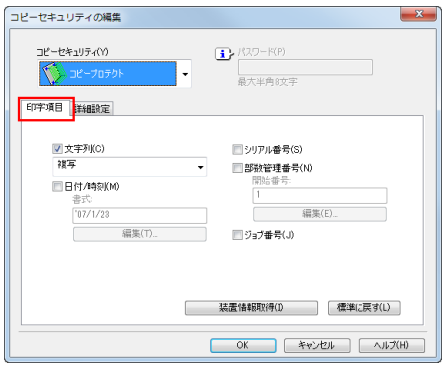
✔　この機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

1　［スタンプ / ページ印字］タブの［コピーセキュリティ］にチェックをつけ、［編集 ...］をクリックします。



2　［印字項目］で、印字する内容を設定します。

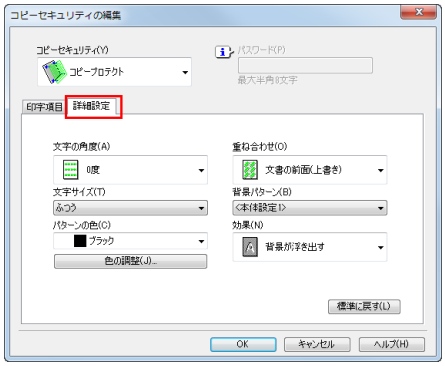
➔ 選んだコピーセキュリティ機能によって、設定できる項目が異なります。



設定	説明
［文字列］	文字を印字するときにチェックをつけます。あわせて、印字する文字を選びます。 ・　印字する文字は、あらかじめ登録されている定型スタンプやユーザーが登録した登録スタンプから選べます。 ・　本機と通信可能な場合は、［装置情報取得］をクリックすると、スタンプ情報を本機から取得し、最新情報を表示します。
［日付 / 時刻］	印刷日時を追加するときにチェックをつけます。 必要に応じて、［編集 ...］をクリックし、表記のしかたを指定します。
［シリアル番号］	本機のシリアル番号を印字するときにチェックをつけます。
［部数管理番号］	複数の部数を印刷する場合に、部数番号を印字するときはチェックをつけます。 必要に応じて、［編集 ...］をクリックし、開始番号や表示桁数を指定します。
［ジョブ番号］	本機で管理するジョブ番号を印字するときにチェックをつけます。

3 ［詳細設定］で、印字のしかたを設定します。

➔ 選んだコピーセキュリティ機能によって、設定できる項目が異なります。



設定	説明
［文字の角度］	印字する文字の角度を選びます。
［文字サイズ］	印字する文字のサイズを選びます。
［パターンの色］	コピーセキュリティパターンの色を選びます。 必要に応じて、［色の調整 ...］をクリックし、濃度やコントラストを調整します。
［重ね合わせ］	コピーセキュリティパターンを原稿の前面に合成するか、原稿の背面に合成するかを選びます。
［背景パターン］	コピーセキュリティパターンを、本機に登録されている背景のパターンから選びます。
［効果］	原稿が不正コピーされたときに、文字パターンが浮出るようにするか、白抜きされるようにするかを選びます。

4 ［OK］をクリックします。

2.4.8　原稿に用紙を挿入して印刷する

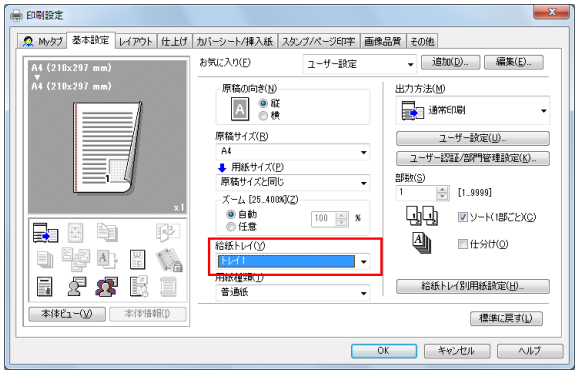
表紙や裏表紙を挿入する（［表カバー］／［裏カバー］）

原稿の最初と最後のページに、表紙として本文と異なる用紙を挿入します。

表紙用の用紙は、本文用とは別の用紙（色紙や厚紙など）を選べ、表紙と本文を別々に印刷することなく、一度に印刷できます。

1　［基本設定］タブの［給紙トレイ］で、本文ページを印刷する用紙の給紙トレイを選びます。

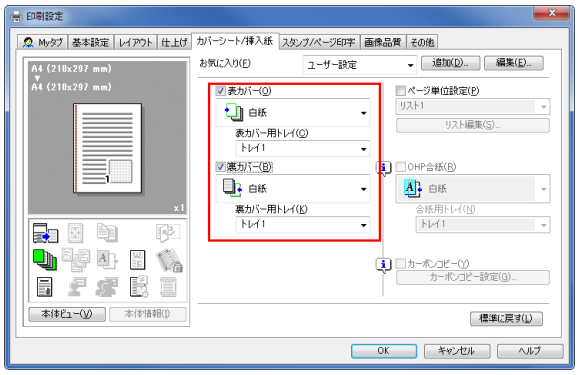
➔［自動］を選ぶことはできません。



2　［カバーシート / 挿入紙］タブの［表カバー］または［裏カバー］にチェックをつけます。

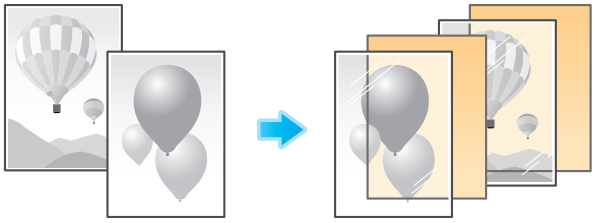
➔ 必要に応じて、挿入した用紙に原稿を印刷するか、印刷せずに白紙とするかを選べます。挿入した用紙に印刷する場合、表紙には原稿の 1 ページ目を、裏表紙には原稿の最終ページを印刷します。

➔［表カバー用トレイ］または［裏カバー用トレイ］で、表紙や裏表紙として挿入する用紙の給紙トレイを選びます。



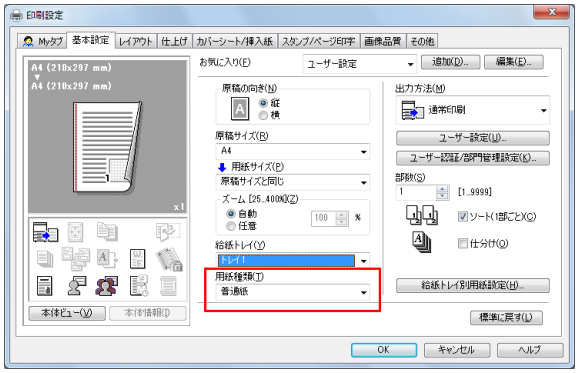
OHP フィルムの間に用紙を挿入する（［OHP 合紙］）

複数枚の OHP フィルムに印刷するときに、指定した用紙を OHP フィルムの間に挿入します。印刷後の熱や、静電気でフィルムどうしが貼付くのを防ぎます。



1　［基本設定］タブの［用紙種類］で［OHP フィルム］を選びます。

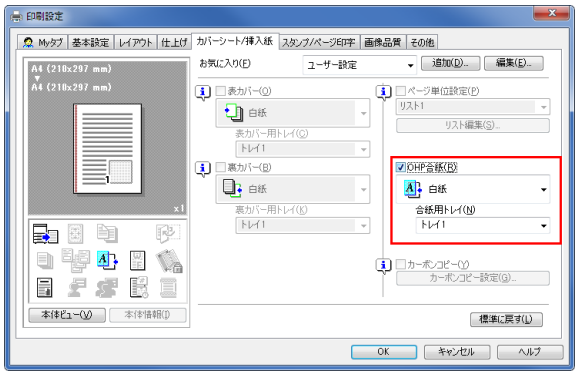
➔ ［OHP フィルム］を選ぶと、［印刷種類］が［片面］に、［カラー選択］が［グレースケール］に変更されます。



2　［カバーシート / 挿入紙］タブの［OHP 合紙］にチェックをつけます。

➔ ［合紙用トレイ］で、OHP フィルムの間に挿入する用紙の給紙トレイを選びます。

➔ OHP 合紙は白紙で挿入されます。



指定したページに用紙を挿入する（［ページ単位設定］）

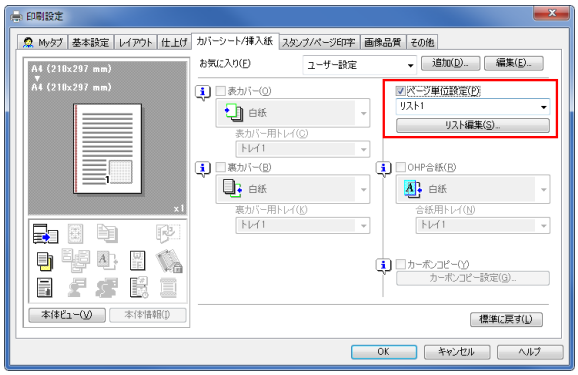
指定したページに他のページとは異なる用紙を挿入します。

挿入する用紙として、色紙や厚紙などを選べます。また、挿入する用紙に対して原稿を印刷するかどうかを選べます。

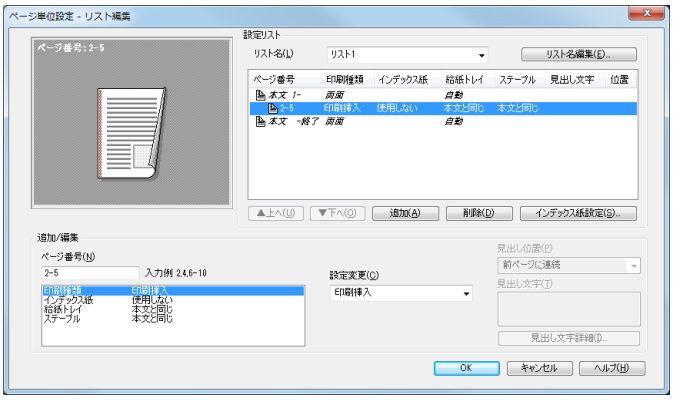
あらかじめ、印刷する用紙や印刷設定をページごとに設定したリストを作成します。印刷するときは、作成したリストから、印刷に適用するリストを選びます。

1　［カバーシート / 挿入紙］タブの［ページ単位設定］にチェックをつけ、［リスト編集 ...］をクリックします。

➔ 作成済みのリストがある場合は、印刷に適用するリストを選びます。



2　印刷する用紙や印刷設定をページごとに設定し、リストを作成します。



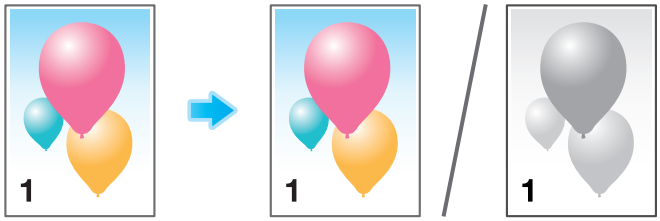
設定		説明
［設定リスト］		ページごとの設定内容を一覧で表示します。
	［リスト名］	作成するリストを選びます。
	［リスト名編集...］	必要に応じて、リストの名前を変更します。
	［上へ］／［下へ］	リストに表示されている設定内容の順位を移動します。設定内容には影響しません。
	［追加］	リストに設定内容を追加します。
	［削除］	リスト表示内で選んだ設定内容を削除します。
	［インデックス紙設定］	インデックス紙を使う場合、インデックス紙の見出し数や位置を設定します。
［追加 / 編集］		［設定リスト］に設定を追加したり、設定内容を変更したりします。
	［ページ番号］	追加するページ番号を入力します。 複数のページ番号を入力するときは、「2,4,6」のようにカンマで区切るか、「6-10」のようにハイフンでつないで入力します。
	［設定変更］	［追加 / 編集］のリストで選んだ項目の設定値を変更します。 • ［印刷種類］：指定したページを印刷するときの印刷種類を選びます。 • ［インデックス紙］：インデックス紙を使うかどうかを選びます。 • ［給紙トレイ］：指定したページを印刷する用紙の給紙トレイを選びます。 • ［ステープル］：指定したページをステープルでとじるときのとじ位置を選びます。
	［見出し位置］	インデックス紙の見出しの何番目の位置に印刷するかを指定します。
	［見出し文字］	インデックス紙の見出しに印刷する内容を 3 行以内で入力します。
	［見出し文字詳細］	インデックス紙の見出しに印刷する文字の方向や位置、サイズなどの詳細を設定します。

3　［OK］をクリックします。

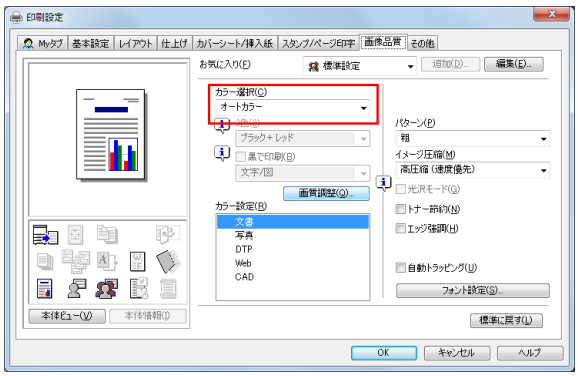
2.4.9　カラーや画質を指定して印刷する

印刷の色を選ぶ（［カラー選択］）

印刷する色を選びます。カラー機能には、原稿の色に合わせて印刷する［オートカラー］のほか、［フルカラー］、［グレースケール］、［2 色カラー］があります。



［画像品質］タブの［カラー選択］で、印刷する色を選びます。



参考

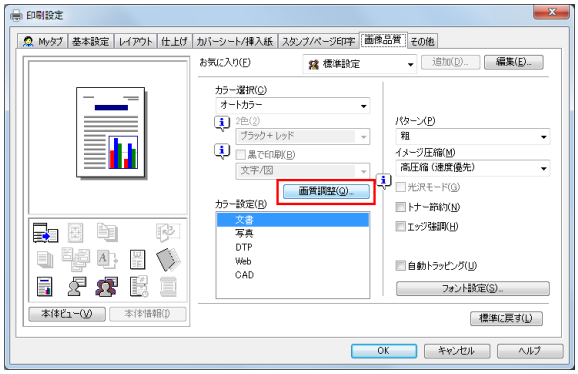
- ［フルカラー］は、PS ドライバーの機能です。
- ［2 色カラー］は、PCL ドライバーの機能です。

原稿に合わせて画質を微調整する（［画質調整］）

原稿に合わせて、画質を鮮やかにしたり色差を抑えたりなど、カラー画質を細かく調整できます。

原稿全体の画質をまとめて調整する方法と、原稿の文字や写真などの要素ごとに画質を詳細に調整する方法があります。PCL ドライバーをお使いの場合は、明度やコントラストなども調整できます。

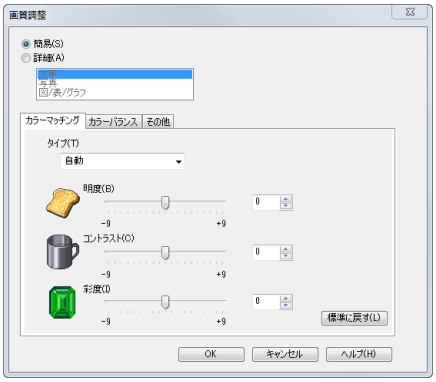
1　［画像品質］タブの［画質調整］をクリックします。



2　原稿に合わせて、画質を微調整します。

➔ ［簡易］：原稿全体の画質を調整します。印刷時に使うカラープロファイルのタイプなどを指定します。

➔ ［詳細］：原稿の画質を、文字、写真、図 / 表 / グラフの要素ごとに細かく調整します。印刷時に使うカラープロファイルのタイプや適用するプロファイルなどを要素ごとに指定します。



3　［OK］をクリックします。

参照

PS ドライバーをお使いの場合は、使用する ICC プロファイルを管理できます。詳しくは、2-61 ページをごらんください。

参考

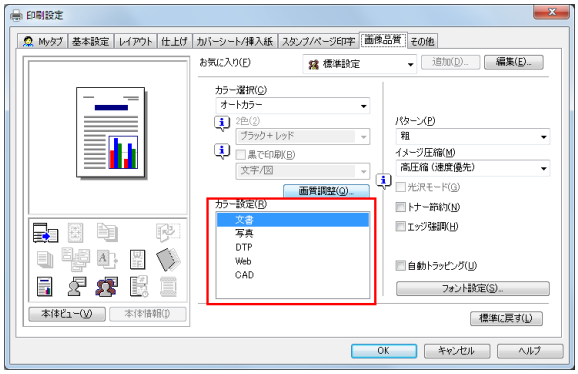
- ［画質調整］は、Windows のプリンタードライバーのみ利用できます。

原稿に適したカラー表現を選ぶ（［カラー設定］）

原稿の記載内容に適した設定を選んで、最適な画質で印刷します。

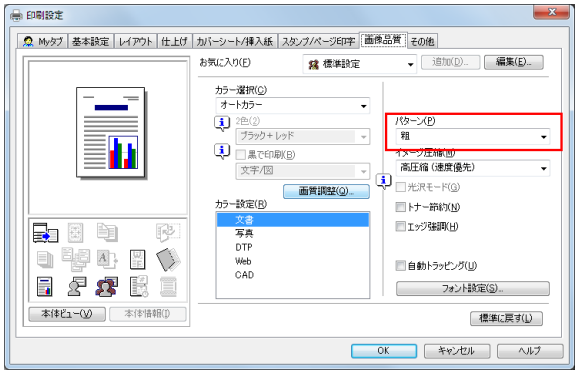
印刷する原稿に合わせて、文字の多い原稿に適した処理、写真に適した処理、DTP で作成した原稿に適した処理、Web ページの印刷に適した処理、CAD データの印刷に適した処理を選びます。

［画像品質］タブの［カラー設定］で、原稿に合わせて、カラー設定のモードを選びます。



グラフィックパターンの密度を指定する（［パターン］）(PCL のみ）

［画像品質］タブの［パターン］で、グラフィックパターンの密度を選びます。

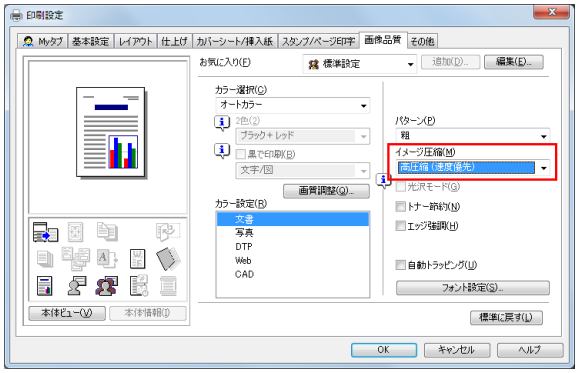


参考

- ［パターン］は、Windows のプリンタードライバー (PCL) のみ利用できます。

グラフィックイメージの圧縮率を指定する（［イメージ圧縮］）(PCL のみ）

［画像品質］タブの［イメージ圧縮］で、原稿に含まれるイメージデータを圧縮するときに品質を優先するか、印刷速度を優先するかを選びます。

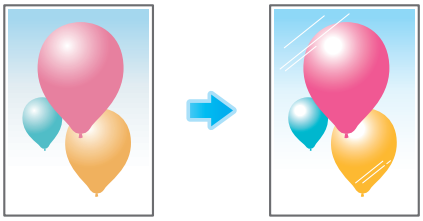


参考

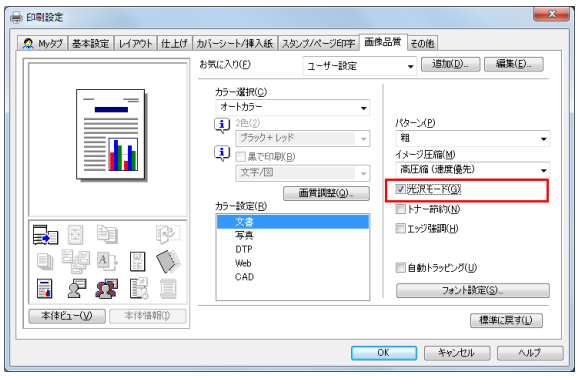
- ［イメージ圧縮］は、Windows のプリンタードライバー (PCL) のみ利用できます。

画像に光沢をつける（［光沢モード］）

画像に光沢をつけて印刷します。



［画像品質］タブの［光沢モード］にチェックをつけます。

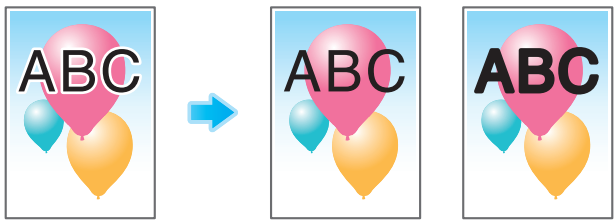


参考

- ［印刷種類］が［片面］に設定されているときに有効です。

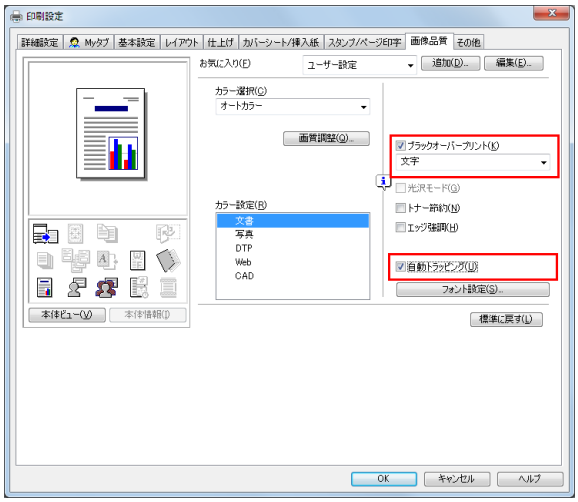
画像の周囲の白抜けを防ぐ（［自動トラッピング］／［ブラックオーバープリント］（PS のみ））

色の境目や文字の周りの白抜けを抑止します。



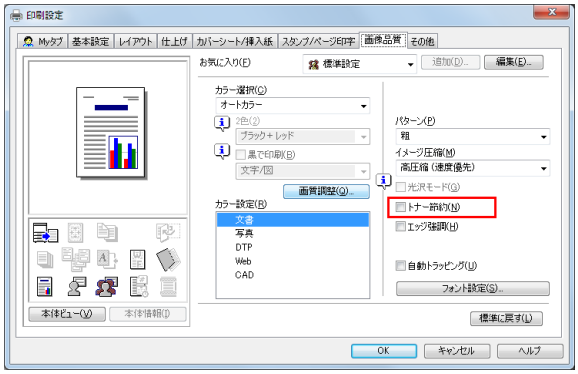
［画像品質］タブの［自動トラッピング］または［ブラックオーバープリント］を設定します。

- ［自動トラッピング］にチェックをつけると、絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣合う色を重ねて印刷します。
- ［ブラックオーバープリント］にチェックをつけると、黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣合う色に黒を重ねて印刷します。文字だけに重ねて印刷するか、文字と図形の両方に重ねて印刷するかを選べます。



トナー消費量を節約する（［トナー節約］）

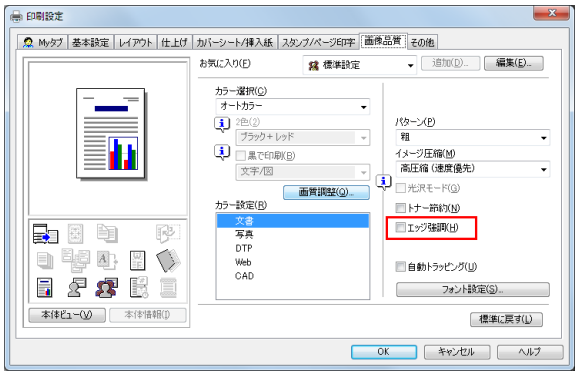
［画像品質］タブの［トナー節約］にチェックをつけると、印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。



文字などの境界をくっきりさせる（［エッジ強調］）

表文字、グラフィックなど、画像のエッジ部分を強調して、読みやすくします。

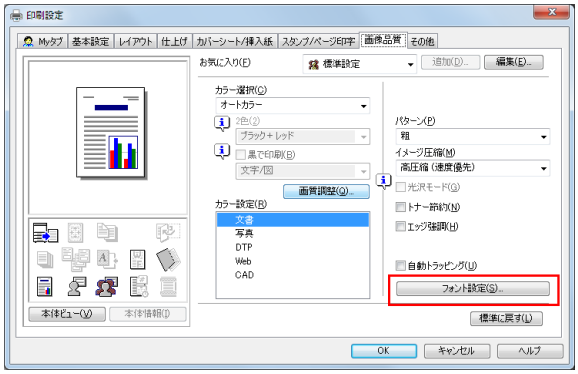
［画像品質］タブの［エッジ強調］にチェックをつけます。



フォントの処理方法を指定する（［フォント設定］）

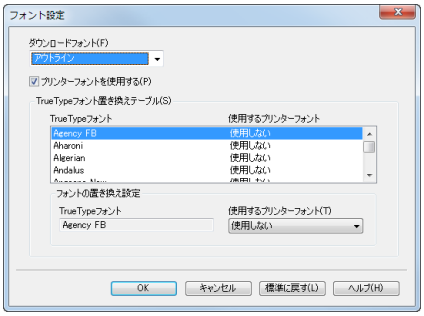
印刷するときの、フォントの処理方法を指定します。

1 ［画像品質］タブの［フォント設定］をクリックします。

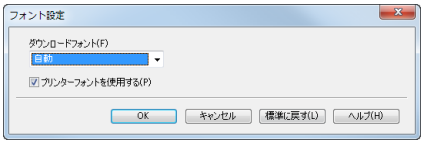


2 印刷するときの、フォントの処理方法を変更します。

➔ PCL ドライバー



➔ PS ドライバー



設定	説明
［ダウンロードフォント］	コンピューターから本機にダウンロードするフォントのタイプを選びます。
［プリンターフォントを使用する］	TrueType フォントをプリンターフォントに置換えて印刷するときにチェックをつけます。プリンターフォントに置換えることで高速に印刷できます。通常は、チェックをつけて印刷することをおすすめします。
［TrueType フォント置き換えテーブル］（PCL のみ）	TrueType フォントを置換えるプリンターフォントを指定したい場合に設定します。 一覧から TrueType フォントを選んでから、［使用するプリンターフォント］で、置換えたいプリンターフォントを選びます。

3 ［OK］をクリックします。

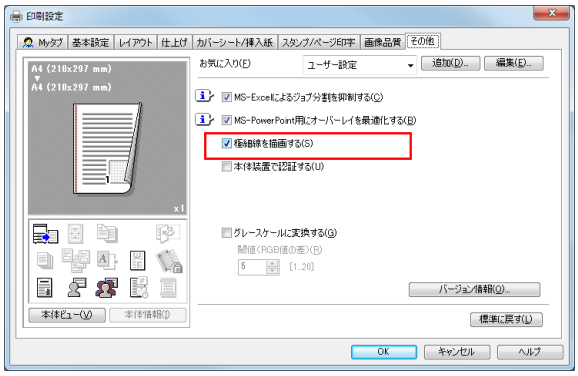
参考

- PCL ドライバーをお使いの場合に文字化けが発生するときは、［ダウンロードフォント］で［ビットマップ］を選び、［プリンターフォントを使用する］のチェックをはずすことをおすすめします。
- ［フォント設定］は、Windows のプリンタードライバーのみ利用できます。

細い線がかすれないように印刷する（［極細線を描画する］）(PCL のみ）

縮小印刷するとき、細い線が消えてしまうことを抑止します。

［その他］タブの［極細線を描画する］にチェックをつけます。



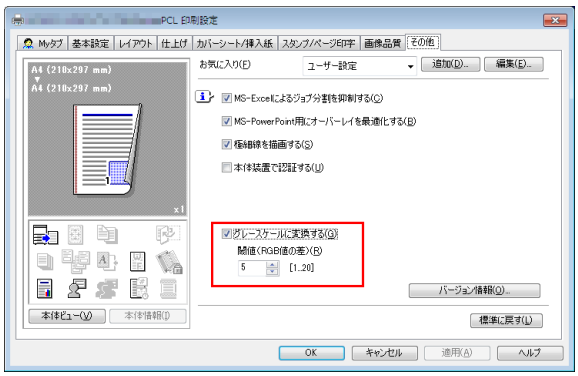
参考

- Excel で作成した表罫線のような細線に対して効果がありますが、イラストなどの細線には効果がありません。
- ［極細線を描画する］は、Windows のプリンタードライバー (PCL) のみ利用できます。

原稿の RGB 値に応じてカラーを変換する（［グレースケールに変換する］）(PCL のみ）

［画像品質］タブの［カラー選択］で［オートカラー］を選んで印刷するとき、原稿の RGB 値の差が、設定した閾値以下であれば、自動的にグレースケールに変換して印刷します。

［その他］タブの［グレースケールに変換する］にチェックをつけ、閾値 (グレースケールに変換する RGB 値の差) を設定します。



参考

- ［グレースケールに変換する］は、Windows のプリンタードライバー (PCL) のみ利用できます。

2.4.10 ICC プロファイルを使う (PS のみ)

ICC プロファイルを指定して印刷する

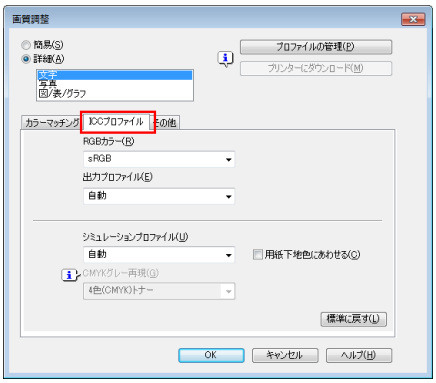
本機に登録されている ICC プロファイルを、プリンタードライバーで指定して印刷します。

✔ 本機に新しく登録した ICC プロファイルを利用するには、あらかじめ本機の ICC プロファイルをプリンタードライバーに追加する必要があります。詳しくは、2-61 ページをごらんください。

1 ［画像品質］タブの［画質調整 ...］をクリックします。

2 ［詳細］をクリックし、画質調整をする要素を選びます。

3 ［ICC プロファイル］タブをクリックします。



4 ［RGB カラー］、［出力プロファイル］、［シミュレーションプロファイル］の各項目を指定します。

➔ プリンタードライバーに登録されている ICC プロファイルから選べます。

5 ［OK］をクリックします。

選んだプロファイルによってカラー処理が行われます。

ICC プロファイルをプリンタードライバーに追加する

本機に登録した ICC プロファイルを使って印刷するには、あらかじめプリンタードライバーに ICC プロファイルを追加する必要があります。

✔ この機能は、本機と通信可能な場合に利用できます。本機と通信して本機が利用できる ICC プロファイルを読取ります。

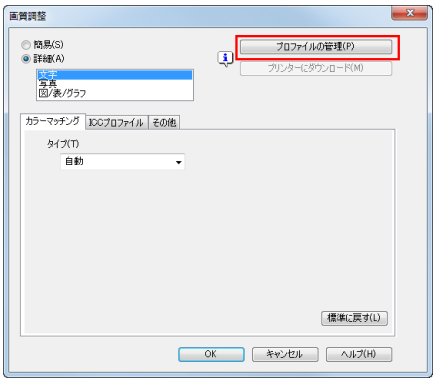
✔ USB 接続でお使いの場合は利用できません。

✔ 本機への ICC プロファイルの登録は、Download Manager(MFP) を使います。本機への ICC プロファイルの登録のしかたについて詳しくは、Download Manager(MFP) のヘルプをごらんください。

1 ［画像品質］タブの［画質調整 ...］をクリックします。

2　［プロファイルの管理］をクリックします。

➔ Download Manager(MFP) がインストールされている場合は、［プリンターにダウンロード］をクリックすると Download Manager(MFP) が起動します。

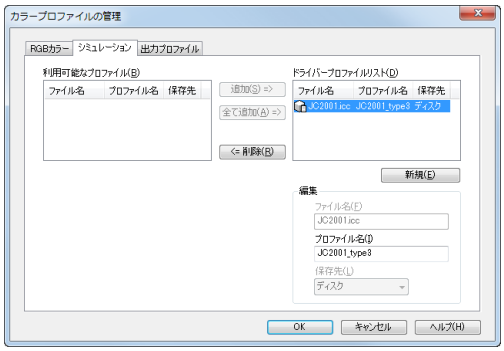


3　タブをクリックし、カラープロファイルの種類を選びます。

4　［利用可能なプロファイル］一覧から、プリンタードライバーに追加したいプロファイルを選び、［追加］をクリックします。

➔ 現在のドライバー設定をプロファイルとして登録する場合は、［新規］をクリックして［ファイル名］、［プロファイル名］を入力します。

➔ プロファイル名を変更したい場合は、［編集］をクリックします。



5　［OK］をクリックします。

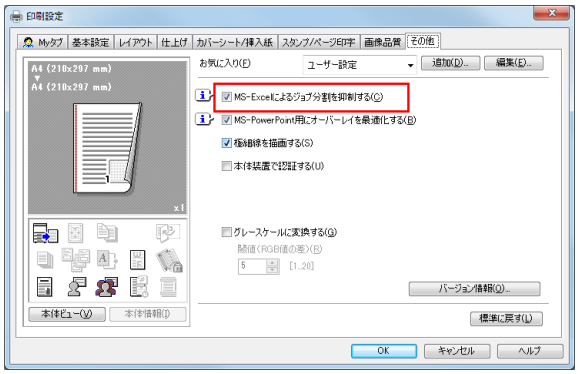
［ドライバープロファイルリスト］にプロファイルが追加されます。

2.4.11 MS-Excel/PowerPoint のデータを印刷する

Excel の複数のシートを同時に印刷する

Excel で印刷設定の異なる複数のシートを同時に印刷するとき、シートごとに分割されて印刷されるのを抑止します。

［その他］タブの［MS-Excel によるジョブ分割を抑制する］にチェックをつけます。



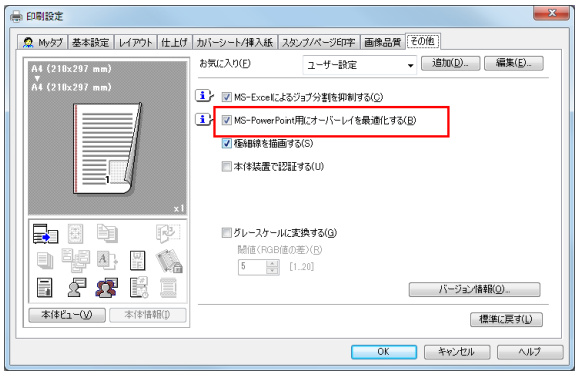
参考

- ［MS-Excel によるジョブ分割を抑制する］は、Windows のプリンタードライバーのみ利用できます。
  ただし、64 ビット環境 (Windows 7 x64、Windows 8.1 x64、Windows 10 x64、Windows Server 2008 x64、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016) で 32 ビットのアプリケーションソフトウェアを使用している場合は、お使いいただけません。

PowerPoint で正しく画像合成して印刷する

背景が白の PowerPoint 原稿にオーバーレイ画像を重ね合わせるときの処理を最適化します。
PowerPoint 原稿の白でオーバーレイ画像が上書きされないようにします。

［その他］タブの［MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する］にチェックをつけます。



参考

- ［MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する］は、Windows のプリンタードライバー (PCL) のみ利用できます。
  ただし、64 ビット環境 (Windows 7 x64、Windows 8.1 x64、Windows 10 x64、Windows Server 2008 x64、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016) で 32 ビットのアプリケーションソフトウェアを使用している場合は、お使いいただけません。

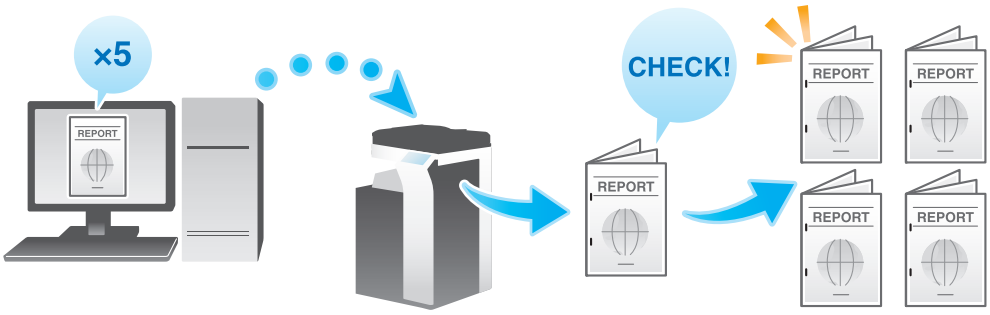
2.5　こんな印刷のしかたがあります

2.5.1　1 部だけお試し印刷する（［確認印刷］）

確認印刷について

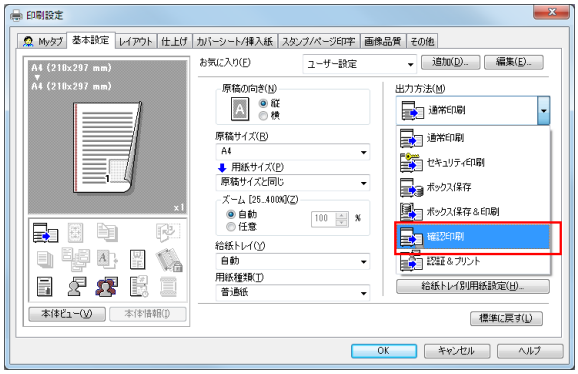
確認印刷は、複数の部数を印刷するときに、1 部だけ印刷して残り部数の印刷を待機する機能です。

印刷結果を確認してから、**タッチパネル**で残り部数の印刷を指示できるので、大量のミスプリントを防ぎたい場合に便利です。



コンピューターからの印刷のしかた

1　［基本設定］タブの［出力方法］で［確認印刷］を選びます。

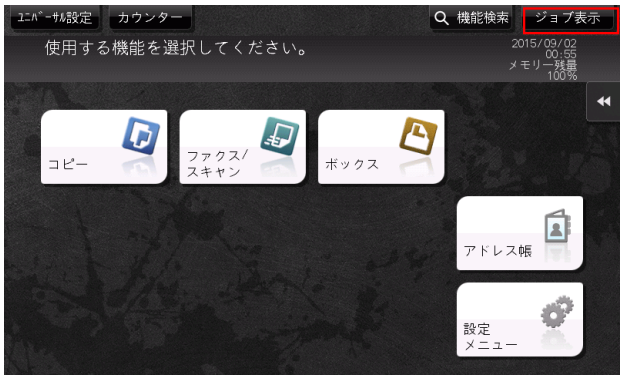


2　部数を指定して印刷を実行します。

1 部だけが印刷されます。続いて、「本機での操作」へ進みます。

本機での操作

1　［ジョブ表示］をタップします。



2　［実行中］が表示されている状態で、［蓄積解除］をタップします。

3　印刷するジョブを選びます。

4　必要に応じて、［設定変更］をタップし、印刷条件を変更します。

➔ ジョブを削除する場合は、［削除］をタップします。

5　［実行］をタップするか、または**スタート**を押します。

残りの部数が印刷されます。

ジョブの削除

［確認印刷］を設定して本機に送信したジョブは、コンピューターの Web ブラウザーから Web Connection を使うことで、遠隔から削除できます。

1 Web ブラウザーを使って Web Connection へアクセスします。

➔ アクセスのしかたについては、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［基本的な使い方］」をごらんください。

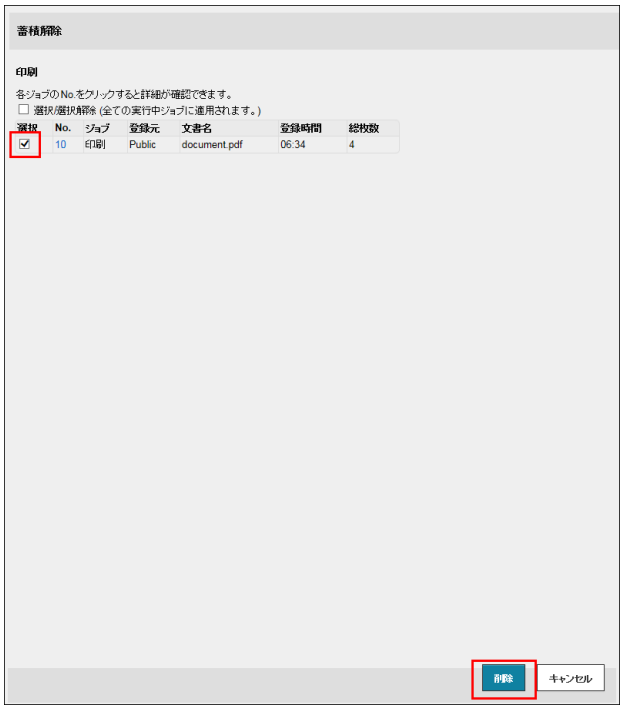
2 ユーザーモードにログインします。

➔ ユーザーモードへのログインのしかたについては、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［基本的な使い方］」をごらんください。

3 ［ジョブ確認］-［実行中リスト］をクリックします。

4 ［蓄積解除］をクリックします。

5　削除するジョブにチェックをつけ、［削除］をクリックします。



6　［OK］をクリックします。

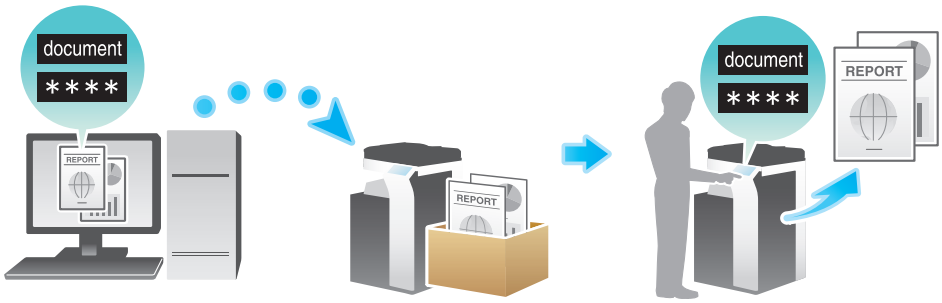
選択したジョブが削除されます。

2.5.2　機密性の高い文書を印刷する（［セキュリティ印刷］）

セキュリティ印刷について

セキュリティ印刷は、印刷データに文書 ID とパスワードをつけて、本機のボックス（セキュリティ文書ボックス）に保存する機能です。すぐに印刷されないため、印刷物の紛失や置忘れを防ぐことができます。

ボックスから印刷するには、**タッチパネル**で文書 ID とパスワードを入力する必要があるため、特に機密性の高い文書を印刷する場合に適しています。



関連設定（管理者向け）

- コンピューターからの印刷を、セキュリティ印刷だけに限定することができます（初期値：［しない］）。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

セキュリティ文書の簡単印刷を有効にする（管理者向け）

セキュリティ文書の簡単印刷を有効にすると、コンピューターのログイン名が、セキュリティ印刷の文書 ID として使用されるため、文書 ID の入力を省略できます。

また、コンピューターのログイン名を、セキュリティ印刷の文書 ID として使用することで、他のユーザーとの文書 ID の重複がなくなるため、本機での文書管理が簡単になります。

ユーザーが本機で印刷するときは、**操作パネル**に文書 ID の一覧を表示し、目的の文書 ID を簡単に指定できます。

セキュリティ文書の簡単印刷を有効にする場合は、次の設定をします。

- 本機の［設定メニュー］-［管理者設定］-［環境設定］-［ボックス設定］-［セキュリティー文書設定］を［簡単印刷する］に設定します（初期値：［簡単印刷しない］）。
- プリンタードライバーの［装置情報］タブの［装置オプション］で［セキュリティ文書設定］を［簡単印刷する］に設定します（初期値：［簡単印刷しない］）。［装置オプション］について詳しくは、2-7 ページをごらんください。

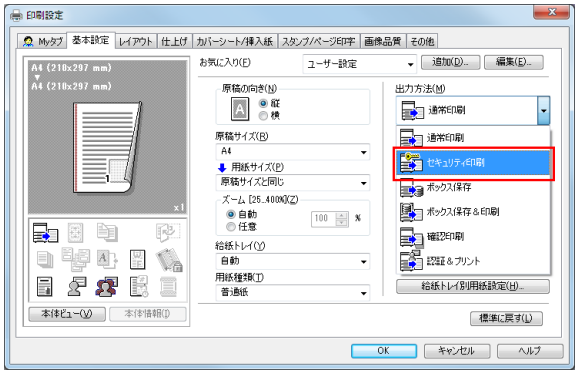
参考

- 簡単印刷が無効の場合、文書 ID に入力できる文字数は半角 16 文字までです。簡単印刷を有効にすると、文書 ID に入力できる文字数は全角／半角 64 文字までに拡張されます。
- 文書 ID が半角 17 文字以上または全角文字を含む場合、簡単印刷を有効から無効に変更すると、その文書の操作ができなくなります。

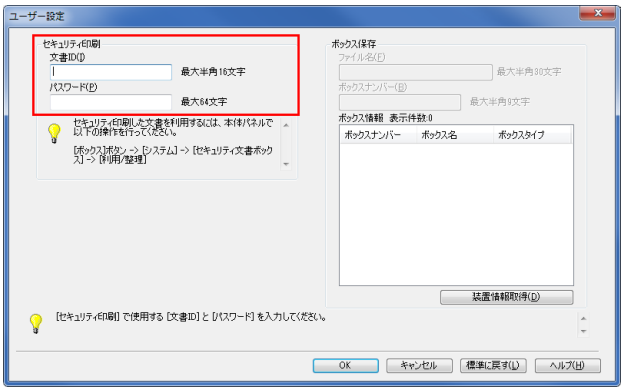
コンピューターからの印刷のしかた

1 ジョブで 2999 ページまでの文書を印刷できます。

1　［基本設定］タブの［出力方法］で［セキュリティ印刷］を選びます。



2　文書 ID とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。



➔ 常に同じ文書 ID とパスワードで印刷する場合は、あらかじめ登録しておくと、入力する手間が省けます。詳しくは、2-8 ページをごらんください。

3　印刷を実行します。

セキュリティ文書ボックスに保存されます。続いて、「本機での操作」へ進みます。

➔ 本機で印刷データの読込みが完了する前に、**操作パネル**から印刷の指示を出すことができます。ただし、印刷は本機で印刷データの読込みが完了したあと行われます。

本機での操作

セキュリティ印刷機能で印刷したデータは、セキュリティ文書ボックスに保存されます。保存されたデータを印刷するには、プリンタードライバーで指定した文書 ID とパスワードの入力が必要です。

印刷のしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［ボックス機能］/［機密性の高い文書を印刷する (セキュリティー文書)］」をごらんください。

関連設定 (管理者向け)

- セキュリティ文書ボックスに保存されているすべてのデータを削除できます。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。
- セキュリティ文書ボックスに保存したデータを自動的に削除するまでの時間を設定できます (初期値：［1 日］)。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

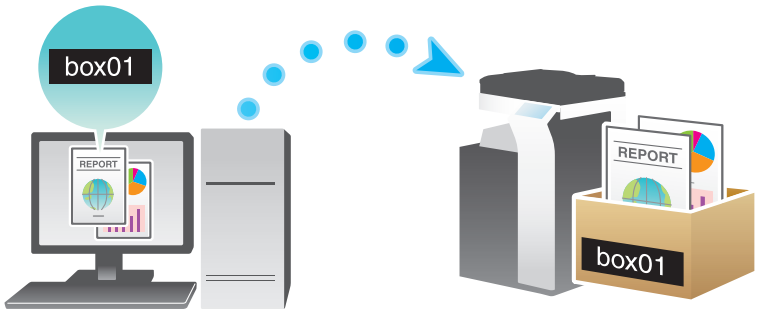
2.5.3　原稿を本機のボックスに保存する（［ボックス保存］）

ボックス保存について

ボックス保存は、印刷データを本機のボックスに保存する機能です。ボックスに保存すると同時に印刷することもできます。

保存先のボックスを使い分けることで、次のような使い方ができます。

- 全員が共有で使うボックス（共有ボックス）や部署ごとに使うボックス（グループボックス）に保存すれば、データの配布に利用できます。
- ユーザー専用のボックス（個人ボックス）に保存すれば、ユーザー本人しかボックスを開くことができないため、セキュリティ対策になります。誤ってボックス内のデータが削除されることもありません。



お使いになるために必要な作業

印刷データを保存するボックスを本機に登録します。

ボックスの登録のしかたについては、「ユーザーズガイド［ボックス機能］/［文書を複合機にファイルで保存、利用する］」をごらんください。

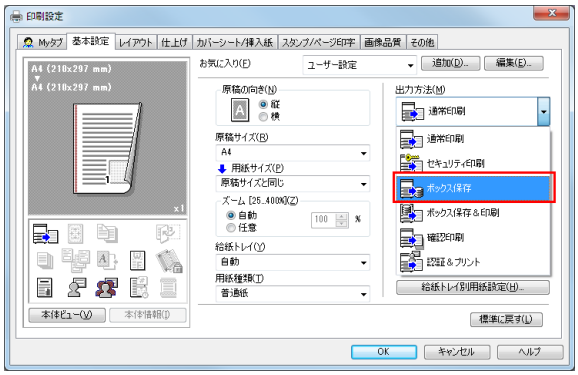
参照

ボックスは Web Connection でも登録できます。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［ボックス機能の使用環境を設定する］」をごらんください。

コンピューターからの印刷のしかた

1　［基本設定］タブの［出力方法］で［ボックス保存］を選びます。

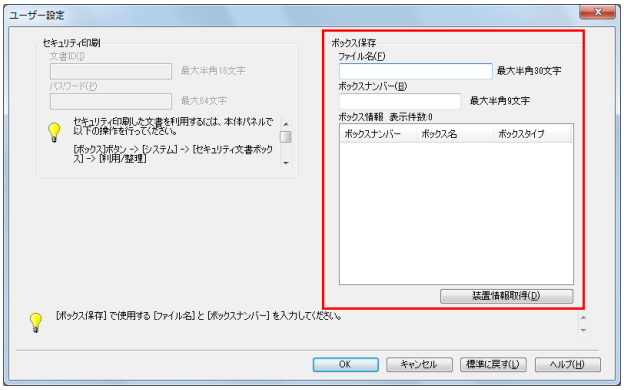
➔ ボックスに保存すると同時に印刷したいときは、［ボックス保存＆印刷］を選びます。



2　ファイル名と保存先のボックス番号を入力し、［OK］をクリックします。

➔ ファイル名には、ボックスを開いてデータを探すときにわかりやすい名前をつけてください。

➔ ［ボックスナンバー］にはボックス登録時に設定したボックス番号を指定してください。［ボックスナンバー］は、［ボックス情報］リストで確認できます。［装置情報取得］をクリックすると、本機に登録されているボックスの最新情報を取得し、［ボックス情報］リストに表示します。ただし、ファイリングナンバーボックスは［ボックス情報］リストに表示されません。



➔ 常に同じファイル名とボックス番号で保存する場合は、あらかじめ登録しておくと、入力する手間が省けます。詳しくは、2-8 ページをごらんください。

3　印刷を実行します。

本機のボックスに保存されます。

参考

- USB 接続でお使いの場合、［装置情報取得］は利用できません。

ボックス保存したデータの活用

ボックスに保存したデータは、印刷したり、E-mail やファクスで送信したりできます。

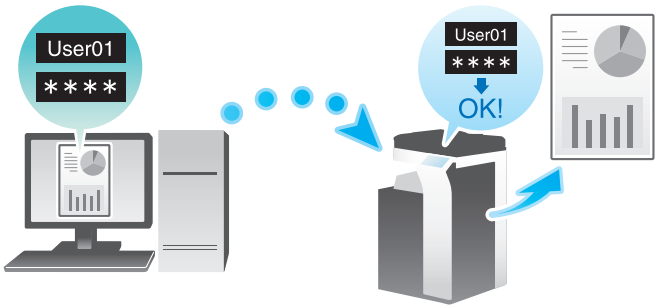
- ボックスに保存したデータの印刷のしかたについては、「ユーザーズガイド［ボックス機能］/［文書を複合機にファイルで保存、利用する］」をごらんください。
- ボックスに保存したデータの送信のしかたについては、「ユーザーズガイド［ボックス機能］/［文書を複合機にファイルで保存、利用する］」をごらんください。

2.5.4　認証情報をつけて印刷する

認証設定時の印刷について

ユーザー認証や部門管理を導入している環境で印刷する場合は、印刷するときに認証情報 (ユーザー名とパスワード) を本機へ送る必要があります。これにより、本機で印刷できるユーザーを限定し、第三者の不正利用を防ぎます。

印刷が許可されていないユーザーの印刷ジョブや、認証情報のない印刷ジョブを本機が受信すると、自動的に破棄します。



参考

- 認証情報のない印刷ジョブとは、本機でユーザー認証／部門管理を設定しているにも関わらず、プリンタードライバーでユーザー認証／部門管理を正しく設定せずに送信した印刷ジョブのことです。ユーザー認証／部門管理が正しく設定されていない状態とは、プリンタードライバーの［プロパティ］画面の［装置情報］タブで、［取得設定 ...］の［自動取得］のチェックがはずれていて、［装置オプション］の［ユーザー認証］／［部門管理］が［なし］に設定されている状態を指します。この状態で、印刷時に［基本設定］タブの［出力方法］で［通常印刷］を選んで印刷を実行すると、認証情報のない印刷ジョブとして扱われます。

関連設定 (管理者向け)

- 認証情報のない印刷ジョブを受信したときの本機の動作を設定できます (初期値 :［禁止］)。印刷を許可すると、本機に登録されていないユーザーや部門でも印刷ができてしまいます。セキュリティ上または管理上の不都合がある場合は、初期設定の状態でお使いください。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

参照

ユーザー認証や部門管理を導入している環境で機密性の高い文書を印刷するときは、認証＆プリント機能を使うと、セキュリティの高い印刷ができます。詳しくは、2-75 ページをごらんください。

簡易認証を導入すると、ユーザー名だけの認証で、パスワードを入力せずに印刷できます。設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［本機を使えるユーザーを制限する］」をごらんください。

お使いになるために必要な作業

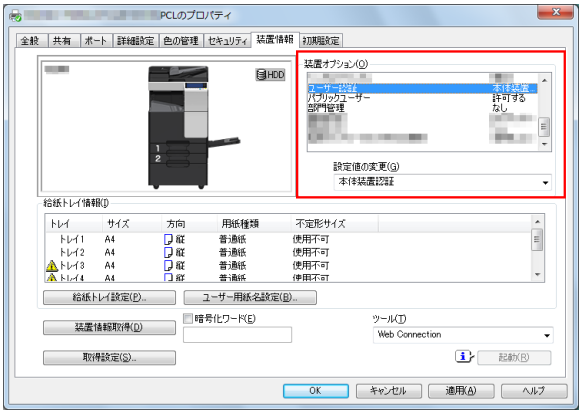
プリンタードライバーの［装置情報］タブで、ユーザー認証／部門管理が正しく設定されていることを確認します。

1　プリンタードライバーの［プロパティ］画面を表示します。

➔［プロパティ］画面の表示のしかたについては、2-93 ページをごらんください。

2　［装置情報］タブの［装置オプション］で、お使いの環境に合わせて、ユーザー認証／部門管理が正しく設定されていることを確認します。

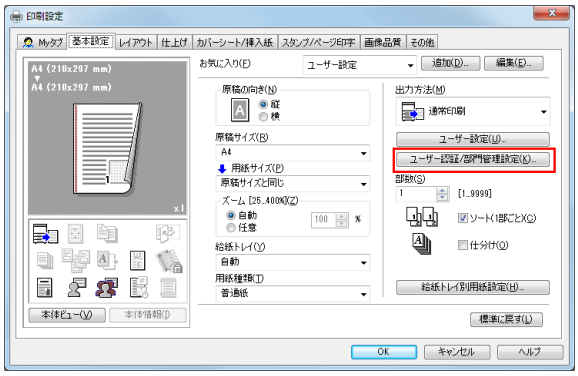
➔ 正しく設定されていない場合は、一覧から［ユーザー認証］または［部門管理］を選び、［設定値の変更］からそれぞれの設定値を変更します。



3　［OK］をクリックします。

コンピューターからの印刷のしかた

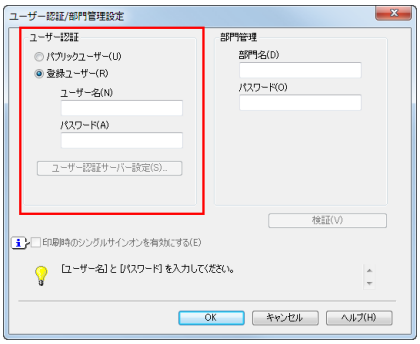
1　［基本設定］タブの［ユーザー認証 / 部門管理設定 ...］をクリックします。



2　ユーザー認証を行っている場合は、［登録ユーザー］を選び、ユーザー名とパスワードを入力します。

➔ 本機でパブリックユーザー（登録されていないユーザー）が許可されている場合は、［パブリックユーザー］を選ぶことで、ユーザー名とパスワードを入力せずに印刷できます。

➔ 外部の認証サーバーをお使いの場合は、［ユーザー認証サーバー設定 ...］をクリックし、認証サーバーを選びます。



➔ ［ユーザー名］には、コンピューターのログイン名が表示されています。

➔ 常に同じユーザー名とパスワードで印刷する場合は、あらかじめ登録しておくと、入力する手間が省けます。詳しくは、2-8 ページをごらんください。

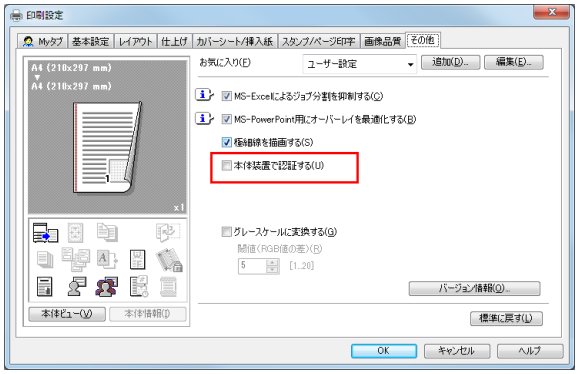
3　部門管理を行っている場合は、部門名とパスワードを入力します。

➔ 常に同じ部門名とパスワードで印刷する場合は、あらかじめ登録しておくと、入力する手間が省けます。詳しくは、2-8 ページをごらんください。

4　［OK］をクリックします。

➔ 本機と通信可能な場合は、［検証］をクリックすると、入力した認証情報で認証を実施し、印刷前に認証情報に誤りがないかを確認できます。

5　本体装置での認証と外部の認証サーバーでの認証を併用している場合に本体装置で認証を行うときは、［その他］タブで［本体装置で認証する］にチェックをつけます。



6　印刷を実行します。

認証情報が正しい場合は印刷されます。

関連設定（管理者向け）

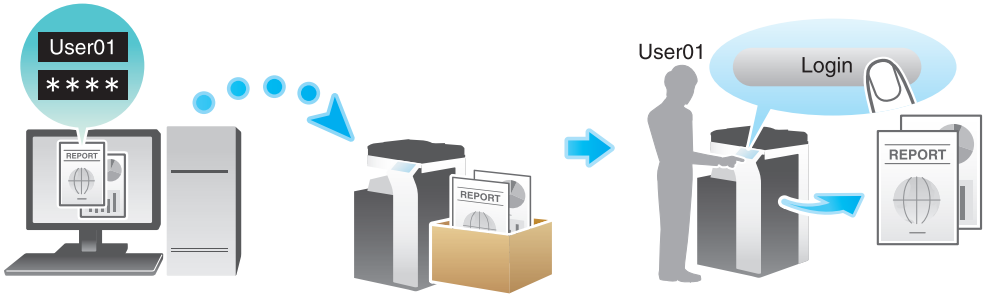
- ［認証 & プリント設定］で［認証 & プリント］が［使用する］に設定されている場合、プリンタードライバーの［出力方法］を［通常印刷］に設定していても認証 & プリントジョブとして扱われます（初期値：［使用しない］）。［認証 & プリント設定］について詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

2.5.5　本機で認証すると同時に印刷する（認証＆プリント）

認証＆プリントについて

認証＆プリントは、ユーザー認証を導入している環境で、印刷データを本機のボックス（認証＆プリントボックス）に保存する機能です。すぐに印刷されないため、印刷物の紛失や置忘れを防ぐことができます。

ボックスから印刷するには、本機でユーザー認証を行う必要があるため、機密性の高い文書を印刷する場合に適しています。認証に成功すると、ログインユーザーの印刷データが自動的に印刷されるため、セキュリティを強化するとともにスムーズな運用ができます。



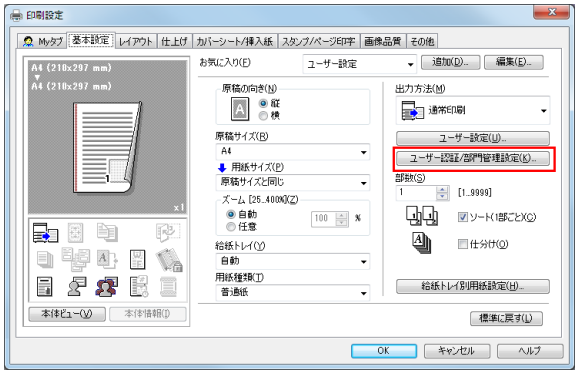
関連設定（管理者向け）

- 認証＆プリント機能を使うときの本機の動作を設定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。
- 認証＆プリントボックスに保存したファイルを自動的に削除するまでの時間を設定できます（初期値：［1 日］）。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。
- 認証＆プリントボックス内のファイルを印刷したあと、ユーザーに対して、ファイルの削除確認をせず、常に削除するかどうかを選べます（初期値：［ユーザーに確認］）。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

コンピューターからの印刷のしかた

1 ジョブで 2999 ページまでの文書を印刷できます。

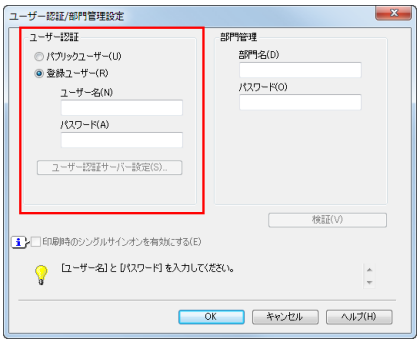
1　［基本設定］タブの［ユーザー認証 / 部門管理設定 ...］をクリックします。



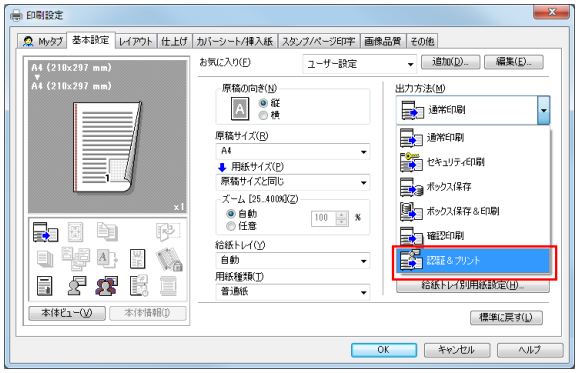
2　認証情報を入力し、［OK］をクリックします。

➔ ［ユーザー名］には、コンピューターのログイン名が表示されています。

➔ 詳しくは、2-72 ページをごらんください。



3　［出力方法］で［認証＆プリント］を選びます。



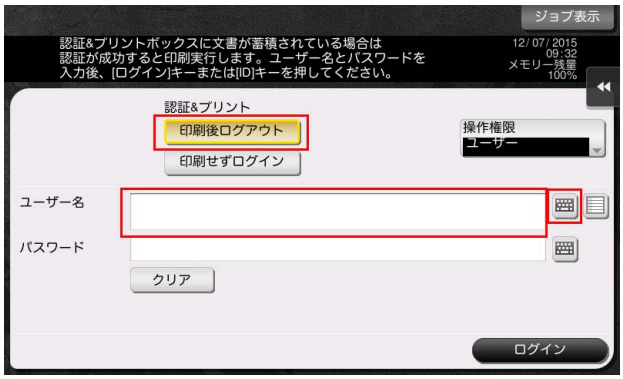
4　印刷を実行します。

認証 & プリントボックスに保存されます。続いて、「本機での操作」へ進みます。

➔ 本機で印刷データの読込みが完了する前に、**操作パネル**から印刷の指示を出すことができます。ただし、印刷は本機で印刷データの読込みが完了したあと行われます。

本機での操作

1　［ユーザー名］の入力エリアまたはキーボードアイコンをタップし、ユーザー名とパスワードを入力します。



2　［認証 & プリント］で［印刷後ログアウト］が選ばれていることを確認し、［ログイン］をタップします。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷後ログアウト］を選ぶと、データを印刷したあと、本機へログインしません。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷せずログイン］を選ぶと、データを印刷せずに、本機へログインします。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷後ログイン］を選ぶと、データを印刷したあと、本機へログインします。［印刷後ログイン］を表示するには、設定の変更が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

認証に成功すると、認証＆プリントボックスに保存されているすべてのデータが印刷されます。

参照

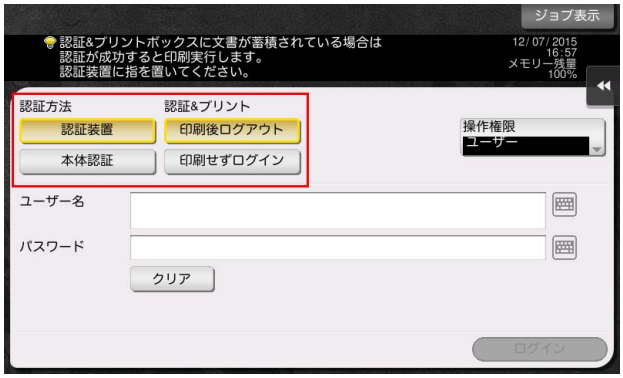
認証 & プリントボックス内の特定のデータだけを印刷したい場合は、認証 & プリントボックスを開き、印刷するデータを選びます。印刷のしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［ボックス機能］/［認証管理している複合機で印刷する (認証＆プリント)］」をごらんください。

本機での操作（認証装置をお使いの場合）

認証装置に指を置く、または IC カード／ NFC 対応 Android 端末をかざすだけで簡単に印刷できます。

✔ 認証の設定によっては、**認証装置**に指を置く、または IC カード／ NFC 対応 Android 端末をかざす前に、ユーザー名またはパスワードの入力が必要な場合があります。［ユーザー名］または［パスワード］の入力エリアまたはキーボードアイコンをタップして、ユーザー名またはパスワードを入力します。

1 ［認証方法］で［認証装置］が選ばれていることを確認します。



2 ［認証 & プリント］で［印刷後ログアウト］が選ばれていることを確認し、**認証装置**に指を置く、または IC カード／ NFC 対応 Android 端末をかざします。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷後ログアウト］を選ぶと、データを印刷したあと、本機へログインしません。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷せずログイン］を選ぶと、データを印刷せずに、本機へログインします。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷後ログイン］を選ぶと、データを印刷したあと、本機へログインします。［印刷後ログイン］を表示するには、設定の変更が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

認証に成功すると、認証＆プリントボックスに保存されているすべてのデータが印刷されます。

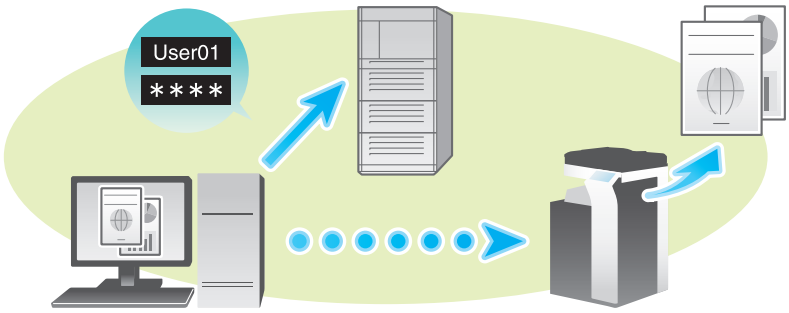
関連設定（管理者向け）

- **認証装置**で認証＆プリントを行う場合は、1 回の認証ですべてのジョブを印刷するか、1 つのジョブだけ印刷するかを選べます（初期値：［全ジョブ印刷］）。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

2.5.6　Active Directory のシングルサインオン環境で印刷する

シングルサインオンについて

本機のプリントサービスが Active Directory のドメインに参加している場合、同じドメインに参加しているコンピューターからであれば、プリンタードライバーで認証情報 (ユーザー名とパスワード) を入力することなく印刷できます。このとき、認証情報には、コンピューターのログイン画面で入力した認証情報を引用します。



お使いになるために必要な作業

プリンタードライバーの［装置情報］タブで、ユーザー認証とシングルサインオンが正しく設定されていることを確認します。

✔　あらかじめ本機を Active Directory のドメインに参加させる設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［本機を使えるユーザーを制限する］」をごらんください。

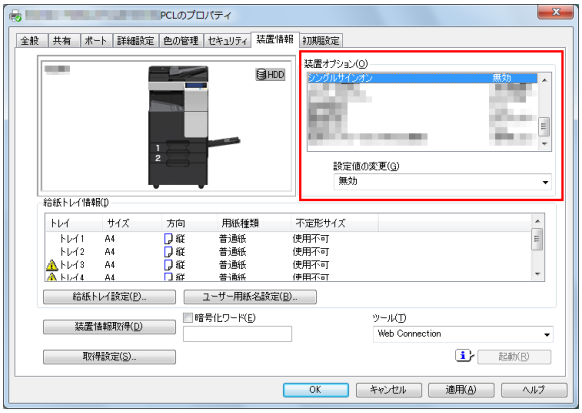
1　プリンタードライバーの［プロパティ］画面を表示します。

➔ ［プロパティ］画面の表示のしかたについては、2-93 ページをごらんください。

2　［装置情報］タブの［装置オプション］で、お使いの環境に合わせて、［ユーザー認証］と［シングルサインオン］が正しく設定されていることを確認します。

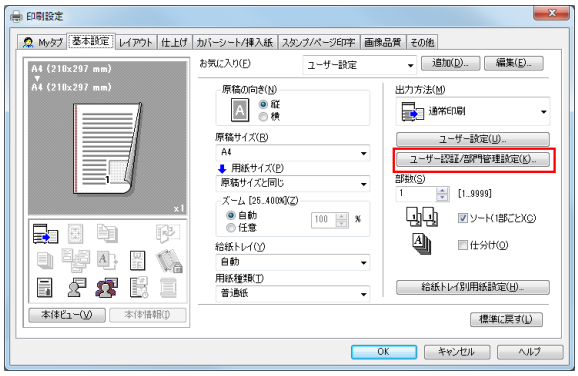
➔ 正しく設定されていない場合は、一覧から［ユーザー認証］および［シングルサインオン］を選び、［設定値の変更］からそれぞれの設定値を変更します。

➔ ［シングルサインオン］は、［ユーザー認証］を［外部サーバー認証］または［本体装置認証＋外部サーバー認証］に設定した場合に［有効］に設定できます。



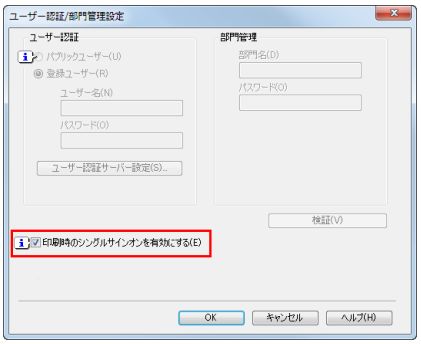
印刷のしかた

1　［基本設定］タブの［ユーザー認証 / 部門管理設定 ...］をクリックします。



2　［印刷時のシングルサインオンを有効にする］にチェックをつけ、［OK］をクリックします。

➔［ユーザー名］には、コンピューターのログイン名が表示されています。



3　［OK］をクリックします。

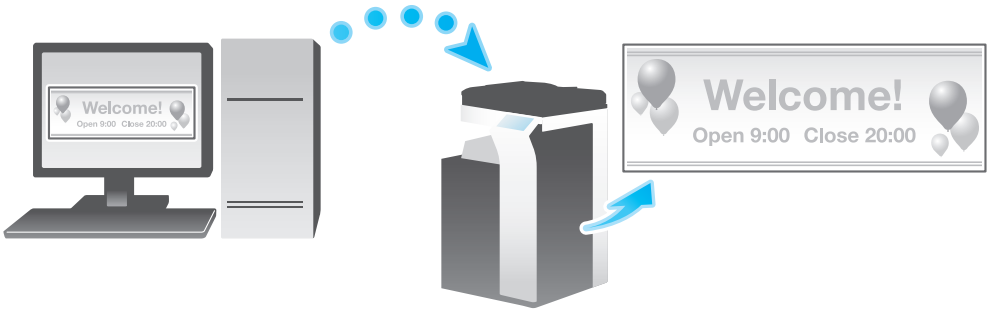
4　印刷を実行します。

印刷が開始されます。

2.5.7　長尺紙に印刷する

長尺紙への印刷について

本機は 1200 mm までの用紙を**手差しトレイ**にセットして印刷できます。



参考

- この機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

印刷できる用紙について

用紙幅	用紙長	用紙坪量
210 mm ～ 297 mm	431.9 mm ～ 1200 mm	127 g/m^2 ～ 210 g/m^2 (プリンタードライバーで、お使いの長尺用紙の坪量に対応した用紙種類を選んでください。 121 g/m^2 ～ 157 g/m^2：厚紙 1+、厚紙 1+(2 面目) 158 g/m^2 ～ 209 g/m^2：厚紙 2、厚紙 2(2 面目) 210 g/m^2：厚紙 3、厚紙 3(2 面目))

参考

- 長尺紙に印刷する場合、プリンタードライバーで長尺紙に対応した用紙を選ぶと、［給紙トレイ］が［手差し］に固定されます。

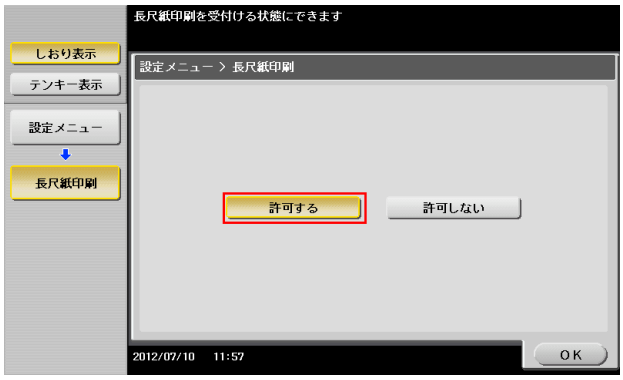
長尺紙印刷のしかた

長尺紙のサイズを指定して印刷します。

✔ ［認証 & プリント設定］で［認証 & プリント］が［使用する］に設定されている場合、長尺紙への印刷はできません (初期値：［使用しない］)。［認証 & プリント設定］について詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

1 本機の**タッチパネル**で、［設定メニュー］-［長尺紙印刷］をタップします。

2 ［許可する］を選び、［OK］をタップします。



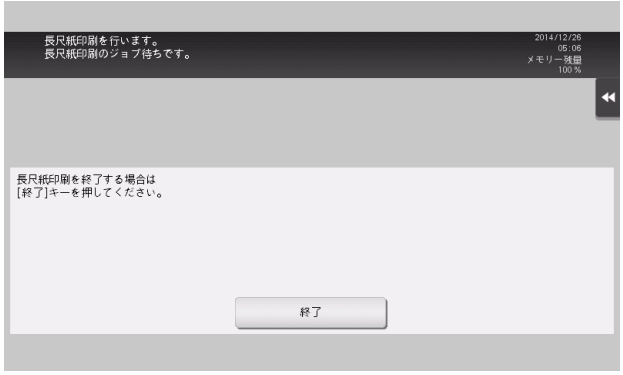
3　長尺紙印刷のジョブ待ちの画面になったことを確認します。

➔ 長尺紙印刷のジョブの待ち状態のときでも、以下の印刷ジョブ（長尺紙を除く）は受信できます。
コンピューターからの印刷：通常印刷、セキュリティ印刷、ボックス保存、ボックス保存 & 印刷、確認印刷、認証 & プリント
Web Connection からのダイレクトプリント：通常印刷、セキュリティ印刷、ボックス保存、確認印刷、認証 & プリント

➔ 長尺紙印刷のジョブの待ち状態のときでも、以下のファクスジョブは受信できます。
G3 ファクス、インターネットファクス、IP アドレスファクス、PC-FAX

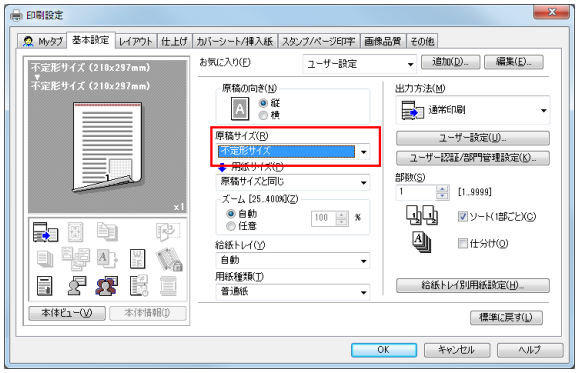
➔ 長尺紙印刷のジョブの待ち状態が解除されるまで、以下のジョブは実行待ちとなります。
転送ファクス、ファクスの中継配信、ファクスの TSI 受信振分け、ファクスのタイマー通信、PC-FAX 送信

➔ 長尺紙印刷のジョブの待ち状態のときは、以下の操作はできません。
Web Connection からのボックス内のファイルの印刷／送信／ダウンロード、WS スキャン、TWAIN スキャン

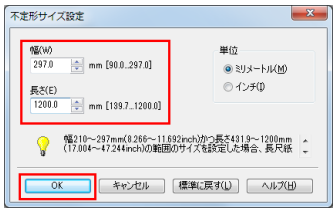


ここまで設定したら、コンピューターから印刷の操作に移ります。

4　［基本設定］タブの［原稿サイズ］で［不定形サイズ］を選びます。



5　長尺紙の幅と長さを指定し、［OK］をクリックします。



［設定変更の確認］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［はい］をクリックします。

［給紙トレイ］、［用紙種類］、［印刷種類］の設定が切換わります。

➔ 印刷する用紙の坪量に応じて、**手差しトレイ**の［用紙種類］の設定を変更します。

7 印刷を実行します。

本機の**タッチパネル**に、用紙のセットをうながすメッセージが表示されます。

8 **手差しトレイ**に長尺紙をセットします。

➔ **手差しトレイ**への長尺紙のセットのしかたについては、「ユーザーズガイド［はじめに］/［用紙をセットする］」をごらんください。

9 長尺紙をセットしたら、［セット完了］をタップします。

長尺紙への印刷が開始されます。排紙される長尺紙を手で支えてください。続けて印刷する場合は、コンピューターから印刷を指示します。

10 ［終了］をタップします。

長尺紙印刷の終了の確認メッセージが表示されます。終了する場合は、［はい］をタップします。

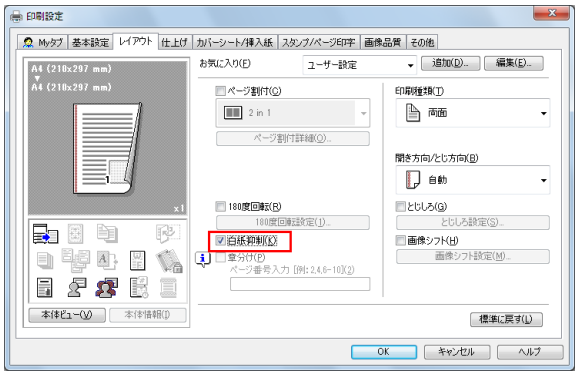
➔ 実行待ちのジョブがある場合は、ジョブが開始されます。

2.5.8 白紙ページを除いて印刷する（［白紙抑制］）

1 アプリケーションソフトウェアでファイルを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから［印刷］をクリックします。

2 ［プリンターの選択］（または［プリンター名］）で本機を選び、［詳細設定］（または［プロパティ］）をクリックします。

3 ［レイアウト］タブの［白紙抑制］にチェックをつけます。



4 ［OK］をクリックします。

5 ［印刷］をクリックします。

2.5.9　封筒やはがきに印刷する

ここでは、定形サイズの封筒やはがきをセットする場合について説明します。

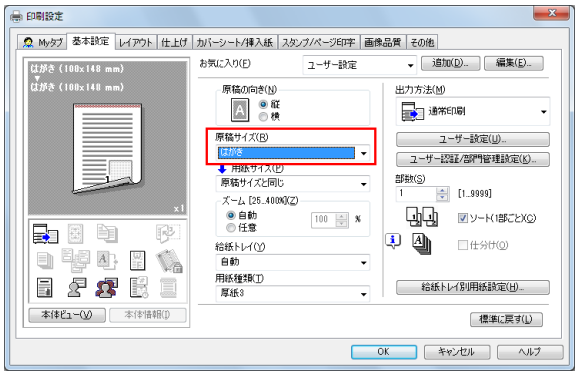
1　アプリケーションソフトウェアでファイルを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから［印刷］をクリックします。

2　［プリンターの選択］（または［プリンター名］）で本機を選んで、［詳細設定］（または［プロパティ］）をクリックします。

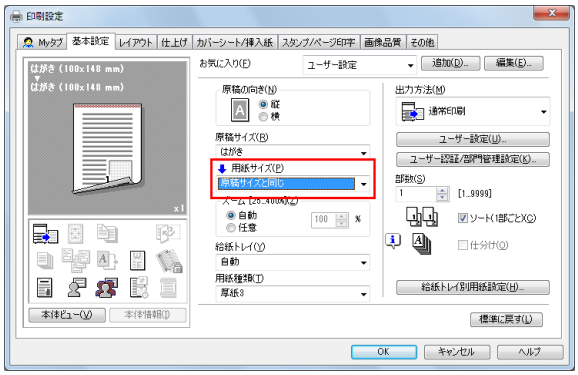
3　［基本設定］タブの［原稿サイズ］から、［封筒］または［はがき］を選びます。

➔ 封筒にはさまざまなサイズがあります。セットした封筒に合わせて適切な用紙サイズを選んでください。

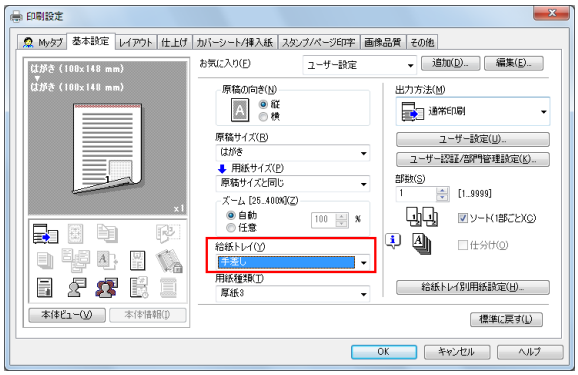
➔ ［はがき］を選ぶと、［用紙種類］が［厚紙 3］に自動的に設定されます。［封筒］を選ぶと、［用紙種類］が［封筒］に自動的に設定されます。



4　［用紙サイズ］が［原稿サイズと同じ］になっていることを確認します。

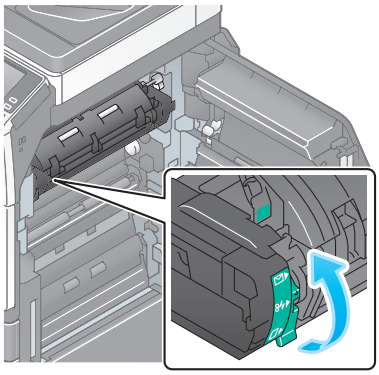


5　［給紙トレイ］から［手差し］を選びます。



6　［OK］をクリックします。

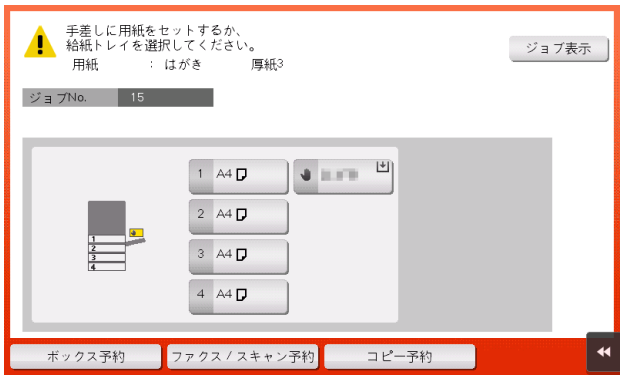
7　封筒をセットする場合は、**右ドア**を開き、**定着調節レバー**を封筒の位置（一番上）まで移動します。



8　**右ドア**を閉じます。

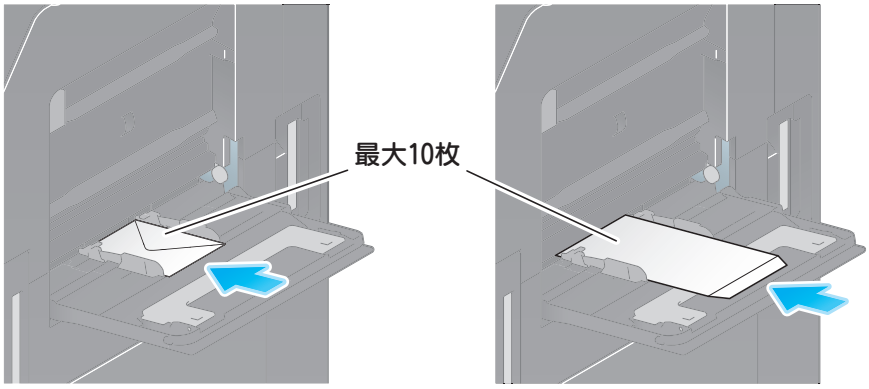
9　印刷を実行します。

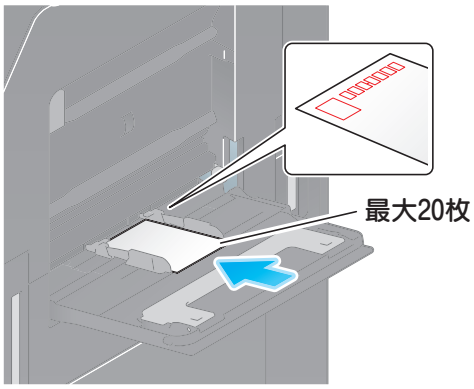
本機の**操作パネル**に以下の画面が表示されます。



10 印刷面を下向きにして、封筒やはがきを**手差しトレイ**にセットします。

➔ 封筒やはがきの先端が奥に当たるまで差込んでください。

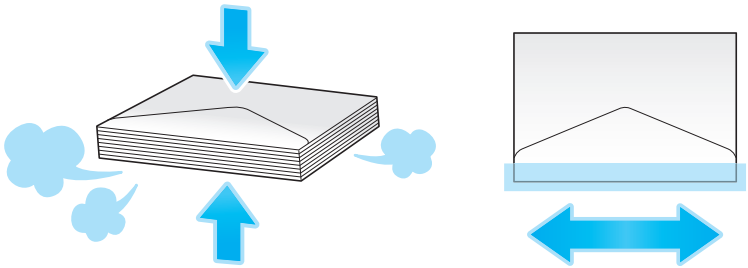




重要

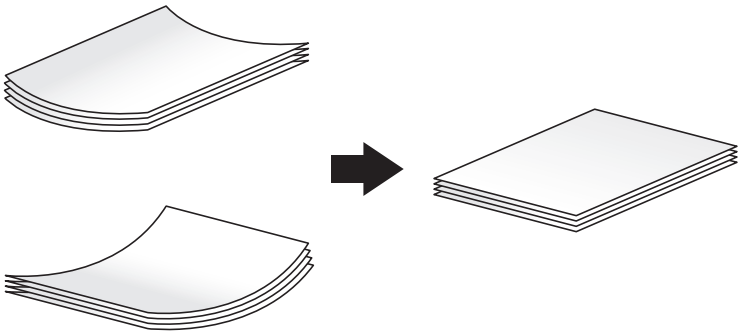
手差しトレイに封筒やはがきをセットする場合は、以下の点にご注意ください。

➔ 封筒をセットするときは、封筒内部の空気を押出し、封筒の折り目をしっかり押さえてください。空気が残っていたり折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわができたり、紙づまりの原因となります。

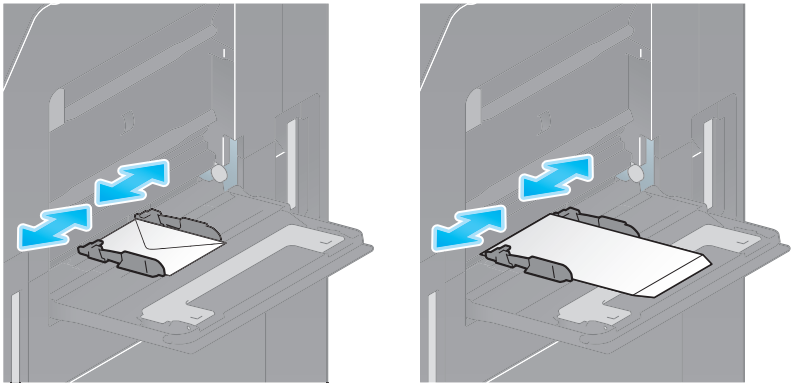


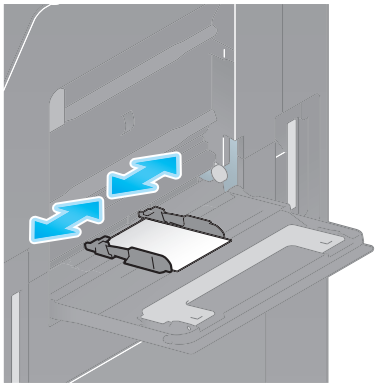
➔ フラップ（ふた）や胴のフラップ（ふた）がかぶさる部分に、のりやはく離紙のついた封筒は使用しないでください。故障の原因となります。

➔ カールしたはがきをセットする場合、図のようにカール（反り）を直したあとセットしてください。

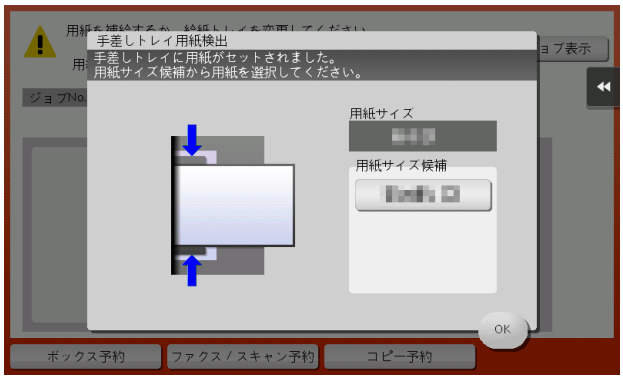


11 セットした用紙のサイズに合わせて、**ガイド板**をスライドします。



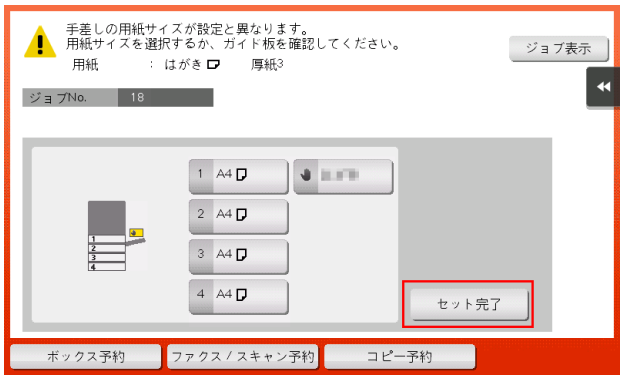


12 ［用紙サイズ候補］から、セットした用紙のサイズを選択し、［OK］をタップします。

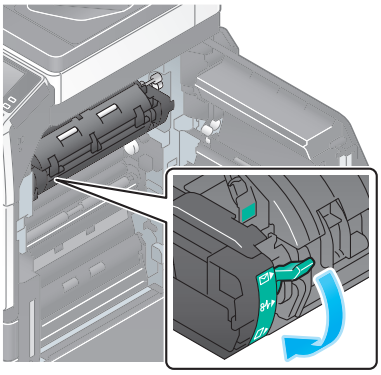


13 ［セット完了］をタップすると、印刷を開始します。

➔ ［セット完了］をタップできない場合は、プリンタードライバーと本体の用紙設定が一致しているかどうかを確認してください。また、**手差しトレイ**にセットされている封筒またははがきを取除き、もう一度セットしなおしてください。



封筒への印刷が完了したら、手順 7 で移動した**定着調節レバー**を通常印刷の位置（一番下）へ戻してください。



⚠ **注意**

- 本製品の内部には、高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。やけどの原因となります。

2.5.10 暗号化ワードを変更する

暗号化ワードについて

暗号化ワードは、プリンタードライバーを使って印刷するときに本機へ送るパスワードを暗号化するための情報です。

印刷するとき、お使いの機能によっては、ユーザーパスワードや部門パスワードのような認証パスワードを送ることがあります。パスワードは、本機にあらかじめ設定されている暗号化ワードを使って暗号化されますが、必要に応じて、暗号化ワードを変更できます。

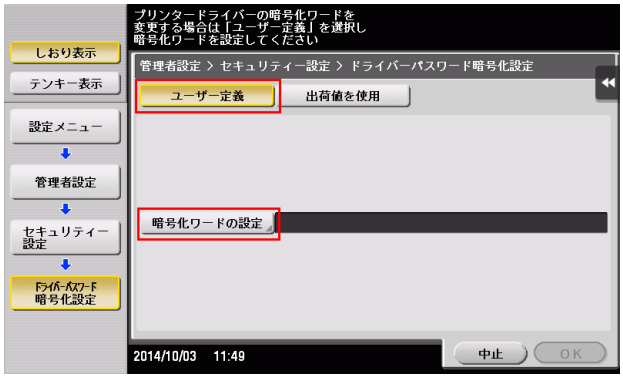
暗号化ワードを変更する場合は、本機とプリンタードライバーとで同じ暗号化ワードを設定する必要があります。

参考

- 本機とプリンタードライバーとで登録されている暗号化ワードが異なる場合は、暗号化されたパスワードを本機で復号できないため、印刷できません。

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

1 ［設定メニュー］-［管理者設定］-［セキュリティー設定］-［ドライバーパスワード暗号化設定］をタップします。



2 ［ユーザー定義］を選び、［暗号化ワードの設定］をタップします。

3 ［暗号化ワード］をタップし、変更する暗号化ワードを入力します（半角英数字記号 20 文字）。

➔ ［暗号化ワード確認入力］をタップし、確認のため暗号化ワードを再入力します。

➔ 「1111 ･･･」など、同一文字が連続する暗号化ワードは無効です。

4 ［OK］をタップします。

暗号化ワードが設定されます。

プリンタードライバーの設定

✔ 本機で暗号化ワードを変更しない場合は、この操作は行わないでください。

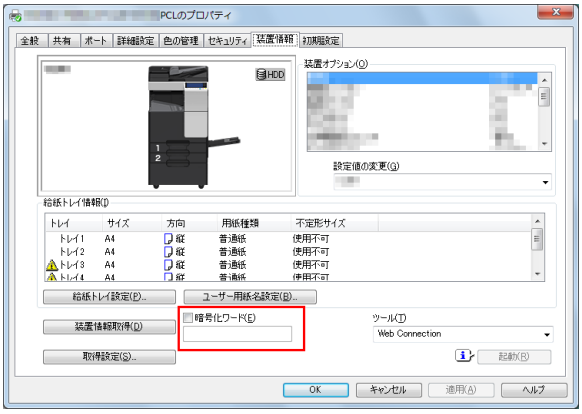
✔ OpenAPI を介した通信を SSL で暗号化し、プリンタードライバーからの装置情報の自動取得ができる状態であれば、暗号化ワードを本機から取得できます。OpenAPI を介した通信を SSL で暗号化する方法について詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

1 プリンタードライバーの［プロパティ］画面を表示します。

➔［プロパティ］画面の表示のしかたについては、2-93 ページをごらんください。

2 ［装置情報］タブの［暗号化ワード］にチェックをつけ、本機で設定した暗号化ワードと同じ暗号化ワードを入力します (半角英数字記号 20 文字)。

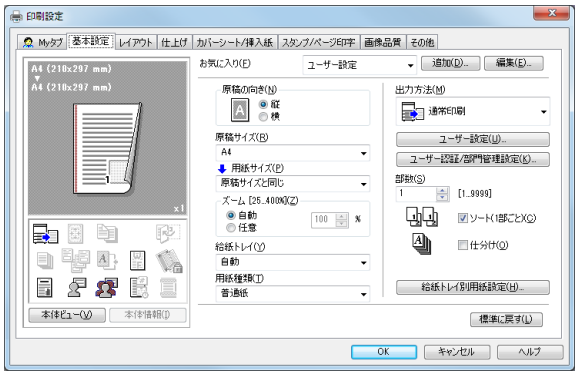
➔ 本機で暗号化ワードを変更しない場合は、［暗号化ワード］にチェックをつけないでください。



3 ［OK］をクリックします。

印刷のしかた

1 ［基本設定］タブで、［セキュリティ印刷］、［ボックス保存］、［ユーザー認証］などのパスワードを利用する印刷機能を設定します。



2 印刷を実行します。

プリンタードライバーに設定されている暗号化ワードによって、パスワードが暗号化されて送信されます。暗号化されたパスワードは、本機に設定されている暗号化ワードによって復号され、印刷またはボックスに保存されます。

2.5.11 アプリケーション用の PPD ドライバーを使って印刷する

アプリケーション用の PPD ドライバーについて

アプリケーション用 PPD ドライバーは、PageMaker などの PPD を必要とするアプリケーションをお使いになる場合にインストールします。

PPD の登録先 (例：PageMaker)

- PageMaker6.0 の場合：
  PPD ファイルを PageMaker がインストールされているフォルダー下の RSRC\PPD4 にコピーします。
- PageMaker6.5/7.0 の場合：
  PPD ファイルを PageMaker がインストールされているフォルダー下の RSRC\<Language>\PPD4 にコピーします。

印刷のしかた

アプリケーション用の PPD ドライバーを使った印刷のしかたを説明します。

1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、メニューバーから［ファイル］-［プリント］をクリックします。

2 プリントダイアログ内の［形式］コンボボックスで、本機を選びます。

3 ［用紙設定］や［プリンタ特性］で印刷設定をします。

4 ［印刷］ボタンをクリックし、印刷を実行します。

2.5.12 印刷データをサーバーにスプールする (My Print Manager)

My Print Manager について

My Print Manager は、ユビキタスプリント環境を構築するためのアプリケーションソフトウェアです。

My Print Manager を使うことで、サーバーに印刷データを蓄積 (スプール) しておくことができます。ユーザーは複合機を自由に選び、サーバーから印刷データをダウンロードして印刷できます。

参考

- 別途 My Print Manager をご購入いただき、あらかじめサーバーとクライアントの環境を構築する必要があります。詳しくは、My Print Manager のマニュアルをごらんください。

コンピューターからの印刷のしかた

✔ サーバーに印刷データをスプールするには、印刷するプリンターとして仮想プリンターを指定します。仮想プリンターについて詳しくは、My Print Manager のマニュアルをごらんください。

1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、メニューから印刷機能を選びます。

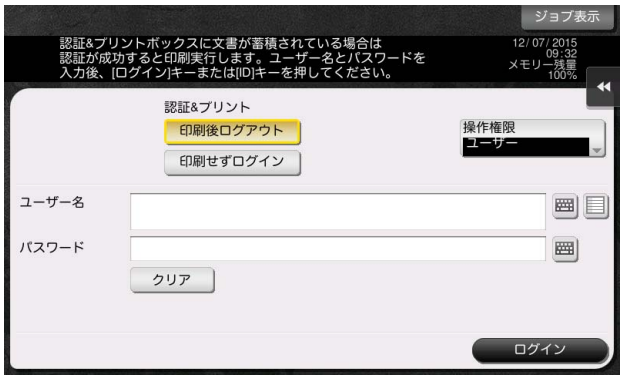
2 印刷先のプリンターとして仮想プリンターを指定します。

3 印刷を実行します。

印刷データがサーバーにスプールされます。

本機での操作

1 ユーザー名とパスワードを入力します。



2 ［認証 & プリント］で［印刷後ログアウト］が選ばれていることを確認し、［ログイン］をタップします。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷後ログアウト］を選ぶと、データを印刷したあと、本機へログインしません。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷せずログイン］を選ぶと、データを印刷せずに、本機へログインします。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷後ログイン］を選ぶと、データを印刷したあと、本機へログインします。［印刷後ログイン］を表示するには、設定の変更が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

認証に成功すると、スプールされているすべてのデータが印刷されます。

参照

特定のデータだけを印刷したい場合は、認証 & プリントボックスを開き、印刷するデータを選びます。詳しくは、My Print Manager のマニュアルをごらんください。

関連設定 (管理者向け)

- 認証＆プリントボックス内のデータを印刷したあと、データをボックスから削除するかどうかを、ユーザーに選ばせることができます (初期値 :［ユーザーに確認］)。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

2.6　プリンタードライバーの設定項目

2.6.1　プリンタードライバーの［プロパティ］画面について

［プロパティ］画面の表示のしかた

プリンタードライバーには、［プロパティ］画面と［印刷設定］画面の 2 つの設定画面があります。ここでは、［プロパティ］画面の説明をします。

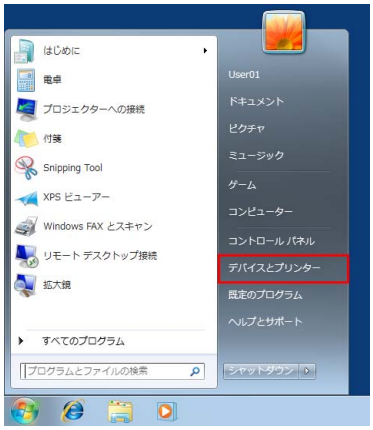
［プロパティ］画面では、本機のオプション環境の設定や、Windows の機能に関する設定ができます。
［プロパティ］画面は、次の手順で表示します。

1　プリンターのウィンドウを表示します。

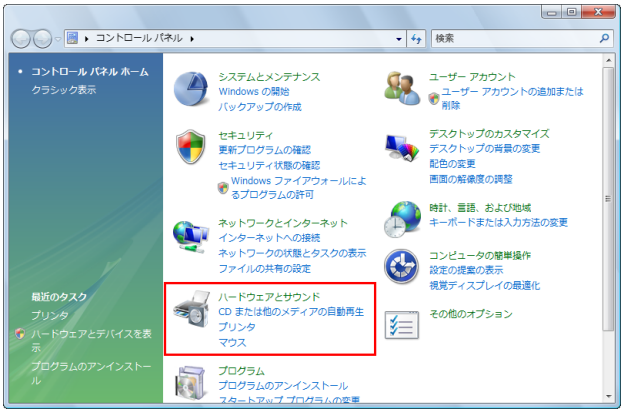
➔ Windows 8.1/10 の場合は、［Windows］(⊞) キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、［Windows］(⊞) キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェア］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。
［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

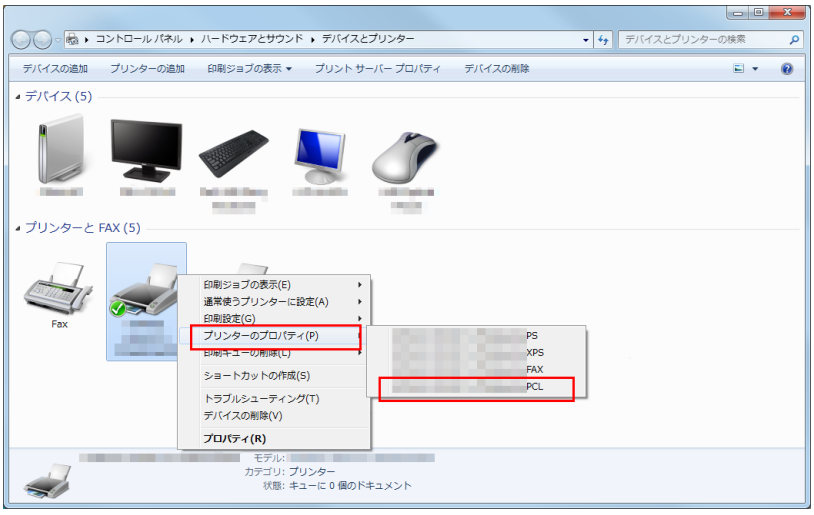


➔ Windows Server 2008 の場合は、スタートメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。
［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

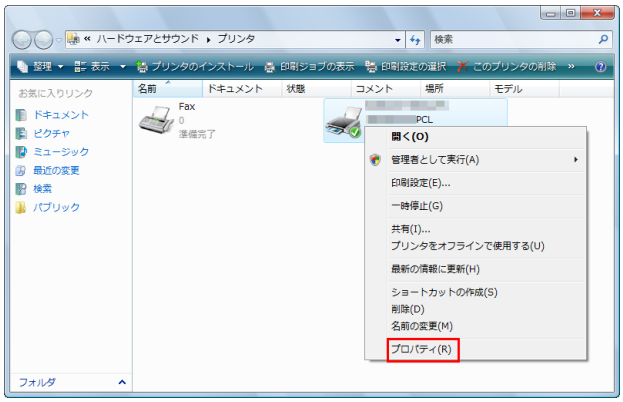


2　プリンターのプロパティを開きます。

➔ Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］から、表示されるプリンター名をクリックします。



➔ Windows Server 2008 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。



［プロパティ］画面が表示されます。

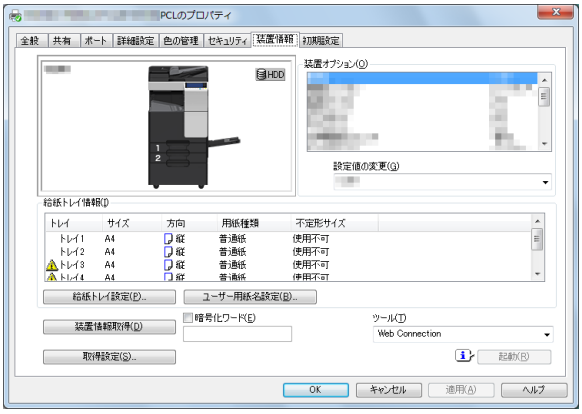
Windows が提供するタブについて

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］は、Windows が提供するタブです。

テストページの印刷、プリンターの共有設定、プリンターのポート設定などが行えます。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

2.6.2 ［装置情報］タブでできること

［装置情報］タブでは、本機のオプション装着状態や、給紙トレイに対する用紙種類の割当て情報などをプリンタードライバーで設定します。本機の情報を自動的に取得して設定することも、手動で登録することもできます。



設定		説明
［装置オプション］		本機の機種名、オプションの装着状態、認証設定を表示します。 本機の設定を取得できない場合は、手動で設定値を変更する必要があります。変更する項目を一覧から選び、［設定値の変更］から設定値を選びます。
［給紙トレイ情報］		本機の給紙トレイに対する用紙種類の割当て状態を表示します。 本機の設定を取得できない場合は、手動で設定値を変更する必要があります。［給紙トレイ設定 ...］で用紙種類の割当てを変更します。
［ユーザー用紙名設定 ...］		プリンタードライバーで利用するユーザー用紙名を登録します。用紙名と用紙種類をカスタム用紙名として設定します。
［装置情報取得］		本機と通信してオプションの装着状態を取得します。 ［取得設定 ...］で、本機の情報の取得方法を設定します。
［取得設定 ...］		本機の情報を取得するための設定をします。
	［自動取得］	本機の情報を常に自動で取得する場合にチェックをつけます。
	［取得先設定］	本機から情報を取得するときの通信設定をします。 • ［印刷するポートに接続される装置］：プリンタードライバーの［ポート］タブで設定している印刷ポートから情報を取得します。 • ［IP アドレスまたはプリンター名を指定］：入力した IP アドレスまたはプリンター名の装置に接続して情報を取得します。
	［Read Community Name］	本機側で SNMP Read Community Name を変更した場合は、本機から情報を取得するときに使う Read Community Name を入力します。
	［装置情報取得用パスワード］	本機側でプリンタードライバーからの情報の取得をパスワードで制限している場合は、認証用のパスワードを入力します。
	［プロキシサーバーを使用する］	コンピューターに設定されているプロキシサーバーを使って印刷および通信を行うかどうかを設定します。
［暗号化ワード］		暗号化ワードを独自に設定する場合にチェックをつけます。 暗号化ワードは、印刷するときに本機へ送る認証パスワードを暗号化するために使います。通常は、本機にあらかじめ登録されている暗号化ワードを使って暗号化しますが、必要に応じて、暗号化ワードを変更できます。 暗号化ワードを変更する場合は、まず本機の設定を変更し、プリンタードライバーには本機で設定した暗号化ワードと同じ暗号化ワードを入力します。 暗号化ワードの変更のしかたについて詳しくは、2-89 ページをごらんください。
［ツール］		Web Connection などの設定ツールを起動します。

参考

- ［取得設定 ...］の［自動取得］が有効の場合に、本機と通信できないときは、［プロパティ］画面や［印刷設定］画面を表示するのに時間がかかります。

関連設定 (管理者向け)

- プリンタードライバーからの装置情報の取得をパスワードで制限できます (初期値 :［しない］)。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

2.6.3　［初期設定］タブでできること

［初期設定］タブでは、確認メッセージや認証情報の入力画面の表示のしかたなどの初期設定を変更できます。

設定	説明
［メタファイル (EMF) スプールを行う］	独自のシステム環境で、メタファイル (EMF) スプールが必要な場合は、チェックをつけます。
［禁則発生時に確認メッセージを表示する］	プリンタードライバーで同時に使えない機能を設定したときにメッセージを表示する場合は、チェックをつけます。
［サーバープロパティ用紙を使用する］	プリンターの画面の［サーバーのプロパティ］で追加した用紙を使う場合は、チェックをつけます。
［印刷時の [出力方法] を保存する］	［基本設定］タブの［出力方法］の設定を保存します。同じ出力方法で繰返し利用するときなどに便利です。
［給紙トレイ別用紙設定］	［基本設定］タブで、［給紙トレイ］が［自動］以外の場合に、［用紙種類］で用紙種類を選択できるようにする場合は、チェックをはずします。
［オーバーレイファイルを共有する］	オーバーレイファイルを共有する場合、オーバーレイを保存するネットワーク上の共有フォルダーを設定します。
［認証設定］	ユーザー認証／部門管理に関する設定をします。 • ［印刷前に認証設定を検証する］:［ユーザー認証 / 部門管理設定］ダイアログボックスの［検証］ボタンを有効にする場合は、チェックをつけます。 • ［印刷時に認証設定の入力画面を表示する］:印刷するときに［ユーザー認証 / 部門管理設定］ダイアログボックスを表示する場合は、チェックをつけます。ユーザー名やパスワードの入力忘れを防ぎます。 • ［［ユーザー名］の変更を許可しない］:［基本設定］タブの［ユーザー認証 / 部門管理設定］ダイアログで［登録ユーザー］の［ユーザー名］の変更を禁止します。 • ［［パスワード］の変更を許可しない］:［基本設定］タブの［ユーザー認証 / 部門管理設定］ダイアログで［登録ユーザー］の［パスワード］の変更を禁止します。
［セキュリティ印刷設定］	セキュリティ印刷に関する設定をします。 • ［セキュリティ印刷に固定する］:［基本設定］タブの［出力方法］を［セキュリティ印刷］に固定します。 • ［セキュリティ印刷時に設定入力画面を表示する］:チェックをつけておくと、セキュリティ印刷を実行するときに［セキュリティ印刷］ダイアログボックスを表示します。文書 ID やパスワードの入力忘れを防ぎます。 • ［パスワード未入力時の印刷］:パスワードが入力されていない状態での印刷を許可するかどうかを設定します。

設定	説明
［My タブの設定 ...］	プリンタードライバーの［My タブ］をお使いになる場合に、［My タブ］の表示に関する設定をします。 • ［My タブを表示する］：［My タブ］を使う場合は、チェックをつけます。 • ［配置を共有する］：［My タブ］の設定内容を共有する場合は、チェックをつけます。クライアント側でサーバーの共有プリンターを指定してプリンタードライバーをインストールするときに、サーバー側で設定されている［My タブ］の設定内容を、クライアント側に引継げます。 • ［編集を禁止する］：クライアント側での［My タブ］の編集を禁止する場合は、チェックをつけます。 • ［説明文を表示する］：［My タブ］を開いたときに［My タブ］の説明文を表示する場合は、チェックをつけます。
［Wake-On-Lan 設定 ...］	Wake-On-Lan 機能に関する設定をします。 Wake-On-Lan 機能を使うには、あらかじめ本機で［ErP からの復帰］の設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。 • ［省電力モードから印刷前に復帰する］：本機が ErP オートパワー OFF 状態のときに、印刷ジョブを送信する前に通常モードに復帰させる場合は、チェックをつけます。 • ［MAC アドレス］：Web Connection の管理者モードの［ネットワーク］-［無線ネットワーク設定］-［デバイス設定］で表示される MAC アドレスを入力します。
［不定形サイズの登録 ...］	特殊なサイズの用紙に印刷することがある場合は、サイズを指定して用紙を登録します。 登録した用紙サイズは、［基本設定］タブの［原稿サイズ］で選べるようになります。

参考

- ［メタファイル (EMF) スプールを行う］は、PCL ドライバーの機能です。
- ［不定形サイズの登録 ...］は、PCL ドライバーの機能です。
- PS ドライバーで EMF スプール機能を利用する場合は、［詳細設定］タブにある［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックをつけて、EMF スプール機能を有効にしてください。
- ［サーバーのプロパティ］の開き方は、以下のとおりです。
  Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、プリンターを選び、ツールバーの［プリント サーバー プロパティ］をクリックします。
  Windows Server 2008 の場合は、［プリンタ］ウィンドウの何もない部分を右クリックし、［管理者として実行］-［サーバーのプロパティ］をクリックします。
- プリンタードライバーで使用できるサーバープロパティ用紙は、以下の範囲です。
  プリンタードライバーで設定できる不定形サイズの範囲：
  幅：90.0 ～ 297.0 mm、長さ：139.7 ～ 431.8 mm
  プリンタードライバーで設定できる長尺紙サイズの範囲：
  幅：210.0 ～ 297.0 mm、長さ：431.9 ～ 1200.0 mm
  大判用紙サイズの設定範囲 1：
  幅：297.1 ～ 841.0 mm、長さ：139.7 ～ 1189.0 mm
  大判用紙サイズの設定範囲 2：
  幅：90.0 ～ 209.0 mm、長さ：431.9 ～ 1189.0 mm
  上記の不定形サイズや長尺紙サイズの範囲で登録した用紙は、プリンタードライバーの［原稿サイズ］、［用紙サイズ］の両方で選択できますが、大判用紙サイズの範囲で登録した用紙サイズは、プリンタードライバーの［原稿サイズ］でのみ選択できます。
- ［My タブ］上の機能の配置は、Driver Packaging Utility で設定することによって、各ユーザーが同じ配置で使えるようにできます。
  Driver Packaging Utility でドライバーパッケージを作成するときに、パッケージの元となるプリンタードライバーを希望する My タブ配置に変更し、さらに［My タブの設定 ...］で［My タブを表示する］、［配置を共有する］にチェックしてから Driver Packaging Utility の設定でプリンターの設定をコピーするように設定してください。Driver Packaging Utility の設定については、Driver Packaging Utility のヘルプをごらんください。

参照

［My タブ］の編集のしかたについて詳しくは、2-17 ページをごらんください。

2.6.4　プリンタードライバーの［印刷設定］画面について

［印刷設定］画面の表示のしかた

プリンタードライバーには、［プロパティ］画面と［印刷設定］画面の 2 つの設定画面があります。ここでは、［印刷設定］画面の説明をします。

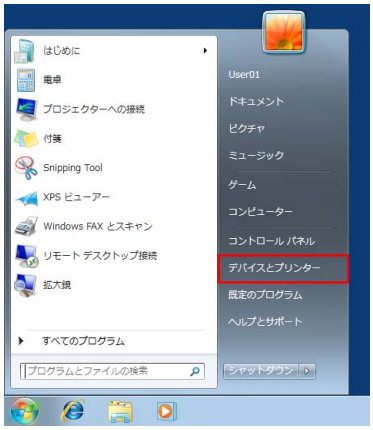
［印刷設定］画面は、機能のまとまりごとに複数のタブで構成され、本機固有の印刷機能を設定できます。［印刷設定］画面は、次の手順で表示します。

1　プリンターのウィンドウを表示します。

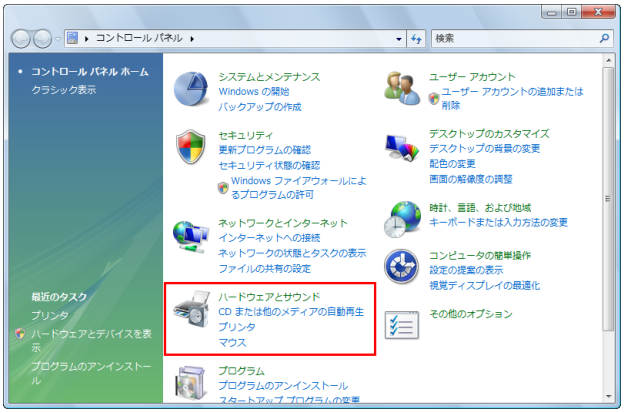
➔ Windows 8.1/10 の場合は、［Windows］( ) キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、［Windows］( ) キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェア］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。
［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

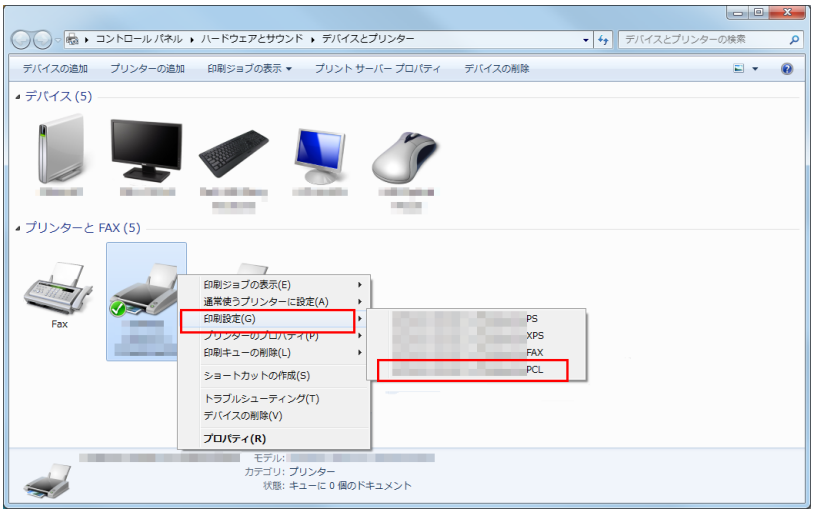


➔ Windows Server 2008 の場合は、スタートメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。
［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

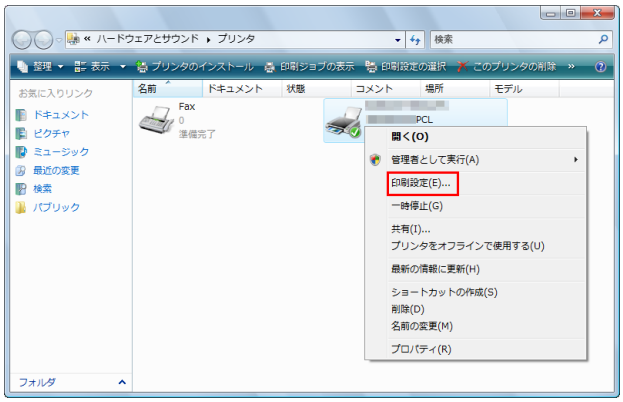


2 ［印刷設定］を開きます。

➔ Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、［印刷設定］から、表示されるプリンター名をクリックします。



➔ Windows Server 2008 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［印刷設定 ...］をクリックします。



プリンターの［印刷設定］画面が表示されます。

参考

- ここで変更した印刷設定は、初期値として登録されます。アプリケーションソフトウェアから印刷するときに一時的に設定を変更したいときは、［印刷］画面で［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックして［印刷設定］画面を開いてください。

各タブで共通の項目

各タブの画面で共通の設定やボタンについて説明します。

設定	説明
［お気に入り］	現在の印刷設定をお気に入りとして登録し、印刷するときに呼出せます。 ［お気に入り］について詳しくは、2-16 ページをごらんください。
ビュー	［用紙ビュー］を選ぶと、現在の設定でのページレイアウトのサンプルを表示し、印刷結果のイメージを確認できます。 ［本体ビュー］を選ぶと、現在本機に装着されている給紙トレイなどのオプションを含むプリンター構成の図を表示します。
［本体情報］	Web Connection を起動し、本体情報を確認できます。本機と通信可能な状態で有効です。
［OK］	変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
［キャンセル］	変更した設定を無効 (キャンセル) にして、設定画面を閉じます。
［ヘルプ］	画面の各項目についてのヘルプを表示します。
［標準に戻す］	設定内容を初期値の状態に戻します。

2.6.5 ［My タブ］でできること

［My タブ］は、表示内容を自分専用にカスタマイズできるタブです。

異なるタブに配置されている設定項目を［My タブ］にまとめることができます。よく使う設定項目を［My タブ］に登録しておけば、タブを切換えずに 1 画面でスムーズに設定変更ができます。

［My タブ］の編集のしかたについて詳しくは、2-17 ページをごらんください。

設定	説明
［もっと詳しく］	［My タブ］のヘルプを表示します。
［次回から表示しない］	［もっと詳しく］を含む説明欄を表示しない場合は、チェックをつけます。
［My タブの編集 ...］	［My タブ］に表示する機能を登録／削除します。

参考

- ［もっと詳しく］や［次回から表示しない］を含む説明欄は、［プロパティ］画面の［初期設定］タブ -［My タブの設定］で［説明文を表示する］が無効になっている場合は表示されません。
- ［My タブの編集 ...］は、［プロパティ］画面の［初期設定］タブ -［My タブの設定］-［編集を禁止する］が有効になっている場合は表示されません。

参照

［初期設定］タブについて詳しくは、2-97 ページをごらんください。

2.6.6 ［基本設定］タブでできること

［基本設定］タブでは、用紙や印刷に関する基本的な設定ができます。通常の印刷でよく使われる機能が、このタブ上に配置されています。

設定		説明
［原稿の向き］		アプリケーションソフトウェアで作った原稿の向きを指定します。 プリンタードライバーを開いたときに、アプリケーションソフトウェアで設定した内容と異なる場合に合わせてください。
［原稿サイズ］		アプリケーションソフトウェアで作った原稿のサイズを選びます。 プリンタードライバーを開いたときに、アプリケーションソフトウェアで設定した内容と異なる場合に合わせてください。 不定形サイズの用紙に印刷する場合は、［不定形サイズ］を選び、幅と長さを指定します。詳しくは、2-19 ページをごらんください。
［用紙サイズ］		印刷する用紙のサイズを選びます。 原稿サイズと異なる場合で、［ズーム］が［自動］に設定されているときは、選んだ用紙サイズに合わせて拡大または縮小されます。 不定形サイズの用紙に印刷する場合は、［不定形サイズ］を選び、幅と長さを指定します。詳しくは、2-19 ページをごらんください。
［ズーム］		印刷画像の拡大縮小のしかたを選びます。 • ［自動］：［用紙サイズ］で指定したサイズの用紙に合わせて拡大または縮小します。 • ［任意］：指定した倍率で拡大または縮小します (25-400%)。
［給紙トレイ］		印刷する用紙の給紙トレイを選びます。 ［自動］を選ぶと、［用紙サイズ］で選んだ用紙がセットされているトレイを自動的に使います。
［用紙種類］		印刷する用紙の種類を選びます。
［出力方法］		本機から原稿を印刷する方法を選びます。
	［通常印刷］	通常の印刷をするときに選びます。
	［セキュリティ印刷］	機密性の高い文書を印刷するときに選びます。本機側で文書 ID とパスワードを入力することによって印刷します。 詳しくは、2-68 ページをごらんください。
	［ボックス保存］	原稿を本機のボックスに保存するときに選びます。 詳しくは、2-70 ページをごらんください。
	［ボックス保存 & 印刷］	原稿を本機のボックスに保存し、同時に印刷するときに選びます。 詳しくは、2-70 ページをごらんください。
	［確認印刷］	大量の部数を印刷するときに選びます。1 部だけ印刷して残りの部数の印刷を待機します。 詳しくは、2-64 ページをごらんください。
	［認証 & プリント］	ユーザー認証を導入している環境で、機密性の高い文書を印刷するときに選びます。本機側で認証を実施することで印刷します。 詳しくは、2-75 ページをごらんください。
［ユーザー設定 ...］		［出力方法］で［セキュリティ印刷］または［ボックス保存］(［ボックス保存 & 印刷］) を選んだときに、必要な情報を入力します。
［ユーザー認証 / 部門管理設定 ...］		ユーザー認証や部門管理を導入している場合に、ユーザー名または部門名とパスワードを入力します。詳しくは、2-72 ページをごらんください。
［部数］		複数の部数を印刷するときに、印刷する部数を指定します。
［ソート (1 部ごと)］		複数の部数を印刷するときに、1 部ずつ区別して排紙するときはチェックをつけます。 チェックをはずすと、原稿の 1 ページ目を［部数］で指定した枚数だけ排紙し、同様に、2 ページ目、3 ページ目と排紙します。
［仕分け］		複数の部数を印刷するときに、1 部ずつ位置をずらして排紙するときはチェックをつけます。

設定	説明
［給紙トレイ別用紙設定 ...］	印刷する用紙の種類を給紙トレイ別に指定します。［給紙トレイ］を［自動］以外に指定した場合に、ここで指定されている用紙種類の情報が適用されます。 本機の給紙トレイにセットされている用紙の状態と合わせてください。この設定は、管理者権限がないため、［プロパティ］画面の［装置情報］タブの設定を変更できない場合などに利用します。 ［プリンタードライバーの設定］で、トレイを選んだあと、選んだトレイにセットする用紙種類を［用紙種類］から指定します。［装置の状態を反映］をクリックすると、設定が反映されます。 ［初期設定］タブで［給紙トレイ別用紙設定］が有効の場合に設定できます。

参考

- ［原稿サイズ］で A0、A1、A2、B1、B2、B3 が選べますが、［用紙サイズ］で指定された用紙サイズに合わせて縮小されます。この場合、［用紙サイズ］で［原稿サイズと同じ］は選べません。
  また、サーバープロパティ用紙に登録した大判用紙サイズも、［用紙サイズ］で指定された用紙サイズに合わせて縮小されます。サーバープロパティ用紙は、［初期設定］タブで［サーバープロパティ用紙を使用する］にチェックをつけた場合に選べます。
- 定形サイズ全面に印刷したい場合は、［原稿サイズ］で各定形用紙の「W」を選ぶことで、原稿サイズより大きな用紙にセンタリングして印刷できます。
  たとえば、A4 サイズのデータを A3 サイズの用紙にセンタリングして印刷する場合、「A4W」の用紙サイズでデータを作成し、プリンタードライバーの［原稿サイズ］を［A4W］に、［給紙トレイ］を使用するトレイに設定します。
  本機側では、使用するトレイに A3 サイズの用紙をセットし、次の方法で用紙サイズを確認します。
  コピーモードの［用紙］でトレイを選び、［選択トレイの設定変更］-［ワイド紙］で［A4W］を指定したときに、［用紙サイズ］で［自動検出］が選択され、A3 が表示されていることを確認します。
  印刷用紙が不定形サイズの場合は、**トレイ 1**、**トレイ 2**、**手差しトレイ**のいずれかを使い、［選択トレイの設定変更］-［ワイド紙］で［A4W］、［サイズ変更］で使用する用紙サイズを入力します。
- ［用紙種類］の［2 面目］は、用紙の裏面に印刷するときに指定します。
- ［用紙種類］の［ユーザー紙］は、本機側に登録されている用紙種類です。
- ［装置情報］タブの［ユーザー用紙名設定 ...］でカスタム用紙を登録した場合は、登録したカスタム用紙を［用紙種類］で選べます。

2.6.7 ［レイアウト］タブでできること

［レイアウト］タブでは、印刷するときのレイアウトに関する設定ができます。用紙への割付けかたや、印刷位置の調整などができます。

設定	説明
［ページ割付］	印刷する原稿の用紙への割付けかたを選びます。 • ［2 in 1］／［4 in 1］／［6 in 1］／［9 in 1］／［16 in 1］： 複数のページを 1 枚の用紙の同じ面に縮小して印刷します。たとえば、［9 in 1］を選ぶと、9 ページ分を 1 枚の用紙の同じ面に縮小して印刷します。 • ［2 × 2］／［3 × 3］／［4 × 4］（PCL のみ）： 原稿画像を拡大し、複数の用紙に分割して印刷します。たとえば、［2 × 2］であれば、1 ページの原稿を 4 枚の用紙に分割して印刷します。つなぎ合わせると、ポスターのように大きく仕上ります。 必要に応じて、［ページ割付詳細 ...］をクリックして、割付けかたの詳細な設定をします。 • ［ページ割付］：割付けかたを選びます。 • ［順序］：［ページ割付］で「N in 1」を指定したときに、ページ配置の順序を選びます。 • ［境界］：［ページ割付］で「N in 1」を指定したときに、ページ間に境界線を入れる場合は、チェックをつけます。あわせて、境界線の種類を選びます。 • ［のりしろ線］：［ページ割付］で「N × N」を指定したときに、のりしろを作る場合は、チェックをつけます。
［180 度回転］	原稿を 180 度回転して印刷するときにチェックをつけます。 ［180 度回転設定 ...］をクリックして、180 度回転の対象を詳細に指定します。 • ［対象］：180 度回転する対象の原稿を指定します。 • ［原稿サイズ］：［対象］で［原稿サイズと向きを指定する］を選んだときに、180 度回転する対象の原稿サイズを指定します。 • ［原稿の向き］：［対象］で［原稿サイズと向きを指定する］を選んだときに、180 度回転する対象の原稿の向きを指定します。
［白紙抑制］	原稿の白紙ページを印刷対象から除外するときにチェックをつけます。
［章分け］	［印刷種類］で［両面］または［小冊子］を選んで印刷する場合に、表面に配置したいページがあるときはチェックをつけます。 ［ページ番号入力］で、表面に配置するページのページ番号を指定します。複数のページ番号を入力するときは、「2,4,6」のようにカンマで区切るか、「6-10」のようにハイフンでつないで入力します。
［印刷種類］	用紙の印刷面を選びます。 • ［片面］：用紙の片面に印刷します。 • ［両面］：用紙の両面に印刷します。 • ［小冊子］：小冊子の形態になるように印刷します。原稿データの順番を並べ換え、見開きで両面印刷します。印刷後、用紙をまとめて 2 つ折りにすると、本のようなページ順になります。
［開き方向 / とじ方向］	ステープルでとじたり、パンチ穴をあけたりするときに、とじ位置を選びます。
［とじしろ］	印刷した用紙にとじしろ (余白) を作るときにチェックをつけます。 ［とじしろ設定 ...］をクリックして、余白量を詳細に指定します。 • ［シフトモード］：とじしろを作るときの、画像のずらし方を選びます。 • ［表面］：表面のとじしろ量を指定します。 • ［裏面］：両面印刷する場合は、裏面のとじしろ量を指定します。［表面と裏面を同じ値にする］にチェックをつけると、表と裏で同じだけとじしろを作ります。
［画像シフト］	用紙に対する画像の印刷位置を微調整 (シフト) して印刷するときにチェックをつけます。 ［画像シフト設定 ...］をクリックして、印刷位置を詳細に指定します。 • ［表面］：表面の上下左右のシフト量を指定します。 • ［裏面］：両面印刷する場合は、裏面の上下左右のシフト量を指定します。［表面と裏面を同じ値にする］にチェックをつけると、表と裏で同じだけシフトします。

2.6.8 ［仕上げ］タブでできること

［仕上げ］タブでは、印刷物の仕上げに関する設定ができます。

設定	説明
［ステープル］	印刷した用紙をステープルでとじるときにチェックをつけます。あわせて、ステープルの数ととじ位置を指定します。
［中とじ］	印刷した用紙の中央 2ヶ所をステープルでとじるときにチェックをつけます。［レイアウト］タブの［印刷種類］を［小冊子］に設定したときに使います。
［パンチ］	印刷した用紙にパンチ穴 (とじ穴) をあけるときにチェックをつけます。あわせて、パンチ穴の数と位置を指定します。
［折り］	印刷した用紙を折り加工するときにチェックをつけます。あわせて、折りかたを選びます。
［折りページ指定］	［折り］で［中折り (ページ単位)］または［三つ折り (ページ単位)］を選んだ場合に、一度に折り加工するページ数を指定します。
［排紙トレイ］	印刷した用紙を排紙するトレイを選びます。
［辺あわせ］	両面印刷する場合のとじ位置を、全データが揃ってから補正するか、受信しながら順に補正するかを選びます。 • ［仕上り優先］：全データ受信後に一括で辺あわせの処理をします。すべてのページを同じ条件で補正します。 • ［生産性優先］：印刷しながら順番に処理します。

参考

- ステープル機能を使うには、オプションの**フィニッシャー**が必要です。
- 中折り／中とじ／三つ折り機能を使うには、オプションの**中とじ機付フロアフィニッシャー**が必要です。
- パンチ機能を使うには、オプションの**フィニッシャー**と**パンチキット**が必要です。

2.6.9 ［カバーシート / 挿入紙］タブでできること

［カバーシート / 挿入紙］タブでは、表紙やページの挿入ができます。また、ページの途中でレイアウトや仕上げを変更することもできます。

設定	説明
［表カバー］	表紙を挿入して印刷するときにチェックをつけます。あわせて、［表カバー用トレイ］で、表紙用の給紙トレイを選びます。また、表紙として挿入した用紙に印刷するかどうかを選びます。 • ［白紙］：表紙として挿入した用紙には印刷しません。 • ［印刷］：表紙として挿入した用紙に、原稿の最初のページを印刷します。 ［基本設定］タブの［給紙トレイ］で［自動］以外を選んだ場合に設定できます。
［裏カバー］	裏表紙を挿入して印刷するときにチェックをつけます。あわせて、［裏カバー用トレイ］で、裏表紙に使う用紙の給紙トレイを選びます。また、裏表紙として挿入した用紙に印刷するかどうかを選びます。 • ［白紙］：裏表紙として挿入した用紙には印刷しません。 • ［印刷］：裏表紙として挿入した用紙に、原稿の最後のページを印刷します。 ［基本設定］タブの［給紙トレイ］で［自動］以外を選んだ場合に設定できます。
［ページ単位設定］	原稿に用紙を挿入したり、印刷設定をページごとに変更したりするときにチェックをつけます。あわせて、印刷に適用するリストを選びます。 あらかじめ［リスト編集 ...］をクリックして、詳細な印刷条件を設定したリストを作成します。詳しくは、2-51 ページをごらんください。
［OHP 合紙］	複数枚の OHP フィルムに印刷する場合に、OHP フィルムの間に用紙を挿入するときはチェックをつけます。あわせて、［合紙用トレイ］で、挿入する用紙の給紙トレイを選びます。 ［基本設定］タブの［用紙種類］で［OHP フィルム］を選んだ場合に設定できます。

設定	説明
［カーボンコピー］	原稿を複数のトレイにセットされている異なる用紙に印刷するときにチェックをつけます。 ［カーボンコピー］にチェックをつけると、［カーボンコピー設定］画面が表示されます。カーボンコピー印刷時の排紙順序や、カーボンコピー用トレイを設定します。詳しくは、2-21 ページをごらんください。

2.6.10 ［スタンプ / ページ印字］タブでできること

［スタンプ / ページ印字］タブでは、原稿に文字や画像を追加するための設定ができます。原稿に日時やページ番号を追加したり、ウォーターマークやオーバーレイ画像を合成したりできます。

設定		説明
［ウォーターマーク］		原稿にウォーターマーク (文字スタンプ) を印字するときにチェックをつけます。あわせて、印字するウォーターマークを一覧から選びます。 ［編集 ...］をクリックすると、ウォーターマークの登録や編集ができます。詳しくは、2-36 ページをごらんください。
［オーバーレイ］		原稿に合成するためのオーバーレイ画像を作成します。また、作成したオーバーレイ画像を原稿に合成します。
	［PC に画像を作成］	アプリケーションソフトウェアで作成したデータを、原稿に合成するためのオーバーレイ画像として、コンピューターに保存します。詳しくは、2-40 ページをごらんください。
	［共有フォルダーに画像を作成］	アプリケーションソフトウェアで作成したデータを、原稿に合成するためのオーバーレイ画像として、ネットワーク上の共有フォルダーに保存します。詳しくは、2-41 ページをごらんください。
	［PC の画像を印刷］	［PC に画像を作成］または［共有フォルダーに画像を作成］で作成したオーバーレイ画像を、原稿に合成して印刷します。 ［編集 ...］をクリックすると、オーバーレイ画像の追加や削除、オーバーレイ画像の合成方法の変更ができます。詳しくは、2-38 ページをごらんください。
	［装置の画像を印刷］（PCL のみ ）	本機に登録されているオーバーレイ画像を、原稿に合成して印刷します。 ［編集 ...］をクリックすると、オーバーレイ画像の追加や削除、オーバーレイ画像の合成方法の変更ができます。詳しくは、2-38 ページをごらんください。
［コピーセキュリティ］		印刷物の不正コピーを抑止するためのパターンを原稿に合成します。 ［編集 ...］をクリックすると、コピーセキュリティの印字項目や、印字のしかたなどの詳細な設定ができます。詳しくは、2-45 ページをごらんください。
	［コピープロテクト］	印刷した用紙のすべてのページに、「コピー」や「社外秘」などの文字を、背景パターンの中に目立たない文字として印字します。
	［繰り返しスタンプ］	印刷した用紙のページ全体に、「コピー」や「社外秘」などの文字を、目に見える状態で印字します。
［日付 / 時刻］		原稿に印刷日時を追加するときにチェックをつけます。 ［編集 ...］をクリックすると、印字する位置や表記のしかたを変更できます。詳しくは、2-42 ページをごらんください。
［ページ番号］		原稿にページ番号を追加するときにチェックをつけます。 ［編集 ...］をクリックすると、印字する位置や印字を開始するページなどを変更できます。詳しくは、2-42 ページをごらんください。
［ヘッダー / フッター］		原稿の上下の余白部分 (ヘッダー／フッター) に、日付や時刻をはじめ、任意の文字を追加するときにチェックをつけます。ヘッダー／フッターに追加する情報は、あらかじめ本機に登録したものの中から選びます。 ［編集 ...］をクリックすると、ヘッダー／フッターを印字するページの範囲などを変更できます。詳しくは、2-43 ページをごらんください。

参考

- 以下の機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。［オーバーレイ］の［装置の画像を印刷］、［コピーセキュリティ］、［日付 / 時刻］、［ページ番号］、［ヘッダー / フッター］

2.6.11 ［画像品質］タブでできること

［画像品質］タブでは、原稿画質に関する設定ができます。カラーの設定や、イメージの処理、フォントの処理をどのようにするかを設定できます。

お使いのプリンタードライバーによって、設定できることが異なります。

設定	説明
［カラー選択］	印刷する色を選びます。 • ［オートカラー］：原稿の色に合わせてカラーを自動選択して印刷します。 • ［フルカラー］（PS のみ）：原稿の色に関わらず、フルカラーで印刷します。 • ［グレースケール］：原稿の色に関わらず、モノクロで印刷します。色付き文字や線、図形などが薄く印刷されないようにするときは、［黒で印刷］（PCL のみ）にチェックをつけます。 • ［2 色カラー］（PCL のみ）：指定した 2 色で印刷します。色つき原稿のグレー部分とカラー部分を、それぞれ［2 色］で指定した色の組合わせで印刷します。
［画質調整］	原稿に合わせて画質を微調整します。 • ［簡易］：原稿全体の画質を調整します。印刷時に使うカラープロファイルのタイプなどを指定します。 • ［詳細］：原稿の画質を、文字、写真、図／表／グラフの要素ごとに細かく調整します。印刷時に使うカラープロファイルのタイプや適用するプロファイルなどを要素ごとに指定します。 • PS ドライバーをお使いの場合は、［画質調整］で ICC プロファイルの管理ができます。詳しくは、2-61 ページをごらんください。
［カラー設定］	原稿に合わせてカラー設定のモードを選びます。 • ［文書］：文字、グラフ、図形、写真などが混在した原稿に適したカラー設定にします。 • ［写真］：イメージ品質を優先したカラー設定にします。 • ［DTP］：文字や図形などが混在した原稿に適したカラー設定にします。ディスプレイの表示を忠実に再現します。 • ［Web］：Web ページの印刷に適したカラー設定にします。低解像度のイメージを滑らかに再現します。 • ［CAD］：細線で構成される原稿に適したカラー設定にします。イメージを高解像度で再現します。
［パターン］（PCL のみ）	パターンの密度を選びます。
［イメージ圧縮］（PCL のみ）	原稿に含まれるイメージデータの圧縮方法を選びます。 • ［標準］：品質を優先します。品質は向上しますが、印刷に時間がかかります。 • ［高圧縮（速度優先）］：速度を優先します。印刷にかかる時間は短縮されますが、印刷の品質は低下します。 • ［高圧縮・画像縮小（速度最優先）］：イメージデータを圧縮および縮小し、速度を最優先します。イメージデータによっては、印刷にかかる時間を［高圧縮（速度優先）］よりも短縮できます。
［自動トラッピング］	版ずれや白抜けを抑えたいときにチェックをつけます。絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣合う色を重ねて印刷します。
［ブラックオーバープリント］（PS のみ）	黒い文字や図の周りに発生する白抜けを抑えたいときにチェックをつけます。黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣合う色に黒を重ねて印刷します。 • ［文字］：黒い文字だけをオーバープリントで印刷します。 • ［文字 / 図］：黒い文字と図をオーバープリントで印刷します。
［光沢モード］	画像に光沢をつけて印刷するときにチェックをつけます。印刷速度は低下します。
［トナー節約］	トナー消費量を節約したいときにチェックをつけます。印刷濃度を抑えます。
［エッジ強調］	小さい文字や薄い文字をくっきりさせたいときにチェックをつけます。表文字、グラフィックなど、画像のエッジ部分を強調して、読みやすくします。
［フォント設定］	文字の処理方法を指定します。 コンピューターから本機にダウンロードするフォントのタイプを選びます。 また、印刷時に、TrueType をプリンターフォントに置換えるかどうかを指定します。 PCL ドライバーをお使いの場合に文字化けが発生するときは、［ダウンロードフォント］で［ビットマップ］を選び、［プリンターフォントを使用する］のチェックをはずすことをおすすめします。

2.6.12 ［その他］タブでできること

［その他］タブでは、ドライバーのバージョン確認やアプリケーションソフトウェアの印刷設定ができます。

設定	説明
［MS-Excel によるジョブ分割を抑制する］	Microsoft Excel でページ設定の異なる複数のシートを同時に印刷するときにチェックをつけます。 ページ設定の異なる複数のシートを同時に印刷すると、データによっては、シートごとのジョブに分割される場合があります。この機能によってジョブの分割をできるだけ抑止します。
［MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する］（PCL のみ）	Microsoft PowerPoint のデータにオーバーレイ画像を重ねて印刷するときにチェックをつけます。 PowerPoint データの白背景がオーバーレイ画像を隠さないように、白色部分を除去します。チェックをはずすと、背景を除去せず、原稿どおりに印刷します。
［極細線を描画する］（PCL のみ）	縮小印刷するときにチェックをつけます。細い線が消えてしまうことを抑止します。 Excel で作成した表罫線のような細線に対して効果がありますが、イラストなどの細線には効果がありません。
［本体装置で認証する］	本体装置認証とサーバー認証を併用してユーザー認証を行っている場合に、本体装置の認証機能を利用してログインするときはチェックをつけます。 ［装置情報］タブの［装置オプション］-［ユーザー認証］を［本体装置認証 + 外部サーバー認証］または［本体装置認証 + 拡張サーバー認証］に設定している場合に設定できます。
［グレースケールに変換する］（PCL のみ）	原稿の RGB 値を確認し、それぞれの差が、設定した閾値以下であればグレースケールに変換します。［画像品質］タブの［カラー選択］で［オートカラー］を選んだ場合に有効です。
［バージョン情報］	お使いのプリンタードライバーのバージョンを確認します。

参考

- ［MS-Excel によるジョブ分割を抑制する］、［MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する］は、64 ビット環境 (Windows 7 x64、Windows 8.1 x64、Windows 10 x64、Windows Server 2008 x64、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016) で 32 ビットのアプリケーションソフトウェアを使用している場合は、お使いいただけません。
- ［MS-Excel によるジョブ分割を抑制する］は、［デバイスとプリンター］（Windows Server 2008 の場合は［プリンタ］）ウィンドウで、プリンタードライバーの設定ダイアログボックスを表示した場合に変更できます。

2.7　プリンタードライバーを削除する

削除プログラムで削除する

インストーラーを使ってインストールした場合は、プリンタードライバーの削除機能が組込まれています。

✔　この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

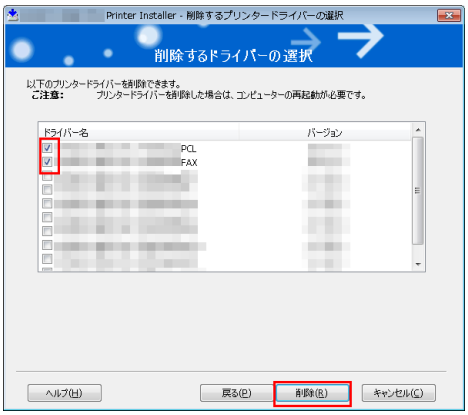
1　削除プログラムを起動します。

➔ スタートメニューから［すべてのプログラム］(または［プログラム］)-［MFP-Printer Utility］-［XXXSeries］-［プリンタードライバーの削除］をクリックします。

➔ Windows 8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、［Windows］( ) キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［プログラムと機能］をクリックします。一覧から［Generic XXXSeries］をダブルクリックします。

2　削除するプリンタードライバーを選び、［削除］をクリックします。

➔ 以降は、表示される画面に従って操作してください。



3　再起動する画面が表示されたら［OK］をクリックし、再起動します。

以上で、プリンタードライバーの削除の完了です。

インストーラーを使って削除する

インストーラーを使ってインストールした場合は、インストーラーを使って削除できます。

✔　この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

1　プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

➔ インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。

➔ インストーラーが起動しない場合は、DVD 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて［Setup.exe］(32 ビット環境の場合) または［Setup64.exe］(64 ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。

2　［使用許諾契約書に同意します］にチェックをつけます。

3　［セットアップ内容の選択］で［プリンタードライバーの削除］を選び、［次へ］をクリックします。

4　削除するプリンタードライバーを選び、［削除］をクリックします。

➔ 以降は、表示される画面に従って操作してください。

5　再起動する画面が表示されたら［OK］をクリックし、コンピューターを再起動します。

以上で、プリンタードライバーの削除の完了です。

2.8 付録：プリンタードライバーの手動インストール

2.8.1 接続方法を確認する

Windows 7/8.1/10/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 をお使いの場合

本機とコンピューターとの接続方法によって、プリンタードライバーのインストール方法が異なります。また、ネットワーク接続でお使いになる場合は、印刷のためのプロトコルが複数あり、プロトコルによってプリンタードライバーのインストール方法が異なります。

プリンターの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法

接続方法	説明
LPR	LPR(Line Printer Remote) プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使い、印刷ポートに LPR を使います。 • インストールのしかたは、2-112 ページをごらんください。
Port 9100	Port 9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使い、印刷ポートに RAW を使います。 • インストールのしかたは、2-112 ページをごらんください。
SMB	Windows でファイル共有やプリンター共有を実現する SMB(Server Message Block) を利用したネットワーク接続です。TCP/IP のプロトコルに対応しています。 • インストールのしかたは、2-119 ページをごらんください。
IPP/IPPS	IPP(Internet Printing Protocol) プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP(HyperText Transfer Protocol) を利用し、インターネット経由で印刷できます。 IPPS は、SSL による暗号化通信をする IPP です。 • インストールのしかたは、2-126 ページをごらんください。
Web サービスプリント	Windows コンピューターの Web サービス機能に対応した接続で、ネットワーク上のプリンターを自動的に検出して接続します。 • インストールのしかたは、2-129 ページをごらんください。
USB	USB ポートによる接続です。

プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法

接続方法	説明
USB	USB ポートによる接続です。 • インストールのしかたは、2-133 ページをごらんください。

参考

- ユーザーズガイドでは、フォルダー名やファイル名をルートから記述していない場合があります。
- Windows 用プリンタードライバーを手動でインストールする場合は、ファイルはすべて JA(Japanese) フォルダー内のドライバーファイルを指定してください。

2.8.2　LPR/Port 9100 接続でインストールする

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

LPR/Port9100 の使用環境を設定します。

- Port 9100 を利用する場合：
  RAW ポート番号が指定されていることを確認します（通常は、初期設定の状態でお使いいただけます）。設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［プリント機能の使用環境を設定する］」をごらんください。
- LPR を利用する場合：
  LPD が有効になっていることを確認します（通常は、初期設定の状態でお使いいただけます）。設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［プリント機能の使用環境を設定する］」をごらんください。

Windows 8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 をお使いの場合

ネットワーク上のプリンターを自動検出してインストールする方法と、新しくポートを作成してインストールする方法があります。

✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

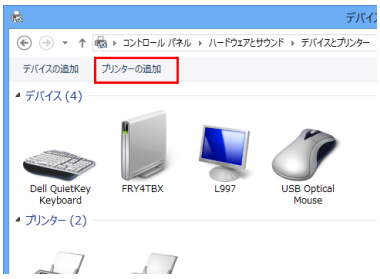
1 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

2 プリンターのウィンドウを表示します。

➔ Windows 8.1/10 の場合は、［Windows］（⊞）キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、［Windows］（⊞）キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェア］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

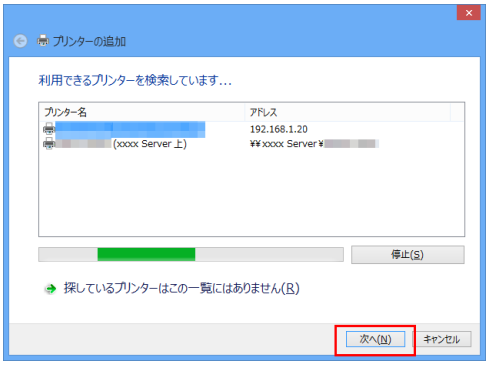
3 プリンターの追加を選びます。



［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

4 一覧から本機を選び、［次へ］をクリックします。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機を再起動してください。
➔ 画面に表示されているプリンター一覧から、目的のプリンターを IP アドレスで確認して選びます。
➔ すべてのプリンターを検索するまでに時間がかかる場合があります。



5 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

6 ［参照 ...］をクリックします。

7 DVD 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、PS ドライバー

8 ［OK］をクリックします。

［プリンター］リストが表示されます。

9 ［次へ］をクリックします。

10 画面の指示に従って操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックします。

11 ［完了］をクリックします。

12 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

13 DVD を DVD ドライブから取出します。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

新しくポートを作成してインストールする場合の手順は以下のとおりです。

✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

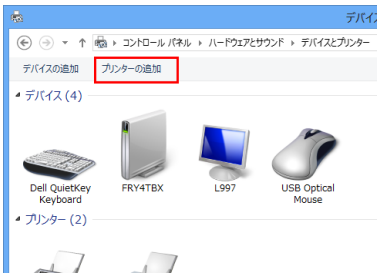
1 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

2 プリンターのウィンドウを表示します。

➔ Windows 8.1/10 の場合は、［Windows］( ) キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、［Windows］( ) キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェア］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

3 プリンターの追加を選びます。



4 プリンターが検出された画面で、［探しているプリンターはこの一覧にはありません］をクリックします。

5 ［ローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する］をクリックします。

6 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、［Standard TCP/IP Port］を選びます。

7 ［次へ］をクリックします。

8 ［TCP/IP デバイス］を選び、IP アドレスを入力します。

9 ［次へ］をクリックします。

10 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

11 ［参照 ...］をクリックします。

12 DVD 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、PS ドライバー

13 ［OK］をクリックします。

［プリンター］リストが表示されます。

14 ［次へ］をクリックします。

15 画面の指示に従って操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックします。

16 ［完了］をクリックします。

17 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

18 DVD を DVD ドライブから取出します。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

Windows 7/Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合

ネットワーク上のプリンターを自動検出してインストールする方法と、新しくポートを作成してインストールする方法があります。

ネットワーク上のプリンターを自動検出してインストールする場合の手順は以下のとおりです。

✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

1 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

2 プリンターのウィンドウを表示します。

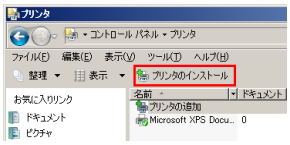
➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。
［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。［コントロール パネル］がアイコン表示になっている場合は、［デバイスとプリンター］をダブルクリックします。

➔ Windows Server 2008 の場合は、スタートメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

3 プリンターの追加を選びます。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［プリンターの追加］をクリックします。

➔ Windows Server 2008 の場合は、［プリンタのインストール］をクリックします。



［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

4 ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します］をクリックします。

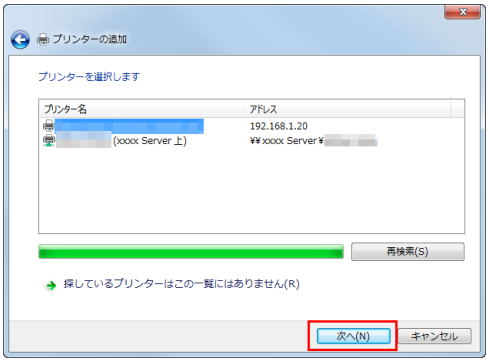
接続されているプリンターが検出されます。

5 一覧から本機を選び、［次へ］をクリックします。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機を再起動してください。

➔ 画面に表示されているプリンター一覧から、目的のプリンターを IP アドレスで確認して選びます。

➔ すべてのプリンターを検索するまでに時間がかかる場合があります。



6 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

7 ［参照 ...］をクリックします。

8 DVD 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、PS ドライバー

9 ［OK］をクリックします。

［プリンター］リストが表示されます。

10 ［次へ］をクリックします。

11 画面の指示に従って操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックします。

12 ［完了］をクリックします。

13 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

14 DVD を DVD ドライブから取出します。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

新しくポートを作成してインストールする場合の手順は以下のとおりです。

✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

1 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

2 プリンターのウィンドウを表示します。

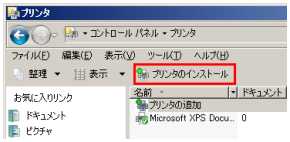
➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。
［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。［コントロール パネル］がアイコン表示になっている場合は、［デバイスとプリンター］をダブルクリックします。

➔ Windows Server 2008 の場合は、スタートメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

3 プリンターの追加を選びます。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［プリンターの追加］をクリックします。

➔ Windows Server 2008 の場合は、［プリンタのインストール］をクリックします。



［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

4 ［ローカル プリンターを追加します］をクリックします。

［プリンター ポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、［Standard TCP/IP Port］を選びます。

6 ［次へ］をクリックします。

7 ［TCP/IP デバイス］を選び、IP アドレスを入力します。

8 ［次へ］をクリックします。

➔ ［追加のポート情報が必要です］画面が表示される場合は、手順 9 へ進みます。

➔ ［プリンター ドライバのインストール］ダイアログボックスが表示される場合は、手順 12 へ進みます。

9 ［カスタム］をチェックし、［設定 ...］をクリックします。

10 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

➔ LPR 接続の場合は、［LPR］にチェックをつけ、［キュー名 :］に「Print」と入力します。大文字、小文字も正確に入力する必要があります。

➔ Port 9100 接続の場合は、［Raw］にチェックをつけ、［ポート番号 :］に RAW ポート番号 (初期設定では［9100］) を入力します。

➔ 本機で LPR と Port 9100 の両方が有効の場合、プリンタードライバーと本機は LPR で接続されます。

11 ［次へ］をクリックします。

［プリンター ドライバのインストール］ダイアログボックスが表示されます。

12 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

13 ［参照 ...］をクリックします。

14 DVD 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、PS ドライバー

15 ［OK］をクリックします。

［プリンター］リストが表示されます。

16 ［次へ］をクリックします。

17 画面の指示に従って操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックします。

18 ［完了］をクリックします。

19 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

20 DVD を DVD ドライブから取出します。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

2.8.3　SMB 接続でインストールする

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

SMB の使用環境を設定します。

設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［プリント機能の使用環境を設定する］」をごらんください。

Windows 8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 をお使いの場合

ネットワーク上のプリンターを自動検出してインストールする方法と、新しくポートを作成してインストールする方法があります。

✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

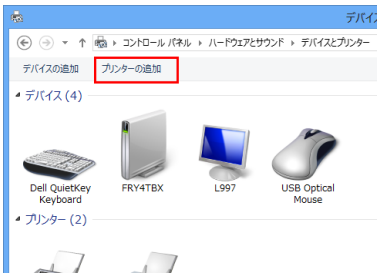
1 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

2 プリンターのウィンドウを表示します。

➔ Windows 8.1/10 の場合は、［Windows］（⊞）キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、［Windows］（⊞）キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェア］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

3 プリンターの追加を選びます。



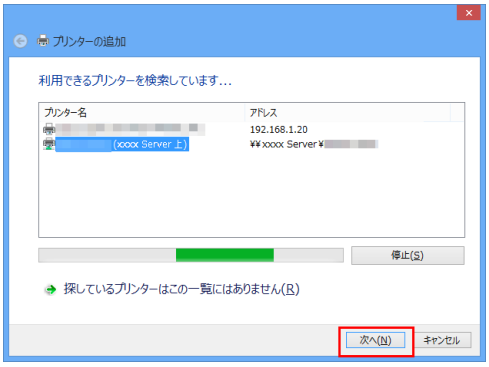
［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

4 一覧から本機を選び、［次へ］をクリックします。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機を再起動してください。

➔ 「￥￥NetBIOS 名￥プリントサービス名」のプリンターを選びます。
NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の［設定メニュー］-［管理者設定］-［ネットワーク設定］-［SMB 設定］-［SMB サーバー設定］-［SMB プリント設定］で確認できます。

➔ すべてのプリンターを検索するまでに時間がかかる場合があります。



5 ［OK］をクリックします。

6 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

7 ［参照 ...］をクリックします。

8 DVD 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、PS ドライバー

9 ［OK］をクリックします。

［プリンター］リストが表示されます。

10 ［OK］をクリックします。

11 画面の指示に従って操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックします。

12 ［完了］をクリックします。

13 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

14 DVD を DVD ドライブから取出します。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

新しくポートを作成してインストールする場合の手順は以下のとおりです。

✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

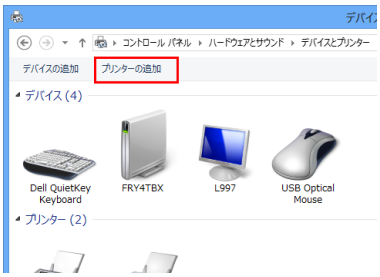
1 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

2 プリンターのウィンドウを表示します。

➔ Windows 8.1/10 の場合は、［Windows］( ) キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、［Windows］( ) キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェア］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

3 プリンターの追加を選びます。



4 プリンターが検出された画面で、［探しているプリンターはこの一覧にはありません］をクリックします。

5 ［ローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する］をクリックします。

6 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、［Local Port］を選びます。

7 ［次へ］をクリックします。

8 IP アドレスやポートを設定します。

➔ ［ポート名］ボックスに「￥￥NetBIOS 名￥プリントサービス名」を入力します。

➔ NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の［設定メニュー］-［管理者設定］-［ネットワーク設定］-［SMB 設定］-［SMB サーバー設定］-［SMB プリント設定］の名前を入力してください。

9 ［OK］をクリックします。

10 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

11 ［参照 ...］をクリックします。

12 DVD 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、PS ドライバー

13 ［OK］をクリックします。

［プリンター］リストが表示されます。

14 ［次へ］をクリックします。

15 画面の指示に従って操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックします。

16 ［完了］をクリックします。

17 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

18 DVD を DVD ドライブから取出します。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

Windows 7/Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合

ネットワーク上のプリンターを自動検出してインストールする方法と、新しくポートを作成してインストールする方法があります。

ネットワーク上のプリンターを自動検出してインストールする場合の手順は以下のとおりです。

✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

1 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

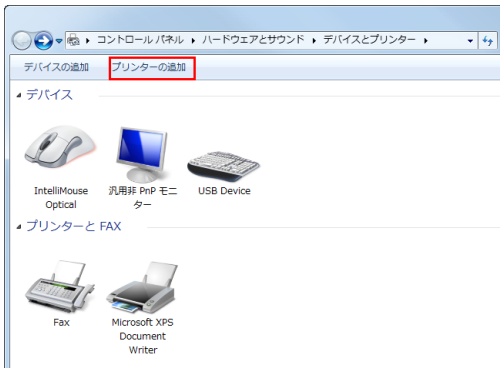
2 プリンターのウィンドウを表示します。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。
［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。［コントロール パネル］がアイコン表示になっている場合は、［デバイスとプリンター］をダブルクリックします。

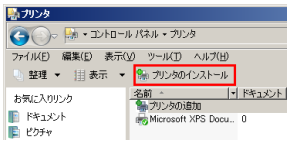
➔ Windows Server 2008 の場合は、スタートメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

3 プリンターの追加を選びます。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［プリンターの追加］をクリックします。



➔ Windows Server 2008 の場合は、［プリンタのインストール］をクリックします。



［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

4 ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します］をクリックします。

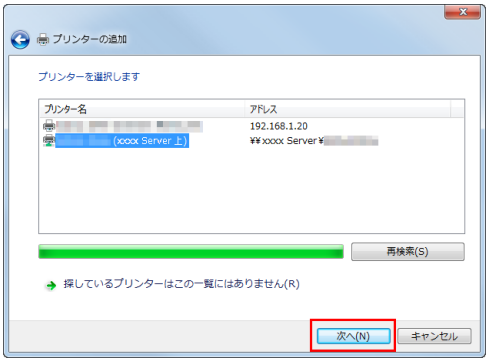
接続されているプリンターが検出されます。

5 一覧から本機を選び、［次へ］をクリックします。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機を再起動してください。

➔ 「￥￥NetBIOS 名￥プリントサービス名」のプリンターを選びます。
NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の［設定メニュー］-［管理者設定］-［ネットワーク設定］-［SMB 設定］-［SMB サーバー設定］-［SMB プリント設定］で確認できます。

➔ すべてのプリンターを検索するまでに時間がかかる場合があります。



6 ［OK］をクリックします。

7 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

8 ［参照 ...］をクリックします。

9 DVD 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、PS ドライバー

10 ［OK］をクリックします。

［プリンター］リストが表示されます。

11 ［OK］をクリックします。

12 画面の指示に従って操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。

14 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

15 DVD を DVD ドライブから取出します。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

新しくポートを作成してインストールする場合の手順は以下のとおりです。

✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

1 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

2 プリンターのウィンドウを表示します。

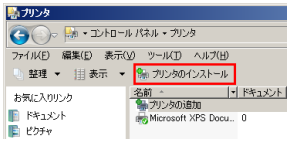
➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。
［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。［コントロール パネル］がアイコン表示になっている場合は、［デバイスとプリンター］をダブルクリックします。

➔ Windows Server 2008 の場合は、スタートメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

3 プリンターの追加を選びます。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［プリンターの追加］をクリックします。

➔ Windows Server 2008 の場合は、［プリンタのインストール］をクリックします。



［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

4 ［ローカル プリンターを追加します］をクリックします。

［プリンター ポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、［Local Port］を選びます。

6 ［次へ］をクリックします。

7 IP アドレスやポートを設定します。

➔ ［ポート名］ボックスに「￥￥NetBIOS 名￥プリントサービス名」を入力します。

➔ NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の［設定メニュー］-［管理者設定］-［ネットワーク設定］-［SMB 設定］-［SMB サーバー設定］-［SMB プリント設定］の名前を入力してください。

8 ［次へ］をクリックします。

➔ ［追加のポート情報が必要です］画面が表示される場合は、手順 9 へ進みます。

➔ ［プリンター ドライバのインストール］ダイアログボックスが表示される場合は、手順 12 へ進みます。

9 ［カスタム］にチェックをつけ、［設定 ...］をクリックします。

10 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

11 ［次へ］または［OK］をクリックします。

［プリンター ドライバのインストール］ダイアログボックスが表示されます。

12 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

13 ［参照 ...］をクリックします。

14 DVD 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、PS ドライバー

15 ［OK］をクリックします。

［プリンター］リストが表示されます。

16 ［次へ］をクリックします。

17 画面の指示に従って操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックします。

18 ［完了］をクリックします。

19 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

20 DVD を DVD ドライブから取出します。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

2.8.4　IPP/IPPS 接続でインストールする

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

IPP/IPPS の使用環境を設定します。

設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［プリント機能の使用環境を設定する］」をごらんください。

Windows 8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 をお使いの場合

✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

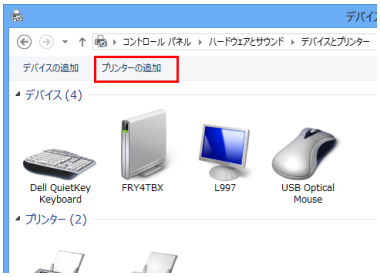
1 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

2 プリンターのウィンドウを表示します。

➔ Windows 8.1/10 の場合は、［Windows］（⊞）キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、［Windows］（⊞）キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェア］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

3 プリンターの追加を選びます。



［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

4 プリンターが検出された画面で、［探しているプリンターはこの一覧にはありません］をクリックします。

5 ［共有プリンターを名前で選択する］に、次の形式で本機の URL を入力し、［次へ］をクリックします。

➔ http:// <本機の IP アドレス> /ipp
入力例：http://192.168.1.20/ipp

➔ IPPS 印刷に設定するときは「https://［ホスト名］.［ドメイン名］/ipp」を入力します。
［ホスト名］.［ドメイン名］には、お使いの DNS サーバーに登録されているものを指定してください。

➔ 本機の証明書が証明機関により発行されたものでない場合は、本機の証明書を、Windows 8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 でコンピューターアカウント用の信頼されたルート証明機関の証明書として登録しておく必要があります。

➔ 本機に証明書を登録するとき、［ホスト名］.［ドメイン名］が証明書のコモンネームに表示されていることを確認してください。

6 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

7 ［参照 ...］をクリックします。

8 DVD 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、PS ドライバー

9 ［OK］をクリックします。

［プリンター］リストが表示されます。

10 ［次へ］をクリックします。

11 画面の指示に従って操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックします。

12 ［完了］をクリックします。

13 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

14 DVD を DVD ドライブから取出します。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

Windows 7/Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合

✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

1 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

2 プリンターのウィンドウを表示します。

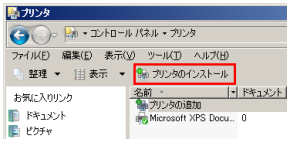
➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。
［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。［コントロール パネル］がアイコン表示になっている場合は、［デバイスとプリンター］をダブルクリックします。

➔ Windows Server 2008 の場合は、スタートメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

3 プリンターの追加を選びます。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［プリンターの追加］をクリックします。

➔ Windows Server 2008 の場合は、［プリンタのインストール］をクリックします。



［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

4 ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します］をクリックします。

接続されているプリンターが検索されます。

5 プリンターが検出された画面で、［探しているプリンターはこの一覧にはありません］をクリックします。

6 ［共有プリンターを名前で選択する］に、次の形式で本機の URL を入力し、［次へ］をクリックします。

➔ http:// <本機の IP アドレス> /ipp
入力例：http://192.168.1.20/ipp

➔ IPPS 印刷に設定するときは「https://［ホスト名］.［ドメイン名］/ipp」を入力します。
［ホスト名］.［ドメイン名］には、お使いの DNS サーバーに登録されているものを指定してください。

➔ 本機の証明書が証明機関により発行されたものでない場合は、本機の証明書を、Windows 7/Server 2008/Server 2008 R2 でコンピューターアカウント用の信頼されたルート証明機関の証明書として登録しておく必要があります。

➔ 本機に証明書を登録するとき、［ホスト名］.［ドメイン名］が証明書のコモンネームに表示されていることを確認してください。

7 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

8 ［参照 ...］をクリックします。

9 DVD 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、PS ドライバー

10 ［OK］をクリックします。

［プリンター］リストが表示されます。

11 ［OK］をクリックします。

12 画面の指示に従って操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。

14 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

15 DVD を DVD ドライブから取出します。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様にお使いいただけます。

2.8.5 Web サービス接続でインストールする

Web サービスについて

Web サービスは、ネットワーク上の機器を自動的に検出して必要なプリンタードライバーを組込む機能です。

ネットワーク上にある Web サービス印刷機能に対応したプリンターを検索してインストールできます。

参考

- 本機を Active Directory のドメインに参加させてお使いの場合は、Windows 8.1/10 で Web サービスによる印刷を安全に行える「WSD Secure Print 機能」を利用できます。

お使いになるために必要な作業 (管理者向け)

Web サービスの使用環境を設定します。

設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［プリント機能の使用環境を設定する］」をごらんください。

インストールのしかた

ネットワーク上のプリンターを自動検出してインストールする方法と、IP アドレスを指定してインストールする方法があります。

ネットワーク上のプリンターを自動検出してインストールする場合の手順は以下のとおりです。

- ✔ Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、プリンタードライバーを先にインストールしてからプラグアンドプレイでプリンタードライバーと本機を関連付けます。
- ✔ Windows Server 2008 の場合は、先にプリンタードライバーをインストールしていない状態でも、新しくポートを作成してインストールできます。
- ✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- ✔ プリンタードライバーをインストールしたあとに、異なる種類のプリンタードライバーをインストールする場合は、先に既存のプリンタードライバーをパッケージごとアンインストールしてください。

1 本機のプリンタードライバーをインストールします。

➔ 詳しくは、2-5 ページをごらんください。インストールするポートはどのポートでも構いません。

2 本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。

3 コンピューターの［ネットワークと共有センター］で［ネットワーク探索］が有効になっていることを確認します。

4 ［ネットワーク］ウィンドウを開きます。

➔ Windows 8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、［コントロール パネル］の［ネットワークとインターネット］カテゴリをクリックし、［ネットワークのコンピューターとデバイスの表示］をクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［コンピューター］を開いて、［ネットワーク］をクリックします。
［ネットワーク］が表示されないときは、［コントロール パネル］の［ネットワークとインターネット］カテゴリをクリックし、［ネットワークのコンピューターとデバイスの表示］をクリックします。

➔ Windows Server 2008 の場合は、スタートメニューから［ネットワーク］をクリックします。

接続されているコンピューターとデバイスが検索されます。

5 本機のデバイス名を選び、ツールバーの［インストール］をクリックします。

➔ Windows 8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、ツールバーから［ネットワーク］-［デバイスとプリンターの追加］をクリックします。表示された画面で、本機のデバイス名を選び、［次へ］をクリックします。

➔ デバイス名は、本機の［設定メニュー］-［管理者設定］-［ネットワーク設定］-［DPWS 設定］-［DPWS 共通設定］で確認できます。

本機のプリンタードライバーが検索され、印刷の準備が完了します。

6 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

参照

プリンタードライバーが正しくインストールされない場合は、［ドライバーの更新 ...］が必要です。詳しくは、2-134 ページをごらんください。

IP アドレスを指定してインストールする場合の手順は以下のとおりです。

Windows Server 2008 の場合は、本機を接続してからプリンターの追加機能で Web サービスデバイスを追加できます。

✔ Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、次の手順でインストールできません。前項目の手順でインストールしてください。

✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

✔ プリンタードライバーをインストールしたあとに、異なる種類のプリンタードライバーをインストールする場合は、先に既存のプリンタードライバーをパッケージごとアンインストールしてください。

1 本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。

2 コンピューターの［ネットワークと共有センター］で［ネットワーク探索］が有効になっていることを確認します。

3 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

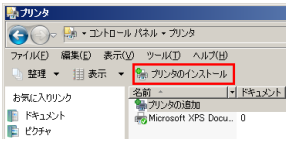
4 スタートメニューから［コントロール パネル］をクリックします。

5 ［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。

➔ ［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが開きます。

6 ［プリンタのインストール］をクリックします。



［プリンタの追加］ウィザードが表示されます。

7 ［ローカル プリンタを追加します］をクリックします。

［プリンタ ポートの選択］ダイアログボックスが表示されます。

8 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、［Standard TCP/IP Port］を選びます。

9 ［次へ］をクリックします。

10 ［Web サービスデバイス］を選び、IP アドレスを入力してから［次へ］をクリックします。

入力した IP アドレスのプリンターが検索され、［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログボックスが表示されます。

11 ［ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします (推奨)］をクリックします。

12 オンラインで検索するかどうかを確認する画面が表示されるときは、［オンラインで検索しません］をクリックします。

13 ［コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します (上級)］をクリックします。

14 ［参照 ...］をクリックします。

15 DVD 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、PS ドライバー

16 ［次へ］をクリックします。

17 ［閉じる］をクリックします。

18 画面の指示に従って操作します。

19 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

20 DVD を DVD ドライブから取出します。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

2.8.6 USB 接続でインストールする

Windows 7/8.1/10/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 をお使いの場合

Windows 7/8.1/10/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 で USB ポートに接続する場合は、プリンタードライバーを先にインストールしてからプラグアンドプレイでプリンタードライバーと本機を関連付けます。

- ✔ Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定できません。あらかじめプリンタードライバーをインストールしてください。
- ✔ Windows Server 2008 の場合は、先にプリンタードライバーをインストールしていない状態でも、引続きプリンタードライバーのインストールディスクを指定してインストールできます。
- ✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

1 本機のプリンタードライバーをインストールします。

➔ 詳しくは、2-5 ページをごらんください。

2 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

3 本機の主電源を入れます。

本機のプリンタードライバーが検索され、印刷の準備が完了します。

➔ プリンタードライバーが検索されない場合は、本機を再起動してください。

4 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

参照

プリンタードライバーが正しくインストールされない場合は、［ドライバーの更新 ...］が必要です。詳しくは、2-134 ページをごらんください。

プリンタードライバーの更新

Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 でプリンタードライバーを先にインストールせずに本機を接続した場合、プリンタードライバーが正しく認識されません。この場合は、［ドライバーの更新 ...］が必要です。

1 プリンターのウィンドウを表示します。

➔ Windows 8.1/10 の場合は、［Windows］( ) キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、［Windows］( ) キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェア］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。
［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。
［コントロール パネル］がアイコン表示になっている場合は、［デバイスとプリンター］をダブルクリックします。

2 ［未指定］カテゴリに表示されている本機のデバイス名を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

➔ 本機のデバイス名でなく［不明なデバイス (Unknown Device)］と表示されているときは、右クリックでデバイスを削除してから、プリンタードライバーをインストールしてください。

3 ［ハードウェア］タブの［プロパティ］をクリックします。

4 ［全般］タブの［設定の変更］をクリックします。

5 ［ドライバー］タブの［ドライバーの更新 ...］をクリックします。

6 ドライバーソフトウェアの検索方法を選ぶ画面で［コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します］をクリックします。

7 ［参照 ...］をクリックします。

8 DVD 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを指定し、［OK］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
選択できるプリンタードライバー：PCL ドライバー、PS ドライバー

9 ［次へ］をクリックします。

10 画面の指示に従って操作します。

11 ［閉じる］をクリックします。

12 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

13 DVD を DVD ドライブから取出します。
以上で、プリンタードライバーの更新の完了です。

参考

- Windows Server 2008 でも、［ドライバの更新 ...］を利用できます。［デバイスマネージャ］で［ほかのデバイス］に表示されている本機の［プロパティ］を開き、［ドライバの更新 ...］を指定します。（［デバイスマネージャ］は、［コンピュータ］を右クリックしてから［プロパティ］をクリックし、表示される［タスク］から選びます。）

2.8.7 プリンタードライバーを手動で削除する

インストーラーを使わずにインストールした場合は、手動でプリンタードライバーを削除します。

1 プリンターのウィンドウを表示します。

➔ Windows 8.1/10 の場合は、［Windows］( ) キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、［Windows］( ) キーを押しながら［X］キーを押し、表示されたメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェア］-［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。
［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

➔ Windows Server 2008 の場合は、スタートメニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

2 削除するプリンターのアイコンをクリックします。

3 プリンタードライバーを削除します。

➔ Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016の場合は、ツールバーの［デバイスの削除］をクリックします。

➔ Windows Server 2008 の場合は、キーボードの［Delete］を押します。

4 以降は、画面の指示に従って操作します。

削除が終了すると、ウィンドウからアイコンが消えます。

5 ［サーバーのプロパティ］を開きます。

➔ Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016の場合は、ほかのプリンターを選び、ツールバーの［プリント サーバー プロパティ］をクリックします。

➔ Windows Server 2008 の場合は、［プリンタ］ウィンドウの何もない部分を右クリックし、［管理者として実行］-［サーバーのプロパティ］をクリックします。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

6 ［ドライバ］タブをクリックします。

7 ［インストールされたプリンタ ドライバ :］一覧から、削除したいプリンタードライバーを選び、［削除 ...］をクリックします。

8 削除の対象を確認する画面で［ドライバーとパッケージを削除する］を選び、［OK］をクリックします。

9 削除を確認する画面で［はい］をクリックします。

➔ さらに削除を確認する画面が表示されますので［削除］をクリックします。

10 開いている画面を閉じ、コンピューターを再起動します。

➔ 必ず再起動してください。

以上で、プリンタードライバーの削除の完了です。

3 Mac OS 環境で印刷する

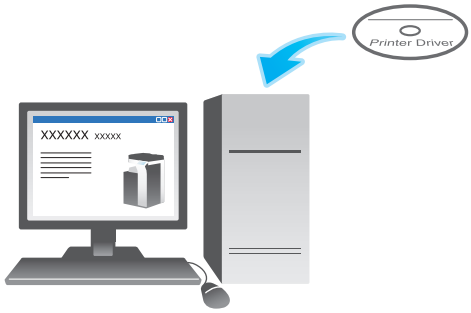
3 Mac OS 環境で印刷する

3.1 印刷の準備 (Bonjour 接続)

3.1.1 概要

プリンターとして本機をお使いいただくためには、コンピューターにプリンタードライバーをインストールし、プリンターを追加する必要があります。

ここでは、Bonjour 接続によって、本機で印刷できるようになるまでの準備を説明します。



参考

- Bonjour は、ネットワークに接続した機器のネットワーク設定やサービスの探索を、特別な設定をすることなく利用できるようにする技術です。

3.1.2 コンピューターのセットアップの前に (管理者向け)

本機をネットワークに接続する

■ LAN ケーブルの接続を確認する

Bonjour の使用設定をする

■ Bonjour を有効にする

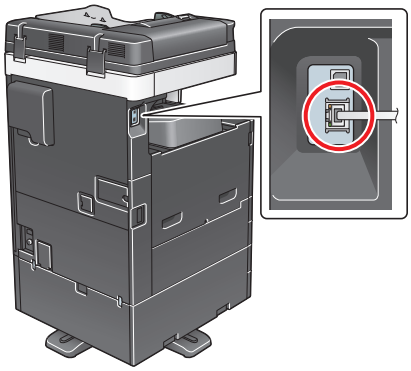
■ プリンター名 (Bonjour 名) をつける

➔ 接続機器名として表示する本機の名前を入力します。

準備完了

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、LAN ケーブルが接続されていることを確認します。



Bonjour の使用設定をする

Bonjour を有効にします。また、接続機器名として表示する本機の名前 (Bonjour 名) を入力します。

設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［プリント機能の使用環境を設定する］」をごらんください。

3.1.3　コンピューターのセットアップ

プリンタードライバーを準備する

- **プリンタードライバーの DVD を準備する**
  - ➔ DVD については、本機の管理者に確認してください。
- **プリンタードライバーの対応 OS を確認する**
  - ➔ インストールするコンピューターがプリンタードライバーの動作条件に適合しているか確認してください。

コンピューターにプリンタードライバーをインストールする

- **インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールする**
  - ➔ Driver & Utilities DVD をセットし、画面の指示に従ってインストールします。
- **プリンターを追加する**
  - ➔ Bonjour で自動検出したプリンターをコンピューターに追加します。

準備完了

プリンタードライバーの DVD を準備する

本機に付属の DVD/CD-ROM には、次の種類があります。

DVD/CD-ROM の種類	説明
Driver & Utilities DVD	Windows 用プリンタードライバー (PCL/PS/FAX)、Mac OS 用プリンタードライバー、スクリーンフォント、TWAIN ドライバーが収録されています。また、ユーティリティソフトウェアのダウンロードページが収録されています。
User's Guide CD-ROM	ユーザーズガイドが収録されています。

参考

- ユーザーズガイドでは、フォルダー名やファイル名をルートから記述していない場合があります。

プリンタードライバーの対応 OS を確認する

本機に付属の DVD に含まれるプリンタードライバーと、対応しているコンピューターの OS は次のとおりです。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応 OS
PostScript PPD ドライバー (PS-PPD)	PostScript 3 Emulation	Mac OS 10.8/10.9/10.10/10.11/10.12

最新対応 OS は弊社ホームページよりご確認ください。
(http://www.muratec.jp/ce/support/driver/models.html)

プリンタードライバーをインストールする

インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールします。

✔ アプリケーションソフトが起動しているときは、あらかじめすべて終了してください。

1 Driver & Utilities DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

2 DVD 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを開きます。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。

3 Mac OS のバージョンに合わせて、ドライバー用のファイルをデスクトップ上にコピーします。

➔ Mac OS 10.8：XXX_108.pkg

➔ Mac OS 10.9/10.10/10.11/10.12：XXX_109.pkg

➔ 使用する用紙サイズによってドライバー用フォルダーが異なります。お使いの環境に合わせて選んでください。
おもにメトリックサイズ (A4 など) で印刷する場合：「WW_A4」フォルダー
おもにインチサイズ (Letter、8 1/2 × 11) で印刷する場合：「WW_Letter」フォルダー

4 デスクトップ上にコピーしたファイルをダブルクリックします。

プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

5 ［インストール］画面が表示されるまで、画面の指示に従って［続ける］をクリックします。

6 ［インストール］をクリックします。

➔ ［カスタマイズ］をクリックすると、両面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするか、または片面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするかを選択できます。初期状態では、両面印刷が初期値として設定されたドライバーがインストールされます。両方のドライバーを選択すると、2 種類のドライバーがインストールされます。片面印刷が初期値として設定されたドライバーは、ドライバー名の末尾に「(S)」が付加されます。

➔ 途中で、名前とパスワードが要求されますので、コンピューターの管理者名とパスワードを入力してください。

プリンタードライバーがコンピューターにインストールされます。

7 ［閉じる］をクリックします。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。続いて、コンピューターにプリンターを追加します。

Bonjour による接続設定

Bonjour で自動検出したプリンターをコンピューターに追加します。

1 アップルメニューの［システム環境設定 ...］を選びます。

2 ［プリンタとスキャナ］アイコンをクリックします。

➔ Mac OS 10.8 の場合は、［プリントとスキャン］アイコンをクリックします。

3 ［+］をクリックします。

➔ ［+］をクリックした一覧に目的のプリンター名が表示されているときはプリンター名を選択します。自動的にプリンタードライバーが選択されると、プリンターの追加の完了です。プリンター名が表示されない場合は、［ほかのプリンタまたはスキャナを追加 ...］または［プリンタまたはスキャナを追加 ...］を選択し、手順 4 へ進みます。

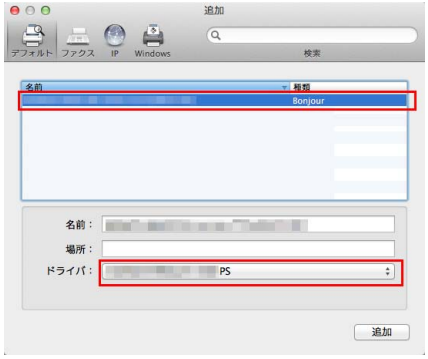
4 ［デフォルト］をクリックします。

接続されているプリンターが検出されます。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機を再起動してください。

5 ［プリンタ名］一覧から、Bonjour 接続の目的のプリンターを選びます。

➔ プリンター名は、本機の［設定メニュー］-［管理者設定］-［ネットワーク設定］-［Bonjour 設定］で確認できます。



選んだプリンターに対応するプリンタードライバーが［ドライバ :］に表示されます。

➔ プリンタードライバーが表示された場合は、手順 7 へ進みます。

➔ プリンタードライバーが正しく表示されない場合は、手順 6 へ進みます。

6 プリンタードライバーを手動で選びます。

➔ Mac OS 10.9/10.10/10.11/10.12 の場合は、［ドライバ :］で［ソフトウェアを選択 ...］を選び、別ウィンドウで表示される一覧から目的のプリンターのドライバーをクリックします。

➔ Mac OS 10.8 の場合は、［ドライバ :］で［プリンタソフトウェアを選択 ...］を選び、別ウィンドウで表示される一覧から目的のプリンターのドライバーをクリックします。

7 ［追加］をクリックします。

以上で、プリンターの追加の完了です。続いて、［インストール可能なオプション］画面で、本機のオプション環境の設定をします。詳しくは、3-6 ページをごらんください。

3.1.4　プリンタードライバーの初期設定をする

本機のオプション環境を設定する

はじめてお使いになるときは、本機のオプションの装着状態などを正しくプリンタードライバーに設定します。

1 アップルメニューの［システム環境設定 ...］を開き、［プリンタとスキャナ］アイコンをクリックします。

➔ Mac OS 10.8 の場合は、［プリントとスキャン］アイコンをクリックします。

2 ［プリンタ情報］画面を表示します。

➔ ［オプションとサプライ ...］をクリックします。

3 ［インストール可能なオプション］画面を表示します。

➔ Mac OS 10.9/10.10/10.11/10.12 の場合は、［オプション］をクリックします。

➔ Mac OS 10.8 の場合は、［ドライバ］をクリックします。

4 本機のオプションの装着状態に合わせて、設定を変更します。

5 ［OK］または［変更を適用］をクリックし、［プリンタ情報］画面を閉じます。

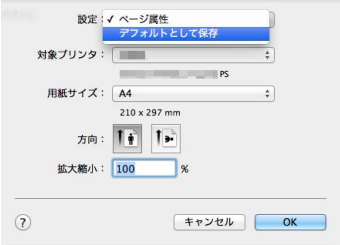
印刷設定の初期値を変更する

プリンタードライバーの［ページ設定］画面で、用紙や倍率の設定の初期値を変更できます。

1 プリンタードライバーの［ページ設定］画面を表示します。

➔ ［ページ設定］画面の表示のしかたについては、3-61 ページをごらんください。

2 設定を変更し、［設定 :］から［デフォルトとして保存］を選びます。



参考

- Mac OS 10.11 以降の場合、［デフォルトとして保存］は使用できません。

3.2　印刷のしかた

3.2.1　印刷の流れ

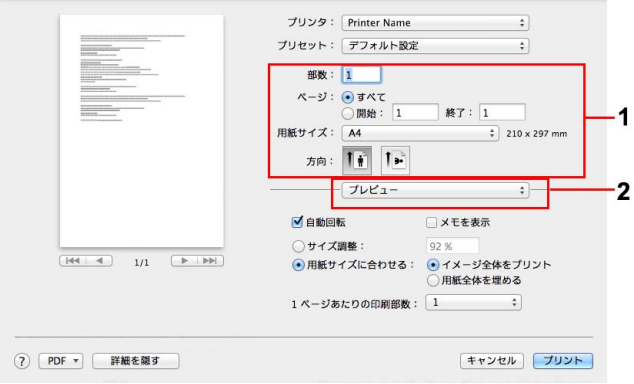
1　アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。

2　［プリンタ :］で、印刷したいプリンターが選ばれていることを確認します。

➔ ［プリント］画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

3　印刷するページ範囲や部数を指定します。

➔ 設定項目 (1) が表示されていない場合は、［詳細を表示］をクリックします。



4　必要に応じて、アプリケーションソフトウェア名 (2) のメニューを切換え、印刷設定を変更します。

➔ ここで変更した印刷設定は、アプリケーションソフトウェアを終了すると変更前の状態 (初期値) に戻ります。よく使う印刷設定はプリセットとして登録しておくと便利です。詳しくは、3-8 ページをごらんください。

5　［プリント］をクリックします。

印刷が実行されます。

3.2.2　よく使う印刷設定を登録する

現在の印刷設定をプリセットとして登録し、印刷するときにその設定を呼出せます。

よく使う印刷設定をプリセットとして登録しておけば、複数のメニューにまたがった複雑な設定でも、プリセットから選ぶだけで簡単に一括設定できます。

1　プリンタードライバーの［プリント］画面を表示します。

➔［プリント］画面の表示のしかたについては、3-62 ページをごらんください。

2　印刷設定を変更し、［プリセット :］から［現在の設定をプリセットとして保存 ...］を選びます。

3　印刷設定の名前を入力します。

保存した設定は、［プリセット :］から呼出せます。あとで呼出すときに、わかりやすい名前をつけてください。

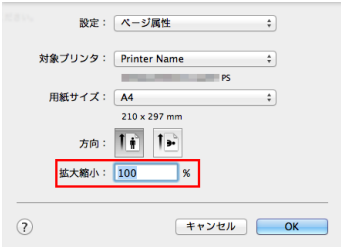
3.3　便利な印刷機能

3.3.1　用紙のサイズや種類を変更して印刷する

任意の倍率で拡大／縮小して印刷する（［拡大縮小 :］）

任意の倍率を指定して、原稿画像を拡大または縮小して印刷します。

［ページ属性］の［拡大縮小 :］で、倍率を指定します。



特殊なサイズの用紙に印刷する（［ページ設定］）

特殊なサイズの原稿を、不定形サイズの用紙に印刷します。

［ページ属性］の［用紙サイズ :］で［カスタムサイズを管理 ...］を選び、任意の幅と長さを指定します。

1　［ファイル］メニューから［ページ設定］をクリックします。

➔ ［プリント］画面の［用紙サイズ :］でも同じ設定ができます。

2　カスタムサイズの登録画面を開きます。

➔ 用紙サイズの一覧から［カスタムサイズを管理 ...］を選びます。

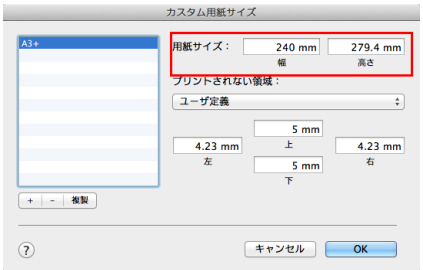
3　［+］をクリックします。

4　登録する用紙サイズの名前を入力します。

➔ A4、Custom など、既存の定形紙の名前は登録できません。

5　任意の幅と長さを指定します。

➔ 必要に応じて、［プリントされない領域 :］で、用紙の上下左右に余白をつけます。



6 ［OK］をクリックします。

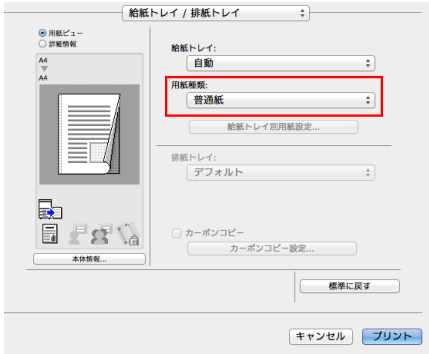
カスタム用紙サイズが登録され、［ページ属性］の［用紙サイズ :］で選べるようになります。

参照

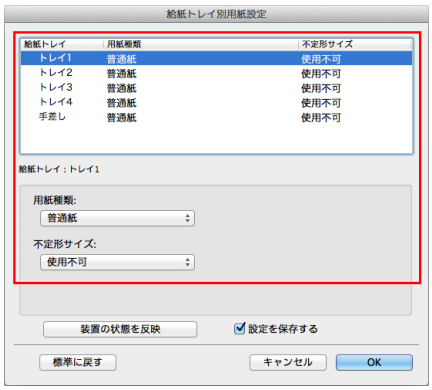
不定形サイズの用紙は、**トレイ 1**、**トレイ 2**、**手差しトレイ**にセットできます。**トレイ 1**、**トレイ 2** への用紙のセットのしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［はじめに］/［用紙をセットする］」をごらんください。**手差しトレイ**への用紙のセットのしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［はじめに］/［用紙をセットする］」をごらんください。

用紙の種類を指定して印刷する（［用紙種類 :］）

［給紙トレイ / 排紙トレイ］の［用紙種類 :］で、印刷する用紙の種類を選びます。

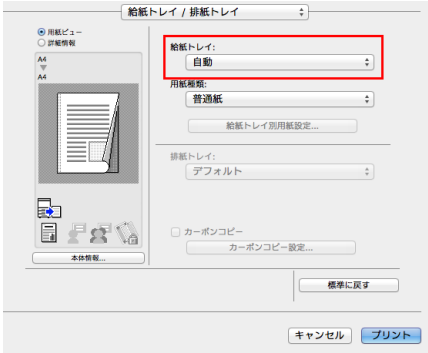


プリンタードライバーの［インストール可能なオプション］画面で［給紙トレイ別用紙設定］が有効の場合は、［給紙トレイ / 排紙トレイ］の［給紙トレイ別用紙設定 ...］で、各トレイの用紙種類を設定します。



給紙トレイを指定して印刷する（［給紙トレイ :］）

［給紙トレイ / 排紙トレイ］の［給紙トレイ :］で、印刷する用紙の給紙トレイを選びます。



参考

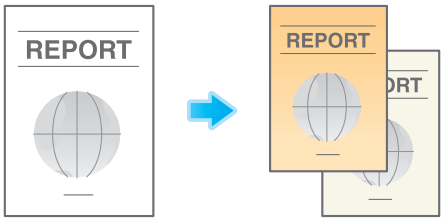
- ［自動］を選ぶと、［用紙サイズ :］で選んだ用紙の給紙トレイが自動的に選ばれます。

原稿を複数のトレイの用紙に印刷する（［カーボンコピー］）

原稿を複数のトレイにセットされている異なる用紙に印刷します。1 度の印刷指示で、カーボン紙を使った複写式の伝票のように仕上げることができるため、この機能をカーボンコピーと呼びます。

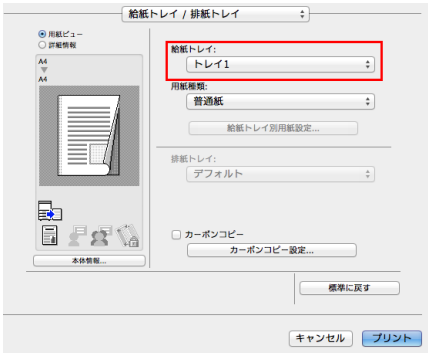
たとえば、提出用の原本は**トレイ 1** にセットされている上質なカラー用紙に印刷し、控え用として**トレイ 2** にセットされている再生紙に印刷するといった作業が、1 度の印刷指示で実現できます。

提出用の資料と控え用の資料を一度に用意したいときなどに便利です。

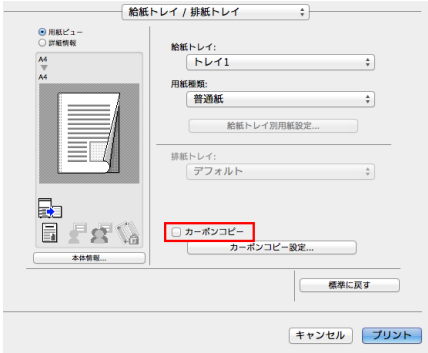


1 ［給紙トレイ / 排紙トレイ］の［給紙トレイ :］で、原本を印刷する用紙の給紙トレイを選びます。

➔ ［自動］を選ぶことはできません。

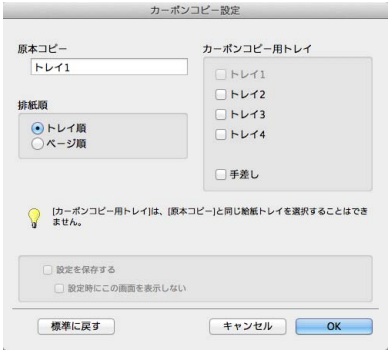


2　［カーボンコピー］にチェックをつけます。



［カーボンコピー設定］画面が表示されます。

3　カーボンコピー用の給紙トレイと排紙の順番を指定し、［OK］をクリックします。



設定	説明
［原本コピー］	原本を印刷する用紙の給紙トレイを表示します。
［カーボンコピー用トレイ］	カーボンコピー用の給紙トレイを選びます。使用するすべての給紙トレイにチェックをつけます。
［排紙順］	カーボンコピーの排紙の順番を選びます。 ・［トレイ順］：選んだトレイの順番で印刷します。複数ページの原稿を印刷する場合は、一つのトレイですべてのページを印刷してから、次のトレイへ移ります。 ・［ページ順］：ページ単位で印刷します。複数ページの原稿を印刷する場合は、選んだすべてのトレイで 1 ページ目、2 ページ目、3 ページ目と印刷します。
［設定を保存する］	チェックをつけると設定した内容が保存されます。 さらに［設定時にこの画面を表示しない］にチェックをつけると、［カーボンコピー］を有効にしたときにこのダイアログを表示しません。常に同じカーボンコピーのトレイ設定で印刷する場合に、次回以降の設定の手間を省けます。

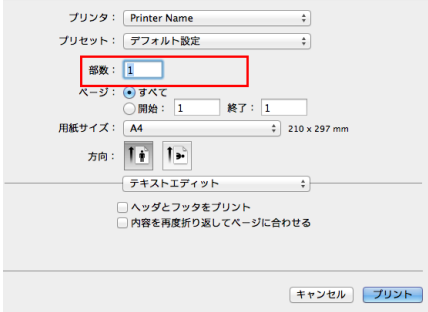
参考

- ［排紙順］で［ページ順］を選んだ場合、複数部の印刷はできません。

3.3.2　複数の部数を印刷する

印刷部数を指定する（［部数 :］）

［印刷部数と印刷ページ］の［部数 :］で、印刷する部数を指定します。



参照

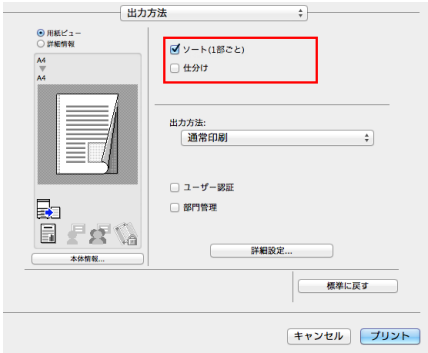
大量の部数を印刷するときは、確認印刷機能を使うと大量のミスプリントを防ぎ、無駄な用紙の使用を抑えられます。詳しくは、3-35 ページをごらんください。

部単位で印刷する（［ソート (1 部ごと)］／［仕分け］）

複数の部数を印刷するときに、部単位で排紙位置をずらして、区切りが分かるように排紙します。

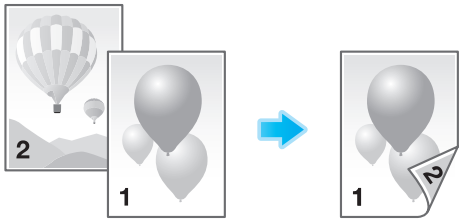
［出力方法］の［ソート (1 部ごと)］にチェックをつけると、「12345」、「12345」、「12345」のように 1 部ずつ区別して排紙します。また、［仕分け］にチェックをつけると、1 部ずつ排紙位置をずらして排紙します。

［ソート (1 部ごと)］と［仕分け］を組合わせると、部単位で排紙位置をずらすことができるため、配布用の資料を簡単に作ることができます。

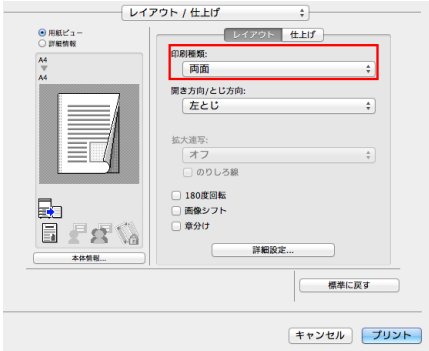


3.3.3　両面に印刷して印刷枚数を節約する（［両面］）

用紙の両面に印刷して、用紙の使用量を半分に節約できます。



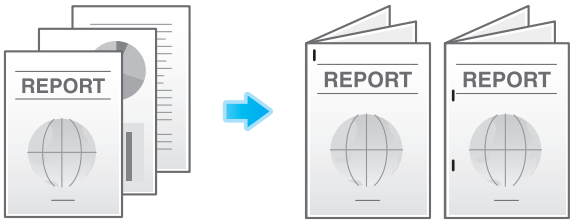
［レイアウト / 仕上げ］の［印刷種類 :］で［両面］を選びます。初期値は［両面］です。



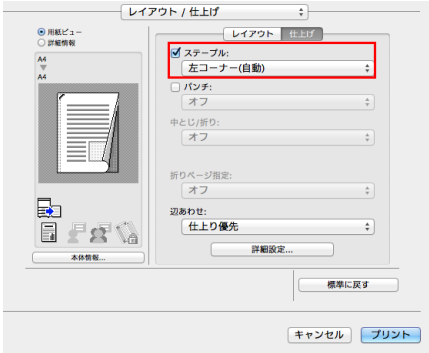
3.3.4　印刷物をとじる

ステープルでとじる（［ステープル :］）

印刷した用紙を 1 部ずつステープル (コーナーまたは 2 点) でとじて排紙します。企画書など、1 冊の資料として仕上げたい場合に便利です。



［レイアウト / 仕上げ］の［ステープル :］にチェックをつけます。あわせて、ステープルの数ととじ位置を指定します。

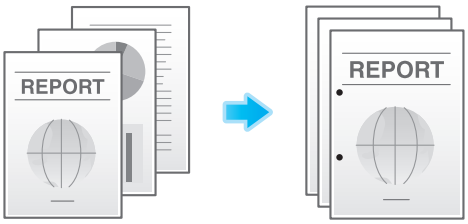


参考

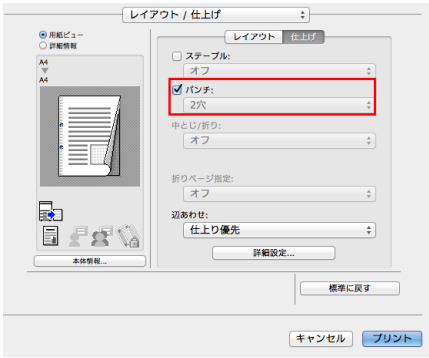
- ステープル機能を使うには、オプションの**フィニッシャー**が必要です。
- ステープルでとじる位置は、［レイアウト / 仕上げ］の［開き方向 / とじ方向 :］で指定します。

パンチ穴をあける（［パンチ :］）

印刷した用紙にファイリング用のパンチ穴（とじ穴）をあけて排紙します。ファイルなどで資料を整理したい場合に便利です。



［レイアウト / 仕上げ］の［パンチ :］にチェックをつけます。あわせて、パンチ穴の数と位置を指定します。



参考

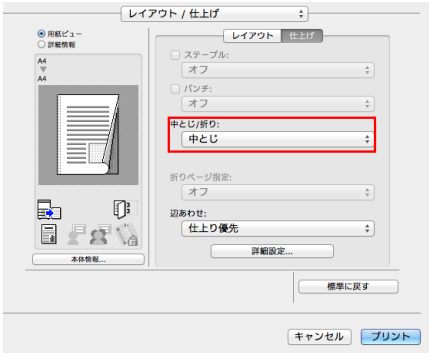
- パンチ機能を使うには、オプションの**フィニッシャー**と**パンチキット**が必要です。
- パンチ穴をあける位置は、［レイアウト / 仕上げ］の［開き方向 / とじ方向 :］で指定します。

用紙の中央をとじる（［中とじ / 折り :］）

印刷した用紙を、中とじして排紙します。

［レイアウト / 仕上げ］の［中とじ / 折り :］で［中とじ］を選びます。

ページの中央でとじられますので、ページ割付けされた原稿データを利用するか、［レイアウト / 仕上げ］の［印刷種類 :］で［小冊子］を組合わせて使います。



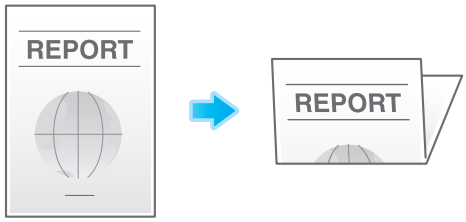
参考

- 中とじ機能を使うには、オプションの**中とじ機付フロアフィニッシャー**が必要です。

用紙を折る（［中とじ / 折り :］）

印刷した用紙を折り加工して排紙します。

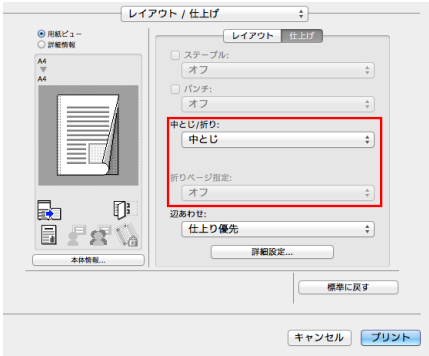
中折り



三つ折り

［レイアウト / 仕上げ］の［中とじ / 折り :］で、折りかたを選びます。

ページ単位で折り加工する場合は、［折りページ指定］で、一度に折り加工するページ数を指定します。

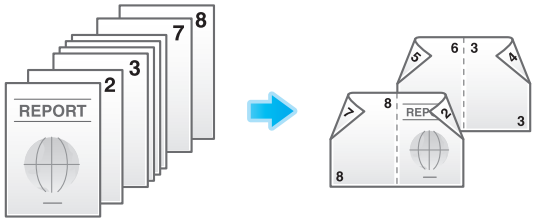


参考

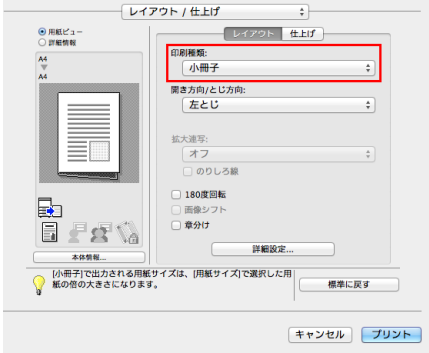
- 中折り／三つ折り機能を使うには、オプションの**中とじ機付フロアフィニッシャー**が必要です。
- 原稿のページ数が本機の折り可能枚数より多い場合は、折り加工できません。

小冊子のように印刷する（［小冊子］）

小冊子の形態になるように、原稿データの順番を並換え、見開きで両面印刷します。印刷後、用紙をまとめて 2 つ折りにすると、本のようなページ順になります。



［レイアウト / 仕上げ］の［印刷種類 :］で［小冊子］を選びます。



参考

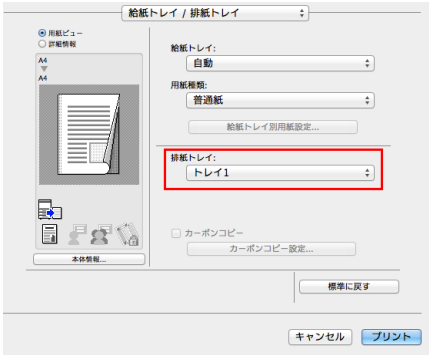
- ［レイアウト / 仕上げ］の［中とじ / 折り :］を組合わせると、用紙の中央で 2 つ折りにしたり、用紙の中央 2ヶ所をステープルでとじたりして、冊子のように仕上げることができます。
- ［レイアウト / 仕上げ］の［章分け］を組合わせると、指定したページを表面に配置できます。

参照

中とじについて詳しくは、3-16 ページをごらんください。折りについて詳しくは、3-17 ページをごらんください。

排紙先のトレイを指定する（［排紙トレイ :］）

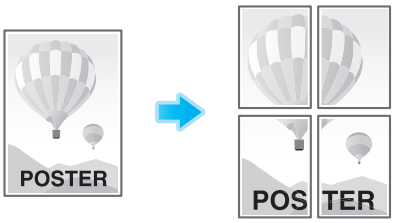
［給紙トレイ / 排紙トレイ］の［排紙トレイ :］で、排紙先のトレイを選びます。



3.3.5　レイアウトを調整して印刷する

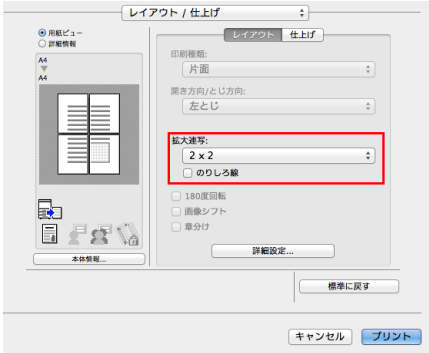
ポスターのように大きく印刷する（［拡大連写 :］）

原稿画像を拡大し、複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙をつなぎ合わせると、ポスターのように大きく仕上がります。



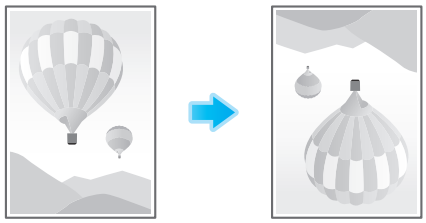
［レイアウト / 仕上げ］の［拡大連写 :］で「N × N」を選びます。たとえば、［2 × 2］を選ぶと、1 ページの原稿画像を拡大し、4 枚の用紙に分割して印刷します。

のりしろを作る場合は、［のりしろ線］にチェックをつけます。

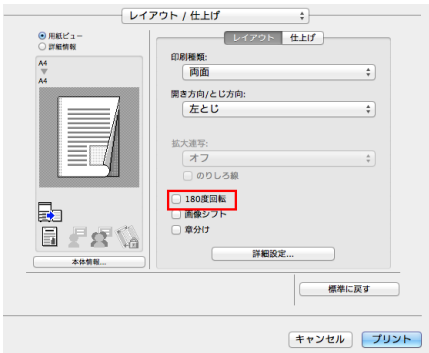


180 度回転して印刷する（［180 度回転］）

印刷画像の天地が逆になるように印刷します。封筒などのセット方向が変えられない用紙に印刷するときに使います。



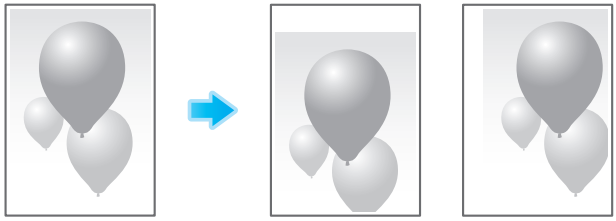
［レイアウト / 仕上げ］の［180 度回転］にチェックをつけます。



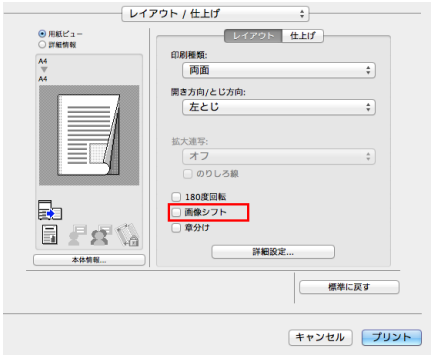
印刷位置を微調整する（［画像シフト］）

用紙に対する画像の印刷位置を、上下左右にずらして細かく調整します。両面印刷するときは、裏面の画像の位置も調整できます。

印刷位置を少しだけ調整したい、印刷位置を表裏で変えたいなど、微調整が必要なときに使います。



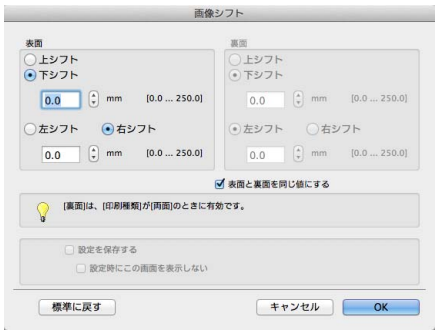
1　［レイアウト / 仕上げ］の［画像シフト］にチェックをつけます。



［画像シフト］画面が表示されます。

2　上下左右のシフト量を調整し、［OK］をクリックします。

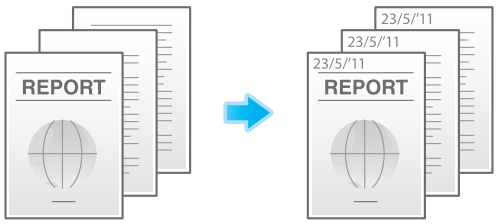
➔ 両面印刷するときは、［表面と裏面を同じ値にする］にチェックをつけると、表と裏で同じだけシフトします。



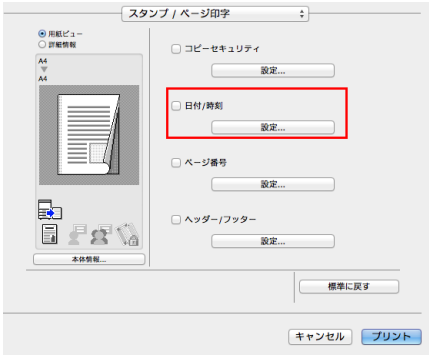
3.3.6　原稿に文字や画像を追加する

日付／時刻を追加する（［日付 / 時刻］）

印刷日時を追加して印刷します。必要に応じて、印字する位置や表記のしかたを選べます。



［スタンプ / ページ印字］の［日付 / 時刻］にチェックをつけます。



必要に応じて、［設定 ...］をクリックし、印字する位置や表記のしかたを変更します。

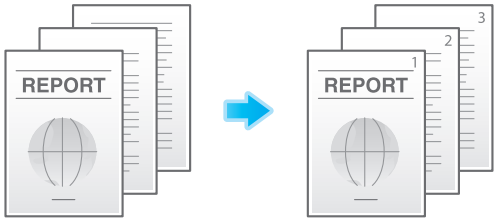
設定	説明
［書式 :］	日付／時刻の表記のしかたを指定します。
［印字ページ :］	日付／時刻を印字するページの範囲を指定します。
［文字の色 :］	日付／時刻を印字する文字の色を選びます。
［印字位置 :］	日付／時刻を印字する位置を指定します。

参考

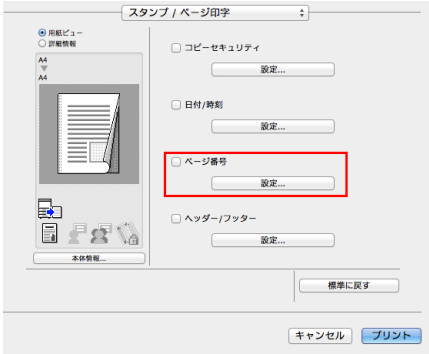
- この機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

ページ番号を追加する（［ページ番号］）

ページ番号を追加して印刷します。必要に応じて、印字する位置や印字を開始するページを選べます。



［スタンプ / ページ印字］の［ページ番号］にチェックをつけます。



必要に応じて、［設定 ...］をクリックし、印字する位置や印字を開始するページを変更します。

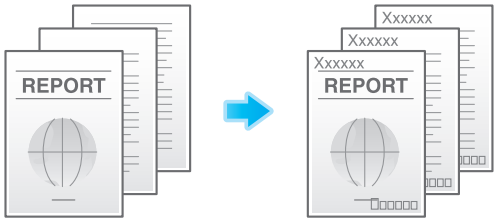
設定	説明
［印字開始ページ :］	ページ番号の印字を開始するページを指定します。
［印字開始番号 :］	［印字開始ページ :］で指定したページに印字する番号を指定します。
［カバーシートへの印字 :］	表紙を挿入する場合に、表紙や裏表紙にもページ番号を印字するときはチェックをつけます。あわせて、印字方法を選びます。
［文字の色 :］	ページ番号を印字する文字の色を選びます。
［印字位置 :］	ページ番号を印字する位置を指定します。

参考

- この機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

ヘッダー／フッターに情報を追加する（［ヘッダー / フッター］）

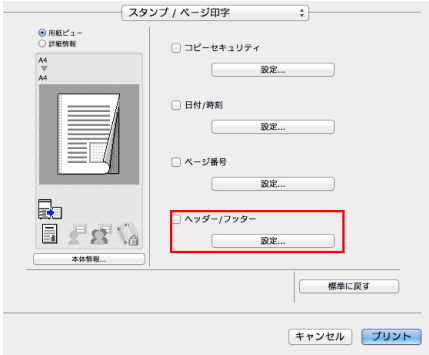
原稿の上下の余白部分（ヘッダー／フッター）に、日付や時刻をはじめ、任意の文字を追加して印刷します。ヘッダー／フッターに追加する情報は、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。



✔ ヘッダー／フッターに追加する情報の登録のしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

✔ この機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

1 ［スタンプ / ページ印字］の［ヘッダー / フッター］にチェックをつけ、［設定 ...］をクリックします。



2 ヘッダー／フッターに追加する情報を選び、［OK］をクリックします。

➔ 必要に応じて、ヘッダー／フッターを印字するページの範囲などを変更します。

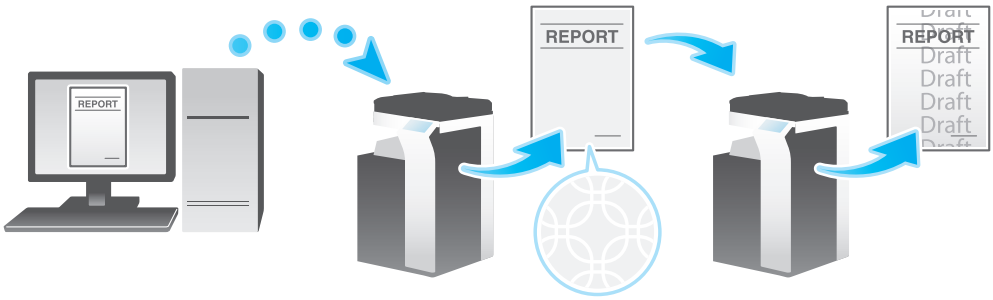
設定	説明
［ヘッダー / フッター呼出し :］	呼出すヘッダー／フッターを選びます。
［部数管理番号 :］	複数の部数を印刷するときに、原稿に部数番号を印字するかどうかを選びます。 • ［ヘッダーに印字する］：ヘッダーに部数番号を印字するときにチェックをつけます。 • ［フッターに印字する］：フッターに部数番号を印字するときにチェックをつけます。 • ［開始番号］：部数番号の表記のしかたや、部数番号の印字を開始するページを指定します。
［印字ページ :］	ヘッダー／フッターを印字するページの範囲を選びます。
［文字の色 :］	ヘッダー／フッターに追加する文字の色を選びます。

3.3.7 不正コピーを抑止する

隠し文字を埋込む（［コピープロテクト］）

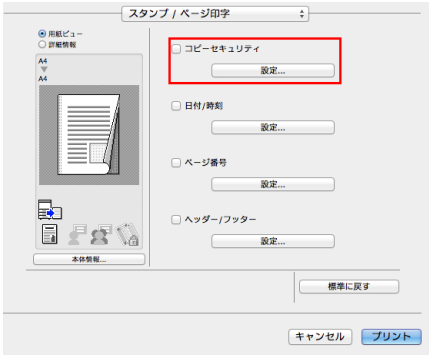
すべてのページに、「コピー」や「社外秘」などの文字を、背景パターンの中に目立たない文字として印字します。この機能を、コピープロテクトと呼びます。

コピープロテクトされた用紙をコピーすると、隠し文字が用紙全体に浮出るため、コピーであることがわかります。



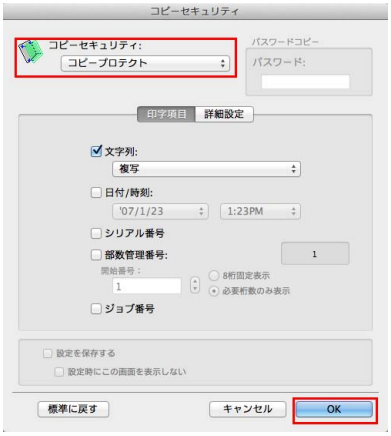
✔ この機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

1 ［スタンプ / ページ印字］の［コピーセキュリティ］にチェックをつけ、［設定 ...］をクリックします。



2 ［コピープロテクト］を選び、［OK］をクリックします。

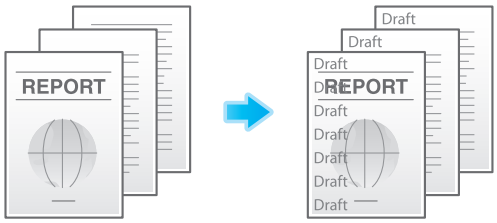
➔ 必要に応じて、印字する内容や印字のしかたを指定します。詳しくは、3-26 ページをごらんください。



ページ全体にスタンプを印字する（［繰り返しスタンプ］）

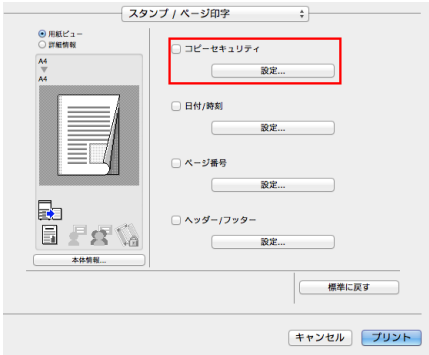
ページ全体に、「コピー」や「社外秘」などのスタンプを印字します。

「コピー」や「社外秘」などの文字を、目に見える状態でページ全体に印字することで、不正コピーを抑止できます。



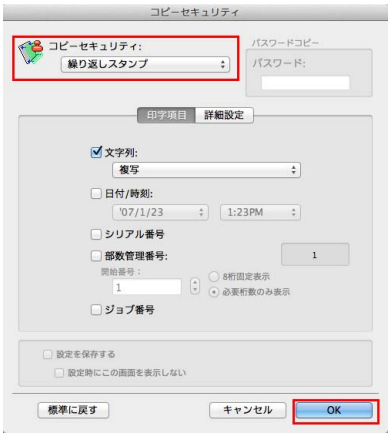
✔　この機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

1　［スタンプ / ページ印字］の［コピーセキュリティ］にチェックをつけ、［設定 ...］をクリックします。



2　［繰り返しスタンプ］を選び、［OK］をクリックします。

➔　必要に応じて、印字する内容や印字のしかたを指定します。詳しくは、3-26 ページをごらんください。

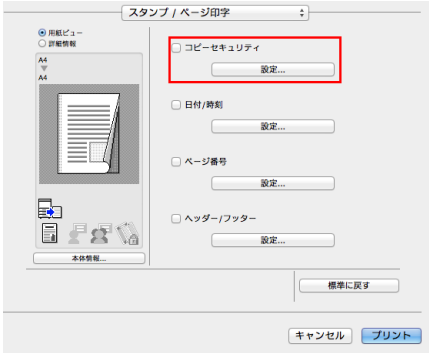


コピーセキュリティの印字設定をする

用紙にコピーセキュリティのパターンを印字するときに、必要に応じて、印字する内容や印字のしかたを設定できます。

✔ この機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

1 ［スタンプ / ページ印字］の［コピーセキュリティ］にチェックをつけ、［設定 ...］をクリックします。



2 ［印字項目］で、印字する内容を設定します。

➔ 選んだコピーセキュリティ機能によって、設定できる項目が異なります。

設定	説明
［文字列 :］	文字を印字するときにチェックをつけます。あわせて、印字する文字を選びます。 印字する文字は、あらかじめ登録されている定型スタンプやユーザーが登録した登録スタンプから選べます。
［日付 / 時刻 :］	印刷日時を追加するときにチェックをつけます。必要に応じて、表記のしかたを指定します。
［シリアル番号］	本機のシリアル番号を印字するときにチェックをつけます。
［部数管理番号 :］	複数の部数を印刷する場合に、部数番号を印字するときはチェックをつけます。 必要に応じて、部数番号の表記のしかたや、部数番号の印字を開始するページを指定します。
［ジョブ番号］	本機で管理するジョブ番号を印字するときにチェックをつけます。

3 ［詳細設定］で、印字のしかたを設定します。

➔ 選んだコピーセキュリティ機能によって、設定できる項目が異なります。

設定	説明
［文字サイズ :］	印字する文字のサイズを選びます。
［文字の角度 :］	印字する文字の角度を選びます。
［効果 :］	原稿が不正コピーされたときに、文字パターンが浮出るようにするか、白抜きされるようにするかを選びます。
［重ね合わせ :］	コピーセキュリティパターンを原稿の前面に合成するか、原稿の背面に合成するかを選びます。
［背景パターン :］	コピーセキュリティパターンを、本機に登録されている背景のパターンから選びます。
［色の調整 ...］	濃度やコントラストを調整します。

4 ［OK］をクリックします。

3.3.8　原稿に用紙を挿入して印刷する

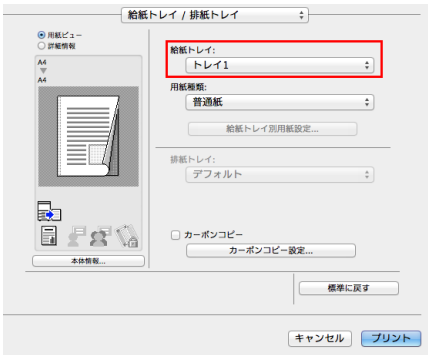
表紙／裏表紙を挿入する（［表カバー :］／［裏カバー :］）

原稿の最初と最後のページに、表紙として本文と異なる用紙を挿入します。

表紙用の用紙は、本文用とは別の用紙（色紙や厚紙など）を選べ、表紙と本文を別々に印刷することなく、一度に印刷できます。

1　［給紙トレイ / 排紙トレイ］の［給紙トレイ :］で、本文を印刷する用紙の給紙トレイを選びます。

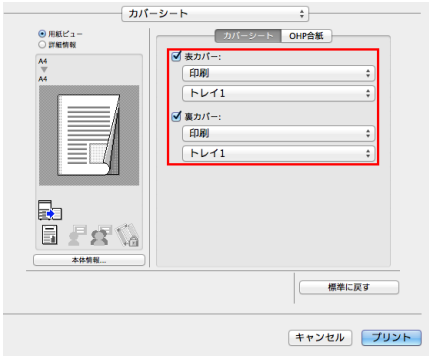
➔［自動］を選ぶことはできません。



2　［カバーシート］の［表カバー：］および［裏カバー：］にチェックをつけます。

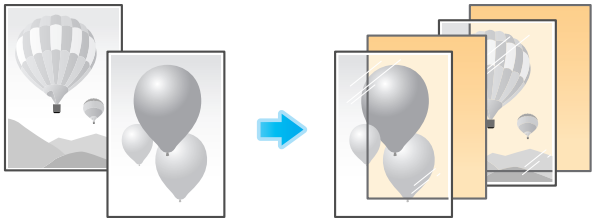
➔ 必要に応じて、挿入した用紙に原稿を印刷するか、印刷せずに白紙とするかを選べます。挿入した用紙に印刷する場合、表紙には原稿の 1 ページ目を、裏表紙には原稿の最終ページを印刷します。

➔ 表紙や裏表紙として挿入する用紙の給紙トレイを選びます。

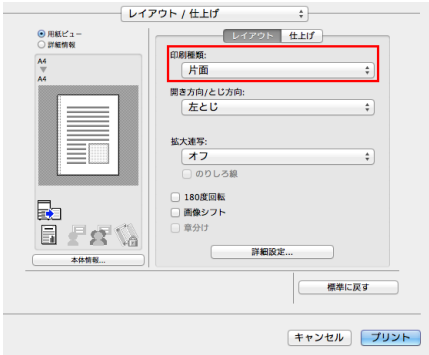


OHP フィルムの間に用紙を挿入する（［OHP 合紙 :］）

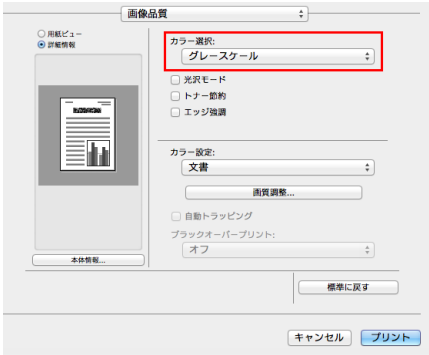
複数枚の OHP フィルムに印刷するときに、指定した用紙を OHP フィルムの間に挿入します。印刷後の熱や、静電気でフィルムどうしが貼付くのを防ぎます。



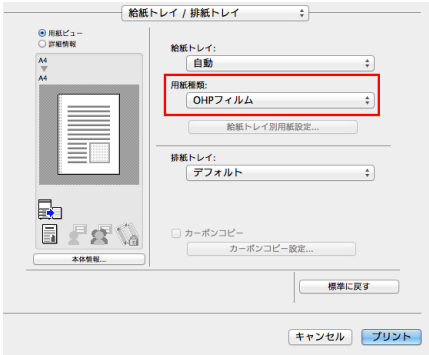
1 ［レイアウト / 仕上げ］の［印刷種類 : ］で［片面］を選びます。



2 ［画像品質］の［カラー選択 :］で［グレースケール］を選びます。



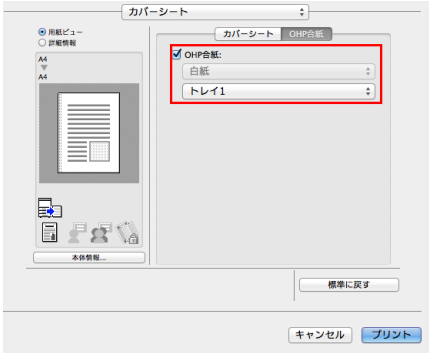
3 ［給紙トレイ / 排紙トレイ］の［用紙種類 :］で［OHP フィルム］を選びます。



4 ［カバーシート］の［OHP 合紙 :］にチェックをつけます。

➔ OHP フィルムの間に挿入する用紙の給紙トレイを選びます。

➔ OHP 合紙は白紙で挿入されます。



指定したページに用紙を挿入する（［ページ単位設定 :］）

指定したページに他のページとは異なる用紙を挿入します。

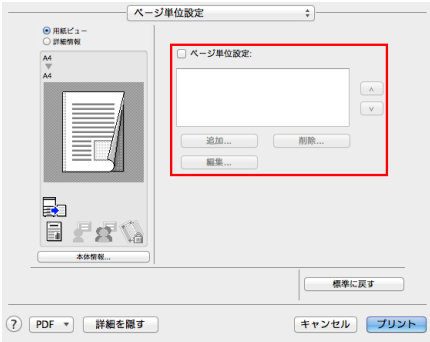
挿入する用紙として、色紙や厚紙などを選べます。また、挿入する用紙に対して原稿を印刷するかどうかを選べます。

あらかじめ、印刷する用紙や印刷設定をページごとに設定したリストを作成します。印刷するときは、作成したリストから、印刷に適用するリストを選びます。

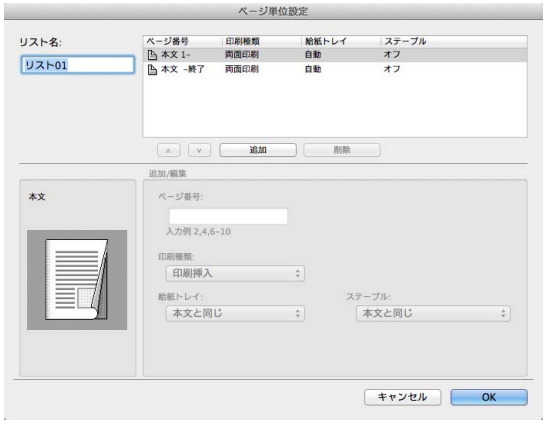
1 ［ページ単位設定］の［ページ単位設定 :］にチェックをつけ、［追加 ...］をクリックします。

➔ リストに何も登録されていないときは、［ページ単位設定 :］にチェックをつけると設定画面が自動的に表示されます。

➔ 作成済みのリストがある場合は、印刷に適用するリストを選びます。



2　印刷する用紙や印刷設定をページごとに設定し、リストを作成します。



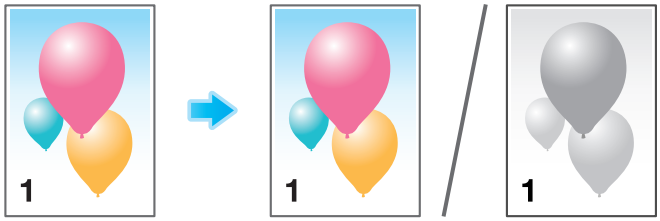
設定		説明
設定リスト		ページごとの設定内容を一覧で表示します。
	［リスト名 :］	作成するリストの名前を入力します。
	［▲］／［▼］	リストに表示されている設定内容の順位を移動します。設定内容には影響しません。
	［追加］	リストに設定内容を追加します。
	［削除］	リスト表示内で選んだ設定内容を削除します。
［追加 / 編集］		設定リストに設定を追加したり、設定内容を変更したりします。
	［ページ番号 :］	追加するページ番号を入力します。 複数のページ番号を入力するときは、「2,4,6」のようにカンマで区切るか、「6-10」のようにハイフンでつないで入力します。
	［印刷種類 :］	指定したページを印刷するときの印刷種類を選びます。
	［給紙トレイ :］	指定したページを印刷する用紙の給紙トレイを選びます。
	［ステープル :］	指定したページをステープルでとじるときのとじ位置を選びます。

3　［OK］をクリックします。

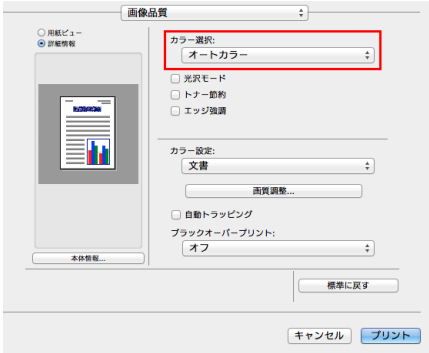
3.3.9 カラーや画質を指定して印刷する

印刷の色を選ぶ（［カラー選択 :］）

印刷する色を選びます。カラー機能には、原稿の色に合わせて印刷する［オートカラー］のほか、［フルカラー］、［グレースケール］があります。



［画像品質］の［カラー選択 :］で、印刷する色を選びます。

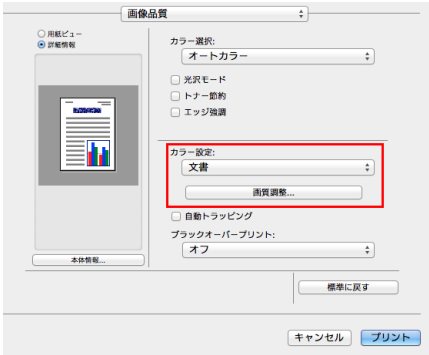


原稿に適したカラー表現を選ぶ（［カラー設定 :］）

原稿の記載内容に適した設定を選んで、最適な画質で印刷します。

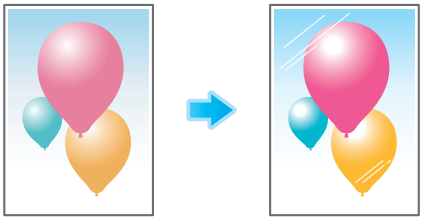
印刷する原稿に合わせて、文字の多い原稿に適した処理、写真に適した処理、DTP で作成した原稿に適した処理、Web ページの印刷に適した処理、CAD データの印刷に適した処理を選びます。

［画像品質］の［カラー設定 :］で、原稿に合わせて、カラー設定のモードを選びます。

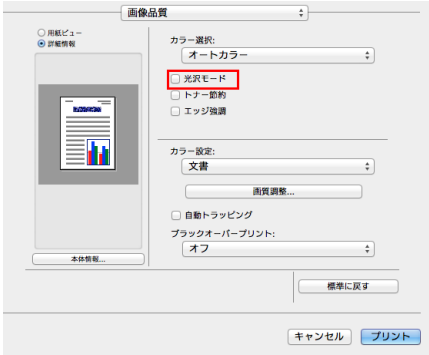


画像に光沢をつける（［光沢モード］）

画像に光沢をつけて印刷します。



［画像品質］の［光沢モード］にチェックをつけます。

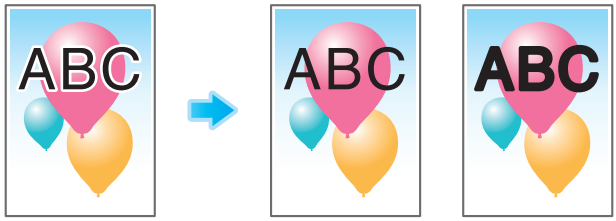


参考

- ［印刷種類：］が［片面］に設定されているときに有効です。

画像の周囲の白抜けを防ぐ（［自動トラッピング］／［ブラックオーバープリント：］）

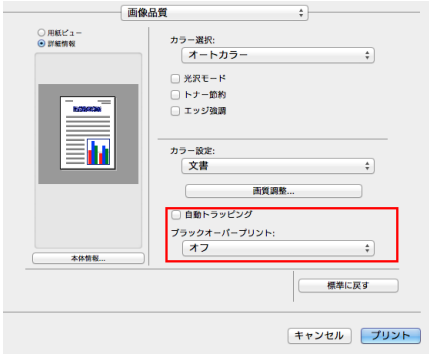
色の境目や文字の周りの白抜けを抑止します。



［画像品質］の［自動トラッピング］または［ブラックオーバープリント：］を設定します。

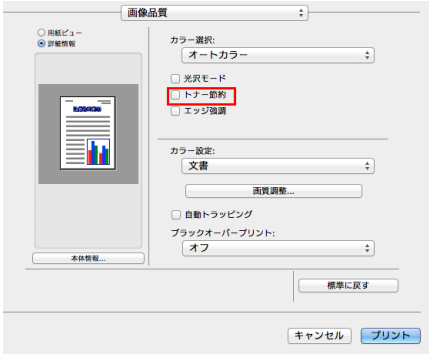
- ［自動トラッピング］にチェックをつけると、絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣合う色を重ねて印刷します。

- ［ブラックオーバープリント :］を設定すると、黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣合う色に黒を重ねて印刷します。文字だけに重ねて印刷するか、文字と図形の両方に重ねて印刷するかを選べます。



トナー消費量を節約する（［トナー節約］）

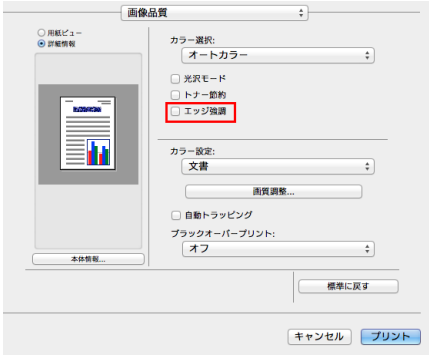
［画像品質］の［トナー節約］にチェックをつけると、印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。



小さい文字や薄い文字を見やすくする（［エッジ強調］）

表文字、グラフィックなど、画像のエッジ部分を強調して、読みやすくします。

［画像品質］の［エッジ強調］にチェックをつけます。

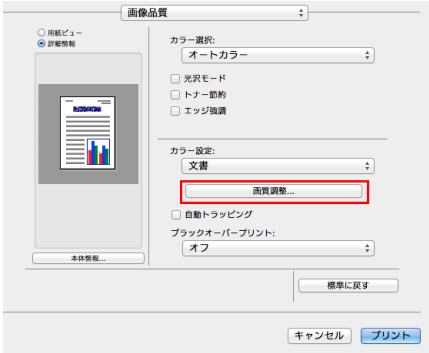


3.3.10　ICC プロファイルを使う

ICC プロファイルを指定して印刷する

本機に登録されている ICC プロファイルを、プリンタードライバーで指定して印刷します。

1　［画像品質］の［画質調整 ...］をクリックします。



2　［RGB カラー :］、［出力プロファイル :］、［シミュレーションプロファイル :］の各項目を指定します。

➔ プリンタードライバーに登録されている ICC プロファイルから選べます。

3　［OK］をクリックします。

選んだプロファイルによってカラー処理が行われます。

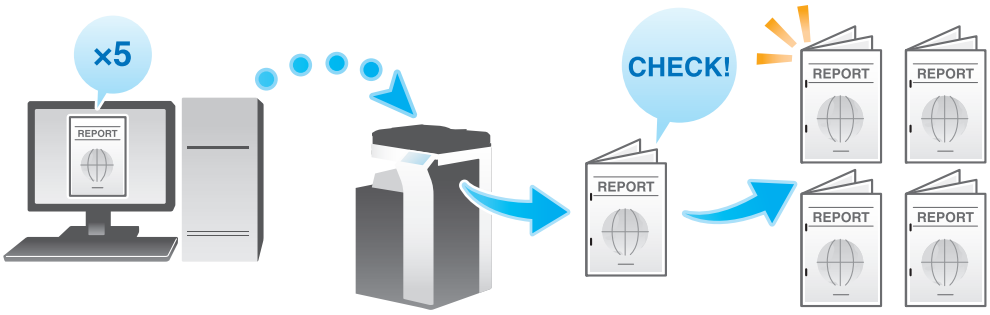
3.4　こんな印刷のしかたがあります

3.4.1　1 部だけお試し印刷する（［確認印刷］）

確認印刷について

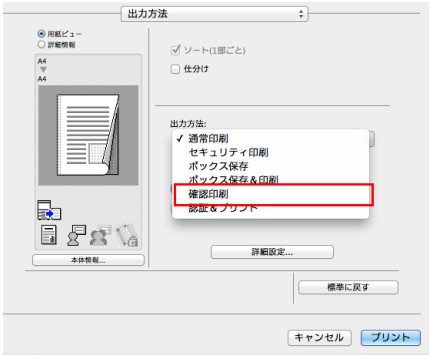
確認印刷は、複数の部数を印刷するときに、1 部だけ印刷して残り部数の印刷を待機する機能です。

印刷結果を確認してから、**タッチパネル**で残り部数の印刷を指示できるので、大量のミスプリントを防ぎたい場合に便利です。



コンピューターからの印刷のしかた

1　［出力方法］画面の［出力方法 :］で［確認印刷］を選びます。

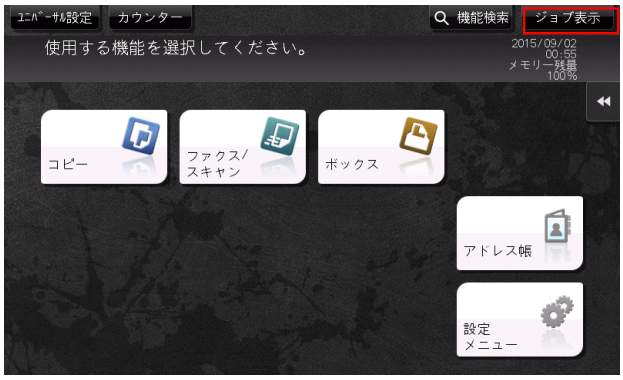


2　部数を指定して印刷を実行します。

1 部だけが印刷されます。続いて、「本機での操作」へ進みます。

本機での操作

1　［ジョブ表示］をタップします。



2　［実行中］が表示されている状態で、［蓄積解除］をタップします。

3　印刷するジョブを選びます。

4　必要に応じて、［設定変更］をタップし、印刷条件を変更します。

➔ ジョブを削除する場合は、［削除］をタップします。

5　［実行］をタップするか、または**スタート**を押します。

残りの部数が印刷されます。

ジョブの削除

［確認印刷］を設定して本機に送信したジョブは、コンピューターの Web ブラウザーから Web Connection を使うことで、遠隔から削除できます。

1 Web ブラウザーを使って Web Connection へアクセスします。

➔ アクセスのしかたについては、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［基本的な使い方］」をごらんください。

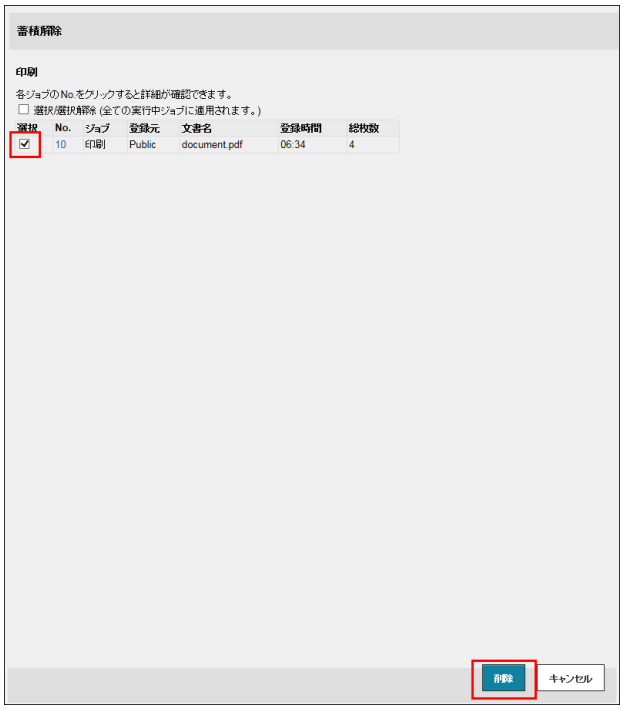
2 ユーザーモードにログインします。

➔ ユーザーモードへのログインのしかたについては、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［基本的な使い方］」をごらんください。

3 ［ジョブ確認］-［実行中リスト］をクリックします。

4 ［蓄積解除］をクリックします。

5　削除するジョブにチェックをつけ、［削除］をクリックします。



6　［OK］をクリックします。

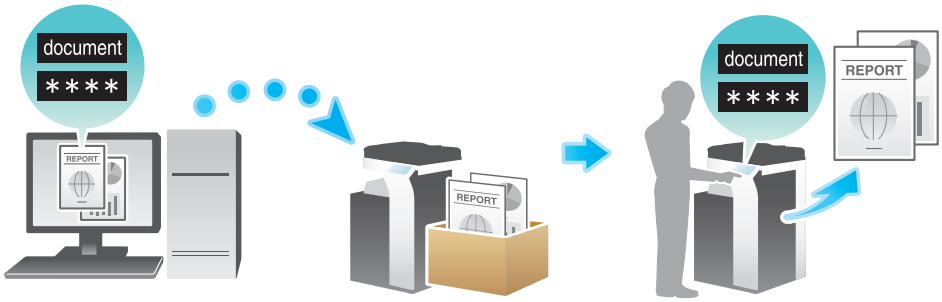
選択したジョブが削除されます。

3.4.2　機密性の高い原稿を印刷する（［セキュリティ印刷］）

セキュリティ印刷について

セキュリティ印刷は、印刷データに文書 ID とパスワードをつけて、本機のボックス（セキュリティ文書ボックス）に保存する機能です。すぐに印刷されないため、印刷物の紛失や置忘れを防ぐことができます。

ボックスから印刷するには、**タッチパネル**で文書 ID とパスワードを入力する必要があるため、特に機密性の高い文書を印刷する場合に適しています。



関連設定（管理者向け）

- コンピューターからの印刷を、セキュリティ印刷だけに限定することができます（初期値：［しない］）。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

セキュリティ文書の簡単印刷を有効にする（管理者向け）

セキュリティ文書の簡単印刷を有効にすると、コンピューターのログイン名が、セキュリティ印刷の文書 ID として使用されるため、文書 ID の入力を省略できます。

また、コンピューターのログイン名を、セキュリティ印刷の文書 ID として使用することで、他のユーザーとの文書 ID の重複がなくなるため、本機での文書管理が簡単になります。

ユーザーが本機で印刷するときは、**操作パネル**に文書 ID の一覧を表示し、目的の文書 ID を簡単に指定できます。

セキュリティ文書の簡単印刷を有効にする場合は、次の設定をします。

- 本機の［設定メニュー］-［管理者設定］-［環境設定］-［ボックス設定］-［セキュリティー文書設定］を［簡単印刷する］に設定します（初期値：［簡単印刷しない］）。
- プリンタードライバーの［インストール可能なオプション］画面で［セキュリティ文書設定］を［簡単印刷する］に設定します（初期値：［簡単印刷しない］）。［インストール可能なオプション］について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

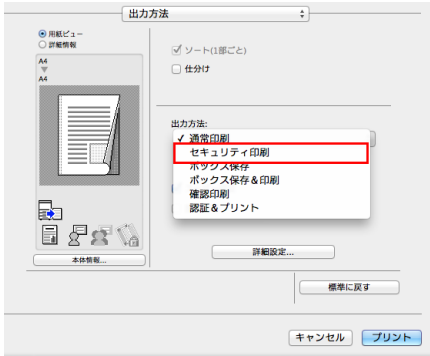
参考

- 簡単印刷が無効の場合、文書 ID に入力できる文字数は半角 16 文字までです。簡単印刷を有効にすると、文書 ID に入力できる文字数は全角／半角 64 文字までに拡張されます。
- 文書 ID が半角 17 文字以上または全角文字を含む場合、簡単印刷を有効から無効に変更すると、その文書の操作ができなくなります。

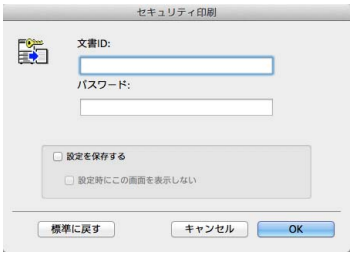
コンピューターからの印刷のしかた

1 ジョブで 2999 ページまでの文書を印刷できます。

1　［出力方法］画面の［出力方法 :］で［セキュリティ印刷］を選びます。



2　文書 ID とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。



➔ ［設定を保存する］にチェックをつけると設定した内容が保存されます。さらに［設定時にこの画面を表示しない］にチェックをつけるとダイアログが表示されません。常に同じ文書 ID とパスワードで印刷する場合は、チェックをつけると、次回以降入力する手間が省けます。

3　印刷を実行します。

セキュリティ文書ボックスに保存されます。続いて、「本機での操作」へ進みます。

➔ 本機で印刷データの読込みが完了する前に、**操作パネル**から印刷の指示を出すことができます。ただし、印刷は本機で印刷データの読込みが完了したあと行われます。

本機での操作

セキュリティ印刷機能で印刷したデータは、セキュリティ文書ボックスに保存されます。保存されたデータを印刷するには、プリンタードライバーで指定した文書 ID とパスワードの入力が必要です。

印刷のしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［ボックス機能］/［機密性の高い文書を印刷する (セキュリティー文書)］」をごらんください。

関連設定 (管理者向け)

- セキュリティ文書ボックスに保存されているすべてのデータを削除できます。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。
- セキュリティ文書ボックスに保存したデータを自動的に削除するまでの時間を設定できます (初期値：［1 日］)。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

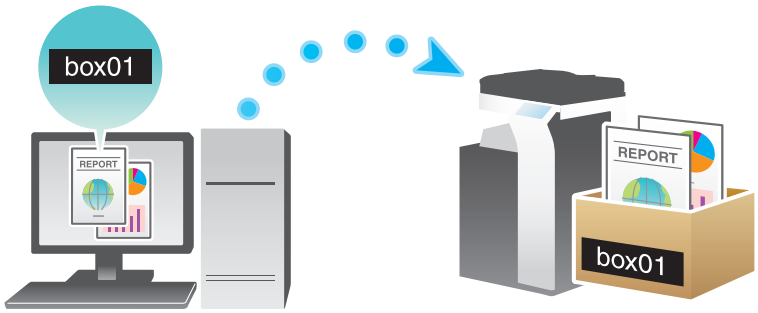
3.4.3　印刷データを本機のボックスに保存する（［ボックス保存］）

ボックス保存について

ボックス保存は、印刷データを本機のボックスに保存する機能です。ボックスに保存すると同時に印刷することもできます。

保存先のボックスを使い分けることで、次のような使い方ができます。

- 全員が共有で使うボックス（共有ボックス）や部署ごとに使うボックス（グループボックス）に保存すれば、データの配布に利用できます。
- ユーザー専用のボックス（個人ボックス）に保存すれば、ユーザー本人しかボックスを開くことができないため、セキュリティ対策になります。誤ってボックス内のデータが削除されることもありません。



お使いになるために必要な作業

印刷データを保存するボックスを本機に登録します。

ボックスの登録のしかたについては、「ユーザーズガイド［ボックス機能］/［文書を複合機にファイルで保存、利用する］」をごらんください。

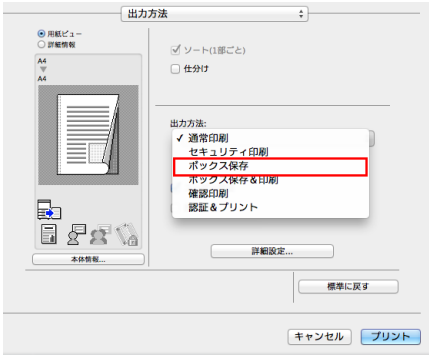
参照

ボックスは Web Connection でも登録できます。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［ボックス機能の使用環境を設定する］」をごらんください。

コンピューターからの印刷のしかた

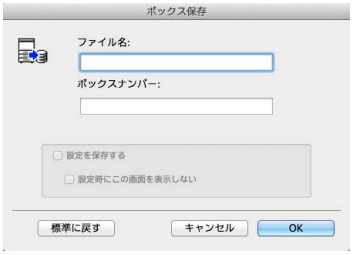
1　［出力方法］画面の［出力方法 :］で［ボックス保存］を選びます。

➔ ボックスに保存すると同時に印刷したいときは、［ボックス保存＆印刷］を選びます。



2　ファイル名と保存先のボックス番号を入力し、［OK］をクリックします。

➔ ファイル名には、ボックスを開いてデータを探すときにわかりやすい名前をつけてください。



➔ ［設定を保存する］にチェックをつけると設定した内容が保存されます。さらに［設定時にこの画面を表示しない］にチェックをつけるとダイアログが表示されません。常に同じファイル名とボックス番号で保存する場合は、チェックをつけると、次回以降入力する手間が省けます。

3　印刷を実行します。

本機のボックスに保存されます。

ボックス保存したデータの活用

ボックスに保存したデータは、印刷したり、E-mail やファクスで送信したりできます。

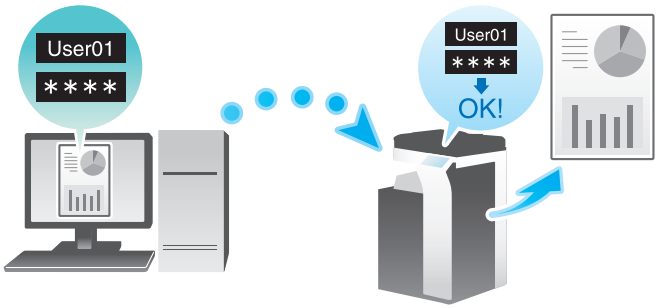
- ボックスに保存したデータの印刷のしかたについては、「ユーザーズガイド［ボックス機能］/［文書を複合機にファイルで保存、利用する］」をごらんください。
- ボックスに保存したデータの送信のしかたについては、「ユーザーズガイド［ボックス機能］/［文書を複合機にファイルで保存、利用する］」をごらんください。

3.4.4　認証情報をつけて印刷する

認証設定時の印刷について

ユーザー認証や部門管理を導入している環境で印刷する場合は、印刷するときに認証情報（ユーザー名とパスワード）を本機へ送る必要があります。これにより、本機で印刷できるユーザーを限定し、第三者の不正利用を防ぎます。

印刷が許可されていないユーザーの印刷ジョブや、認証情報のない印刷ジョブを本機が受信すると、自動的に破棄します。



参考

- 認証情報のない印刷ジョブとは、本機でユーザー認証／部門管理を設定しているにも関わらず、プリンタードライバーでユーザー認証／部門管理を正しく設定せずに送信した印刷ジョブのことです。プリンタードライバーの［出力方法］画面で［ユーザー認証］／［部門管理］にチェックをつけずに、［出力方法：］で［通常印刷］を選んで印刷を実行すると、認証情報のない印刷ジョブとして扱われます。

関連設定（管理者向け）

- 認証情報のない印刷ジョブを受信したときの本機の動作を設定できます（初期値：［禁止］）。印刷を許可すると、本機に登録されていないユーザーや部門でも印刷ができてしまいます。セキュリティ上または管理上の不都合がある場合は、初期設定の状態でお使いください。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

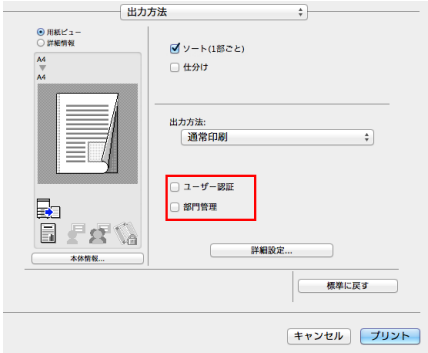
参照

ユーザー認証や部門管理を導入している環境で機密性の高い文書を印刷するときは、認証＆プリント機能を使うと、セキュリティの高い印刷ができます。詳しくは、3-45 ページをごらんください。

簡易認証を導入すると、ユーザー名だけの認証で、パスワードを入力せずに印刷できます。設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［本機を使えるユーザーを制限する］」をごらんください。

コンピューターからの印刷のしかた

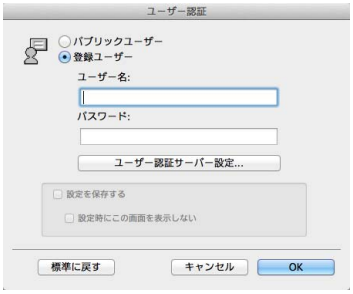
1　［出力方法］画面の［ユーザー認証］（および［部門管理］）にチェックをつけます。



2　ユーザー認証を行っている場合は、［登録ユーザー］を選び、ユーザー名とパスワードを入力してから［OK］をクリックします。

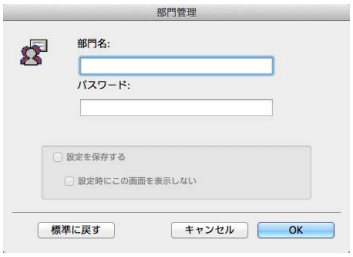
➔ 本機でパブリックユーザー (登録されていないユーザー) が許可されている場合は、［パブリックユーザー］を選ぶことで、ユーザー名とパスワードを入力せずに印刷できます。

➔ 外部の認証サーバーをお使いの場合は、［ユーザー認証サーバー設定 ...］をクリックし、認証方法と認証サーバーを選びます。本体装置での認証と外部の認証サーバーでの認証を併用する場合に本体装置で認証を行うときは、認証サーバーとして本体装置を指定します。



➔ ［設定を保存する］にチェックをつけると設定した内容が保存されます。さらに［設定時にこの画面を表示しない］にチェックをつけるとダイアログが表示されません。常に同じユーザー名とパスワードで印刷する場合は、チェックをつけると、次回以降入力する手間が省けます。

3　部門管理を行っている場合は、部門名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。



➔ ［設定を保存する］にチェックをつけると設定した内容が保存されます。さらに［設定時にこの画面を表示しない］にチェックをつけるとダイアログが表示されません。常に同じ部門名とパスワードで印刷する場合は、チェックをつけると、次回以降入力する手間が省けます。

4　印刷を実行します。

認証情報が正しい場合は印刷されます。

関連設定 (管理者向け)

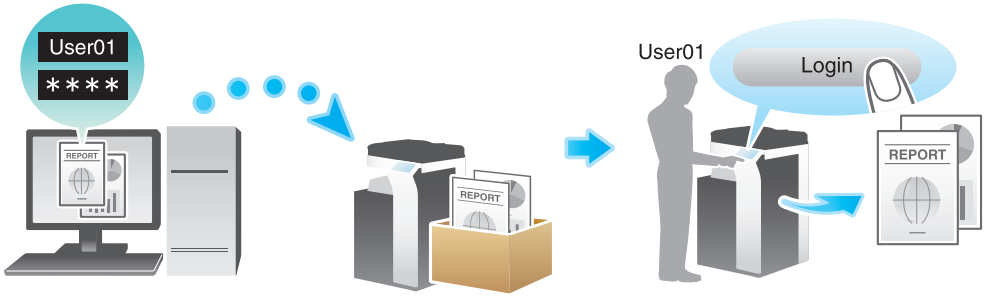
- ［認証 & プリント設定］で［認証 & プリント］が［使用する］に設定されている場合、プリンタードライバーの［出力方法］を［通常印刷］に設定していても認証 & プリントジョブとして扱われます (初期値 :［使用しない］)。［認証 & プリント設定］について詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

3.4.5　本機で認証すると同時に印刷する（［認証＆プリント］）

認証＆プリントについて

認証＆プリントは、ユーザー認証を導入している環境で、印刷データを本機のボックス（認証＆プリントボックス）に保存する機能です。すぐに印刷されないため、印刷物の紛失や置忘れを防ぐことができます。

ボックスから印刷するには、本機でユーザー認証を行う必要があるため、機密性の高い文書を印刷する場合に適しています。認証に成功すると、ログインユーザーの印刷データが自動的に印刷されるため、セキュリティを強化するとともにスムーズな運用ができます。



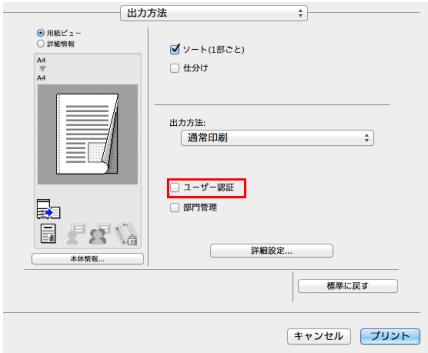
関連設定（管理者向け）

- 認証＆プリント機能を使うときの本機の動作を設定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。
- 認証＆プリントボックスに保存したファイルを自動的に削除するまでの時間を設定できます（初期値：［1 日］）。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。
- 認証＆プリントボックス内のファイルを印刷したあと、ユーザーに対して、ファイルの削除確認をせず、常に削除するかどうかを選べます（初期値：［ユーザーに確認］）。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

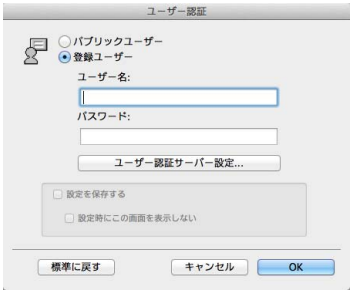
コンピューターからの印刷のしかた

1 ジョブで 2999 ページまでの文書を印刷できます。

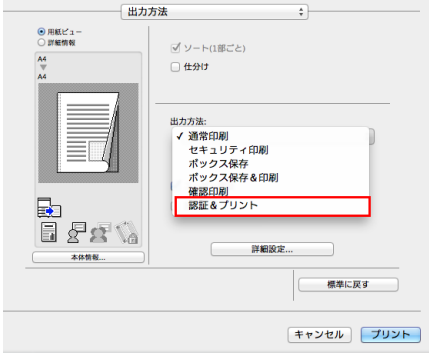
1　［出力方法］画面の［ユーザー認証］にチェックをつけます。



2　［登録ユーザー］を選び、ユーザー名とパスワードを入力してから［OK］をクリックします。



3　［出力方法 :］で［認証＆プリント］を選びます。



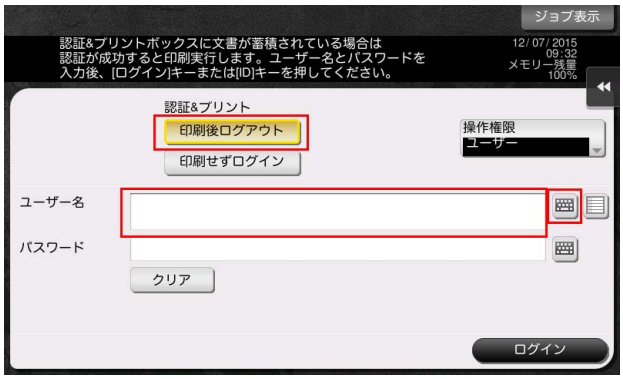
4　印刷を実行します。

認証 & プリントボックスに保存されます。続いて、「本機での操作」へ進みます。

➔ 本機で印刷データの読込みが完了する前に、**操作パネル**から印刷の指示を出すことができます。ただし、印刷は本機で印刷データの読込みが完了したあと行われます。

本機での操作

1　［ユーザー名］の入力エリアまたはキーボードアイコンをタップし、ユーザー名とパスワードを入力します。



2　［認証 & プリント］で［印刷後ログアウト］が選ばれていることを確認し、［ログイン］をタップします。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷後ログアウト］を選ぶと、データを印刷したあと、本機へログインしません。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷せずログイン］を選ぶと、データを印刷せずに、本機へログインします。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷後ログイン］を選ぶと、データを印刷したあと、本機へログインします。［印刷後ログイン］を表示するには、設定の変更が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

認証に成功すると、認証＆プリントボックスに保存されているすべてのデータが印刷されます。

参照

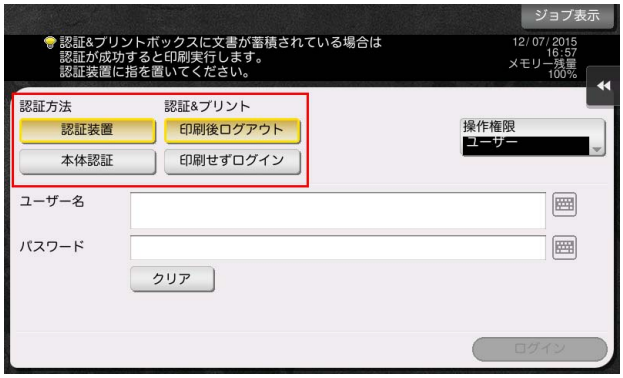
認証 & プリントボックス内の特定のデータだけを印刷したい場合は、認証 & プリントボックスを開き、印刷するデータを選びます。印刷のしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［ボックス機能］/［認証管理している複合機で印刷する (認証＆プリント)］」をごらんください。

本機での操作（認証装置をお使いの場合）

認証装置に指を置く、または IC カード／ NFC 対応 Android 端末をかざすだけで簡単に印刷できます。

✔ 認証の設定によっては、**認証装置**に指を置く、または IC カード／ NFC 対応 Android 端末をかざす前に、ユーザー名またはパスワードの入力が必要な場合があります。［ユーザー名］または［パスワード］の入力エリアまたはキーボードアイコンをタップして、ユーザー名またはパスワードを入力します。

1 ［認証方法］で［認証装置］が選ばれていることを確認します。



2 ［認証 & プリント］で［印刷後ログアウト］が選ばれていることを確認し、**認証装置**に指を置く、または IC カード／ NFC 対応 Android 端末をかざします。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷後ログアウト］を選ぶと、データを印刷したあと、本機へログインしません。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷せずログイン］を選ぶと、データを印刷せずに、本機へログインします。

➔ ［認証 & プリント］で［印刷後ログイン］を選ぶと、データを印刷したあと、本機へログインします。［印刷後ログイン］を表示するには、設定の変更が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

認証に成功すると、認証＆プリントボックスに保存されているすべてのデータが印刷されます。

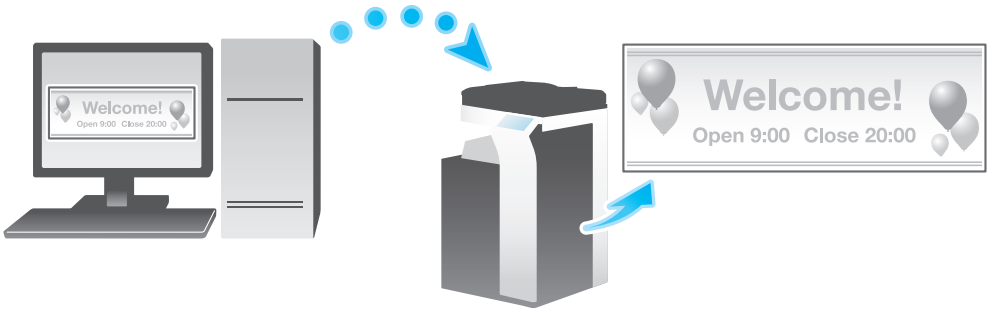
関連設定（管理者向け）

- **認証装置**で認証＆プリントを行う場合は、1 回の認証ですべてのジョブを印刷するか、1 つのジョブだけ印刷するかを選べます（初期値：［全ジョブ印刷］）。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

3.4.6　長尺紙に印刷する

長尺紙への印刷について

本機は 1200 mm までの用紙を**手差しトレイ**にセットして印刷できます。



参考

- この機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

印刷できる用紙について

用紙幅	用紙長	用紙坪量
210 mm ～ 297 mm	431.9 mm ～ 1200 mm	127 g/m^2 ～ 210 g/m^2 (プリンタードライバーで、お使いの長尺用紙の坪量に対応した用紙種類を選んでください。 121 g/m^2 ～ 157 g/m^2：厚紙 1+、厚紙 1+(2 面目) 158 g/m^2 ～ 209 g/m^2：厚紙 2、厚紙 2(2 面目) 210 g/m^2：厚紙 3、厚紙 3(2 面目))

参考

- 長尺紙に印刷する場合、プリンタードライバーで長尺紙に対応した用紙を選ぶと、［給紙トレイ：］が［手差し］に固定されます。

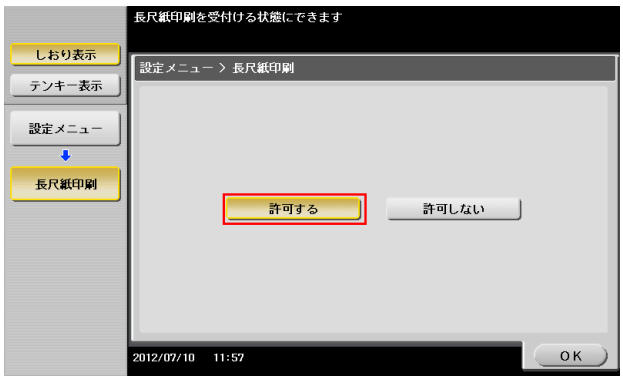
長尺紙印刷のしかた

長尺紙のサイズを登録してから、登録した用紙サイズを指定して印刷します。

✔ ［認証 & プリント設定］で［認証 & プリント］が［使用する］に設定されている場合、長尺紙への印刷はできません (初期値：［使用しない］)。［認証 & プリント設定］について詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

1 本機の**タッチパネル**で、［設定メニュー］-［長尺紙印刷］をタップします。

2 ［許可する］を選び、［OK］をタップします。



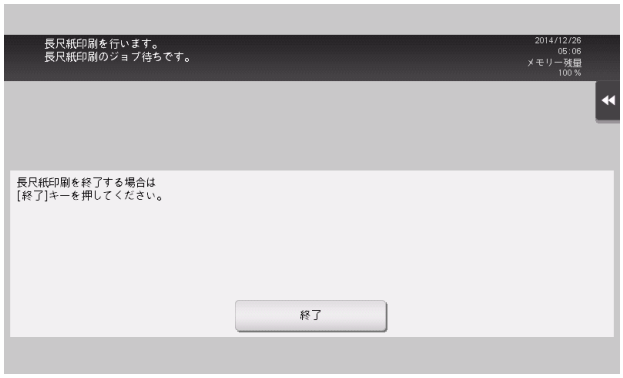
3 長尺紙印刷のジョブ待ちの画面になったことを確認します。

➔ 長尺紙印刷のジョブの待ち状態のときでも、以下の印刷ジョブ (長尺紙を除く) は受信できます。
コンピューターからの印刷：通常印刷、セキュリティ印刷、ボックス保存、ボックス保存 & 印刷、確認印刷、認証 & プリント
Web Connection からのダイレクトプリント：通常印刷、セキュリティ印刷、ボックス保存、確認印刷、認証 & プリント

➔ 長尺紙印刷のジョブの待ち状態のときでも、以下のファクスジョブは受信できます。
G3 ファクス、インターネットファクス、IP アドレスファクス、PC-FAX

➔ 長尺紙印刷のジョブの待ち状態が解除されるまで、以下のジョブは実行待ちとなります。
転送ファクス、ファクスの中継配信、ファクスの TSI 受信振分け、ファクスのタイマー通信、PC-FAX 送信

➔ 長尺紙印刷のジョブの待ち状態のときは、以下の操作はできません。
Web Connection からのボックス内のファイルの印刷／送信／ダウンロード、WS スキャン、TWAIN スキャン



ここまで設定したら、コンピューターから印刷の操作に移ります。

4 ［ページ設定］画面で、カスタムサイズの登録画面を開きます。

➔ 用紙サイズの一覧から［カスタムサイズを管理 ...］を選びます。

5 ［+］をクリックします。

6 登録する用紙サイズの名前を入力します。

➔ A4、Custom など、既存の定形紙の名前は登録できません。

7 各項目を設定します。

➔ ［用紙サイズ：］：任意の幅と長さを指定します。
長尺紙の仕様範囲 (用紙幅：210 mm ～ 297 mm、用紙長：431.9 mm ～ 1200 mm) で設定してください。

➔ ［プリントされない領域：］：用紙の上下左右の余白を指定します。

8 ［OK］をクリックします。

カスタム用紙サイズが登録されます。

9 ［ページ属性］の［用紙サイズ］で、登録した用紙サイズを選びます。

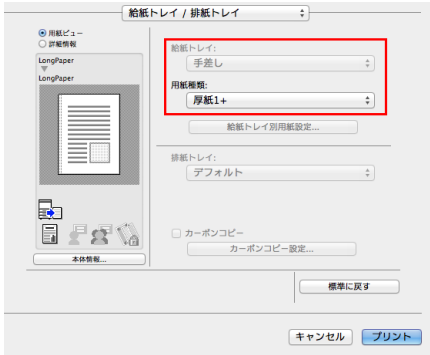
➔ 登録した用紙サイズは、プリント画面の［用紙サイズ :］でも選べます。

10 ［ファイル］メニューから［プリント］をクリックしてプリント画面を表示します。

11 ［用紙処理］の［出力用紙サイズ］に、手順 8 で登録したカスタム用紙サイズの名称が表示されていることを確認します。

12 ［給紙トレイ / 排紙トレイ］の［給紙トレイ :］が［手差し］、［用紙種類 :］が使用する用紙種類 (［厚紙 1+］／［厚紙 2］／［厚紙 3］) に設定されていることを確認します。

➔ 設定した用紙サイズが長尺紙の仕様範囲になっていない場合は、［給紙トレイ :］や［用紙種類 :］がグレーアウトにならず、変更できる状態になっています。この場合は、カスタム用紙サイズの設定を確認してください。



13 印刷を実行します。

本機の**タッチパネル**に、用紙のセットをうながすメッセージが表示されます。

14 **手差しトレイ**に長尺紙をセットします。

➔ **手差しトレイ**への長尺紙のセットのしかたについては、「ユーザーズガイド［はじめに］/［用紙をセットする］」をごらんください。

15 長尺紙をセットしたら、［セット完了］をタップします。

長尺紙への印刷が開始されます。排紙される長尺紙を手で支えてください。続けて印刷する場合は、コンピューターから印刷を指示します。

16 ［終了］をタップします。

長尺紙印刷の終了の確認メッセージが表示されます。終了する場合は、［はい］をタップします。

➔ 実行待ちのジョブがある場合は、ジョブが開始されます。

3.4.7　封筒やはがきに印刷する

コンピューターで印刷を実行してから、本機に封筒やはがきをセットし、印刷を実行してください。

ここでは、定形サイズの封筒やはがきをセットする場合について説明します。

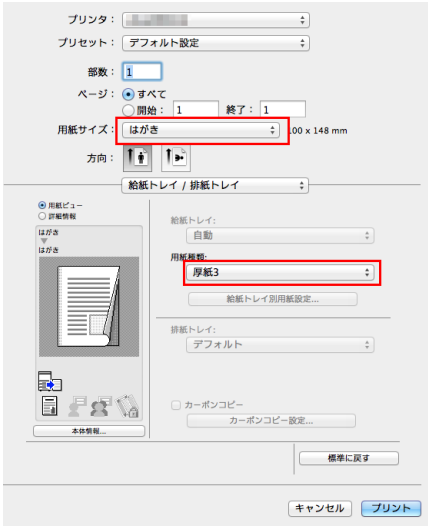
1　アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。

2　［プリンタ :］で、印刷したいプリンターが選ばれていることを確認します。

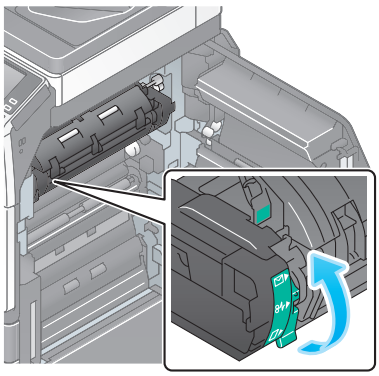
3　［用紙サイズ :］から、［封筒］または［はがき］を選びます。

➔ 封筒にはさまざまなサイズがあります。セットした封筒に合わせて適切な用紙サイズを選んでください。

➔ はがきを選ぶと、［用紙種類 :］が［厚紙 3］に自動的に設定されます。［封筒］を選ぶと、［用紙種類 :］が［封筒］に自動的に設定されます。



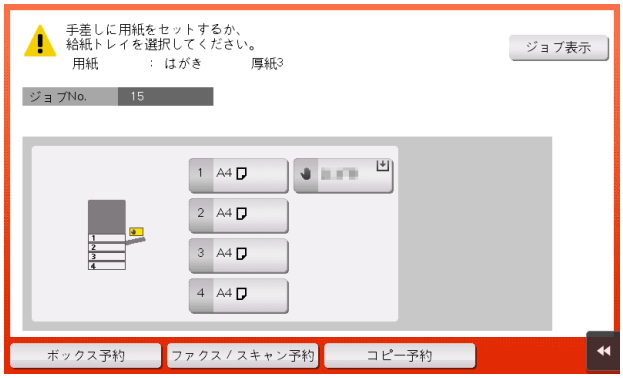
4　封筒をセットする場合は、**右ドア**を開き、**定着調節レバー**を封筒の位置（一番上）まで移動します。



5　**右ドア**を閉じます。

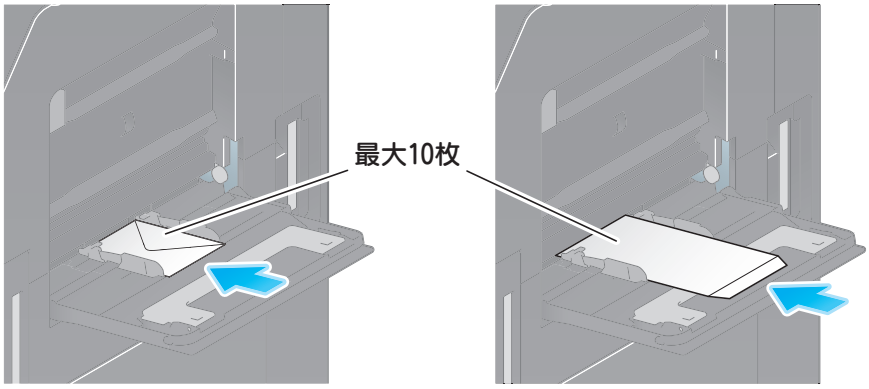
6　印刷を実行します。

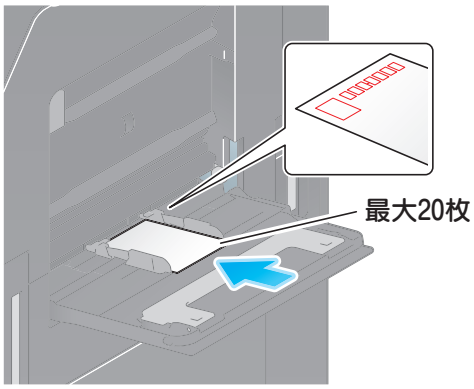
本機の**操作パネル**に以下の画面が表示されます。



7　印刷面を下向きにして、封筒やはがきを**手差しトレイ**にセットします。

➔ 封筒やはがきの先端が奥に当たるまで差込んでください。

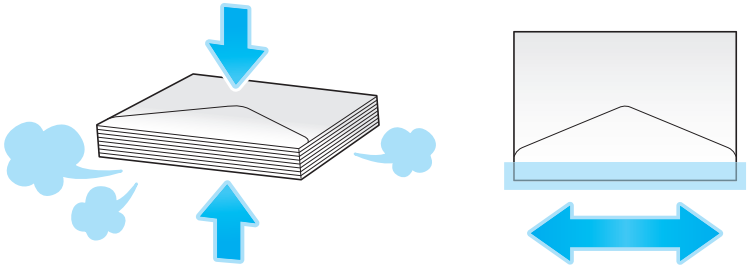




重要

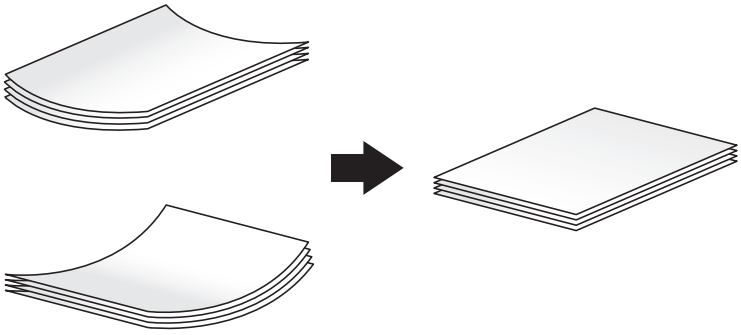
手差しトレイに封筒やはがきをセットする場合は、以下の点にご注意ください。

➔ 封筒をセットするときは、封筒内部の空気を押出し、封筒の折り目をしっかり押さえてください。空気が残っていたり折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわができたり、紙づまりの原因となります。

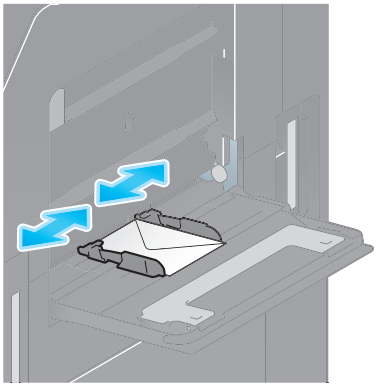


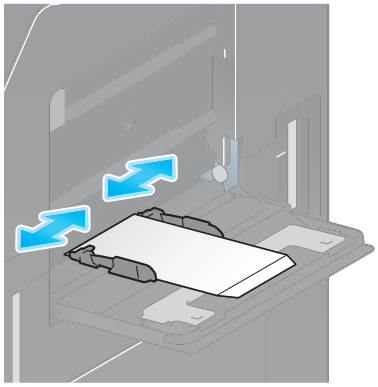
➔ フラップ（ふた）や胴のフラップ（ふた）がかぶさる部分に、のりやはく離紙のついた封筒は使用しないでください。故障の原因となります。

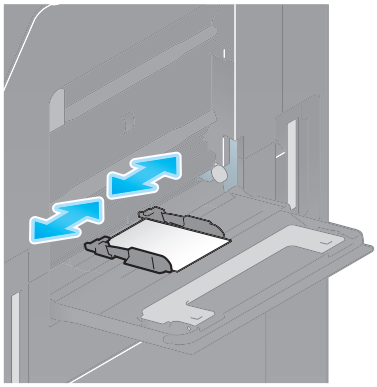
➔ カールしたはがきをセットする場合、図のようにカール（反り）を直したあとセットしてください。



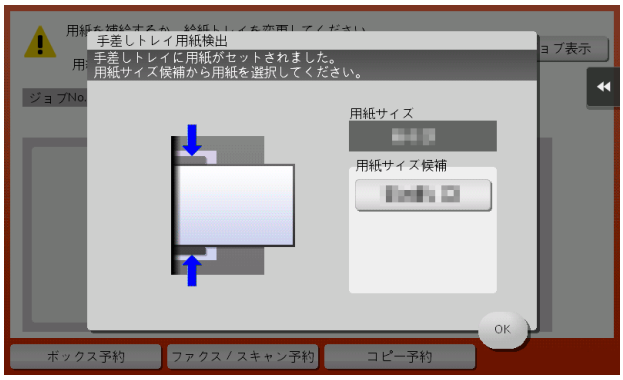
8　セットした用紙のサイズに合わせて、**ガイド板**をスライドします。





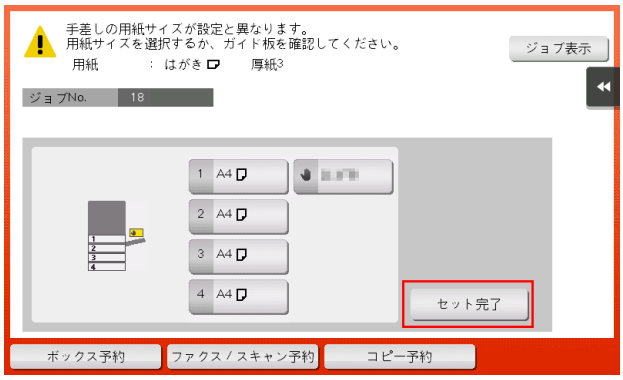


9　［用紙サイズ候補］から、セットした用紙のサイズを選択し、［OK］をタップします。

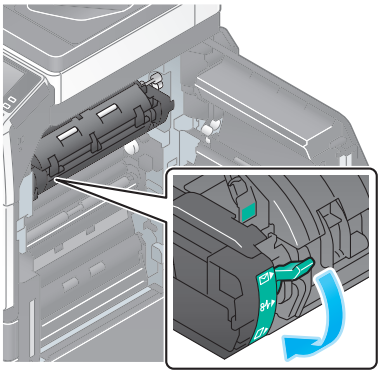


10 ［セット完了］をタップすると、印刷を開始します。

➔ ［セット完了］をタップできない場合は、プリンタードライバーと本体の用紙設定が一致しているかどうかを確認してください。また、**手差しトレイ**にセットされている封筒またははがきを取除き、もう一度セットしなおしてください。



封筒への印刷が完了したら、手順 6 で移動した**定着調節レバー**を通常印刷の位置（一番下）へ戻してください。



⚠ **注意**

- 本製品の内部には、高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。やけどの原因となります。

3.4.8　暗号化ワードを変更する

暗号化ワードについて

暗号化ワードは、プリンタードライバーを使って印刷するときに本機へ送るパスワードを暗号化するための情報です。

印刷するとき、お使いの機能によっては、ユーザーパスワードや部門パスワードのような認証パスワードを送ることがあります。パスワードは、本機にあらかじめ設定されている暗号化ワードを使って暗号化されますが、必要に応じて、暗号化ワードを変更できます。

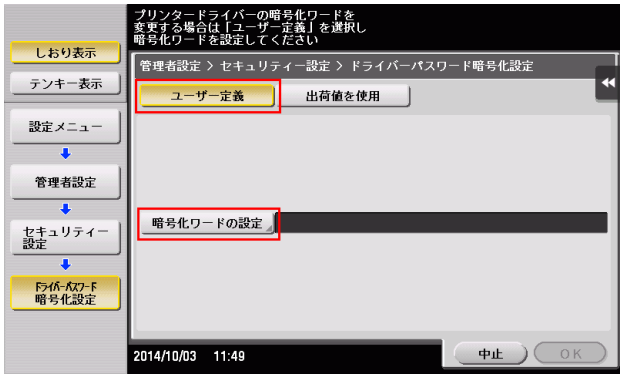
暗号化ワードを変更する場合は、本機とプリンタードライバーとで同じ暗号化ワードを設定する必要があります。

参考

- 本機とプリンタードライバーとで登録されている暗号化ワードが異なる場合は、暗号化されたパスワードを本機で復号できないため、印刷できません。

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

1　［設定メニュー］-［管理者設定］-［セキュリティー設定］-［ドライバーパスワード暗号化設定］をタップします。



2　［ユーザー定義］を選び、［暗号化ワードの設定］をタップします。

3　［暗号化ワード］をタップし、変更する暗号化ワードを入力します（半角英数字記号 20 文字）。

➔［暗号化ワード確認入力］をタップし、確認のため暗号化ワードを再入力します。

➔「1111 ･･･」など、同一文字が連続する暗号化ワードは無効です。

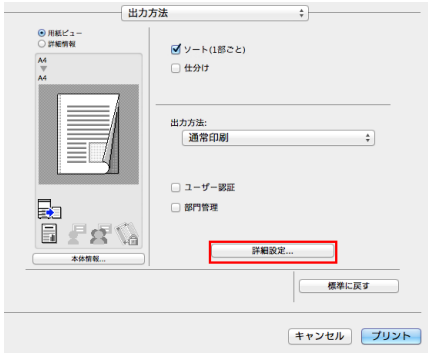
4　［OK］をタップします。

暗号化ワードが設定されます。

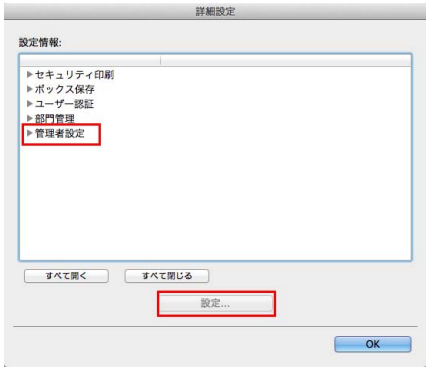
プリンタードライバーの設定

✔　本機で暗号化ワードを変更しない場合は、この操作は行わないでください。

1　［出力方法］画面の［詳細設定 ...］をクリックします。

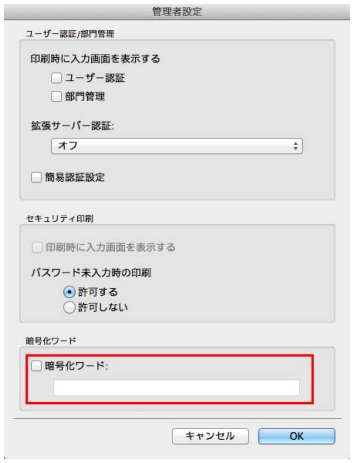


2　［管理者設定］を選び、［設定 ...］をクリックします。



3　［暗号化ワード :］にチェックをつけ、本機で設定した暗号化ワードと同じ暗号化ワードを入力します (半角英数字記号 20 文字)。

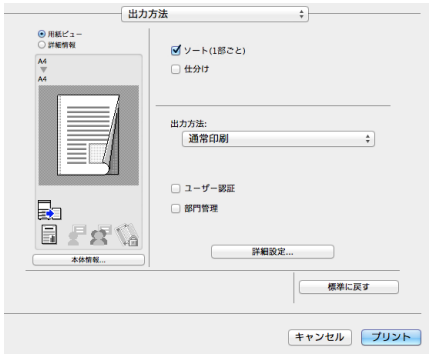
➔　本機で暗号化ワードを変更しない場合は、［暗号化ワード］にチェックをつけないでください。



4　［OK］をクリックします。

印刷のしかた

1　［出力方法］で、［セキュリティ印刷］、［ボックス保存］、［ユーザー認証］などのパスワードを利用する印刷機能を設定します。



2　印刷を実行します。

プリンタードライバーに設定されている暗号化ワードによって、パスワードが暗号化されて送信されます。暗号化されたパスワードは、本機に設定されている暗号化ワードによって復号され、印刷またはボックスに保存されます。

3.5 プリンタードライバーの設定項目

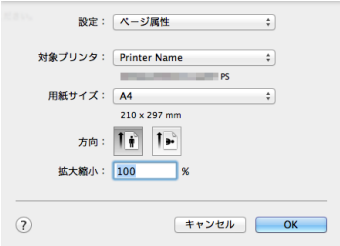
3.5.1 プリンタードライバーの［ページ設定］画面について

［ページ設定］画面の表示のしかた

1 アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、［ファイル］メニューから［ページ設定］をクリックします。

2 ［対象プリンタ :］で、印刷したいプリンターが選ばれていることを確認します。

［ページ属性］画面が表示されます。



［ページ属性］でできること

［ページ属性］では、用紙に関する基本的な設定ができます。

設定	説明
［用紙サイズ :］	印刷する用紙のサイズを選びます。 不定形サイズの用紙に印刷する場合は、［カスタムサイズを管理 ...］を選びます。詳しくは、3-9 ページをごらんください。
［方向 :］	アプリケーションソフトウェアで作った原稿の向きを指定します。 プリンタードライバーを開いたときに、アプリケーションソフトウェアで設定した内容と異なる場合は合わせてください。
［拡大縮小 :］	原稿画像を拡大または縮小するときに、倍率を指定します。設定範囲は Mac OS のバージョンで異なります。

参考

- 定形サイズ全面に印刷したい場合は、［用紙サイズ :］で各定形用紙の「W」を選ぶことで原稿サイズより大きな用紙にセンタリングして印刷できます。
  たとえば、A4 サイズのデータを A3 サイズの用紙にセンタリングして印刷する場合、「A4W」の用紙サイズでデータを作成し、プリンタードライバーで［用紙サイズ :］を［A4W］に、［給紙トレイ］を使用するトレイに設定します。
  本機側では、使用するトレイに A3 サイズの用紙をセットし、次の方法で用紙サイズを確認します。
  コピーモードの［用紙］でトレイを選び、［選択トレイの設定変更］-［ワイド紙］で［A4W］を指定したときに、［用紙サイズ］で［自動検出］が選択され、A3 が表示されていることを確認します。
  印刷用紙が不定形サイズの場合は、**トレイ 1**、**トレイ 2**、**手差しトレイ**のいずれかを使い、［選択トレイの設定変更］-［ワイド紙］で［A4W］、［サイズ変更］で使用する用紙サイズを入力します。
- プリント画面でも［用紙サイズ］と［方向］の設定ができます。

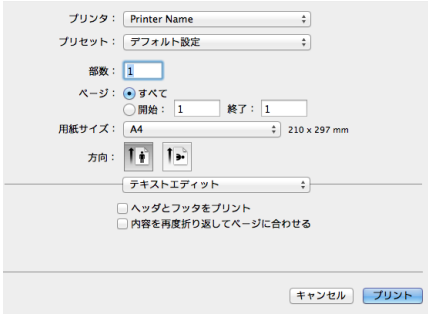
3.5.2 プリンタードライバーの［プリント］画面について

［プリント］画面の表示のしかた

1 アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。

2 ［プリンタ：］で、印刷したいプリンターが選ばれていることを確認します。

［印刷部数と印刷ページ］画面が表示されます。



各画面で共通の項目について

［プリント］画面で共通の設定やボタンについて説明します。

設定	説明
［用紙ビュー］	現在の設定でのページレイアウトのサンプルを表示し、印刷結果のイメージを確認できます。
［詳細情報］	現在の設定内容を文字で表示します。
［本体情報 ...］	オプション装着の状態を表示します。本機と通信可能な状態で有効です。 • ［装置情報取得］：本機と通信してオプションの装着状態を取得します。 • ［SNMP 設定］：本機側で SNMP Read Community Name を変更した場合は、本機から情報を取得するときに使う Read Community Name を入力します。 • ［Wake-On-Lan...］：Wake-On-Lan 機能に関する設定をします。Wake-On-Lan 機能を使うには、あらかじめ本機で［ErP からの復帰］の設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。 Wake-On-Lan 機能を使う場合は、［マジックパケット復帰］にチェックをつけます。また、Web Connection の管理者モードの［ネットワーク］-［無線ネットワーク設定］-［デバイス設定］で表示される MAC アドレスを入力します。 • ［バージョン ...］：お使いのプリンタードライバーのバージョンを確認します。
［標準に戻す］	設定内容を初期値の状態に戻します。
［キャンセル］	変更した設定を無効 (キャンセル) にして、設定画面を閉じます。
［プリント］	変更した設定を有効にして印刷します。

参考

- Mac OS 10.10/10.11/10.12 の場合、［本体情報 ...］の［Wake-On-Lan...］は表示されません。

3.5.3 ［印刷部数と印刷ページ］でできること

［印刷部数と印刷ページ］では、印刷部数や印刷範囲など、印刷に関する基本的な設定ができます。

設定	説明
［部数 :］	複数の部数を印刷するときに、印刷する部数を指定します。
［丁合い］	この機能は設定しないでください。［出力方法］の［ソート (1 部ごと)］で設定してください。
［ページ :］	複数ページの原稿を印刷するときに、印刷するページの範囲を指定します。

参考

- ［用紙サイズ :］、［方向 :］も表示されますが、［ページ属性］の機能と同じです。
- 設定項目が表示されていない場合は、［詳細を表示］をクリックします。

3.5.4 ［出力方法］でできること

［出力方法］では、印刷の処理に関する設定ができます。

設定		説明
［ソート (1 部ごと)］		複数の部数を印刷するときに、1 部ずつ区別して排紙するときはチェックをつけます。 チェックをはずすと、原稿の 1 ページ目を［部数］で指定した枚数排紙し、同様に、2 ページ目、3 ページ目と排紙します。
［仕分け］		複数の部数を印刷するときに、1 部ずつ位置をずらして排紙するときはチェックをつけます。
［出力方法］		本機から原稿を印刷する方法を選びます。
	［通常印刷］	通常の印刷をするときに選びます。
	［セキュリティ印刷］	機密性の高い文書を印刷するときに選びます。本機側で文書 ID とパスワードを入力することによって印刷します。 詳しくは、3-38 ページをごらんください。
	［ボックス保存］	原稿を本機のボックスに保存するときに選びます。 詳しくは、3-41 ページをごらんください。
	［ボックス保存 & 印刷］	原稿を本機のボックスに保存し、同時に印刷するときに選びます。 詳しくは、3-41 ページをごらんください。
	［確認印刷］	大量の部数を印刷するときに選びます。1 部だけ印刷して残りの部数の印刷を待機します。 詳しくは、3-35 ページをごらんください。
	［認証 & プリント］	ユーザー認証を導入している環境で、機密性の高い文書を印刷するときに選びます。本機側で認証を実施することで印刷します。 詳しくは、3-45 ページをごらんください。
［ユーザー認証］		ユーザー認証を導入している場合に、チェックをつけます。表示される画面で、ユーザー名とパスワードを入力します。 詳しくは、3-43 ページをごらんください。
［部門管理］		部門管理を導入している場合に、チェックをつけます。表示される画面で、部門名とパスワードを入力します。 詳しくは、3-43 ページをごらんください。
［詳細設定 ...］		詳細設定項目のある機能を表示します。

［詳細設定 ...］をクリックすると、［出力方法］のうち、詳細設定項目のある機能を表示します。各機能を選んでから［設定 ...］をクリックすると、各機能の詳細設定ダイアログを表示します。

設定	説明
［セキュリティ印刷］	セキュリティ印刷の文書 ID とパスワードを入力します。 詳しくは、3-38 ページをごらんください。
［ボックス保存］	保存先のボックスを指定します。 詳しくは、3-41 ページをごらんください。
［ユーザー認証］	ユーザー認証を導入している場合に、ユーザー名とパスワードを入力します。 詳しくは、3-43 ページをごらんください。
［部門管理］	部門管理を導入している場合に、部門名とパスワードを入力します。 詳しくは、3-43 ページをごらんください。
［管理者設定］	認証設定の入力ダイアログの表示設定や、暗号化ワードを変更するダイアログを表示します。

［管理者設定］をクリックすると、認証設定の入力ダイアログの表示設定や、暗号化ワードを変更するダイアログを表示します。

設定		説明
［ユーザー認証 / 部門管理］		ユーザー認証／部門管理機能を使うときの動作を設定します。
	［印刷時に入力画面を表示する］	印刷するときに［ユーザー認証］や［部門管理］ダイアログボックスを表示する場合にチェックをつけます。 ユーザー名や部門名のユーザー名やパスワードの入力忘れを防ぎます。
	［拡張サーバー認証 :］	拡張サーバー認証を有効にするかどうかを選びます。有効にする場合は、本体装置での認証を併用するかどうかを選びます。
	［簡易認証設定］	簡易認証を有効にするかどうかを選びます。
［セキュリティ印刷］		セキュリティ印刷機能を使うときの動作を設定します。
	［印刷時に入力画面を表示する］	印刷するときに［セキュリティ印刷］ダイアログボックスを表示する場合にチェックをつけます。セキュリティ印刷の文書 ID とパスワードの入力忘れを防ぎます。
	［パスワード未入力時の印刷］	パスワードが未入力の状態での印刷を許可するかどうかを選びます。
［暗号化ワード :］		暗号化ワードを独自に設定する場合にチェックをつけます。 暗号化ワードは、印刷するときに本機へ送る認証パスワードを暗号化するために使います。通常は、本機にあらかじめ登録されている暗号化ワードを使って暗号化しますが、必要に応じて、暗号化ワードを変更できます。 暗号化ワードを変更する場合は、まず本機の設定を変更し、プリンタードライバーには本機で設定した暗号化ワードと同じ暗号化ワードを入力します。 暗号化ワードの変更のしかたについて詳しくは、3-58 ページをごらんください。

3.5.5 ［レイアウト / 仕上げ］でできること

［レイアウト / 仕上げ］では、印刷するときのレイアウトや仕上げに関する設定ができます。原稿の割付けかたや、印刷位置の調整などができます。

設定画面は、［レイアウト］画面と［仕上げ］画面とを切換えることができます。

設定	説明
［印刷種類 :］	用紙の印刷面を選びます。 • ［片面］：用紙の片面に印刷します。 • ［両面］：用紙の両面に印刷します。 • ［小冊子］：小冊子の形態になるように印刷します。原稿データの順番を並べ換え、見開きで両面印刷します。印刷後、用紙をまとめて 2 つ折りにすると、本のようなページ順になります。
［開き方向 / とじ方向 :］	ステープルでとじたり、パンチ穴をあけたりするときに、とじ位置を選びます。
［拡大連写 :］	原稿画像を拡大し、複数の用紙に分割して印刷します。たとえば、［2 × 2］であれば、1 ページの原稿を 4 枚の用紙に分割して印刷します。つなぎ合わせると、ポスターのように大きく仕上ります。 のりしろを作る場合は、［のりしろ線］にチェックをつけます。 1 つの印刷ジョブ内にサイズや方向が異なるページが含まれる原稿を印刷すると、画像が欠損したり、画像が重なったりする場合があります。
［180 度回転］	原稿を 180 度回転して印刷するときにチェックをつけます。
［画像シフト］	用紙に対する画像の印刷位置を微調整 (シフト) して印刷するときにチェックをつけます。 ［画像シフト］にチェックをつけると、［画像シフト］画面が表示されます。 印刷位置を詳細に指定します。 • ［表面］：表面の上下左右のシフト量を指定します。 • ［裏面］：両面印刷する場合は、裏面の上下左右のシフト量を指定します。［表面と裏面を同じ値にする］にチェックをつけると、表と裏で同じだけシフトします。
［章分け］	［印刷種類 :］で［両面］または［小冊子］を選んで印刷する場合に、表面に配置したいページがあるときはチェックをつけます。 チェックしたときに表示される［章分け］画面の［ページ番号］に、表面に配置するページのページ番号を指定します。 複数のページ番号を入力するときは、「2,4,6」のようにカンマで区切るか、「6-10」のようにハイフンでつないで入力します。
［ステープル :］	印刷した用紙をステープルでとじるときにチェックをつけます。あわせて、ステープルの数ととじ位置を指定します。
［パンチ :］	印刷した用紙にパンチ穴 (とじ穴) をあけるときにチェックをつけます。あわせて、パンチ穴の数と位置を指定します。
［中とじ / 折り :］	印刷した用紙を折り加工するときに、折りかたを選びます。
［折りページ指定 :］	［中とじ / 折り :］で［中折り (ページ単位)］または［三つ折り (ページ単位)］を選んだ場合に、一度に折り加工するページ数を指定します。
［辺あわせ :］	両面印刷する場合のとじ位置を、全データが揃ってから補正するか、受信しながら順に補正するかを選びます。 • ［仕上り優先］：全データ受信後に一括で辺あわせの処理をします。すべてのページを同じ条件で補正します。 • ［生産性優先］：印刷しながら順番に処理します。

参考

- ステープル機能を使うには、オプションの**フィニッシャー**が必要です。
- パンチ機能を使うには、オプションの**フィニッシャー**と**パンチキット**が必要です。
- 中折り／中とじ／三つ折り機能を使うには、オプションの**中とじ機付フロアフィニッシャー**が必要です。

3.5.6 ［給紙トレイ / 排紙トレイ］でできること

［給紙トレイ / 排紙トレイ］では、使用する給紙トレイや用紙種類を設定できます。

設定	説明
［給紙トレイ :］	印刷する用紙の給紙トレイを選びます。 ［自動］を選ぶと、［用紙サイズ :］で選んだ用紙がセットされているトレイを自動的に使います。
［用紙種類 :］	印刷する用紙の種類を選びます。
［給紙トレイ別用紙設定 ...］	印刷する用紙の種類を給紙トレイ別に指定します。 ［給紙トレイ］を選び、［用紙種類 :］を変更します。本機の給紙トレイにセットされている用紙の状態と合わせてください。 ［インストール可能なオプション］画面で［給紙トレイ別用紙設定］が有効の場合に設定できます。
［排紙トレイ :］	印刷した用紙を排紙するトレイを選びます。
［カーボンコピー］	原稿を複数のトレイにセットされている異なる用紙に印刷するときにチェックをつけます。 ［カーボンコピー］にチェックをつけると、［カーボンコピー設定］画面が表示されます。カーボンコピー印刷時の排紙順序や、カーボンコピー用トレイを設定します。詳しくは、3-11 ページをごらんください。

参考

- ［用紙種類 :］の［2 面目］は、用紙の裏面に印刷するときに指定します。
- ［用紙種類 :］の［ユーザー紙］は、本機側に登録されている用紙種類です。

3.5.7 ［カバーシート］でできること

［カバーシート］では、印刷物に表紙を挿入したり、OHP フィルムに印刷するときに合紙を挿入したりできます。

設定画面は、［カバーシート］画面と［OHP 合紙］画面とを切換えることができます。

設定	説明
［表カバー :］	表紙を挿入して印刷するときにチェックをつけます。あわせて、表紙用の給紙トレイと、表紙として挿入した用紙に印刷するかどうかを選びます。 • ［白紙］：表紙として挿入した用紙には印刷しません。 • ［印刷］：表紙として挿入した用紙に、原稿の最初のページを印刷します。 ［給紙トレイ / 排紙トレイ］の［給紙トレイ :］で［自動］以外を選んだ場合に設定できます。
［裏カバー :］	裏表紙を挿入して印刷するときにチェックをつけます。あわせて、裏表紙用の給紙トレイと、裏表紙として挿入した用紙に印刷するかどうかを選びます。 • ［白紙］：裏表紙として挿入した用紙には印刷しません。 • ［印刷］：裏表紙として挿入した用紙に、原稿の最後のページを印刷します。 ［給紙トレイ / 排紙トレイ］の［給紙トレイ :］で［自動］以外を選んだ場合に設定できます。
［OHP 合紙 :］	複数枚の OHP フィルムに印刷する場合に、OHP フィルムの間に用紙を挿入するときはチェックをつけます。あわせて、挿入する用紙の給紙トレイを選びます。 ［給紙トレイ / 排紙トレイ］の［用紙種類 :］で［OHP フィルム］を選んだ場合に設定できます。

3.5.8 ［ページ単位設定］でできること

［ページ単位設定］では、ページごとの印刷条件を変更できます。ページごとに本機の各給紙トレイにセットされた様々な用紙を使って印刷したり、ページの途中でレイアウトや仕上げを変更したりできます。

設定	説明
［ページ単位設定 :］	原稿に用紙を挿入したり、印刷設定をページごとに変更したりするときにチェックをつけます。あわせて、印刷に適用するリストを選びます。 • あらかじめ［追加 ...］をクリックして、詳細な印刷条件を設定したリストを作成します。リストの作成のしかたについて詳しくは、3-29 ページをごらんください。 • ［削除 ...］をクリックすると、選んだリストを削除します。 • ［編集 ...］をクリックすると、［ページ単位設定］ダイアログを表示し、選んだリストを編集できます。

3.5.9 ［スタンプ / ページ印字］でできること

［スタンプ / ページ印字］では、原稿に不正コピーを抑止するパターンを埋込んだり、日付やページ番号を追加したりできます。

設定	説明
［コピーセキュリティ］	印刷物の不正コピーを抑止するためのパターンを原稿に合成します。 ［設定 ...］をクリックすると、コピーセキュリティの詳細な設定ができます。詳しくは、3-24 ページをごらんください。
［日付 / 時刻］	原稿に印刷日時を追加するときにチェックをつけます。 ［設定 ...］をクリックすると、印字する位置や表記のしかたなどを変更できます。詳しくは、3-21 ページをごらんください。
［ページ番号］	原稿にページ番号を追加するときにチェックをつけます。 ［設定 ...］をクリックすると、印字する位置や印字を開始するページなどを変更できます。詳しくは、3-22 ページをごらんください。
［ヘッダー / フッター］	原稿の上下の余白部分 (ヘッダー／フッター) に、日付や時刻をはじめ、任意の文字を追加するときにチェックをつけます。ヘッダー／フッターに追加する情報は、あらかじめ本機に登録したものの中から選びます。 ［設定 ...］をクリックすると、ヘッダー／フッターを印字するページの範囲などを変更できます。詳しくは、3-23 ページをごらんください。

参考

- ［スタンプ / ページ印字］の機能は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できます。オプションの**拡張メモリー**を装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。

3.5.10 ［画像品質］でできること

［画像品質］では、原稿画質に関する設定ができます。イメージの処理をどのようにするかを設定できます。

設定	説明
［カラー選択 :］	印刷する色を選びます。 • ［オートカラー］：原稿の色に合わせてカラーを自動選択して印刷します。 • ［フルカラー］：原稿の色に関わらず、フルカラーで印刷します。 • ［グレースケール］：原稿の色に関わらず、モノクロで印刷します。
［カラー設定 :］	原稿に合わせてカラー設定のモードを選びます。 • ［文書］：文字、グラフ、図形、写真などが混在した原稿に適したカラー設定にします。 • ［写真］：イメージ品質を優先したカラー設定にします。 • ［DTP］：文字や図形などが混在した原稿に適したカラー設定にします。ディスプレイの表示を忠実に再現します。 • ［Web］：Web ページの印刷に適したカラー設定にします。低解像度のイメージを滑らかに再現します。 • ［CAD］：細線で構成される原稿に適したカラー設定にします。イメージを高解像度で再現します。
［画質調整 ...］	原稿に合わせて画質を微調整します。 印刷時に使うカラープロファイルのタイプや適用するプロファイルなどを文書の要素ごとに詳細に指定します。 また、ICC プロファイルの管理もできます。詳しくは、3-34 ページをごらんください。
［光沢モード］	画像に光沢をつけて印刷するときにチェックをつけます。印刷速度は低下します。
［トナー節約］	トナー消費量を節約したいときにチェックをつけます。印刷濃度を抑えます。
［エッジ強調］	小さい文字や薄い文字をくっきりさせたいときにチェックをつけます。表文字、グラフィックなど、画像のエッジ部分を強調して、読みやすくします。
［自動トラッピング］	版ずれや白抜けを抑えたいときにチェックをつけます。絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣合う色を重ねて印刷します。
［ブラックオーバープリント :］	黒い文字や図の周りに発生する白抜けを抑えたいときにチェックをつけます。黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣合う色に黒を重ねて印刷します。 • ［文字］：黒い文字だけをオーバープリントで印刷します。 • ［文字 / 図］：黒い文字と図をオーバープリントで印刷します。

3.6 プリンタードライバーの削除

プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

1 アップルメニューの［システム環境設定 ...］を開き、［プリンタとスキャナ］アイコンをクリックします。

➔ Mac OS 10.8 の場合は、［プリントとスキャン］アイコンをクリックします。

2 削除するプリンターを選び、［－］(または［削除］) をクリックします。

選んだプリンターが削除されます。

3 画面を閉じます。

4 インストールした［Macintosh HD］(システムのハードディスク) の［ライブラリ］-［Printers］-［PPDs］-［Contents］-［Resources］内の、本機のドライバー名のファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

5 ［ライブラリ］-［Printers］内の不要なファイルを削除します。

➔ ［ライブラリ］-［Printers］-［GENERIC］内の、本機のドライバー名のフォルダーを［ゴミ箱］へドラッグします。

6 コンピューターを再起動します。

以上で、プリンタードライバーの削除の完了です。

3.7　付録：その他の接続方法で使う

3.7.1　LPR 接続で使う

お使いになるために必要な作業 (管理者向け)

LPR の使用環境を設定します。

設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［プリント機能の使用環境を設定する］」をごらんください。

プリンターの追加のしかた

LPR 接続でプリンターを追加する手順を説明します。

1 アップルメニューの［システム環境設定 ...］を選びます。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 Ethernet の設定画面を表示します。

➔ ［Ethernet］を選び、［詳細 ...］をクリックします。

4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 コンピューターを接続するネットワークの設定に応じて、設定方法と IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［このサービスには未保存の変更があります］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

続いて、コンピューターにプリンターを追加します。

7 アップルメニューの［システム環境設定 ...］を選びます。

8 ［プリンタとスキャナ］アイコンをクリックします。

➔ Mac OS 10.8 の場合は、［プリントとスキャン］アイコンをクリックします。

9 画面左下の［+］をクリックします。

➔ ［+］をクリックした一覧から［ほかのプリンタまたはスキャナを追加 ...］または［プリンタまたはスキャナを追加 ...］を選択します。

10 ［IP］または［IP プリンタ］をクリックします。

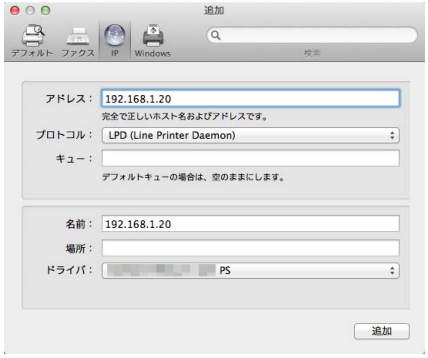
11 ［プロトコル :］で［LPD(Line Printer Daemon)］を選びます。

12 ［アドレス :］に本機の IP アドレスを入力します。

IP アドレスで指定した本機に対応するプリンタードライバーが［ドライバ :］に表示されます。

➔ プリンタードライバーが表示された場合は、手順 14 へ進みます。

➔ プリンタードライバーが正しく表示されない場合は、手順 13 へ進みます。



13 プリンタードライバーを手動で選びます。

➔ Mac OS 10.9/10.10/10.11/10.12 の場合は、［ドライバ :］で［ソフトウェアを選択 ...］を選び、別ウィンドウで表示される一覧から目的のプリンターのドライバーをクリックします。

➔ Mac OS 10.8 の場合は、［ドライバ :］で［プリンタソフトウェアを選択 ...］を選び、別ウィンドウで表示される一覧から目的のプリンターのドライバーをクリックします。

14 ［追加］をクリックします。

以上で、プリンターの追加の完了です。続いて、［インストール可能なオプション］画面で、本機のオプション環境の設定をします。詳しくは、3-6 ページをごらんください。

3.7.2　IPP 接続で使う

お使いになるために必要な作業 (管理者向け)

IPP の使用環境を設定します。

設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［プリント機能の使用環境を設定する］」をごらんください。

プリンターの追加のしかた

IPP 接続でプリンターを追加する手順を説明します。

1 アップルメニューの［システム環境設定 ...］を選びます。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 Ethernet の設定画面を表示します。

➔ ［Ethernet］を選び、［詳細 ...］をクリックします。

4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 コンピューターを接続するネットワークの設定に応じて、設定方法と IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 ［適用］をクリックしてから、画面左上のクローズボタンをクリックします。

続いて、コンピューターにプリンターを追加します。

7 アップルメニューの［システム環境設定 ...］を選びます。

8 ［プリンタとスキャナ］アイコンをクリックします。

➔ Mac OS 10.8 の場合は、［プリントとスキャン］アイコンをクリックします。

9 画面左下の［+］をクリックします。

➔［+］をクリックした一覧から［ほかのプリンタまたはスキャナを追加 ...］または［プリンタまたはスキャナを追加 ...］を選択します。

［プリンタブラウザ］が表示されます。

10 ［IP］または［IP プリンタ］をクリックします。

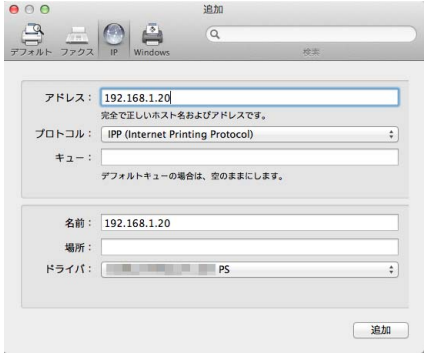
11 ［プロトコル :］で［IPP(Internet Printing Protocol)］を選びます。

12 ［アドレス :］に本機の IP アドレスを入力し、［キュー :］に「ipp」を入力します。

IP アドレスで指定した本機に対応するプリンタードライバーが［ドライバ :］に表示されます。

➔ プリンタードライバーが表示された場合は、手順 14 へ進みます。

➔ プリンタードライバーが正しく表示されない場合は、手順 13 へ進みます。



13 プリンタードライバーを手動で選びます。

➔ Mac OS 10.9/10.10/10.11/10.12 の場合は、［ドライバ :］で［ソフトウェアを選択 ...］を選び、別ウィンドウで表示される一覧から目的のプリンターのドライバーをクリックします。

➔ Mac OS 10.8 の場合は、［ドライバ :］で［プリンタソフトウェアを選択 ...］を選び、別ウィンドウで表示される一覧から目的のプリンターのドライバーをクリックします。

14 ［追加］をクリックします。

以上で、プリンターの追加の完了です。続いて、［インストール可能なオプション］画面で、本機のオプション環境の設定をします。詳しくは、3-6 ページをごらんください。

4 プリンタードライバーを使わずに印刷する

4　プリンタードライバーを使わずに印刷する

4.1　コンピューターから直接印刷する (ダイレクトプリント)

ダイレクトプリントについて

ダイレクトプリントは、プリンタードライバーを使わずに、コンピューターまたは SMB 共有フォルダーにある PDF(Ver.1.6)、JPEG、TIFF、XPS、PS、PCL、Text、OOXML(.docx/.xlsx/.pptx)、PPML(.ppml/.vdx/.zip) ファイルを直接本機に送信して印刷する機能です。

Text ファイルの場合、1 バイト文字のみ対応しています。

Web Connection を使って、コンピューターまたは SMB 共有フォルダーに保存されているファイルを指定することで印刷できます。

関連設定

- TIFF、JPEG、PDF 形式のファイルをダイレクト印刷するときの、印刷する用紙サイズの決定方法を設定できます (初期値 :［自動］)。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。
- Text ファイルを印刷する場合、［PDL 設定］を［自動］に設定する必要があります (初期値 :［自動］)。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。
- ダイレクトプリント機能で OOXML ファイルを印刷するときに、本機に内蔵されていない任意の OOXML フォントを使用したい場合は、OOXML フォントを本機に追加できます。追加できる OOXML フォントの種類は、TrueType と OpenType です。OOXML フォントの追加について詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［各種情報を登録する］」をごらんください。

ダイレクトプリントのしかた

Web ブラウザーを使って Web Connection へ接続し、印刷するファイルを指示します。
PDF(Ver.1.6)、JPEG、TIFF、XPS、PS、PCL、Text、OOXML(.docx/.xlsx/.pptx)、PPML(.ppml/.vdx/.zip) 形式のファイルを印刷できます。

1 Web ブラウザーを使って Web Connection へアクセスします。

➔ Web Connection へのアクセスのしかたについては、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［基本的な使い方］」をごらんください。

2 ユーザーモードにログインします。

➔ ユーザーモードへのログインのしかたについては、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［基本的な使い方］」をごらんください。

3 ［ダイレクトプリント］をクリックします。

4 ［ファイルの選択］で、印刷するファイルを選びます。

➔ ［PC から選択］：［参照］をクリックし、お使いのコンピューターから印刷するファイルを選びます。

➔ ［SMB 一覧から選択］：［SMB 一覧］をクリックし、SMB 共有フォルダーから印刷するファイルを選びます。

5　必要に応じて、印刷設定を変更します。

➔［基本設定］では、印刷部数、両面印刷、仕上りなどを設定します。

設定	説明
［印刷部数］	印刷部数を入力します。 初期値は［1］部です。
［ソート］	複数の部数を印刷するときに、1 部ずつ区別して排紙するかどうかを選びます。 初期値は［する］です。
［仕分け］	複数の部数を印刷するときに、1 部ずつ位置をずらして排紙するかどうかを選びます。 初期値は［しない］です。
［給紙トレイ］	印刷する用紙の給紙トレイを選びます。 初期値は［自動］です。
［印刷面］	用紙の印刷面を選びます。初期値は［片面］です。 • ［片面］：用紙の片面に印刷します。 • ［両面］：用紙の両面に印刷します。 • ［小冊子］：小冊子の形態になるように印刷します。原稿データの順番を並べ換え、見開きで両面印刷します。印刷後、用紙をまとめて 2 つ折りにすると、本のようなページ順になります。
［原稿の向き］	アプリケーションソフトウェアで作った原稿の向きを指定します。 初期値は［縦］です。
［パンチ］	パンチ穴をあけるかどうかを選びます。パンチ穴をあける場合は、パンチ穴の数を選びます。 初期値は［しない］です。
［ステープル］	ステープルでとじるかどうかを選びます。ステープルでとじる場合は、ステープル数を選びます。 初期値は［しない］です。
［開き方向 / とじ方向］	ステープルでとじたり、パンチ穴をあけたりするときに、とじ位置を選びます。 初期値は［左とじ］です。
［シート / ブック印刷］	Excel ファイルを印刷するときに、現在選んでいるシートを印刷するか、ブック全体を印刷するかを選びます。 初期値は［ブック全体］です。
［ページ割付］	複数のページを 1 枚の用紙の同じ面に縮小して印刷するかどうかを選びます。初期値は［しない］です。 • ［行数］：1 枚の用紙の横方向に割付けるページ数を入力します。初期値は［1］です。 • ［列数］：1 枚の用紙の縦方向に割付けるページ数を入力します。初期値は［1］です。 • ［ページ倍率］：倍率を自動で調整するか、任意の倍率を指定してページを拡大または縮小するかを選びます。初期値は［自動］です。

➔［応用設定］の［出力方法］では、本機から原稿を印刷する方法を設定できます。設定を行うときは［表示］をクリックします。

設定	説明
［通常印刷］	通常の印刷をするときに選びます。初期値は［通常印刷］です。
［ボックス保存］	原稿を本機のボックスに保存するときに選びます。 • ［ボックス番号］：［ボックス一覧より選択］をクリックして、保存先のボックスを一覧から選びます。 • ［ファイル名］：ボックスに保存するときのファイル名を入力します。 • ［印刷の実行］：ボックスに保存すると同時に印刷するかどうかを選びます。初期値は［しない］です。
［セキュリティ印刷］	機密性の高い文書を印刷するときに選びます。本機側で文書 ID とパスワードを入力することによって印刷します。 • ［ID］：文書 ID を入力します。 • パスワード：パスワードを入力 (変更) するときは、［パスワードを変更する］にチェックをつけてから、新しいパスワードを入力します。
［確認印刷］	大量の部数を印刷するときに選びます。1 部だけ印刷して残りの部数の印刷を待機します。

6 ［OK］をクリックします。

ファイルが送信され、印刷されます。

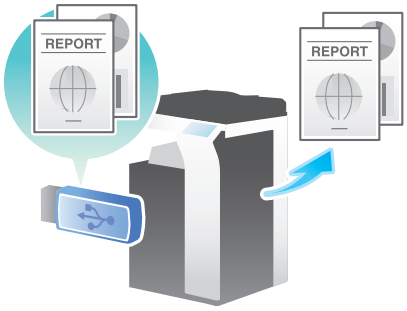
参照

パスワードが設定された PDF ファイルを印刷すると、パスワード暗号化 PDF ボックスに保存されます。パスワード暗号化 PDF ボックスに保存されたファイルの印刷のしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［ボックス機能］/［暗号化された PDF を印刷する (パスワード暗号化 PDF)］」をごらんください。

4.2 USB メモリーから直接印刷する

USB メモリーからの印刷について

本機に USB メモリーを接続し、USB メモリーに保存されているファイルを指定して印刷できます。



対応する USB メモリー

本機に接続できる USB メモリーの仕様は次のとおりです。

項目	対応
インターフェース	USB(2.0/1.1) インターフェース対応のもの
フォーマット形式	FAT32 形式でフォーマットされているもの
セキュリティ	暗号化やパスワードロックなどのセキュリティ機能が付加されていないか、または OFF にできるもの
メモリー容量	上限なし • USB メモリーによっては使用できない場合があります。 • 複数ドライブとして認識される場合は使用できません。

本機に USB メモリーを接続するときは次の点にご注意ください。

- **操作パネル**近くの側面にある USB コネクターを使用してください。
- USB メモリーへの保存中や USB メモリー内のファイルの印刷中には、USB メモリーを抜かないでください。
- USB メモリー以外の USB 機器 (ハードディスク、USB ハブなど) は使用しないでください。
- 本機が起動中で、**操作パネル**に砂時計の表示が出ているときに USB メモリーの抜き差しを行わないでください。
- USB メモリーを差込んだ直後に抜かないでください。

印刷のしかた

本機に USB メモリーを接続し、印刷するファイルを**タッチパネル**で指定します。

印刷のしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［ボックス機能］/［USB メモリーを使う (外部メモリー)］」をごらんください。

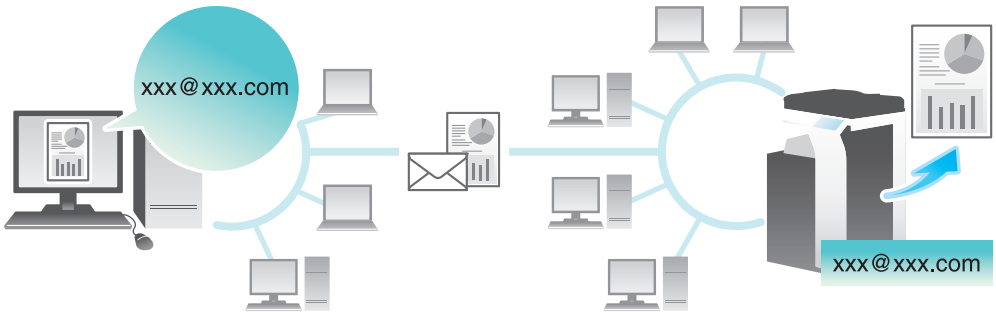
4.3　受信した E-mail の添付ファイルを印刷する (E-mail 受信プリント)

E-mail 受信プリントについて

E-mail 受信プリントは、本機が受信した E-mail に添付されているファイルを印刷する機能です。

本機のメールアドレス宛に E-mail を送信すれば、プリンタードライバーを使わなくても、コンピューター上の PDF、コンパクト PDF、JPEG、TIFF、XPS、コンパクト XPS、OOXML(.docx/.xlsx/.pptx)、PPML(.ppml/.vdx/.zip) ファイルを本機から印刷することができます。

また、E-mail の添付ファイルを本機のボックスに保存することもできます。



参考

- この機能を使うには、オプションの**拡張メモリー**と LK-110 v2（**ファイル形式拡張パッケージ**）が必要です。

E-mail と添付ファイルの仕様

E-mail 受信プリント機能で印刷するには、E-mail および添付ファイルが次の条件を満たしている必要があります。

項目	仕様
ファイルの数	最大 20 ファイル
ファイルの容量	無制限
対応ファイル形式	PDF/ コンパクト PDF/XPS/ コンパクト XPS/TIFF/JPEG /OOXML(.docx/.xlsx/.pptx)/PPML(.ppml/.vdx/.zip) • 上記ファイル形式でも、長尺サイズのファイルは印刷できません。
E-mail 形式	E-mail の形式には、次の制限があります。 • S/MIME で暗号化された E-mail には対応していません。 • 分割された E-mail の復元は行いません。
宛先指定方法	宛先 (To)、CC、BCC

参考

- 上記の条件を満たしていないファイルは破棄されます。ファイルの破棄に関する詳細は、ジョブ履歴で確認できます。
- E-mail の添付ファイルとしてパスワードが設定された PDF ファイルを受信すると、パスワード暗号化 PDF ボックスに保存されます。
- E-mail に添付ファイルが存在しない場合、E-mail は破棄されます。

お使いになるために必要な作業 (管理者向け)

本機で E-mail を受信するための設定をします。また、E-mail 受信プリント機能を有効にします。

受信した E-mail の添付ファイルをボックスに保存して管理したい場合は、保存先のボックスを指定し、自動的にボックスに保存するように設定しておくこともできます。

設定のしかたについては、Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド［Web 設定ツール］/［プリント機能の使用環境を設定する］」をごらんください。

参考

- ユーザー認証／部門管理が有効に設定されている場合、E-mail は破棄されます。

関連設定 (管理者向け)

- ユーザー認証／部門管理を有効に設定している環境で E-mail を受信するには、［認証指定なし印刷］を許可する必要があります (初期値：［禁止］)。詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

E-mail 送信時に印刷設定を指定する

送信した E-mail の添付ファイルは、［設定メニュー］-［ユーザー設定］-［プリンター設定］の設定値に従って本機で印刷されます。E-mail の送信ごとに印刷設定を変更したい場合は、お使いのメールソフトで、E-mail の件名欄に決められた設定値を入力することで、印刷設定を指定することができます。

設定値は、件名欄に「設定値 @」の形式で入力します。

- 設定値を 1 つ指定する場合の入力例：dup@
- 設定値を複数指定する場合の入力例：dup, box1@

指定できる設定値は次のとおりです。

項目	設定値	説明
色	col	印刷の色をフルカラーに指定します。
	mono	印刷の色をモノクロに指定します。
両面／片面	dup	印刷する用紙の面を両面に指定します。
	simp	印刷する用紙の面を片面に指定します。
原稿の向き	port	原稿の向きをポートレートに指定します。
	land	原稿の向きをランドスケープに指定します。
部数	数値	印刷する部数 (1 ～ 9999) を指定します。
集約	Column+ 数値	1 ページに集約する列の数 (1 ～ 5) を指定します。 入力例：Column2
	Row+ 数値	1 ページに集約する行の数 (1 ～ 5) を指定します。 入力例：Row3
ステープル	st1	ステープルの数を 1 点 (コーナー) に指定します。
	st2	ステープルの数を 2 点に指定します。
コピープログラム呼出し	m+ 数値	印刷に適用するコピープログラムの登録番号 (1 ～ 30) を指定します。 入力例：m1
ボックス指定	box+ 数値	ファイルを保存するボックスの登録番号 (1 ～ 999999999) を指定します。 存在しないボックスの登録番号を指定した場合、自動的にボックスを新しく作成してからファイルを保存します。 入力例：box1

参考

- 「@」は半角のみ対応しています。
- 「@」以降に入力されている設定値は、印刷設定として扱われません。「@」を入力しない場合、件名全体が設定値として扱われます。
- 設定値の大文字と小文字は区別しません。設定値以外の文字は無効です。
- 設定値を「,(カンマ)」でつなげて入力することで、複数の設定値を指定できます。
- 同じ項目の設定値を複数指定した場合、前に入力している設定値を適用します。
- コピープログラムを指定した場合、コピープログラムの設定を優先し、その他の個別の設定は無効となります。

関連設定

- 基本的な印刷設定は、装置に設定されている印刷設定に従います。設定内容について詳しくは、「ユーザーズガイド［機能 / 設定キーの説明］/［設定メニュー］」をごらんください。

本機で E-mail を受信してファイルを印刷する

E-mail が到着しているかどうかを、**タッチパネル**からメールサーバーに手動で問い合わせます。

［E-mail 受信］をタップしてメールサーバーに問い合わせを行い、到着した E-mail があれば、受信して添付ファイルを印刷します。

参考

- E-mail 受信の設定によっては、E-mail が到着しているかどうかを、本機が一定の間隔 (初期値 : 15 分) で自動的にメールサーバーに問い合わせます。到着した E-mail があれば、受信して添付ファイルを印刷します。

参照

E-mail の添付ファイルとしてパスワードが設定された PDF ファイルを受信すると、パスワード暗号化 PDF ボックスに保存されます。パスワード暗号化 PDF ボックスに保存されたファイルの印刷のしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド［ボックス機能］/［暗号化された PDF を印刷する (パスワード暗号化 PDF)］」をごらんください。

お問い合わせ窓口

■ 製品の仕様・取扱方法やアフターサービスに関するご相談

インフォメーションセンター

0120-610-917

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間　月～土曜日（日・祝日はお休みさせていただきます。）
平日 9:00～18:00　土曜日 9:00～17:00

■ 消耗品のご注文・お問い合わせ

消耗品受付窓口

0120-176-109

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間　月～土曜日（日・祝日はお休みさせていただきます。）
平日 9:00～18:00　土曜日 9:00～17:00

ホームページ http://www.muratec.jp/ce/

●この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

© 2018 MURATA MACHINERY, LTD.

Part Number: A798-9582IC-00